



メッセージとコード



メッセージとコード

ご注意

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、347 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、SC88-9781-02 の改訂版です。

本書は、IBM DB2 Content Manager OnDemand for z/OS and OS/390 バージョン 8 リリース 4 (プロダクト番号 5697-N93)、IBM DB2 Content Manager OnDemand for Multiplatforms バージョン 8 リリース 4 (プロダクト番号 5724-J33)、IBM DB2 Content Manager OnDemand for i5/OS Common Server バージョン 5 (プロダクト番号 5722-RD1) および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

この製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) により開発されたソフトウェアが含まれています。

IBM 発行のマニュアルに関する情報のページ

<http://www.ibm.com/jp/manuals/>

こちらから、日本語版および英語版のオンライン・ライブラリーをご利用いただけます。また、マニュアルに関するご意見やご感想を、上記ページよりお送りください。今後の参考にさせていただきます。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： SC27-1379-08
DB2® Content Manager OnDemand
Messages and Codes

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2007.5

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2001, 2007. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2007

目次

本書について	v
本書の対象読者	v
本書の構成	v
規則	v
本書の追加情報の入手先	vi
その他の製品に関する情報	vii
OnDemand のアクセシビリティ情報	viii
Web から入手可能なサポート	viii
教育研修	viii
マニュアル・出版物に関するご意見・ご質問	viii
変更の要約	viii

第 1 部 サーバー・メッセージ 1

第 1 章 サーバー・メッセージの概要	3
他のメッセージ送信元	3
メッセージ ID	3

第 2 章 共通サーバー・メッセージ 5

第 2 部 OAM サポート・サービスの異常終了コード 173

第 3 章 概要 175

第 4 章 OAM サポート・サービスの理由コード 177

第 3 部 JES スプール・データ・キャプチャー機能の異常終了コード 183

第 5 章 概要 185

第 6 章 JES スプール・データ・キャプチャー機能の理由コード 187

第 7 章 JES スプール・データ・キャプチャー機能のメッセージ 195

第 4 部 ACIF メッセージ 199

第 8 章 概要	201
メッセージ ID	201
複数のメッセージ・シナリオ	202

第 9 章 ACIF メッセージ 203

第 5 部 構造化 API メッセージ 301

第 10 章 構造化 API のメッセージの概要 303

第 11 章 構造化 API メッセージ 305

第 6 部 XML メッセージ 309

第 12 章 XML メッセージの概要 311

第 13 章 XML メッセージ 313

第 7 部 ヒント 325

第 14 章 トラブルシューティング・シナリオ 327

行データへの AFP コード・ページ変換が誤っている	327
AFP 文書を Internet Explorer 6.0 で読み取ることができない	327
OnDemand Windows クライアントからの PDF 文書を初期化できない	328
ARSLOAD を開始できない	329
ARSLOAD が接続を確立できない	329
スプールからレポートをロードするときの ARSLOAD エラー	330
ARSLOAD が HFS ディレクトリーからロードしない	331
ARSLOAD がデータをキャッシュに保管できない	331
ARSLOAD は正常であるが、DB2 サブシステムの LOADEXIT エラーが発生する	332
ARSADMIN が USS からの実行を試行中に失敗した	333
ARSADMIN が、unload [options] 構文で失敗した	333
OnDemand システム・ログではなく、MVS SYSLOG に、通知メッセージが表示される	334
DB2 ログがフルである	335
SMP/E 適用ジョブで GIM23911E メッセージが出される	335
DB2 の停止の試行により、SQL1035 メッセージが出される	336

第 15 章 PDF インデクサー・トレース機能 339

第 16 章 表スペース・ファイル・システム 341

第 17 章 Tivoli Storage Manager の問題 343

AIX に必要なTivoli Storage Manager のバージョン 343
アプリケーション・グループの削除 343

**第 18 章 OnDemand に関連するネット
ワーク通信エラーの検出 345**

特記事項. 347
商標 348

本書について

本書は、IBM® DB2® Content Manager OnDemand (OnDemand) サーバー・プログラムによって戻されるメッセージとコードをリストしています。

本書の対象読者

本書は、戻りメッセージについてさらに詳細な情報を必要とする OnDemand 管理者を主な対象にしています。

本書の構成

本書には、OnDemand サーバー・プログラムが戻すメッセージがリストされています。

- 1 ページの『第 1 部 サーバー・メッセージ』には、OnDemand サーバー・プログラムが戻すメッセージがリストされています。
- 173 ページの『第 2 部 OAM サポート・サービスの異常終了コード』には、OnDemand for z/OS® and OS/390®, バージョン 7.1 の OAM コンポーネントが戻す ABEND コードおよび理由コードがリストされています。
- 183 ページの『第 3 部 JES スプール・データ・キャプチャー機能の異常終了コード』には、ARSYSPIN プログラムの異常終了コード、理由コード、およびメッセージが含まれています。
- 199 ページの『第 4 部 ACIF メッセージ』には、ACIF が戻すメッセージがリストされています。
- 301 ページの『第 5 部 構造化 API メッセージ』には、構造化 API が戻すメッセージがリストされています。
- 309 ページの『第 6 部 XML メッセージ』には、arsxml コマンド行ルーチンが戻すメッセージがリストされています。
- 325 ページの『第 7 部 ヒント』には、PDF インデクサー・トレース機能、表スペース・ファイル・システム、Tivoli® Storage Manager の問題、および ARSSOCK デバッグ・オプションに関する情報に加え、トラブルシューティング・シナリオも含まれています。

規則

日時の書式、および日時の分離文字として使用される文字は、米国言語形式 (コード・ページ 850) を使用するように構成されたシステムで使用されることが前提になっています。日時および分離文字は、ユーザーのシステムが使用するコード・ページによって、表示が異なる場合があります。

本書の追加情報の入手先

製品パッケージには、情報が完全なセットで含まれており、システムの計画、インストール、管理、および使用の際に役立ちます。すべての製品資料は、PDF 形式で提供されています。オペレーティング・システムに合った Adobe® Acrobat® Reader を使用して、PDF ファイルをオンラインで表示することができます。Acrobat Reader をまだインストールしていない場合は、Adobe Web サイト www.adobe.com からダウンロードできます。

製品資料は、OnDemand Web サイト (www.ibm.com/software/data/ondemand/) および IBM 資料オーダー・システム (www.ibm.com/shop/publications/order) から入手することもできます。

次の表に、プラットフォームごとの OnDemand 資料をリストします。

表 1. IBM DB2 Content Manager OnDemand for z/OS and OS/390 バージョン 8 資料

資料名	資料番号
<i>Administration Guide</i>	SC19-1213
<i>Configuration Guide</i>	SC19-1212
<i>Indexing Reference</i>	SC19-1214
<i>Introduction and Planning Guide</i>	SC19-1217
メッセージとコード	SC88-9781
<i>Migration Guide</i>	SC19-1216
<i>OnDemand Distribution Facility Installation and Reference Guide</i>	GC19-1218
ユーザーズ・ガイド	SC88-8839
<i>Web Enablement Kit Implementation Guide</i>	SC19-1215
Windows® クライアント・カスタマイズ・ガイド	SC88-8840

「*IBM DB2 Content Manager OnDemand for z/OS: Introduction and Planning Guide*」には、OnDemand ライブラリーの用語集が含まれています。「*IBM DB2 Content Manager OnDemand ユーザーズ・ガイド*」に掲載されているのは、OnDemand 管理者ではなく OnDemand ユーザーを対象とした、比較的小さな用語集です。「*IBM DB2 Content Manager OnDemand for z/OS: OnDemand Distribution Facility Installation and Reference Guide*」には、OnDemand Distribution Facility に特化した用語集が含まれています。

表 2. IBM DB2 Content Manager OnDemand for Multiplatforms バージョン 8 資料

資料名	資料番号
管理ガイド	SD88-6411
索引付けリファレンス	SD88-6409
インストールと構成ガイド	SD88-6407
紹介および計画ガイド	GD88-6410
メッセージとコード	SC88-9781
レポート配布: インストール、使用およびリファレンス	SD88-6408

表 2. IBM DB2 Content Manager OnDemand for Multiplatforms バージョン 8 資料 (続き)

資料名	資料番号
ユーザーズ・ガイド	SC88-8839
Web イネーブルメント・キット インプリメンテーション・ガイド	SD88-6406
Windows クライアント・カスタマイズ・ガイド	SC88-8840

「IBM DB2 Content Manager OnDemand for Multiplatforms 紹介および計画のガイド」には、OnDemand ライブラリーの用語集が含まれています。「IBM DB2 Content Manager OnDemand ユーザーズ・ガイド」に掲載されているのは、OnDemand 管理者ではなく OnDemand ユーザーを対象とした、比較的小さな用語集です。「IBM DB2 Content Manager OnDemand for Multiplatforms レポート配布: インストール、使用およびリファレンス」には、特に OnDemand レポート配布機能に関する用語集が含まれています。

表 3. IBM DB2 Content Manager OnDemand for i5/OS Common Server バージョン 5 資料

資料名	資料番号
管理ガイド	SD88-5029
Common Server 管理ガイド	SC88-4011
Common Server 索引付けリファレンス	SC88-4010
Common Server 計画とインストール	SC88-4008
Common Server Web Enablement Kit インストールおよび構成ガイド	SC88-4013
導入の手引き	SD88-5070
メッセージとコード	SC88-9781
ユーザーズ・ガイド	SC88-8839
Windows クライアント・カスタマイズ・ガイド	SC88-8840

その他の製品に関する情報

z/OS and OS/390 に関する最新の情報は、以下の Web サイトにあります。

- OS/390: <http://www.ibm.com/servers/s390/os390>
- z/OS: <http://www.ibm.com/servers/eserver/zseries/zos>

上記の Web サイトで、ライブラリー・リンクをたどり、BookManager® READ および Adobe PDF フォーマットの z/OS および OS/390 のマニュアルにアクセスしてください。マニュアルは、Web 上の IBM Publications Center から、オーダーできる CD-ROM のコレクションからも入手できます。

次のリンクを使用して、これらの製品の最新情報を検索してください。

- CICS®: <http://www.ibm.com/software/ts/cics/>
- DB2 Universal Database™ (DB2): <http://www.ibm.com/software/data/db2/>

- TCP/IP: TCP/IP サポートに関する最新情報については、<http://www.ibm.com/servers/eserver/zseries/zos> の z/OS Web サイトまたは <http://www.ibm.com/servers/s390/os390> の OS/390 Web サイトを参照してください。
- USS (UNIX® システム・サービス): <http://www.ibm.com/servers/eserver/zseries/zos/unix/>

注: OAM および VSAM は、DFSMS/MVS™ システム管理ソフトウェアで文書化されています。DFSMS/MVS 製品の情報については、上にリストされている z/OS および OS/390 Web サイトにあります。

OnDemand のアクセシビリティ情報

本製品でサポートされるアクセシビリティ機能の詳細情報は、「OnDemand 管理ガイド」を参照してください。

Web から入手可能なサポート

IBM では、最新の製品情報をオンラインで提供しています。よくある質問、ヒント、および技術情報については、以下のプラットフォーム固有 Web サイトの 1 つからサポート・リンクをたどってください。

- Multiplatforms: <http://www.ibm.com/software/data/ondemand/mp/>
- i5/OS®: <http://www.ibm.com/software/data/ondemand/400/>
- z/OS と OS/390: <http://www-306.ibm.com/software/data/ondemand/390/>

教育研修

IBM では、OnDemand 管理者を対象としたいくつかの研修を開催しています。コースの説明および価格については、以下のプラットフォーム固有 Web サイトの 1 つからトレーニングおよび認証リンクをたどってください。

- Multiplatforms: <http://www.ibm.com/software/data/ondemand/mp/>
- i5/OS: <http://www.ibm.com/software/data/ondemand/400/>
- z/OS と OS/390: <http://www-306.ibm.com/software/data/ondemand/390/>

マニュアル・出版物に関するご意見・ご質問

マニュアル・出版物に関するご意見・ご質問は、次の URL からお送りください。
<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

変更の要約

本書には、「IBM DB2 Content Manager OnDemand メッセージとコード」(SC88-9781-02) の情報に対する追加および変更が含まれています。技術的な追加および変更のあった個所には、左マージンにリビジョン・バー (I) が示されています。

注意を要する SC88-9781-02 からの重大な変更点は、以下のとおりです。

- 1 ページの『第 1 部 サーバー・メッセージ』の部分で、ARS0160E および ARS1114E が修正され、ARS5450E、ARS5451E、ARS5452E、ARS5453E が追加されました。

- 301 ページの『第 5 部 構造化 API メッセージ』の部分で、9120、9121、9122、9123、9124、9125 が追加されました。
- 309 ページの『第 6 部 XML メッセージ』の部分で、ARS7749E から ARS7788E の新規メッセージが追加されました。
- 5 ページの『第 2 章 共通サーバー・メッセージ』の部分で、メッセージ ARS0020E にユーザー応答情報 (例 1) が追加されました。
- 5 ページの『第 2 章 共通サーバー・メッセージ』の部分で、次のメッセージに対し、i5/OS および OS/400[®] システムのパス情報が追加されました。
ARS0104E、ARS0105E、ARS0106E、ARS0111E、ARS0112E、ARS0114E、ARS0115E、ARS0116E、ARS0118E、ARS0119E、ARS0120E、ARS0122E、ARS0123E、ARS0125E、ARS0139E、ARS0140E、ARS0143E、ARS0144E、ARS0146E、ARS0153E、ARS0178E、ARS0189E、ARS0190E、ARS0192E、ARS0194E、ARS0195E、ARS0216E、ARS1123E、ARS1155E、ARS1180E、ARS2209E、ARS3107E、ARS3111E、ARS3115E、ARS4072E、ARS4703E。
- 203 ページの『第 9 章 ACIF メッセージ』の部分で、メッセージ APK448S が修正されました。
- 203 ページの『第 9 章 ACIF メッセージ』の部分で、メッセージ APK2105I が追加されました。
- 1 ページの『第 1 部 サーバー・メッセージ』の部分で、メッセージ ARS5416E に、単一レポート内で索引付けできる最大ページ数についての情報が追加されました。
- 203 ページの『第 9 章 ACIF メッセージ』の部分で、メッセージ APK410S の説明が補強され、トラブルシューティング情報が追加されました。

第 1 部 サーバー・メッセージ

第 1 章 サーバー・メッセージの概要

本書に記載された情報を使用すると、OnDemand サーバーのエラーまたは問題を識別し、適切なりカバリー処置を取ることにより、それらのエラーまたは問題を解決することができます。

他のメッセージ送信元

一部のサーバー・コンポーネントは、本書で説明していないメッセージを戻します。これらのメッセージの送信元には、以下のものがあります。

- オペレーティング・システム
- データベース・マネージャー
- アーカイブ・ストレージ・マネージャー
- サーバー印刷マネージャー

ほとんどの場合、これらのメッセージには、警告またはエラーの原因を判別するのに十分な情報が含まれています。これらのメッセージを生成した製品についての詳細は、その製品が文書化されている適切なマニュアルを参照してください。本書では、OnDemand で使用するオペレーティング・システム、データベース管理製品、アーカイブ・ストレージ・マネージャー、およびサーバー印刷マネージャーの機能に関する知識をお持ちであることを前提にしています。エラーや問題を識別し、それらを適切なりカバリー処置で解決するには、各製品用に提供されている資料をご利用ください。

システム上で他のプログラムを実行している場合、この解説書に記載しているメッセージ以外のメッセージを受け取ることがあります。これらのメッセージについての詳細は、そのプログラム製品の資料を参照してください。

メッセージ ID

OnDemand プログラムは、AIX[®]、HP-UX、i5/OS、Sun Solaris オペレーティング環境 (以後、Solaris と呼びます)、Windows、および z/OS に対して同一のメッセージを出します。

メッセージ ID は、**ARSnnnnt** という形式をしています。各項の意味は以下のとおりです。

ARS OnDemand メッセージのメッセージ接頭語です。

nnnn メッセージ番号

t メッセージのタイプと重大度。以下のいずれかの値です。

A - アラート・メッセージ。パフォーマンス上の問題および信頼性の問題を回避するために、管理者が処置を取るようするための警告です。

D - デバッグ・メッセージには、サービスおよび開発部門が問題を解決するのを支援するために管理者が使用できる情報が含まれています。

E - エラー・メッセージ。OnDemand サーバー・プログラムが失敗したときに出されます。

I - 通知メッセージ。プログラムが正常に完了したときに OnDemand サーバーが発行します。これらのメッセージは、監査証跡を提供する場合に役立ちます。

W - 警告メッセージ。プログラムの結果が疑わしいときに OnDemand サーバーが発行します。

OnDemand システム・ログに書き込まれるメッセージには、ARS 接頭部とタイプ接尾部は含まれません。例えば、ロード・プロセスの失敗に関連するメッセージがシステム・ログに 88 として書き込まれたものが、本書では ARS0088E としてリストされている場合などです。ただし、88 と ARS0088E は、全く同一のメッセージです。

本書では、メッセージと説明は、4 桁のメッセージ番号 (例えば、0088) に従ってリストされています。

第 2 章 共通サーバー・メッセージ

以下のメッセージは、OnDemand サーバー・プログラムが発行します。

特に断らない限り、ここで説明しているすべてのエラー・コードは、IBM サービス部門および IBM 開発部門によって使用される内部エラー・コードです。戻りコード 0 (ゼロ) は、OnDemand プログラムが処理を完了し、エラーがなかったことを示します。特定のメッセージの説明または応答で特に断らない限り、0 以外の戻りコードは、OnDemand プログラムが失敗したことを示しています。

注: メッセージ 5200 から 5399 は、OnDemand for OS/390 and z/OS バージョン 7.1 のマイグレーションで使用されます。「*IBM DB2 Content Manager OnDemand for z/OS: Migration Guide*」に説明があります。

ARS0013E DB エラー: *db_text* -- **SQLSTATE = *sqlstate*, SQLCODE = *sqlcode*, ファイル = *file*, 行 = *line***

説明: データベースが障害を起し、メッセージ中に示された情報が提供されました。ご使用のデータベース・マネージャー製品のメッセージとコードに関する資料に、データベースのエラーおよび SQL 戻りコードに関する情報を含む追加情報が提供されている場合があります。

例:

DB Error: Column PATIENT# not in specified tables. -- SQLSTATE=42703, SQLCODE=-206, File=arsdoc.c, Line=624

DB Error: Row not found for UPDATE. -- SQLSTATE=02000, SQLCODE=100, File=arsdoc.c, Line=1682

DB Error: Warning: Unexpected SQL_NO_DATA -- SQLSTATE=Not Defined, SQLCODE=100, File=arsdoc.c, Line=1718

ユーザーの処置: データベースのエラーおよび SQL 戻りコードについての詳細は、OnDemand と一緒に使用しているデータベース・マネージャー製品のメッセージとコードに関する資料を参照してください。

ARS0014I DB 情報: *text*

説明: *text* 情報は、データベース・マネージャーにより提供されます。ご使用のデータベース・マネージャー製品のメッセージとコードに関する資料に、データベースのエラーおよび SQL 戻りコードに関する情報を含む追加情報が提供されている場合があります。

ユーザーの処置: OnDemand と一緒に使用しているデータベース・マネージャー製品のメッセージとコードに関する資料を参照してください。

ARS0015E SMS 表スペース・ファイル・システムを検索できません。定義済み SMS ファイル・システムが満杯か、あるいはそのファイル・システムがないかのいずれかです。

説明: *ars.dbfs* 内でストレージ管理サブシステム (SMS) ファイル・システムが定義されていないか、または SMS ファイル・システムがフルであるか権限が誤っています。SMS ファイル・システムには、データベースの所有者に対する読み取り - 書き込み - 実行権限が付与されている必要があります。

ユーザーの処置: SMS ファイル・システムの構成を確認します。SMS ファイル・システムを定義するか、既存の SMS ファイル・システムを拡張してください。権限が正しいことを確認します。次に、サーバーを再始動して、コマンドを再実行依頼します。

ARS0016E

ARS0016E 表のための十分な DMS ファイル・システムのスペースを割り振ることができません。必要 (*needed_extents*)、使用可能 (*available_extents*)、範囲 (*extent_size*)

説明: 文書管理システム (DMS) のファイル・システムにコマンドを完了するための十分なスペースがありません。

ユーザーの処置: 追加の DMS ファイル・システムを定義します。次に、サーバーを再始動して、コマンドを再実行依頼します。

ARS0020E SM エラー: *text*、**RC**=*return_code*、**理由** =*reason*、**ファイル** =*file*、**行** =*line*

説明: ストレージ・マネージャーが失敗しました。このメッセージの SM エラー部分には、使用中のストレージ・マネージャーにより OnDemand に対して提供されるエラー・メッセージが含まれます。ストレージ・マネージャーのメッセージとコードに関する資料に、追加情報が提供されている場合があります。

例 1:

```
SM Error: ASM FAILED TO RETRIEVE OBJECT, RC=2, Reason=0, File=arssms.C, Line=789
Srvr->rdr400m.raleigh.ibm.com 10.37.63.53<-
```

例 2:

```
ARS0020E SM Error: RC=9, REASON=0, FILE=ARSSMS.C, LINE=431
```

例 3:

```
SM Error: ARSMVSDW: 0000000B(0000000C-7404FCDB) PROD.ONDEMAND.DATA(BAA.R11),
RC=11, REASON=0, FILE=ARSSMS.C, LINE=304 SRVR->SERVER.FQDN.COM 10.10.1.2<-
```

ARS0020E メッセージに RC=11 があるとき、括弧内の最初の値 (0000000C-7412FCDB) は、OAM 戻りコード - 理由コードに一致します。この場合:

- OAM 戻りコードは 12 (X'C) である。
- OAM 理由コードのバイト 0 は X'74 で、これは DB2 エラーを示す。
- OAM 理由コードの 2 および 3 バイトは X'FCDB である。10 進数に変換すると、これは、SQLCODE の -805 (DBRM or PACKAGE NAME...NOT FOUND IN PLAN) と等価になります。

ARS0020E メッセージのコレクションおよびオブジェクト名を使用して、次の TSO OSREQ コマンドを実行しても、同様の OAM 戻りコードおよび理由コードが出されます。

```
OSREQ QUERY PROD.ONDEMAND.DATA BAA.R11
OSREQ QUERY unsuccessful. Return code = 0000000C, reason code = 7412FCDB.
OSREQ QUERY response time is 53 milliseconds.
```

例 4:

```
SM Error: ANS0266I (RC2302) The dsmEndTxn is ABORT, so check the reason field.,
RC=2302, Reason=29, File=arssms.C, Line=744, Srvr->spnode05<-
An unexpected error occurred. Contact your System Administrator and/or consult the
System Log. File=arsadmin.c, Line=576
Unable to store the object >2339FAAA<. Object size 239831.
Loaded 0 rows into the database.
ars_load: Thu Oct 28 17:31:04 BST 2003 -- Loading failed
```

ユーザーの処置: SM エラー、RC、理由についての詳細は、OnDemand と一緒に使用しているストレージ・マネージャー製品のメッセージとコードに関する資料を参照してください。

例 1: 詳細については、アーカイブ・ストレージ・マネージャー (ASM) のジョブ・ログを確認してください。

例 2: RC=9 は、OnDemand OAM サポートが使用可能になっていないことを示します。次の *ars.cfg* パラメーターが正しく設定されているか確認してください (ここではサンプル値による例を示します)。

```
ARS_NUM_OAMSRVR=4
ARS_OAM_DB2SSID=DSNA
ARS_OAM_PLAN=CBRIDBS
```

ARS_NUM_OAMSRVR は、ARSSOCKD アドレス・スペース内に作成する OAM インターフェース・タスクの数を指定します。値ゼロは、OnDemand 内での OAM サポートをすべて使用不可にします。4 が、標準的な値です。

ARS_OAM_DB2SSID は、OAM が対話する DB2 サブシステムの名前を指定します。DB2 サブシステム名は、SYS1.PARMLIB の IGDSMSxx メンバー内で DB2SSID パラメーターのオペランドとして指定されている名前と同一でなければなりません。詳しくは、「OAM Planning, Installation and Storage Administration Guide for Object Support」(SC35-0391) を参照してください。

ARS_OAM_PLAN は、OAM で使用される DB2 アプリケーション・プランの名前を指定します。詳しくは、「OAM Planning, Installation and Storage Administration Guide for Object Support」(SC35-0391) を参照してください。

例 3: CBRIDBS プランにはバインドが必要なことがあります。最近 OAM の保守を行った場合は、保持データが示すバインドが実行されていることを確認してください。

例 4: アプリケーション・グループで使用されるストレージ・セット用に使用可能な光学式プラッターが存在しないという症状を示すエラーです。以下を確認してください。

- スクラッチ・プラッターが使用可能である。
- *max-scratch* 値が十分に高く設定されている。
- ストレージ・プールのプラッターに、読み取り/書き込みアクセス権限がある。

ARS0021E 定義済みキャッシュがないため、データをキャッシュに保管できません。

説明: システム上に定義されたキャッシュ記憶機構ファイル・システムがありません。キャッシュ記憶機構ファイル・システムの定義についての詳細は、「インストールと構成ガイド」を参照してください。

ユーザーの処置: 1 つ以上のキャッシュ記憶機構ファイル・システムを定義および構成します。次に、サーバーを再起動して、コマンドを再実行依頼します。

ARS0022E アプリケーション・グループ >appl_group_name< を削除できません。TSM ファイル・スペース >file_space_name< を TSM ユーティリティーで手動で削除する必要があります。

説明: アプリケーション・グループのデータを Tivoli Storage Manager から削除できなかったため、ストレージ・マネージャーが失敗しました。OnDemand インスタンスの所有者が root ではない場合、ユーザーがアプリケーション・グループを削除すると、OnDemand は OnDemand データベースからアプリケーション・グループの表を削除しますが、Tivoli Storage Manager からはアプリケーション・グループのデータを削除しません。

ユーザーの処置: Tivoli Storage Manager からアプリケーション・グループのデータを削除するには、Tivoli Storage Manager にログオンして、ユーティリティーを使用してアプリケーション・グループに関連付けられたファイル・スペースを削除します。ファイル・スペースの名前は、メッセージ内に示されています。詳細および説明については、Tivoli Storage Manager の資料を参照してください。

ARS0023E アプリケーション・グループ >appl_grp_name< のオブジェクト >object_name< がキャッシュ内にありません。他のストレージは定義されません。

説明: OnDemand キャッシュ内にはもうオブジェクトが存在しません。データを保管するその他のストレージ・マネージャーは定義されていません。データの有効期限が切れています。アプリケーション・グループの索引の有効期限の構成により、今後、索引情報も有効期限が切れます。

例:

```
Object >1FAAA< in Application Group >LOANS< not found in cache, no other storage defined
Srvr->rdr400m.raleigh.ibm.com 10.37.63.53<-
```

ユーザーの処置: システムのストレージ管理構成を確認し、メッセージ中に示されたアプリケーション・グループに対するストレージ管理設定を確認します。

ARS0024E

ARS0024E アプリケーション・グループ >appl_grp_name< のオブジェクト >object_name< がノード >node_name< 内にありません。

説明: メッセージ中に示されたストレージ・ノード内でオブジェクトが見つかりません。このデータはストレージ・ノードで有効期限切れになりました。

例:

Object >2FAA< in Application Group >JIF< not found in node >PriForever< Srvr->everest.ibm.com<-

ユーザーの処置: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループに対するストレージ管理設定を確認します。

ARS0025E キャッシュが満杯のため、データを保管できません。

説明: キャッシュ記憶機構ファイル・システムがフルです。

ユーザーの処置: キャッシュ記憶機構ファイル・システムを追加または拡張します。次に、サーバーを再始動して、コマンドを再実行依頼します。

ファイル・システムのスペースの不足を検査するため、次のステップを完了してください。

1. /usr/lpp/ars/config/ars.ini で SRVR_SM_CFG パラメーターで示されているキャッシュ構成ファイル (ars.cache など) を調べます。
 2. ars.ini で、指定されたディレクトリーに使用可能なスペースがあるか検査する。
 3. USS コマンド df -kP /ars1 (ここで /ars1 は、ars.cache で指定されたディレクトリー) を使用して、キャッシュ・スペースがどれだけ残っているか調べる。
-

ARS0026E このサーバーはキャッシュのみでストレージ管理サブシステムをサポートしないため、処理を実行できません。

説明: このシステムはキャッシュ専用で構成されています。しかし、ストレージ・ノードの定義が、構成されていないストレージ・マネージャーを指しています。

ユーザーの処置: ストレージ・マネージャーを定義および構成するか、ストレージ・ノードをキャッシュ専用に変更します。次に、サーバーを再始動して、コマンドを再実行依頼します。

ARS0027E TSM 動的ロード・ライブラリーをロードできません。

説明: Tivoli Storage Manager の動的ロード・ライブラリーのロード試行中にコマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: Tivoli Storage Manager が正しくインストールおよび構成されていることを確認します。次に、サーバーを再始動して、コマンドを再実行依頼します。

ARS0030I ログイン: *hostname*

説明: クライアントがサーバーに正常にログオンしました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Login: dyna.raleigh.ibm.com 9.34.172.252

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0031W 失敗したログイン: *hostname*

説明: クライアントがサーバーにログオンしようとして失敗しました。

例:

Failed login: stled32.stl.ibm.com 9.112.32.132

ユーザーの処置: ユーザー ID、パスワード、およびサーバー選択を確認します。パスワードは大/小文字を区別する場合があります。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS0032I ログオフ

説明: クライアントがサーバーからログオフしました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0033I ログオフ・タイムアウト

説明: クライアントが非アクティブ・タイムアウト値で指定された間隔内にサーバー上で処理を実行しなかったため、サーバーが強制的にクライアントをサーバーからログオフさせました。

ユーザーの処置: サーバーからログオフし、再度サーバーにログオンします。次に、コマンドを再実行依頼します。システム管理者は OnDemand 管理クライアント内のこのサーバーまたはその他のサーバーに対する非アクティブ・タイムアウト値を増やすことができます。詳しくは、OnDemand 管理クライアント内のオンライン・ヘルプを参照してください。

ARS0034I ユーザーの追加: ユーザー ID (user_name) ID (uid)

説明: メッセージ中に示されたユーザーがシステムに追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

User Add: Userid(TBROWN) Id(3)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0035I ユーザーの削除: ユーザー ID (user_name) ID (uid)

説明: メッセージ中に示されたユーザーがシステムから削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

User Delete: Userid(SBOWMAN) Id(5)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0036I ユーザーの更新: ユーザー ID (user_name) ID (uid)

説明: メッセージ中に示されたユーザーが更新されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

User Update: Userid(TBROWN) Id(3)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0037I 新規パスワードでのユーザーの更新: ユーザー ID (user_name) ID (uid)

説明: メッセージ中に示されたユーザーのパスワードが正常に更新されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

User Update with new Password: Userid(QONDADM) Id(1)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0038W

ARS0038W 新規パスワードでのユーザーの更新が失敗: ユーザー ID (*user_name*) ID (*uid*)

説明: メッセージ中に示されたユーザーのパスワード更新に失敗しました。

例:

User Failed Update with new Password: Userid(QONDADM) Id(1)

ユーザーの処置: ユーザー ID および新規パスワードを確認し、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS0039I グループの追加: グループ (*group_name*) ID (*gid*)

説明: メッセージ中に示されたグループがシステムに追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Group Add: Group(SUPPORT) Id(80102)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0040I グループの削除: グループ (*group_name*) ID (*gid*)

説明: メッセージ中に示されたグループがシステムから削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Group Delete: Group(Accounting) Id(80021)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0041I グループの更新: グループ (*group_name*) ID (*gid*)

説明: メッセージ中に示されたグループが更新されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Group Update: Group(ACCOUNTING) Id(80001)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0042I グループへのユーザーの追加: ユーザー (*user_name*) ID (*uid*), グループ (*group_name*) ID (*gid*)

説明: メッセージ中に示されたユーザーがメッセージ中に示されたグループに追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

User to Group Add: User(Accounting) Id(80021), Group(D:¥7107¥arc¥admin¥Arsadmin.cpp) Id(3047)

User to Group Add: User(CALLEN) Id(4), Group(Accounting) Id(80021)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0043I グループからユーザーを削除: ユーザー (*user_name*) ID (*uid*), グループ (*group_name*) ID (*gid*)

説明: メッセージ中に示されたユーザーがメッセージ中に示されたグループから削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

User to Group Delete: User(CALLEN) Id(4), Group(Accounting) Id(80021)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0044I フォルダの追加: 名前 (*folder_name*) **Fid(fid)**

説明: メッセージ中に示されたフォルダがシステムに追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Folder Add: Name(CHKSTMTS1R) Fid(5015)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0045I フォルダの削除: **Fid(fid)**

説明: メッセージ中に示されたフォルダがシステムから削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Folder Delete: Fid(TENANT)

Folder Delete: Fid(5487)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0046I フォルダの更新: 名前 (*folder_name*) **Fid(fid)**

説明: メッセージ中に示されたフォルダが更新されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Folder Update: Name(Check Statements Folder) Fid(5064)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0047I フォルダへの **ApplGroup** の追加: **Agid(agid) Aid(aid) Fid(fid)**

説明: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループがメッセージ中に示されたフォルダに追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup to Folder Add: Agid(5028) Aid(0) Fid(5030)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0048I フォルダから **ApplGroup** を削除: **Agid(agid) Aid(aid) Fid(fid)**

説明: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループがメッセージ中に示されたフォルダから削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0049I フォルダの **ApplGroup** を更新: **Agid(agid) Fid(fid)**

説明: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループがメッセージ中に示されたフォルダ内で更新されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0050I フォルダへの **ID** の追加: **ID (id) Fid(fid)**

説明: メッセージ中に示された **ID** を持つユーザーまたはグループについて、メッセージ中に示されたフォルダに権限が追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ARS0051I

Id to Folder Add: Id(2) Fid(5015)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0051I フォルダーから ID を削除: ID (*id*) Fid(*fid*)

説明: メッセージ中に示された ID を持つユーザーまたはグループについて、メッセージ中に示されたフォルダーから権限が削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0052I フォルダーの ID を更新: ID (*id*) Fid(*fid*)

説明: メッセージ中に示された ID を持つユーザーまたはグループについて、メッセージ中に示されたフォルダー内で権限が更新されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Id to Folder Update: Id(MERCH20) Fid(5065)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0053I ApplGroup の追加: 名前 (*appl_grp_name*) Agid(*agid*)

説明: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループがシステムに追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup Add: Name(PatChecks) Agid(5174)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0054I ApplGroup の削除: 名前 (*appl_grp_name*) Agid(*agid*)

説明: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループがシステムから削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup Delete: Name(RD4575) Agid(5061)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0055I ApplGroup の更新: 名前 (*appl_grp_name*) Agid(*agid*)

説明: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループが更新されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup Update: Name(LUMBER) Agid(5016)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0056I ApplGroup への ID の追加: ID (*id*) Agid(*agid*)

説明: メッセージ中に示された ID を持つユーザーまたはグループについて、メッセージ中に示されたアプリケーション・グループに権限が追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Id to ApplGroup Add: Id(29) Agid(15224)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0057I ApplGroup から ID を削除: ID (id) Agid(igid)

説明: メッセージ中に示された ID を持つユーザーまたはグループについて、メッセージ中に示されたアプリケーション・グループから権限が削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0058I ApplGroup への ID の更新: ID (id) Agid(igid)

説明: メッセージ中に示された ID を持つユーザーまたはグループについて、メッセージ中に示されたアプリケーション・グループ内で権限が更新されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0059I ApplGroup への Appl の追加: 名前 (appl_name) Aid(igid) Agid(igid)

説明: メッセージ中に示されたアプリケーションがメッセージ中に示されたアプリケーション・グループに追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Appl to ApplGroup Add: Name(CHECKSTMTS) Aid(5514) Agid(5512)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0060I ApplGroup から Appl を削除: Aid(igid) Agid(igid)

説明: メッセージ中に示されたアプリケーションがメッセージ中に示されたアプリケーション・グループから削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Appl to ApplGroup Delete: Aid(PATBILLS) Agid(5044)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0061I ApplGroup の Appl を更新: 名前 (appl_name) Aid(igid) Agid(igid)

説明: メッセージ中に示されたアプリケーションがメッセージ中に示されたアプリケーション・グループ内で更新されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Appl to ApplGroup Update: Name(CHECKSTMTS) Aid(5063) Agid(5062)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0062I Appl への ID の追加: ID (id) Aid(igid) Agid(igid)

説明: メッセージ中に示された ID を持つユーザーについて、メッセージ中に示されたアプリケーションに論理ビューが追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Id to Appl Add: Id(17) Aid(5057) Agid(5056)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0063I Appl から ID を削除: ID (id) Aid(igid) Agid(igid)

説明: メッセージ中に示された ID を持つユーザーについて、メッセージ中に示されたアプリケーションから論理ビューが削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0064I

ARS0064I Appl への ID の更新: ID (*id*) Aid(*aid*) Agid(*agid*)

説明: メッセージ中に示された ID を持つユーザーについて、メッセージ中に示されたアプリケーション内で論理ビューが更新されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Id to Appl Update: Id(10) Aid(5027) Agid(5024)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0065I ApplGroup の照会: 名前 (*appl_grp_name*) Agid(*agid*) Sql(*sql*) SqlR(*sql_restrict*) TextSearch(*text_search_str*) AnnColor(*ann_color*) AnnText(*ann_text*)

説明: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループに対して照会が実行されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup Query: Name(QPJOBLOG) Agid(5081) Sql(WHERE jobdate BETWEEN 11470 AND 11654) SqlR()
TextSearch() AnnColor(-1) AnnText()

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0066I ApplGroup DocGet: 名前 (*appl_grp_name*) Agid(*agid*) ApplName(*appl_name*) Aid(*aid*) NodeName(*node_name*) Nid(*nid*) サーバー (*server*) 時間 (*time*) Flds(*fields*)

説明: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループから文書がリトリブされました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup DocGet: Name(QPJOBLOG) Agid(5081) ApplName(QPJOBLOG) Aid(5082) NodeName(-CACHE-) Nid(1)
Server(-LOCAL-) Time(0.322) Flds()

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0067I ApplGroup ResGet: 名前 (*appl_grp_name*) Agid(*agid*) NodeName(*node_name*) Nid(*nid*) サーバー (*server*) 時間 (*time*)

説明: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループからリソースがリトリブされました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup ResGet: Name(INS) Agid(6843) NodeName(-CACHE-) Nid(25) Server(-LOCAL-) Time(0.069)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0068I 注釈の追加: 名前 (*appl_grp_name*) Agid(*agid*)

説明: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループに文書に対する注釈が追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Annotation Add: Name(CHECKSTMTS) Agid(5081)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0069I 注釈 ID の追加: ID (id) 名前 (appl_grp_name) Agid(igid)

説明: メッセージ中に示された ID を持つユーザーまたはグループについて、メッセージ中に示されたアプリケーション・グループに、文書に対する注釈が追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Annotation Id Add: Id(3) Name(FLASHSALES) Agid(5015)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0070I 注釈の削除: 名前 (appl_grp_name) Agid(igid)

説明: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループから文書に対する注釈が削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0071I 注釈 ID の削除: ID (id) 名前 (appl_grp_name) Agid(igid)

説明: メッセージ中に示された ID を持つユーザーまたはグループについて、メッセージ中に示されたアプリケーション・グループから、文書に対する注釈が削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0072I 名前付き照会の追加: 名前 (named_query) Fid(fid)

説明: メッセージ中に示された名前付き照会がシステムに追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0073I ID 名前付き照会の追加: ID (id) 名前 (named_query) Fid(fid)

説明: メッセージ中に示された ID を持つユーザーまたはグループについて、メッセージ中に示された名前付き照会がシステムに追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0074I 名前付き照会の削除: 名前 (named_query) Fid(fid)

説明: メッセージ中に示された名前付き照会がシステムから削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0075I ID 名前付き照会の削除: ID (id) 名前 (named_query) Fid(fid)

説明: メッセージ中に示された ID を持つユーザーまたはグループについて、メッセージ中に示された名前付き照会がシステムから削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0076I 名前付き照会の更新: 名前 (named_query) Fid(fid)

説明: メッセージ中に示された名前付き照会が更新されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0077I ID 名前付き照会の更新: ID (id) 名前 (named_query) Fid(fid)

説明: メッセージ中に示された ID を持つユーザーまたはグループについて、メッセージ中に示された名前付き照会が更新されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0078I システム更新

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0079I ApplGroup DocDelete: 名前 (appl_grp_name) Agid(agrid) Flds(fields)

説明: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループから文書が削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0080I ApplGroup DocUpdate: 名前 (appl_grp_name) Agid(agrid) OrigFlds(original_fields) UpdFlds (updated_fields)

説明: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループ内で文書が更新されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup DocUpdate: Name(INVOICES) Agid(5056) OrigFlds(951807600,'RED','') UpdFlds(951807600,'GREEN','')

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0081I ApplGroup ObjRetrieve: 名前 (appl_grp_name) Agid(agrid) ObjName(object_name) NodeName(node_name) Nid(nid) サーバー (server) Off(offset) Len(length) 時間 (time)

説明: メッセージ中に示されたストレージ・オブジェクトが、メッセージ中に示されたアプリケーション・グループからリトリブされました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup ObjRetrieve: Name(APM00280) Agid(5016) ObjName(2FAAA) NodeName(-CACHE-) Nid(1)
Server(-LOCAL-) Off(0) Len(33778) Time(0.013)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0082I ApplGroup ObjStore: 名前 (appl_grp_name) Agid(agrid) NodeName(node_name) Nid(nid) サーバー (server) ObjName(object_name) 時間 (time)

説明: メッセージ中に示されたストレージ・オブジェクトが指定されたアプリケーション・グループ内に保管されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup ObjStore: Name(CHECKS2) Agid(5028) NodeName(-CACHE-) Nid(1) Server(-LOCAL-) ObjName(2)
Time(0.852) ApplGroup ObjStore: Name(CHKSTMTS1R) Agid(5017) NodeName(TESTMP) Nid(2) Server(-LOCAL-)
ObjName(1494FAAA) Time(1.230)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。このメッセージについて詳しくは、327 ページの『第 14 章 トラブルシューティング・シナリオ』を参照してください。

**ARS0083I ApplGroup ObjStore の付加: 名前 (appl_grp_name) Agid(agrid) NodeName(node_name) Nid(nid) サーバ
ー (server) ObjName(object_name) CompOff(compress_offset) CompLen(compress_length)**

説明: メッセージ中に示されたストレージ・オブジェクトが更新されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

**ARS0084I ApplGroup アンロード DB: 名前 (appl_grp_name) Agid(agrid) LoadId(load_id-start_date-stop_date) 削除
された行 (rows_deleted)**

説明: レポートがデータベースから削除されました。このメッセージはシステム内のレポートを示すロード ID、アプリケーション・グループ、およびデータベースから削除された行の数を示します。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup Unload DB: Name(CHKSTMTS1R) Agid(5017) LoadId(756FAA-11311-11311) Rows Deleted(25)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

**ARS0085I ApplGroup アンロード SM: 名前 (appl_grp_name) Agid(agrid) NodeName(node_name) Nid(nid) サーバ
ー (server) LoadId(load_id) 削除されたオブジェクト (objects_deleted)**

説明: レポートはストレージ・マネージャーにより削除されました。このメッセージはシステム内のレポートを示すロード ID、アプリケーション・グループ、ストレージ・ノード、および、削除されたオブジェクトの数を識別します。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup Unload SM: Name(CHKSTMTS1R) Agid(5017) NodeName(-CACHE-) Nid(0) Server(-LOCAL-) LoadId(756FAA) Objects Deleted(1)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0086I ApplGroup ロード DB: 名前 (appl_grp_name) Agid(agrid) 行 (rows)

説明: レポートがデータベースにロードされました。このメッセージはアプリケーション・グループ、およびデータベースにロードされた行の数を示します。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup Load DB: Name(CHECKS2) Agid(5028) Rows(100)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

**ARS0087I ApplGroup ロード: 名前 (appl_grp_name) LoadId (load_id) ファイル (file) InputSize (input_size)
OutputSize (output_size)**

説明: レポートがシステムにロードされました。このメッセージはアプリケーション・グループ、入力ファイル、および、ロード ID を示します。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup Load: Name(MOSUNPO) LoadId(5535-2-0-1FAA-12349-12349) File(/QIBM/USERDATA/ONDEMAND/QUSROND/TMP/SP_MOSUNPO_WTH7HTWCXA_DBRYANT_064315_000009_RDR400M_1031023_210136) InputSize(225789) OutputSize(16380)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0088E

ARS0088E ApplGroup のロードの失敗: 名前 (appl_grp_name) LoadId(load_id) ファイル (file)

説明: ロード・プロセスが失敗しました。

例:

```
ApplGroup Failed Load: Name(LATECHARGE) LoadId() File(/QIBM/USERDATA/ONDEMAND/QUSROND/TMP/
SP_QPRLR133_QPRTJOB_DBRYANT_001467_000022_RDR400M_1021226_132052)
```

ユーザーの処置: ARSLOAD プログラムにより生成されたその他のメッセージを参照してください。OnDemand システム・ログ内のメッセージを参照して問題を訂正し、次に、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0089I CD-ROM 作成目録: ボリューム (volume)

説明: CD-ROM マニフェストがメッセージ中に示されたボリューム・ラベルに作成されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0090I BulkProcess: 時間 (time)

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

```
BulkProcess: Time(1.798) Srvr->RDR400M.RALEIGH.IBM.COM 9.37.176.228<-
```

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0091I BulkPrint: 時間 (time)

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

```
BulkPrint: Time(1.766) Srvr->rdr400m.raleigh.ibm.com 9.37.176.228<-
```

```
BULK DOCUMENT RETRIEVAL
```

```
Application Group   Agid Flds->Handle -----
PATINF001           5014 ->7FAAA,3852,968,0,3272,0x4E,0x4F,0,1,0
```

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0092I StorageNode の追加: 名前 (node_name) サーバー (server) Nid(nid) Sid(sid)

説明: メッセージ中に示されたストレージ・ノードがシステムに追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0093I StorageNode の削除: 名前 (node_name) サーバー (server) Nid(nid) Sid(sid)

説明: メッセージ中に示されたストレージ・ノードがシステムから削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0094I StorageNode の更新: 名前 (node_name) サーバー (server) Nid(nid) Sid(sid)

説明: メッセージ中に示されたストレージ・ノードが更新されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0095I StorageSet の追加: 名前 (set_name) Sid(sid)

説明: メッセージ中に示されたストレージ・セットがシステムに追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0096I StorageSet の削除: 名前 (set_name) Sid(sid)

説明: メッセージ中に示されたストレージ・セットがシステムから削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0097I StorageSet の更新: 名前 (set_name) Sid(sid)

説明: メッセージ中に示されたストレージ・セットが更新されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0100I プリンターの追加: 名前 (printer_name) キュー (queue) Pid(pid)

説明: メッセージ中に示されたサーバー・プリンターがシステムに追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Printer Add: Name(QPRINT2) Queue(QGPL/QPRINT2) Pid(5098)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0101I プリンターの削除: 名前 (printer_name) キュー (queue) Pid(pid)

説明: メッセージ中に示されたサーバー・プリンターがシステムから削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Printer Delete: Name(QPRINT2) Queue(QGPL/QPRINT2) Pid(5098)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0102I プリンターの更新: 名前 (printer_name) キュー (queue) Pid(pid)

説明: メッセージ中に示されたサーバー・プリンターが更新されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Printer Update: Name(QPRINT2) Queue(QGPL/QPRINT2) Pid(5098)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0103I

ARS0103I ApplGroup DocAdd: 名前 (*appl_grp_name*) Agid(*agid*) Flds(*fields*)

説明: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループに文書が追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

```
ApplGroup DocAdd: Name(dkw-CommonStore) Agid(15796)Flds(955512000,'DEB','doc_add_test')
```

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0104E コマンド *>command<* の **popen** で障害が起こりました。 **errno=errno**

説明: サーバーは要求を処理できませんでした。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、
| UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS
| および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: 詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0105E コマンド *>command<* の **pclose** で障害が起こりました。 **errno=errno**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: 詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0106E ファイル *>file<* のリンク解除に失敗しました。 **errno=errno**

説明: 示されたファイルが存在しないか、OnDemand インスタンスの所有者にファイルにアクセスする権限がありません。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

例:

```
Unlink failed for file >/QIBM/USERDATA/ONDEMAND/QUSROND/CACHE/retr/KCA/RES/1FAA1<. errno=3025  
Srvr->rdr400m.raleigh.ibm.com 10.37.63.53<-
```

ユーザーの処置: ファイルが存在すること、および OnDemand インスタンスの所有者にファイルにアクセスする権限があることを確認します。詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0107E キャッシュ *>path_name<* 内の不明なファイルまたはディレクトリー。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

例:

```
Unknown file/dir in cache >/arscache1/everest< Srvr->rdr400m.raleigh.ibm.com 10.37.63.53<-
```

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0108E ライブラリー・サーバーを確認できません。

説明: ライブラリーおよびオブジェクト・サーバーが、同じ OnDemand インスタンスに属しているかの検証に失敗しました。

例:

Unable to validate library server Svr->RDR400M.RALEIGH.IBM.COM<-

ユーザーの処置: OnDemand インスタンスが正しく構成されていることを確認します。サーバーを再始動します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0109I キャッシュの有効期限: 内部日付 (*internal_date*) **MinPct**(*minimum_percentage*) **MaxPct** (*maximum_percentage*) サーバー (*server*)

説明: ARSMOINT プログラムが開始され、キャッシュ記憶機構のデータを満了します。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Cache Expiration: Internal Date(11850) MinPct(0) MaxPct(0) Server(RDR400M.RALEIGH.IBM.COM)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0110I キャッシュの移行: 内部日付 (*internal_date*) サーバー (*server*)

説明: ARSMOINT プログラムが開始され、アーカイブ・ストレージにデータがマイグレーションされます。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0111E ファイル >*file_name*< のリンクを判別できません。 **errno=errno**

説明: OnDemand サーバーがメッセージ中に示されたファイルにアクセスできませんでした。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: 詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0112E ファイル >*file_name*< の許可を変更できません。 **errno=errno**

説明: OnDemand サーバーがメッセージ中に示されたファイルにアクセスできませんでした。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: 詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0113E キャッシュの移行で障害が起きました: **ApplGroup**(*appl_grp_name*) **Agid**(*agid*) **ObjName**(*object_name*) 日付 (*date*) サーバー (*server*)

説明: アーカイブ・ストレージへのデータのマイグレーションを試行中に ARSMOINT プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: マイグレーションに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0114E ファイル >*file_name*< を開くことができません。 **errno=errno**

説明: メッセージ中に示されたファイルのオープンを試行中に、コマンドが失敗しました。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: ファイルが存在すること、およびファイルの権限が正しいことを確認し、次にコマンドを再実行依頼します。詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0115E

ARS0115E ファイル >file_name< 内を offset から length までシークできません。errno=errno

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。errno 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: 詳細については errno.h ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0116E ファイル >file_name< を STAT できません。errno=errno

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。errno 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: 詳細については errno.h ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0117E オフセット off および長さ len が size バイトのファイル >file_name< のサイズより大きくなっています。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

例:

```
Offset **UNK** and length **UNK** is larger than the size of the file >**UNK**< of **UNK** bytes  
Srvr->rdr400m.raleigh.ibm.com 10.37.63.53<-
```

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0118E ファイル >file_name< から読み取れません。errno=errno

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。errno 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: 詳細については errno.h ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0119E ファイル >file_name< に書き込めません。errno=errno

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。errno 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

例:

```
Unable to write to file >/arscache1/13585/SL/DOC/1502FAA<. errno=28 Srvr->everest.ibm.com<-
```

ユーザーの処置: 詳細については errno.h ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0120E ファイル >file_name< をロックできません。errno=errno

説明: このプログラムを実行しているときに、予期しないエラーが発生しました。errno 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: 詳細については errno.h ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0122E ファイル >file_name< をクローズできません。 **errno=errno**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: 詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0123E ファイル・システム >filesystem_name< を **stat** できません。 **errno=errno**

説明: メッセージ中に示されたファイル・システム上で統計の実行中に ARSMAINT プログラムが失敗しました。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: ファイル・システムが存在することを確認し、ファイル・システムの権限を検査して、次にコマンドを再実行依頼します。詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0124I ファイル・システム **STAT** 名 (*filesystem_name*) データ (*percent_full%*) **Inodes**(*inode_percent_full%*)

説明: ARSMAINT プログラムが開始され、指定されたファイル・システム上で統計が実行されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

```
Filesystem Stats Name(/arscache1) Data(84%) Inodes(1%) Srvr->everest.ibm.com 9.99.999.999<-
```

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0125E ファイル >symbolic_name< から *file_name*< にシンボリック・リンクを作成できません。 **errno=errno**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

例:

```
Unable to create symbolic link from file >/QIBM/USERDATA/ONDEMAND/ONDPERFORM/CACHE/ONDPERFORM/retr/SL/APPEND< to >/QIBM/USERDATA/ONDEMAND/ONDPERFORM/CACHE/ONDPERFORM/21667/SL/DOC/9FAA<. errno=3457 Srvr->RDR400M.RALEIGH.IBM.COM<-
```

ユーザーの処置: 詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0126I ApplGroup 文書の満了: 名前 (*appl_grp_name*) **Agid**(*agid*) **Cnt**(*documents_expired*)

説明: ARSMAINT プログラムが文書満了メソッドを使用して、アプリケーション・グループから項目を削除しています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

```
ApplGroup Document Expire: Name(sp-00021) Agid(15197) Cnt(14)
```

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0127I ApplGroup ロードの満了: 名前 (*appl_grp_name*) LoadId(*agid-pri_nid-sec_nid-name-start_date-stop_date*)

説明: ARSMOINT プログラムがロード満了メソッドを使用して、アプリケーション・グループから項目を削除しています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup Load Expire: Name(CHKSTMTS1R) LoadId(5017-2-0-756FAA-11311-11311)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0128I ApplGroup セグメントの満了: 名前 (*appl_grp_name*) Agid(*agid*) Seg(*segment_name*)

説明: ARSMOINT プログラムがセグメント満了メソッドを使用して、アプリケーション・グループから項目を削除しています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup Segment Expire: Name(test-ebcdic-cc-trc) Agid(15757) Seg(YJF1)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0129A ファイル・システムがフル: 名前 (*filesystem_name*) 日付 (*percent_full%%*) Inodes(*inode_percent_full%%*)

説明: キャッシュ記憶機構ファイル・システムがフルに近い状態です。

ユーザーの処置: 既存のキャッシュ記憶機構ファイル・システムを拡張するか、新規のキャッシュ記憶機構ファイル・システムを追加します。次に、サーバーを再始動します。

ARS0130E オブジェクト >*object_name*< を保管する論理空間がありません。

説明: システムに対して定義されたキャッシュ記憶機構ファイル・システムが存在しないか、アーカイブ・ストレージ・マネージャーが正しく構成されていないため、オブジェクトの保管を試行中にコマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: キャッシュ記憶機構を使用するには、OnDemand キャッシュ記憶機構ファイル・システムを定義および構成します。アーカイブ・ストレージを使用するには、アーカイブ・ストレージ・マネージャーをインストールおよび構成します。次に、サーバーを再始動して、コマンドを再実行依頼します。

ARS0131E オブジェクト >*object_name*< をリトリブする論理空間がありません。

説明: システムに対して定義されたキャッシュ記憶機構ファイル・システムが存在しないか、アーカイブ・ストレージ・マネージャーが正しく構成されていないため、オブジェクトのリトリブを試行中にコマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: キャッシュ記憶機構を使用するには、OnDemand キャッシュ記憶機構ファイル・システムを定義および構成します。アーカイブ・ストレージを使用するには、アーカイブ・ストレージ・マネージャーをインストールおよび構成します。次に、サーバーを再始動して、コマンドを再実行依頼します。

ARS0132I プリンター・オプションの追加: 名前 (*printer_opts_name*)

説明: プリンター・オプションが追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0133I Id プリンター・オプションの追加: ID (*id*) 名前 (*printer_opts_name*)

説明: メッセージ中に示された ID を持つユーザーに対してプリンター・オプションが追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Id Prt Options Add: Id(12) Name(rosa)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0134I プリンター・オプションの削除: 名前 (*printer_opts_name*)

説明: プリンター・オプションが削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0135I ID プリンター・オプションの削除: ID (*id*) 名前 (*printer_opts_name*)

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0136I プリンター・オプションの更新: 名前 (*printer_opts_name*)

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0137I ID プリンター・オプションの更新: ID (*id*) 名前 (*printer_opts_name*)

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0138E BulkPrint の失敗

説明: サーバーの印刷機能が失敗しました。

例:

```
BulkPrint Failed Srvr->everest.ibm.com 9.99.999.999<-
```

ユーザーの処置: サーバーの印刷機能に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0139E プログラムの *>command<* を *exec* できません。 *errno=errno*

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは */usr/include/sys/errno.h*、z/OS および OS/390 システムでは */usr/include/errno.h*、i5/OS および OS/400 システムでは */QIBM/include/errno.h* にあります。

ユーザーの処置: 詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0140E *fork* できません。 *errno=errno*、ファイル *=file*、行 *=line*

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは */usr/include/sys/errno.h*、z/OS および OS/390 システムでは */usr/include/errno.h*、i5/OS および OS/400 システムでは */QIBM/include/errno.h* にあります。

ユーザーの処置: 詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0141E ロード ID 命名規則を使い尽くしました。アプリケーション・グループ・オブジェクト・サイズのサイズを大きくしてください。

説明: このアプリケーション・グループに対して使用可能なオブジェクト名の数を超えたため、システムは新規オブジ

ARS0142E

エクト名を作成できませんでした。オブジェクト・サイズは、アプリケーション・グループ内のオブジェクトに対して割り振るスペースの容量を制御します。

ユーザーの処置: OnDemand 管理クライアント内のアプリケーション・グループの拡張ストレージ管理ページでオブジェクトのサイズを大きくします。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS0142E >hostname< サーバーに対して接続を確立できません。

説明: クライアントがメッセージ中に示されたサーバーに接続できませんでした。

例:

```
Connection cannot be established for the >PRODUCTION< server. Srvr->everest.ibm.com<-
```

ユーザーの処置: サーバーが使用可能であること、サーバーが正しく構成されていること、および必要なプログラムを実行中であることを検査します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS0143E ストリーム通信を作成できません。 **errno=errno**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: 詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0144E ソケット通信を作成できません。 **errno=errno**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: 詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0145E 通信レイヤーがデータを送信できません。 **errno=errno**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: 詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0146E 通信レイヤーがデータを受信できません。 **errno=errno**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: 詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0147E サーバー環境を初期化できません。 **rc=returnCode**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 構成ファイル *ars.ini* および *ars.cfg* を検査して、ファイル・システム・パスおよびパラメーターが正しいことを確認します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0149E サーバー通信を初期化できません。rc=returnCode

説明: 通信エラーが発生しました。OnDemand サーバーが既に開始済みであるか、TCP/IP が開始済みでないか、構成の問題が存在します。ars.cfg 内の ARSSOCK= デバッグ・パラメーターが TCP/IP のエラーの障害追及に役立ちます。

ユーザーの処置: サーバーが実行中であること、および TCP/IP が開始済みであることを確認します。ARSSOCK= デバッグ・パラメーターを使用して、考えられる TCP/IP のエラーを特定します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0150E 十分なメモリーを割り振れません。ファイル =file、行 =line

説明: システムは十分なメモリーを割り振れませんでした。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0151E サーバー・データベース・システム・パラメーターを初期化できません。システム管理者に連絡してください。

説明: データベースの初期化を試行中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: OnDemand インスタンスおよびデータベースが正しく構成されていることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS0152E コマンド >command< は、コマンドの所有者によってのみ実行できます。

説明: メッセージ中に示されたコマンドの実行中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドの所有者としてシステムにログオンして、次にコマンドを再実行依頼します。

ARS0153E ディレクトリー >directory_name< に変更できません。errno=errno

説明: メッセージ中に示されたディレクトリーへの変更を試行中に、システムが失敗しました。errno 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: ディレクトリーが存在することを確認し、ディレクトリーの権限を確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。詳細については errno.h ファイルを参照してください。

ARS0154E ネットワークとのサーバー通信を確立できません。rc=returnCode

説明: 通信エラーが発生しました。OnDemand サーバーが既に開始済みであるか、TCP/IP が開始済みでないか、構成の問題が存在します。ars.cfg 内の ARSSOCK= デバッグ・パラメーターが TCP/IP のエラーの障害追及に役立ちます。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0155E サーバーが通信不能で、クライアント要求を受信できません。rc=returnCode

説明: TCP/IP 障害が発生しました。

ユーザーの処置: TCP/IP が実行されているかどうかを確認します。OnDemand サーバーを停止して再始動します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0156E サーバーが SubSrvr の要求と通信できません。

説明: TCP/IP 障害が発生しました。

ユーザーの処置: TCP/IP が実行されているかどうかを確認します。OnDemand サーバーを停止して再始動します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0157E

ARS0157E SubSrvr がサーバーの要求と通信できません。

説明: TCP/IP 障害が発生しました。

ユーザーの処置: TCP/IP が実行されているかどうかを確認します。OnDemand サーバーを停止して再始動します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0158E サーバーがデータベース接続を初期化できません。rc=returnCode

説明: データベースの初期化を試行中に、サーバーが失敗しました。

ユーザーの処置: データベースが実行されていること、およびデータベースに接続できることを確認します。データベースの初期化に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0159E サーバーが正常にデータベース接続を終了できません。rc=returnCode

説明: データベース接続の終了を試行中に、サーバーが失敗しました。

ユーザーの処置: データベースが実行されていること、およびデータベースに接続できることを確認します。データベースの初期化に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0160E モジュール >function_name< をロードできません。rc=returnCode

説明: メッセージ中に示された動的ロード・ライブラリーのロード試行中に、システムが失敗しました。動的ロード・ライブラリーの権限は、少なくとも、読み取りおよび実行である必要があります。UNIX システムでは、ロード・モジュールも、サーバーの exits ディレクトリー (/usr/lpp/ars/bin/exits) に存在していなければなりません。Windows システムでは、ロード・モジュールも、サーバーの bin ディレクトリー (通常は、C:\Program Files\IBM\OnDemand for WinNT\bin) に存在していなければなりません。

例 1:

```
Unable to load module /usr/lpp/ars/exits/arsusxct. rc=2 Srvr->everest.ibm.com 9.99.999.999<-
```

例 2:

```
| ARS0160E ARSSOCKD UNABLE TO LOAD MODULE >/USR/LPP/ARS/BIN/EXITS/ARSUSEC<.  
| RC=157 SRVR->ARSSRV02<-
```

ユーザーの処置: 動的ロード・ライブラリーが存在することを確認し、ファイルの権限を確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

```
| 例えば、上記の例 2 で示したこのメッセージを戻りコード 157 と一緒に受け取った場合は、omvs または Telnet から  
| 次を実行して、/usr/lpp/ars/bin/exits/arsusec に APF ビット設定があることを確認してください。
```

```
| ls -lE /usr/lpp/ars/bin/exits/arsusec
```

```
| 下記に示すように、結果に 'a' フラグが含まれていない場合は、
```

```
| -rwxr-xr-x a-s- /usr/lpp/ars/bin/exits/arsusec
```

```
| 次を使用して、
```

```
| extattr +a /usr/lpp/ars/bin/exits/arsusec
```

```
| APF ビットを設定します。
```

```
| APF フラグがすでに設定されている場合は、HFS がどのように /usr/lpp/ars/bin/exits でマウントされたかを確認  
| してください。マウントの実行時に nosetuid が指定されていた場合、APF ビットは無視されます。これが、出口ロ  
| ード・モジュールで APF フラグが設定されていたとしても、ARS0160E から戻りコード 157 が返される原因となる  
| こともあります。
```

ARS0161E `userexit >userexit_name<` が失敗しました。rc=returnCode

説明: メッセージ中に示されたユーザー出口プログラムが失敗しました。ユーザー出口プログラムの権限は、少なくとも、読み取りおよび実行である必要があります。UNIX システムでは、出口モジュールも、サーバーの exits ディレクトリー (/usr/lpp/ars/bin/exits) に存在していなければなりません。Windows システムでは、出口モジュールも、サーバーの bin ディレクトリー (通常は、C:\Program Files\IBM\OnDemand for WinNT\bin) に存在していなければなりません。

例:

The userexit >QRDARS/ARSUSEC< failed. rc=3 Srvr->RDR400M.RALEIGH.IBM.COM<-

ユーザーの処置: ユーザー出口プログラムが OnDemand 環境の外部で正しく機能することを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS0162E コード・ページを判別できません。構成ファイル `ars.cfg` の `ARS_CODEPAGE` 変数をチェックしてください。

説明: コード・ページの判別を試行中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: OnDemand インスタンスが正しく構成されていることを確認して、コマンドを再実行依頼します。

ARS0163E (`codepage,codeset`) `input_codepage,input_codeset` から (`codepage,codeset`) `output_codepage,output_codeset` へのコンバーターを初期化できません。rc=returnCode

説明: システムがコンバーターを初期化できませんでした。必要な iconv 変換表が使用可能ではありません。

ユーザーの処置: サーバーのロケール・ディレクトリーを検査して、指定された変換表が存在することを確認します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0164I **ApplGroup セグメント保守: 名前** (`appl_grp_name`) **Agid**(`agid`) **SegName**(`segment_name`) **アクション** (`action`) **時間** (`time`)

説明: ARSMAINT プログラムが指定された表で統計を収集しました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup Segment Maintenance: Name(ERN-TEST001) Agid(15912) SegName(WLF1) Action(15) Time(0.195)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0165I **ApplGroup セグメント満了保守: 名前** (`appl_grp_name`) **Agid**(`agid`) **SegName**(`segment_name`)

説明: ARSMAINT プログラムが、メッセージ中に示されたアプリケーション・グループのメッセージ中に示されたセグメントを期限切れにしました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup Segment Expire Maintenance: Name(!UDB-index-expire) Agid(15404) SegName(MFF1)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0166I **ApplGroup セグメントのエクスポート: 名前** (`appl_grp_name`) **Agid**(`agid`) **SegName**(`segment_name`) **時間** (`time`)

説明: ARSMAINT プログラムが、メッセージ中に示されたセグメントをデータベースからアーカイブ・ストレージにマイグレーションしました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup Segment Export: Name(test-testdocs-lwp) Agid(15673) SegName(VIF1FAA) Time(2.364)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0167I

ARS0167I ApplGroup セグメントのインポート: 名前 (appl_grp_name) Agid(agid) SegName(segment_name) 時間 (time)

説明: ARSADMIN プログラムが、メッセージ中に示されたセグメントをアーカイブ・ストレージからデータベースにインポートしました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup Segment Export: Name(test-testdocs-lwp) Agid(15673) SegName(VIF1FAA) Time(2.364)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0168E ApplGroup セグメントが使用不可: 名前 (appl_grp_name) Agid(agid) SegName(segment_name)

説明: メッセージ中に示されたセグメントが照会を実行するように要求されましたが、データベース内でこのセグメントが見つかりませんでした。

例:

ApplGroup Segment Not Available: Name(!UDB-index-migration) Agid(15365) SegName(WEF2)

ユーザーの処置: 管理者に、メッセージ中に示されたセグメントをアーカイブ・ストレージからデータベースにインポートするよう依頼します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS0169E ApplGroup セグメントのマイグレーションが失敗: 名前 (appl_grp_name) Agid(agid) SegName(segment_name)。rc=returnCode

説明: セグメントのマイグレーション試行中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: マイグレーションに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0171E ApplGroup セグメントの終了: 名前 (appl_grp_name) Agid(agid) SegName(segment_name)。rc=returnCode

説明: セグメントが既にデータベース内に存在するため、このコマンドはセグメントをインポートしませんでした。

ユーザーの処置: セグメントの名前、およびアプリケーション・グループの名前と ID を確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS0172E ファイル・システム >filesystem_name< が固有ではありません。ファイル・システム >common_filesystem_name< と共通です。

説明: ars.dbfs 構成ファイル内で重複ファイル・システム名が使用されています。ファイル・システム名は固有でなければなりません。

ユーザーの処置: 固有のファイル・システム名のみを含むようにファイル・システムの構成を変更します。次に、サーバーを再始動して、コマンドを再実行依頼します。

ARS0173I 注釈の更新: 名前 (appl_grp_name) Agid(agid)

説明: 注釈が更新されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Annotation Update: Name(CHECKSDB) Agid(5025)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0174I 注釈 ID の更新: ID (id) 名前 (appl_grp_name) Agid(igid)

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0175E ユーザー >user_name< には指定されたアクションを実行する権限がありません。ファイル =file、行 =line

説明: メッセージ中に示されたユーザーにはアクションを実行するために必要な権限がありません。

ユーザーの処置: ユーザーを更新してアクションを実行する権限をユーザーに付与し、コマンドを再実行依頼します。または、別のユーザー ID でコマンドを再実行依頼します。

ARS0176E BulkTextSearch が失敗しました。

説明: テキスト検索の試行中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: テキスト検索に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0178E コマンド >command< のシステム呼び出しに失敗しました。 errno=errno

説明: コマンドの実行中に、OnDemand サーバーが失敗しました。errno 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: 詳細については errno.h ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0179E ライセンス・サーバーが失敗しました。 rc=returnCode

説明: ライセンス交付の問題が発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0180E ライセンス・サーバーがライセンス管理システムを初期化できませんでした。 rc=returnCode

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0181E ライセンス管理システムの終了中にライセンス・サーバーが失敗しました。 rc=returnCode

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0182E ライセンス・サーバーがライセンス管理システムからライセンスを獲得できませんでした。 cnt=count, rc=returnCode

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0183E

ARS0183E ライセンス・サーバーがライセンス管理システムからライセンスを解放できませんでした。

rc=returnCode

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0184E ライセンス・サーバーがライセンス管理システムからライセンスを再活性化できませんでした。

rc=returnCode

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0185E **OnDemand** のライセンス制限を超過しました。現在 *entitled_licenses* のみを実行している *current_licenses* が有効です。IBM サービス技術員に連絡してください。

説明: 同時ユーザーの数が同時ユーザーに対して与えられたライセンスの数を超えています。

ユーザーの処置: 組織が使用を許可されているクライアント・ライセンスの数を確認します。同時ユーザーに対するクライアント・ライセンスの構成を確認します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0186I **OnDemand** は、*entitled_licenses* のライセンス制限付きで開始されました。

説明: 同時ユーザーに対して構成された有効なライセンスの数は、**OnDemand** ライブラリー・サーバーが開始するときに表示されます。

例:

OnDemand started with a license limit of 50

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0187I スレッド・サーバー接続を確立できません。 **rc=returnCode**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0188I スレッドを作成できません。 **rc=returnCode**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0189E パイプ通信を作成できません。 **errno=errno**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは */usr/include/sys/errno.h*、z/OS および OS/390 システムでは */usr/include/errno.h*、i5/OS および OS/400 システムでは */QIBM/include/errno.h* にあります。

ユーザーの処置: 詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0190E システム・コマンド *>command<* が失敗しました。 **errno=errno**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは */usr/include/sys/errno.h*、z/OS および OS/390 システムでは */usr/include/errno.h*、i5/OS および OS/400 システムでは */QIBM/include/errno.h* にあります。

ユーザーの処置: 詳細については `errno.h` ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0191I システムのマイグレーションのセグメント `>segment_name<` が不明です。

説明: OnDemand システム・マイグレーション・アプリケーション・グループ内でメッセージ中に示されたセグメントの検索を試行中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: セグメントの名前およびアプリケーション・グループの名前を含むマイグレーション・パラメータを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0192E ファイル `>file_name<` を作成できません。 `errno=errno`

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。 `errno` 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは `/usr/include/sys/errno.h`、z/OS および OS/390 システムでは `/usr/include/errno.h`、i5/OS および OS/400 システムでは `/QIBM/include/errno.h` にあります。

ユーザーの処置: 詳細については `errno.h` ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0193E システム・マイグレーション・アプリケーション・グループを照会できません。 `rc=returnCode`

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0194E ディレクトリー `>directory_name<` をオープンできません。 `errno=errno`

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。 `errno` 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは `/usr/include/sys/errno.h`、z/OS および OS/390 システムでは `/usr/include/errno.h`、i5/OS および OS/400 システムでは `/QIBM/include/errno.h` にあります。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0195E ディレクトリー `>directory_name<` をクローズできません。 `errno=errno`

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。 `errno` 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは `/usr/include/sys/errno.h`、z/OS および OS/390 システムでは `/usr/include/errno.h`、i5/OS および OS/400 システムでは `/QIBM/include/errno.h` にあります。

例:

```
Unable to close directory >**UNK**<. err=(**UNK**) Srvr->everest.ibm.com 9.99.999.999<-
```

ユーザーの処置: 詳細については `errno.h` ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0196I キャッシュの満了: `ApplGroup(appl_grp_name)` `Agid(agrid)` `ObjName(object_name)` 日付 (`date`) サーバー (`server`)

説明: ARSMAINT プログラムが、メッセージ中に示されたアプリケーション・グループのメッセージ中に示されたストレージ・オブジェクトを期限切れにしました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

```
Cache Expiration: ApplGroup(CHKSTMTS1R) Agid(5013) ObjName(95FAAA) Date(11401)
Server(RDR400M.RALEIGH.IBM.COM) Srvr->rdr400m.raleigh.ibm.com 10.36.173.225<-
```

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0197I

ARS0197I キャッシュのマイグレーション: **ApplGroup**(*appl_grp_name*) **Agid**(*agid*) **ObjName**(*object_name*) 日付 (*date*) サーバー (*server*)

説明: ARSMMAINT プログラムが、メッセージ中に示されたストレージ・オブジェクトをキャッシュ記憶機構からアーカイブ・ストレージにマイグレーションしました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

```
Cache Migration: ApplGroup(System Log) Agid(9263) ObjName(1534FAA) Date(11073) Server(libraryserver)
Srvr->everest.ibm.com 9.99.999.999<-
```

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0198E キャッシュのファイル/ディレクトリー >*path_name*< 上の所有権および/または権限が無効です。

説明: メッセージ中に示されたキャッシュ記憶機構ファイルまたはディレクトリーに対する所有権または権限が正しくありません。キャッシュ・ファイル・システムにはディレクトリーに対して固有の権限があります。これについての説明は、「インストールと構成ガイド」にあります。

例:

```
Invalid ownership and/or permissions on cache file/dir >/arscache1< Srvr ->everest.ibm.com<-
```

ユーザーの処置: キャッシュ記憶機構ファイル・システムに対する所有権および権限を確認して、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0199E キャッシュ >*directory_name*< に予期しない空のディレクトリーがあります。

説明: キャッシュ・ディレクトリーが空です。

ユーザーの処置: キャッシュ記憶機構ファイル・システムの構成を確認して、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0200E CD-ROM 作成の失敗: ボリューム (*volume*)

説明: メッセージ中に示された CD-ROM の作成中に、コマンドが失敗しました。

例:

```
CD-ROM Creation Failed: Volume(1290)
```

ユーザーの処置: CD-ROM 作成処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0201I 同時ライセンス: 現在 (*current_licenses*)、最大許可数 (*entitled_licenses*)

説明: サーバーはこのメッセージを約 30 分毎に生成して、(メッセージの生成時における) システム上の同時ユーザーの数を表示します。このメッセージはシステム上で許可されている同時ユーザーの最大数も表示します。

例:

```
Concurrent Licenses: Current(8), Maximum Allowed(50)
```

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0202I 同時ライセンス: 最大数到達 (*maximum_licenses*)、最大許可数 (*entitled_licenses*)

説明: サーバーは、システム上の同時ユーザーの数が、最後に報告されたシステム上の同時ユーザーの最大数を超えるたびに、このメッセージを生成します。このメッセージはシステム上で許可されている同時ユーザーの最大数も表示します。同時ユーザーの最大数に対するカウンターは、OnDemand ライブラリー・サーバーが再始動される毎にゼロにリセットされます。

例:

Concurrent Licenses: Maximum Achieved(12), Maximum Allowed(50)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0203I ApplGroup のロード: 名前 (*appl_grp_name*) LoadId (*load_id*) ファイル (*file*) InputSize (*input_size*) OutputSize (*output_size*)

説明: ARSLOAD がロードを終了しました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

ApplGroup Load: Name () LoadId () File () Inputsize () OutputSize ()

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0204I プリンターの追加: 名前 (*printer_name*) キュー (*queue*) Pid(*pid*)

説明: メッセージ中に示されたプリンターがメッセージ中に示されたキューに追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Printer Add: Name(QPRINT2) Queue(QGPL/QPRINT2) Pid(5098)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0205I プリンターの削除: 名前 (*printer_name*) キュー (*queue*) Pid(*pid*) IdName(*id_name*) ID (*id*)

説明: メッセージ中に示されたプリンターが OnDemand から削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

Printer Delete: Name(QPRINT) Queue(QGPL/QPRINT) Pid(5193) IdName() Id(0)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0206I ユーザー ID の追加: ユーザー (*name*) ID (*id*)、ユーザー (*owner_name*) ID (*owner_id*)、Perms (*permissions*)

説明: メッセージ中に示されたユーザー ID がメッセージ中に示された権限とともに追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0207I ユーザー ID の削除: ユーザー (*name*) ID (*id*)、ユーザー (*owner_name*) ID (*owner_id*)

説明: メッセージ中に示されたユーザー ID が削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

User Id Delete: User(HOMER) Id(998), User(Ulysses) Id(74)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0208I ユーザー ID の更新: ユーザー (*name*) ID (*id*)、ユーザー (*owner_name*) ID (*owner_id*)、Perms (*permissions*)

説明: メッセージ中に示されたユーザー ID がメッセージ中に示されたように更新されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0209I ユーザー ID の追加: ユーザー (*name*) ID (*id*)、グループ (*owner_name*) ID (*owner_id*)、Perms (*permissions*)

説明: 指定されたユーザー ID が、メッセージ中に示された権限とともにメッセージ中に示されたグループに追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

User Id Add: User(BUZZ) Id(20), Group(noaccess) Id(80041), Perms(3)

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0210I ユーザー ID の削除: ユーザー (*name*) ID (*id*)、グループ (*owner_name*) ID (*owner_id*)

説明: メッセージ中に示されたユーザー ID が OnDemand から削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0211I ユーザー ID の更新: ユーザー (*name*) ID (*id*)、グループ (*owner_name*) ID (*owner_id*)、Perms (*permissions*)

説明: メッセージ中に示されたユーザー ID がメッセージ中に示されたグループに追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0212I BulkTextSearch: 時間 (*time*)

説明: メッセージ中に示された時間で検索が完了しました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

例:

BulkTextSearch: Time(2.752) Srvr->RDR400M.RALEIGH.IBM.COM<-

BULK DOCUMENT RETRIEVAL

Application Group Agid Flds->Handle

PATINF001 5014 ->7FAAA,3852,968,0,3272,0x4E,0x4F,0,1,0

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS0213I OnDemand DB2 の動的ロード・ライブラリーをロードできません (arsdb2)。DB2 がインストールされていること、および db2ln コマンドが実行されていることを確認してください。

説明: DB2 の動的ロード・ライブラリーのロード試行中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: DB2 が正しくインストールおよび構成されていることを確認します。DB2 ファイルに対してリンクが作成されたことを確認します。(db2ln コマンドが正常に実行されたことを確認します。)

ARS0214I OnDemand Microsoft SQL Server の動的ロード・ライブラリー (armsssql.dll) をロードできません。

説明: Microsoft® SQL Server の動的ロード・ライブラリーのロード試行中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: Microsoft SQL Server が正しくインストールおよび構成されていることを確認します。

ARS0215I OnDemand Oracle の動的ロード・ライブラリー (arsorcle) をロードできません。Oracle がインストールされていること、および Oracle の共用ライブラリー (libclntsh.a (AIX)、libclntsh.so (SunOS)、libclntsh.sl (HPUX)、oci.dll (Windows)) が共用ライブラリー・パス内にあることを確認します。

説明: Oracle の動的ロード・ライブラリーのロード試行中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: Oracle が正しくインストールおよび構成されていることを確認します。

ARS0216E SMS/DMS 表スペース・タイプを判別できないか、ファイル・システムが無効な *>filesystem_name<* です。 **errno=errno**

説明: ストレージ管理サブシステム (SMS) または文書管理システム (DMS) 表スペースの定義が無効です。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは */usr/include/sys/errno.h*、z/OS および OS/390 システムでは */usr/include/errno.h*、i5/OS および OS/400 システムでは */QIBM/include/errno.h* にあります。

ユーザーの処置: 表スペース・ファイル・システムの定義を確認および訂正します。次に、サーバーを再始動して、コマンドを再実行依頼します。詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。

ARS0217E アプリケーション・グループ (*appl_grp_name*) のアプリケーション (*appl_name*) において、このサーバーでは印刷できないデータ型の文書が定義されています。

説明: サーバーの印刷機能で文書の印刷に失敗しました。

ユーザーの処置: サーバーの印刷機能で、選択された文書のデータ型を処理できませんでした。ローカル側の印刷機能に文書を再実行依頼します。これにより印刷ジョブは別のプリンターに送信されます。

ARS0218E *rtn,lmod,source,reason,cblock,addr,lineNum*

rtn メッセージを作成するルーチン
lmod メッセージを作成するモジュール
source 問題を検出するソース・ファイル
reason エラーについて記述する理由コード
cblock エラーに関連する制御ブロック
addr エラーに関連するアドレス
lineNum エラーを検出するソース・ファイルの行番号

説明: ソフトウェアが制御ブロック内で不整合を検出しました。SDUMP の作成が試行されましたが、失敗しました。おそらく DAE がこれを妨げたためです。

ユーザーの処置: ソフトウェアにより、リカバリーが試行されます。問題に対する修正方法を問題報告データベースで検索してください。修正方法がない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS0219E ARSMVSR2 Ssss Uuuuu RSN:xxxxxxx

sss システム ABEND コード
uuuuu ユーザー ABEND コード
xxxxxxx ABEND 理由コード

説明: パスチケットでの OnDemand へのログオンが拒否されました。ユーザー・パスチケットの検査中に異常終了が発生しました。SDUMP の作成が試行されましたが、失敗しました。

ユーザーの処置: ARS.PTGN 動的出口によって戻された情報にエラーがある可能性があります。この出口の訂正を試行してください。

ARS0220I サーバー・コード・ページは *cpgid* です。

説明: サーバーは指定されたコード・ページを使用しています。これは通知メッセージです。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ARS0221I フォルダーの削除: 名前 (*name*) **Fid**(*fid*)

説明: メッセージ中に示されたフォルダーがシステムから削除されました。これは通知メッセージです。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ARS0222W SM 警告: *text*、要求された削除は無視されました。ストレージ・マネージャーのデータ保存保護がオンになっています。

説明: TSM ストレージ・マネージャーに発行された削除は、データ保存保護がオンになっているため、失敗しました。TSM ストレージ・マネージャーは戻りコード 2302 および理由コード 248 を発行しました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ARS1000I 使用法: **arsadmin** [**load** | **load_db** | **unload** | **store** | **retrieve**
| **import** | **res_diff** | **postprocess_cmd** | **indexer** | **psf_options**
| **msgs** | **compress** | **decompress** | **iconv**]
バージョン: *version*

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されていました。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。このコマンドについて詳しくは、OnDemand「アドミニストレーション・ガイド」を参照してください。

ARS1001I 使用法: **arsadmin load** [**options**]

バージョン: *version*

Load OnDemand をロードする

- a <name> アプリケーション名。
(アプリケーション・グループにアプリケーションが 1 つの場合は不要)
- d <dir> (-f) の場合、オブジェクト・ファイルを書き込むディレクトリー
(デフォルトは、現行ディレクトリー)
- e <res_id>
(-r) が
0 の場合、重複をチェックする。(デフォルト)
0 以外の場合、新規リソースとしてロードする
(-r) 以外の場合
使用するリソース ID。(デフォルトは 0 で、リソースを指定しない)
- f オブジェクトをファイルとして作成する。(デフォルト: 処理の間にロード)
- g <name> アプリケーション・グループ名
- h <hostname> OnDemand ホスト名
- i <ind_file> 入力索引ファイル
- n <pri_nid-sec_nid> 1 次/2 次ノード ID
- o <out_file> 出力 DB ファイル
- p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード
- r <res_file> 入力リソース・ファイル
- s <src_file> 入力文書ソース・ファイル
- u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名
- y <char> 列区切り文字。(デフォルトは「|」)
- Z <user_def> ユーザー出口をロードするために渡されたユーザー定義済みストリング

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1002I 使用法: arsaadmin load_db [options]バージョン: *version***load_db** データベースをファイルからロードする

- a <name> アプリケーション名。
(アプリケーション・グループにアプリケーションが 1 つの場合は不要)
- g <name> アプリケーション・グループ名
- h <hostname> OnDemand ホスト名
- p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード
- s <db_file> 入力データベース・ファイル
- u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名
- y <char> 列区切り文字。(デフォルトは「|」)
- L <load_id> OnDemand で使用する LoadId
- Z <ユーザー出口をロードするために渡されたユーザー定義済みストリング

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されていました。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1003I 使用法: arsaadmin unload [options]バージョン: *version***unload** OnDemand から LoadId をアンロードする

- g <name> アプリケーション・グループ名
- h <hostname> OnDemand ホスト名
- p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード
- u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名
- L <load_id> OnDemand から削除する LoadId
- Q システム・ログに LoadId がない場合、継続する

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1004I 使用法: arsaadmin store [options]バージョン: *version***store** ファイルを OnDemand にロードする

- d <dir> ファイルを検索するディレクトリー (デフォルトは、現行ディレクトリー)
- g <name> アプリケーション・グループ名
- h <hostname> OnDemand ホスト名
- m <loc> データをロードする場所
値は加算して表す。(デフォルト: 7)
1 キャッシュ (存在する場合)
2 1 次ノード (存在する場合)
4 2 次ノード (存在する場合)
- n <pri_nid-sec_nid> 1 次/2 次ノード ID
- p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード
- u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名
- <file1..n> ファイルのリスト

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1005I 使用法: **arsadmin retrieve [options]**バージョン: *version***retrieve OnDemand** からファイルを検索する

- b <off> 開始のオフセット。(デフォルトは 0)
- d <dir> 検索したファイルを入れるディレクトリー。(デフォルトは、現行ディレクトリー)
- g <name> アプリケーション・グループ名
- h <hostname> OnDemand ホスト名
- l <len> 終了の長さ。(デフォルトは、オブジェクト・サイズ)
- m <loc> データを取り出す場所
値は加算して表す。(デフォルト: 3)
 - 1 キャッシュ (存在する場合)
 - 2 1 次ノード (存在する場合)
 - 4 2 次ノード (存在する場合)
- n <pri_nid-sec_nid> 1 次/2 次ノード ID
- p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード
- u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名
- <file1..n> OnDemand からファイルを検索する

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1006I 使用法: **arsadmin import [options]**バージョン: *version***import** データベース表をインポートする

- g <name> アプリケーション・グループ名
- h <hostname> OnDemand ホスト名
- p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード
- u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名
- <table_name> 再インポートする表名

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1007I 使用法: **arsadmin res_diff [options]**バージョン: *version***res_diff** リソースの比較

- a <name> アプリケーション名。
(アプリケーション・グループにアプリケーションが 1 つの場合は不要)
- g <name> アプリケーション・グループ名
- h <hostname> OnDemand ホスト名
- n <pri_nid-sec_nid> 1 次/2 次ノード ID
- p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード
- u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名
- <res_file1..n> 既存のリソースと比較するリソース・ファイル

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1008I 使用法: arsaadmin postprocess_cmd [options]バージョン: *version***postprocess_cmd** STDOUT にポストプロセス・コマンドを書き込む

- a <name> アプリケーション名。
(アプリケーション・グループにアプリケーションが 1 つの場合は不要)
- g <name> アプリケーション・グループ名
- h <hostname> OnDemand ホスト名
- p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード
- u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1009I 使用法: arsaadmin indexer [options]バージョン: *version***indexer** STDOUT にインデクサーとインデクサー・パラメーターを書き込む

- a <name> アプリケーション名。
(アプリケーション・グループにアプリケーションが 1 つの場合は不要)
- g <name> アプリケーション・グループ名
- h <hostname> OnDemand ホスト名
- p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード
- u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1010I 使用法: arsaadmin psf_options [options]バージョン: *version***psf_options** STDOUT に PSF 印刷オプションを書き込む

- a <name> アプリケーション名。
(アプリケーション・グループにアプリケーションが 1 つの場合は不要)
- g <name> アプリケーション・グループ名
- h <hostname> OnDemand ホスト名
- p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード
- u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名

説明: コマンドに対して誤ったパラメーターが指定されました。メッセージ内の有効なパラメーターについては、OnDemand 「Administrator's Guide」で説明されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1011I 使用法: `arsadmin msgs [options]`バージョン: *version***msgs** サーバーへのメッセージをログに記録する

- h <hostname> OnDemand ホスト名
 - p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード
 - s <src_file> メッセージと一緒に保管する入力 ASCII テキスト・ファイル
 - u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名
 - M <msg_num> OnDemand メッセージ番号
- [arg1] [arg2] [arg3] [arg4]

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1012I 使用法: `arsadmin compress [options]`バージョン: *version***compress** ファイルを圧縮する

- b <off> 開始のオフセット。(デフォルトは 0)
- c <type> 文書圧縮タイプ
 - 'D' 圧縮を無効にする
 - 'L' LZW12 圧縮
 - 'N' 圧縮なし
 - 'O' OD77 圧縮 (デフォルト)
 - 'Z' LZW16 圧縮
- l <len> 終了の長さ。(デフォルトは、ファイル・サイズ)
- o <out_file> 出力ファイル
- s <src_file> 入力ファイル

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1013I 使用法: `arsadmin decompress [options]`バージョン: *version***decompress** ファイルを解凍する

- b <off> 開始のオフセット。(デフォルトは 0)
- c <type> 文書圧縮タイプ
 - 'D' 圧縮を無効にする
 - 'L' LZW12 圧縮
 - 'N' 圧縮なし
 - 'O' OD77 圧縮 (デフォルト)
 - 'Z' LZW16 圧縮
- l <len> 終了の長さ。(デフォルトは、ファイル・サイズ)
- o <out_file> 出力ファイル
- s <src_file> 入力ファイル

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1014I 使用法: `arsadmin iconv [options]`バージョン: *version***iconv** コード・ページ変換を実行する

- o** <out_file> 出力ファイル
- s** <src_file> 入力ファイル
- F** <from_codepage> 入力ファイルのコード・ページ
- T** <to_codepage> 出力ファイルのコード・ページ

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1015I 使用法: `arsadmin logid [options]`バージョン: *version***logid** サーバーからログ ID を取得する

- h** <hostname> OnDemand ホスト名

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1016I 使用法: `arsadmin update_defs [options]`バージョン: *version***update_defs** レポート定義パラメーターを更新する

- a** <name> アプリケーション名 (アプリケーション・グループにアプリケーションが 1 つしかない場合は不要)
- g** <name> アプリケーション・グループ名
- h** <hostname> OnDemand ライブラリー・サーバーまたはインスタンス名
- p** <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード
- s** <src_file> 入力文書ソース・ファイル
- u** <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名
- O** <obj_server_name> ストレージ・ノードがあるオブジェクト・サーバー名
- R** <storage_node_name> データがロードされるストレージ・ノード名

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1017E オブジェクト・サーバー >obj_server_name< 上のストレージ・ノード >node_name< がストレージ・セット >set_name< に存在しません。

説明: アプリケーション・グループが使用するストレージ・セット内にストレージ・ノードが見つかりません。

ユーザーの処置: アプリケーション・グループが使用するストレージ・セット内に存在するストレージ・ノードを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS1018E ユーザー出口プログラムが戻した CC タイプが無効です。

説明: ユーザー出口プログラムが不明な CC タイプを戻しました。ファイル `arscsxit.h` が有効な CC タイプの値を含んでいます。

ユーザーの処置: 有効な CC タイプを戻すようにユーザー出口プログラムを変更し、コマンドを再実行依頼します。

ARS1019E ユーザー出口プログラムが戻した RECFM 値が無効です。

説明: ユーザー出口プログラムが不明な RECFM を戻しました。ファイル arscsxit.h が有効な RECFM の値を含んでいます。

ユーザーの処置: 有効な RECFM を戻すようにユーザー出口プログラムを変更し、コマンドを再実行依頼します。

ARS1020E ユーザー出口プログラムが戻した *lrecl*< の LRECL 値が無効です。

説明: ユーザー出口プログラムが無効な LRECL 値を戻しました。有効な LRECL タイプの値は、1 から 32767 の間の整数です。

ユーザーの処置: 1 から 32767 の間の LRECL 値を戻すようにユーザー出口プログラムを変更し、コマンドを再実行依頼します。

ARS1021E アプリケーション・グループを指定しないでアプリケーションを指定することはできません。

説明: アプリケーションの名前が指定されている場合、アプリケーション・グループも指定されている必要があります。

ユーザーの処置: アプリケーション・グループの名前を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS1022E ストレージ・ノードが指定されている場合、アプリケーション・グループが必要です。

説明: ストレージ・ノードが指定されている場合、システムがストレージ・ノードが有効であることを判別できるようにアプリケーション・グループも指定されている必要があります。

ユーザーの処置: アプリケーション・グループの名前を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS1023E ユーザー ID >userid< には、アプリケーション・グループ >applgrp_name< 内のアプリケーション >appl_name< を更新する権限がありません。

説明: メッセージ中に示されたユーザーにはアクションを実行するために必要な権限がありません。

ユーザーの処置: ユーザーを更新してアクションを実行する権限をユーザーに付与し、コマンドを再実行依頼します。または、別のユーザー ID でコマンドを再実行依頼します。

ARS1024I 使用法: sm_expire [options]

バージョン: *version*

sm_expire オブジェクトのリストをアンロードする

-h <hostname> OnDemand ホスト名

-p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード

-s <src_file> 期限切れになるオブジェクトのリストを含む入力ファイル

-u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1025I 無効な sm_expire オブジェクト *object* がファイル *file* の行 *lineno* で見つかりました。

説明: 無効な sm_expire オブジェクトが見つかりました。このコマンドについて詳しくは、「管理ガイド」を参照してください。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1026E ユーザー出口プログラムが戻した `>delim<` の区切り値が無効です。

説明: ユーザー出口プログラムが無効な区切り値を戻しました。

ユーザーの処置: 25、0A、または 0D0A などの有効な 16 進値を含む区切りストリングを戻すようにユーザー出口プログラムを変更します。

ARS1101E アプリケーション・グループおよびアプリケーションが指定されませんでした。

説明: 処理するアプリケーション・グループの名前が指定されませんでした。アプリケーション・グループ内に複数のアプリケーションが存在する場合は、処理するアプリケーションの名前も指定しなければなりません。

ユーザーの処置: アプリケーション・グループの名前およびアプリケーションの名前を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS1102E コマンド `>command<` の不明なオプション `>-option<`

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1103E オプション `>-option<` には引数が必要です。

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1104E オプション `>-option<` 引数 `>argument<` が無効です。

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1105E ユーザー ID またはパスワードが無効です。

説明: 誤ったユーザー ID またはパスワードが指定されました。

ユーザーの処置: 有効なユーザー ID およびパスワードを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS1106E `>hostname<` サーバーに対して接続を確立できません。

説明: コマンドが指定されたサーバーと通信できません。

ユーザーの処置: OnDemand サーバーの有効な名前を指定して、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、サーバーが実行されていることおよび正しく構成されていることを確認します。

ARS1107E 予期しないエラーが発生しました。システム管理者に連絡する、および/またはシステム・ログを参照してください。ファイル `=file`、行 `=line`

説明: プログラムを実行しているときに、予期しないエラーが発生しました。同じログ ID を持つその他のメッセージに、エラーについての追加情報が提供されている場合があります。

ユーザーの処置: コマンドに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1108E

ARS1108E ユーザー >user_name< には指定されたアクションを実行する権限がありません。

説明: メッセージ中に示されたユーザーにはアクションを実行するために必要な権限がありません。

ユーザーの処置: ユーザーの権限を更新して、コマンドを再実行依頼するか、別のユーザー ID でコマンドを実行依頼します。

ARS1109E 十分なメモリーを割り振れません。ファイル =file、行 =line

説明: アクションを実行するために十分なメモリーを割り振る際に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: オペレーティング・システムおよびアプリケーションのタスク状況を確認して、メモリーを割り振れなかった理由を判別します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1110E アプリケーション・グループ >appl_grp_name< が存在しないか、ユーザー >user_name< にアプリケーション・グループにアクセスする権限がありません。

説明: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループ名が正しくないか、メッセージ中に示されたユーザーにアクションを実行するために必要な権限がありません。

ユーザーの処置: アプリケーション・グループ名を確認するか、ユーザー ID およびユーザーがアクションを実行する権限があることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS1111E アプリケーション >appl_name< は、アプリケーション・グループ >appl_grp_name< に存在しません。

説明: 指定されたアプリケーションが指定されたアプリケーション・グループに属していません。

ユーザーの処置: アプリケーションの名前およびアプリケーション・グループの名前を確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS1112E ファイル file_name をオープンできません。

説明: メッセージ中に示されたファイルが存在しないか、権限にこのファイルのオープン権限がありません。

ユーザーの処置: ファイルが存在することおよびファイルをオープンできる権限があることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS1113E ファイル file_name 内の位置 offset をシークできません。

説明: ファイル内で正しい位置を検索中に、コマンドが失敗しました。入力ファイルが大きすぎる可能性があります。ACIF、PDF インデクサー、および汎用インデクサーに対する入力ファイルは 2 GB を超えることができません。OS/390 インデクサーに対してはファイルのサイズ制限はありません。

ユーザーの処置: ファイルの権限、およびファイルのサイズが、現在使用中の索引付けプログラムの最大ファイル・サイズを超えていないことを確認します。ファイルのサイズが制限を超えた場合は、ファイルのサイズを削減するステップを実行します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS1114E ファイル file_name の長さ length_position に対するオフセット offset_position から読み取れません。

- 説明:** メッセージ中に示されたファイルの読み取り中に、コマンドが失敗しました。シナリオは次のとおりです。
- | AFP™ レポートのロード中に、ARSLOAD はページ・グループへの ACIF 検索によって作成された出力ファイル
 - | キャンします。ページ・グループは、名前付きグループの開始 (BNG) および名前付きグループの終了 (ENG) AFP 構
 - | 造化フィールドによって区切られています。ARSLOAD は ACIF によって作成された索引ファイルを使用して、出力
 - | ファイルでページ・グループのロケーションおよび長さを判別します。ページ・グループの先頭が見つかる前、ある
 - | はページ・グループの終わりが見つかる前に出力ファイルの終わりが見つかる、ARSADMIN はメッセージ
 - | ARS1114E を発行します。

| **ユーザーの処置:** ファイルに対するオフセットおよび長さの値を確認および訂正します。次に、コマンドを再実行依頼
| します。

| このシナリオでは、ACIF パラメーターの CC および CCTYPE を CC=YES および CCTYPE=A として設定します。ACIF
| では、AFP レポート内のページ・グループを、BNG および ENG 構造化フィールドで区切る必要があります。

ARS1115E ファイル *file_name* に書き込めません。

説明: メッセージ中に示されたファイルへの書き込み中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: ファイル用の場所にファイルに書き込むための十分なフリー・スペースがあることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS1116E ファイル *file_name* をクローズできません。

説明: メッセージ中に示されたファイルのクローズ中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: ファイル用の場所にファイルをクローズするための十分なフリー・スペースがあることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS1117E ファイル *file_name* についての統計を収集できません。

説明: メッセージ中に示されたファイルについての情報の取得中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: ファイルが存在することを確認し、ファイルの権限を検査します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS1118E ファイル *file_name* を作成できません。

説明: メッセージ中に示されたファイルの作成中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: ファイルが作成されるディレクトリーに十分なフリー・スペースがあること、および、ディレクトリーにファイルの作成を許可する権限があることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS1119E ファイル *>file_name<* が空です。

説明: メッセージ中に示されたファイルにはデータがありません。

ユーザーの処置: ファイルが存在すること、ファイルの名前が正しいこと、およびファイルにデータが含まれていることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS1120E LZW 解凍は、最大 *lzw_bits* ビットのファイルのみを処理します。

説明: LZW 圧縮アルゴリズムが処理できるのは 12 ビットから 16 ビットまでです。

ユーザーの処置: 圧縮に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1121E 入力ファイルが LZW 圧縮フォーマットではありません。

説明: 入力ファイルが LZW フォーマットではありません。

ユーザーの処置: 正しい圧縮フォーマットの入力ファイルでコマンドを再実行依頼します。

ARS1122E *output_codepage iconv* から *input_codepage* へのコンバーターをオープンできません。

説明: コード・ページ・コンバーターのオープン中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: 必要なコード・ページが存在することを確認します。IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1123E 行 *row_number*: **iconv** コンバーターは文字列 *>string<* の変換に失敗しました。 **errno = errno**

説明: 文字列の変換中に、コマンドが失敗しました。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: 指定されたコード・ページ内でデータが有効であることを確認します。詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1124E 行 *row_number*: 値 '*value*' は有効な短精度整数に変換できません。

説明: メッセージ中に示された値は短精度整数には無効です。短精度整数の値は -32767 から 32767 の間です。

ユーザーの処置: 値が有効な短精度整数になるように索引付け情報を変更します。

ARS1125E 行 *row_number*: 値 '*value*' は有効な整数に変換できません。

説明: メッセージ中に示された値は整数には無効です。

ユーザーの処置: 値が有効な整数になるように索引付け情報を変更します。

ARS1126E 行 *row_number*: 値 '*value*' は有効な 10 進値に変換できません。

説明: メッセージ中に示された値は 10 進値には無効です。

ユーザーの処置: 値が有効な 10 進値になるように索引付け情報を変更します。

ARS1127E 行 *row_number*: 文字列 *¥"string¥"* は長さ *length* であり、フィールドの最大長は *field_length* です。

説明: メッセージ中に示された文字列の長さがメッセージ中に示されたフィールドの最大長を超えています。

ユーザーの処置: 索引付け情報内のフィールドのサイズを大きくするか、文字列を短くします。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS1128E 行 *row_number*: 文字列 *¥"string¥"* の中に列区切り文字があります。

説明: 現在コマンドが使用している列区切り文字と同じ文字がメッセージ中に示された文字列の中にあるため、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: 別の列区切り文字を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS1129E 行 *row_number*: 文字列 *¥"string¥"* は、フォーマット *date_format* から日付に変換されませんでした。

説明: 日付フォーマットに一致しなかったため、文字列を日付に変換できませんでした。日付フォーマットはアプリケーションにより異なります。無効な文字列および必要なフォーマットの両方がメッセージ内に示されています。

ユーザーの処置: 日付の値を変更してデフォルトの日付フォーマットに一致させるか、別の日付フォーマットを指定します。

ARS1130E インデクサーにより *submitted_fields* フィールドが処理依頼されました、予想されるのは *expected_fields* です。

説明: 文書を保管するために必要なフィールドのすべてを受信しない限り、ロード・プログラムは継続できません。フィールドの要件はアプリケーションにより異なります。処理依頼されたフィールドおよび必須フィールドの両方がメッセージ内に示されています。

ユーザーの処置: 索引付けパラメーターが必要なフィールドのすべてを正しく識別することを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS1131E 圧縮対象が小さすぎるため圧縮できません。

説明: LZW 圧縮アルゴリズムにより圧縮するための十分な入力データがありません。

ユーザーの処置: 別の圧縮オプションを指定して、コマンドを再実行依頼します。**推奨処置:** OD77 圧縮オプションを指定します。

ARS1132I 圧縮対象がオリジナルのデータより大きくなりました。

説明: 圧縮されたデータがオリジナルの入力データよりも大きくなりました。このメッセージは、通常、既に圧縮されているデータを圧縮しようとするときに表示されます。

ユーザーの処置: アプリケーション内の圧縮を使用不可にして、コマンドを再実行依頼します。

ARS1133I 正常にロードされた最後の行は *row_number* です。

説明: ARSADMIN load_db はロードを終了しました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS1134E ファイル *file_name* 内の構造化フィールド・ヘッダーが無効です。

説明: AFP データの構造化フィールドのヘッダーが正しく構成されていません。

ユーザーの処置: AFP データが AFP 仕様に準拠していることを確認します。構造化フィールドの正しいフォーマットについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference, SC31-6802*」を参照してください。

ARS1135E ファイル *file_name* 内で *X'structured_field'* 構造化フィールドを検索できません。

説明: AFP データは必要な構造化フィールドを含んでいません。

ユーザーの処置: AFP データが AFP 仕様に準拠していることを確認します。構造化フィールドの正しいフォーマットについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference, SC31-6802*」を参照してください。

ARS1136E ファイル *file_name* 内に予期しない構造化フィールド *X'structured_field'* があります。

説明: AFP データが無効な構造化フィールドを含んでいます。

ユーザーの処置: AFP データが AFP 仕様に準拠していることを確認します。構造化フィールドの正しいフォーマットについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference, SC31-6802*」を参照してください。

ARS1137E ファイル *file_name* 内で構造化フィールド *X'structured_field'* のトリプレット *X'triplet'* を検索できません。

説明: AFP データは構造化フィールドに対する必要なトリプレットを含んでいません。

ユーザーの処置: AFP データが AFP 仕様に準拠していることを確認します。構造化フィールドの正しいフォーマットについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference, SC31-6802*」を参照してください。

ARS1138W 警告: ファイル *file_name* 内で構造化フィールド *X'structured_field'* のトリプレット *X'triplet'* を検索できません。

説明: AFP データは構造化フィールドに対する必要なトリプレットを含んでいません。ただし、処理は継続できます。

ユーザーの処置: AFP データが AFP 仕様に準拠していることを確認します。構造化フィールドの正しいフォーマットについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference, SC31-6802*」を参照してください。

ARS1139E ファイル *file_name* 内の構造化フィールド *X'structured_field'* に対するタイプ *X'type'* のトリプレット *X'triplet'* を検索できません。

説明: AFP データは構造化フィールドに対する必要なトリプレット・タイプを含んでいません。

ユーザーの処置: AFP データが AFP 仕様に準拠していることを確認します。構造化フィールドの正しいフォーマットについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference, SC31-6802*」を参照してください。

ARS1140I リソース *resource_name* は、リソース *>rid-pri_nid-sec_nid<* に一致します。

説明: 文書が使用するリソースは既にシステムに存在しています。OnDemand はシステムに存在しているリソースを使用します。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS1141I リソース *resource_name* はいずれの既存のリソースとも一致しません。

説明: メッセージ中に示されたリソースはシステムに存在しません。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS1142I リソース *resource_name* は、リソース *>rid-pri_nid-sec_nid<* として追加されます。圧縮タイプ (*compress_type*) オリジナルのサイズ (*original_size*) 圧縮後のサイズ (*compressed_size*)

説明: メッセージ中に示されたリソースがシステムに追加されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS1143I 索引ファイルで検索されたフィールド名 '*field_name*' は、いずれの予想されるフィールドとも一致しません。フィールドは無視されます。

説明: メッセージ中に示されたフィールドが索引ファイル内で検出されました。ただし、フィールドはアプリケーション・グループ内で定義されていないため使用されません。

ユーザーの処置: アクションは不要です。ただし、フィールドがデータをロードまたはリトリブする必要がないことを確認します。

ARS1144I OnDemand ロード ID = *>agid-pri_nid-sec_nid-name-start_date-stop_date<*

説明: ロード ID が現在のレポート・ロードに指定されます。このロード ID を使用して、このレポート・ロードのデータを検索またはアンロードできます。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS1145E 行 *line_number*: 入力ファイルから次の列を読み取れません。

説明: 入力ファイルの読み取り中に、ARSADMIN が失敗しました。このメッセージは、通常、入力ファイル内に無効な区切り文字がある場合に表示されます。列区切り文字はデフォルトでは縦線 (|) です。コマンド行で **-y** パラメーターを指定することで、別の区切り文字を指定できます。

ユーザーの処置: 入力ファイルが正しく構成されていることを確認して、コマンドを再実行依頼します。

ARS1146I データベースにロードされた行数 *rows*

説明: メッセージ中に示された行数がこのレポートのデータベースにロードされました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS1147I 出力ファイルに書き込まれた行数 *rows*

説明: メッセージ中に示された行数がこのレポートの出力ファイルに書き込まれました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS1148E このアプリケーションには定義されたインデクサーがありません。

説明: OnDemand アプリケーションに関連付けられたインデクサーがありません。

ユーザーの処置: OnDemand 管理クライアントで、アプリケーションに対する有効なインデクサーを選択します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS1149E このアプリケーションには不明なタイプのインデクサーがあります。

説明: アプリケーションに対して指定されたインデクサーは有効なインデクサーではありません。

ユーザーの処置: OnDemand 管理クライアントで、アプリケーションに対する有効なインデクサーを選択します。次に、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1150E *value* から文書オフセットを判別できません。

説明: 文書のオフセットの判別を試行中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: 索引ファイルで有効なオフセットを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS1151E *value* から文書の長さを判別できません。

説明: 文書の長さの判別を試行中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: 索引ファイルで有効な文書の長さを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS1152E フィールド名ヘッダー情報が見つかりませんでした。

説明: 索引ファイルが、OnDemand 汎用索引ファイル・フォーマットに準拠していません。

ユーザーの処置: 索引ファイルが OnDemand 汎用索引ファイル・フォーマットに準拠するように索引ファイルを訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。OnDemand 汎用索引ファイルについての情報および例は、「索引付けリファレンス」を参照してください。

ARS1153E

ARS1153E 予期しないファイルの終わりがありません。 *expected_fields* フィールドが予想されましたが、*received_fields* のみ取得しました。

説明: 索引ファイルには十分な索引フィールドがありません。

ユーザーの処置: 索引ファイルが OnDemand 汎用索引ファイル・フォーマットに準拠するように索引ファイルを訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。 OnDemand 汎用索引ファイルについての情報および例は、「索引付けリファレンス」を参照してください。

ARS1154W ユーザー ID *>user_name<* に対するパスワードの有効期限が切れています。パスワードを変更してください。

説明: ユーザーのパスワードの有効期限が切れています。

ユーザーの処置: ユーザーのパスワードを変更して、次に、コマンドを再実行依頼します。パスワードは大/小文字を区別する場合があります。

ARS1155E **fork** できません。 **errno=errno**、**ファイル =file**、**行 =line**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: 詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1156E コマンド *>command<* は、インスタンスの所有者 *>instance_owner<* として実行する必要があります。

説明: コマンドはインスタンスの所有者のユーザー ID の下で実行する必要があります。

ユーザーの処置: コマンドを再実行依頼して、インスタンスの所有者のユーザー ID を指定します。

ARS1157E オブジェクト *>object_name<* を保管できません。オブジェクト・サイズ *object_size*

説明: メッセージ中に示されたオブジェクトの保管中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1158E データベースのロードに失敗しました。

説明: データベースのロード中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: ログ ID を判別して、ロード処理に関連するその他のメッセージがないか OnDemand システム・ログを検索します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1159E オブジェクト *>object_name<* をリトリートできません。

説明: メッセージ中に示されたオブジェクトのリトリート中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: リトリート処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1160E リソース ID を取得できません。

説明: リソース ID の取得中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: リソースに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1161E ロード ID を取得できません。

説明: ロード ID の取得中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: ロード処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1162E OnDemand からのデータのアンロードできません - LoadId(*agid-pri_nid-sec_nid-name-start_date-stop_date*) 行削除 (*rows_deleted*)

説明: データのアンロード中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: アンロード処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1163E ソース・ファイルが指定されていません。

説明: ソース (入力) ファイルが指定されていません。

ユーザーの処置: 有効なソース (入力) ファイルを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS1164E リソースを登録できません。

説明: リソース登録中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: リソースに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1165E 既存のリソース情報を取得できません。

説明: リソース情報の取得中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: リソースに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1166E ロード情報を保管できません。

説明: ロード情報の保管中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: ロード処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1167E 警告: リソース *>resource_name<* は空です。文書に使用されるリソースがありません。

説明: リソース・ファイルが空です。

ユーザーの処置: ロードされるデータがリソースを必要としないことを確認するか、必要とする場合は、有効なリソースを指定します。

ARS1168E ストレージ・ノードを判別できません。

説明: コマンドがストレージ・ノード情報の取得に失敗しました。

ユーザーの処置: ロード処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1169W

ARS1169W オブジェクトは既に存在しています。

説明: オブジェクトは既に存在しています。

ユーザーの処置: パラメーターを確認して、コマンドを再実行依頼するか、別のオブジェクト名を指定して、コマンドを実行依頼します。

ARS1170W オブジェクトは存在しません。

説明: サーバーが必要なオブジェクトを検出できませんでした。

ユーザーの処置: オブジェクトの名前を確認して正しいパラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS1171E クライアントとサーバーは非互換です。OnDemand を再インストールしてください。

説明: クライアント・ソフトウェアとサーバー・ソフトウェアに互換性がありません。これらは同じバージョンであるか、互換性のあるバージョンである必要があります。

ユーザーの処置: クライアント・ソフトウェア、サーバー・ソフトウェア、またはその両方を同じバージョンまたは互換性のあるバージョンにアップグレードします。

ARS1172E データベースが読み取り専用のため、操作が失敗しました。

説明: OnDemand の読み取り専用インスタンスの処理を試行中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: 読み取り専用でない OnDemand のインスタンスにコマンドを再実行依頼します。

ARS1173E サーバー接続がタイムアウトになりました。

説明: コマンドが非アクティブ・タイムアウト値で指定された時間内に、サーバー上でアクションを実行しなかったため、サーバーは、強制的にコマンドをサーバーからログオフさせました。

ユーザーの処置: サーバーからログオフし、再度サーバーにログオンします。次に、コマンドを再実行依頼します。システム管理者は OnDemand 管理クライアント内のこのサーバーまたはその他のサーバーに対する非アクティブ・タイムアウト値を増やすことができます。詳しくは、OnDemand 管理クライアント内のオンライン・ヘルプを参照してください。

ARS1174E 製品の内部論理エラー。ファイル =file、行 =line

説明: プログラムに内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1175I 使用される文書圧縮タイプ - compress_type。保管されるバイト数 = >bytes_stored<

説明: メッセージ中に示された圧縮タイプがメッセージ中に示されたバイト数を保管するために使用されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS1176E ラージ・オブジェクトに指定されたページがありませんでした。データが正しく索引付けされていることを確認してください。

説明: ラージ・オブジェクト文書をシステムにロードするには、ロード処理にページ・レベルの索引付け情報が必要になります。

ユーザーの処置: 索引付けパラメーターが正しいことを確認して、ページ・レベルの索引付け情報の収集を使用可能にします。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS1177E フィールド *>field_name<* が予想されましたが、指定されていません。

説明: コマンドはフィールドがあることを予想しましたが、フィールドが指定されていません。

ユーザーの処置: 索引付けパラメーターを確認および訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS1178E 圧縮が失敗しました。rc=*returnCode*

説明: データの圧縮中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1179E ICONV 変換が失敗しました。rc=*returnCode*

説明: データの変換中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1180E ファイル: *file_name* を除去できません。errno=*errno*

説明: ファイルの除去中に、コマンドが失敗しました。errno 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: ファイルが存在することを確認し、ファイルの権限を検査します。次に、コマンドを再実行依頼します。詳細については errno.h ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1181E 指定されたロード ID はアプリケーション・グループに対して無効です。

説明: ロード ID がアプリケーション・グループに対して無効です。

ユーザーの処置: アプリケーション・グループに対して有効なロード ID を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS1182E マルチバイト文字ストリング *>string<* をワイド文字ストリングに変換できません。

説明: マルチバイト文字ストリングの変換中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1183E ワイド文字ストリング *>string<* をマルチバイト文字ストリングに変換できません。

説明: マルチバイト文字ストリングの変換中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1184I OnDemand アンロード正常 - LoadId(*agid-pri_nid-sec_nid-name-start_date-stop_date*) 行削除 (*rows_deleted*)

説明: レポートがシステムから正常に削除されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS1185W 警告: システム・ログ内にロード ID が見つかりません。

説明: コマンドが OnDemand システム・ログ 内でロード ID を検索できませんでした。要求されたアクションは処理できません。

ユーザーの処置: 有効なロード ID を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS1186I

ARS1186I ロード ID はシステム・ログ内の既存のロード ID と一致しています。

説明: コマンドが OnDemand システム・ログ内でロード ID を見つけました。処理を続行します。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS1187W 警告: ロード ID (*load_id*) がシステム・ログ内の既存のロード ID (*existing_load_id*) と部分的に一致しています。

説明: コマンドが OnDemand システム・ログ内でメッセージ中に示されたロード ID の要素のいくつかを含むロード ID を見つけました。要求されたアクションは処理できません。

ユーザーの処置: ロード ID が有効であることを確認して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS1188E アンロードは継続しません。継続するには、**-Q** オプションを指定してください。

説明: ロード ID の検索中に、コマンドが失敗しました。unload コマンドは継続しません。

ユーザーの処置: **-Q** パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS1189W アンロードは継続します。しかし、正しいロード ID を指定してこのコマンドを再実行依頼する必要があります。

説明: 指定されたロード ID が削除されます。ただし、ロード ID は完全なロード・プロセスを示さないため、システムからレポートを完全に除去するには追加のアクションを実行する必要があります。

ユーザーの処置: 完全なロード・プロセスを示すロード ID を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS1190E コード・セット *rc* のコード・ページを判別できません。

説明: OnDemand がコード・ページまたはコード・セットを判別できませんでした。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1191E **iconv** 変換 *rc* を終了できません。

説明: コード・ページ変換の終了中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1192I **OnDemand ログイン:**

説明: 処理中の OnDemand のインスタンスに対して有効なユーザー ID を入力する必要があります。

ユーザーの処置: 有効なユーザー ID を入力して、Enter キーを押します。

ARS1193I **OnDemand パスワード:**

説明: 現在処理中の OnDemand インスタンスにログオンするために使用するユーザー ID のパスワードが必要です。

ユーザーの処置: ユーザー ID のパスワードを入力して、Enter キーを押します。

ARS1194I **OnDemand アプリケーション・グループ:**

説明: 処理されるアプリケーション・グループが指定されている必要があります。

ユーザーの処置: アプリケーション・グループの名前を入力して、Enter キーを押します。

ARS1195I OnDemand フォルダー:

説明: 処理されるフォルダーが指定されている必要があります。

ユーザーの処置: フォルダーの名前を入力して、Enter キーを押します。

ARS1196E 無効な汎用索引ファイル・フォーマット: >value<

説明: 索引ファイルに誤った索引データが含まれています。

ユーザーの処置: 索引ファイルが OnDemand 汎用索引ファイル・フォーマットに準拠していることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。 OnDemand 汎用索引ファイルについての情報および例は、「索引付けリファレンス」を参照してください。

ARS1197E 無効な汎用索引ファイル・フォーマット・シーケンス

説明: 索引ファイルに誤った索引データが含まれています。

ユーザーの処置: 索引ファイルが OnDemand 汎用索引ファイル・フォーマットに準拠していることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。 OnDemand 汎用索引ファイルについての情報および例は、「索引付けリファレンス」を参照してください。

ARS1198E フィールド >field_name< は既存のアプリケーション・エイリアス >alias< に一致しません。

説明: メッセージ中に示されたフィールドがメッセージ中に示されたアプリケーション・エイリアスと一致しません。アプリケーション・エイリアスは、アプリケーション・グループのフィールド情報ページの各フィールドに対して定義されています。

ユーザーの処置: OnDemand 管理クライアントで、エイリアスがアプリケーションに対して定義されていることを確認し、必要に応じて、訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS1199E フィールドが 1 つのみ期待されている場合に、フィールド >field_name< が複数指定されています。

説明: メッセージ中に示されたフィールドが索引ファイル内で複数回表示されました。

ユーザーの処置: 索引ファイル内で正しいフィールドが指定されていることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS1201I 使用法: **arsmaint** [-c [-n <min>] [-x <max>]] [-d] [-e]

[-f <full>] [-g <name>] [-i] [-I <od_inst>] [-m]
[-r] [-R] [-t <internal_date>] [-u <userid>] [-p <passwd>]]

バージョン: *version*

- c キャッシュの有効期限が切れる
- d データベースの有効期限が切れる
- e データベース表を移行する
- f <full> キャッシュ・フル・アラート・メッセージを送信するタイミング (デフォルトは 95%)
- g <name> アプリケーション・グループ名 (デフォルトはすべて)
- i 移行したインポート・データベース表の有効期限が切れる
- I <od_inst> OnDemand インスタンス名
- m キャッシュを移行する
- n <min> キャッシュのしきい値の最小パーセンテージ (-c の場合だけで、デフォルトは 80%)
- p <passwd> OnDemand パスワード (-t の場合だけ)
- r データベース統計
- R リソースの再ロード
- s ファイル・システム統計をキャッシュに入れる
- t <internal_date> 有効期限切れ/移行の内部日付 (デフォルトは「今日」)
- u <userid> OnDemand ユーザー ID (-t の場合だけ)
- v キャッシュ・ファイル・システムを検証/妥当性検査する
- x <max> キャッシュのしきい値の最大パーセンテージ (-c の場合だけで、デフォルトは 80%)

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1202E ユーザー >user_name< には、アプリケーション・グループ >appl_grp_name< のデータを期限切れにする権限がありません。

説明: メッセージ中に示されたユーザーに、メッセージ中に示されたアプリケーション・グループのデータを有効期限切れにする権限がありません。

ユーザーの処置: アプリケーション・グループのデータを有効期限切れにする権限を持つユーザーを指定するか、ユーザーの権限を変更します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS1301I 使用法: **arstblsp** [-a <action>] [[-g <name>] [-I <od_inst>]

[-t <table>]] [-u <userid>] [-p <passwd>]

バージョン: *version*

- a <action> 実行するアクション
 - 0 - 表をそれが持っている表スペースにコピーする。-g を指定する必要がある
 - 1 - ロードのために開いている表を閉じる。-g を指定する必要がある
 - 2 - 表スペースを持っていない表をリストする
 - 3 - ロードのために開いている表をリストする
- d <dir> エクスポート/インポート・ファイルのディレクトリー
(UNIX デフォルトは名前付きパイプを使用)
- g <name> アプリケーション・グループ名
- I <od_inst> OnDemand インスタンス名
- p <passwd> OnDemand パスワード
- t <table> 表名
- u <userid> OnDemand ユーザー ID

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS1302E アプリケーション・グループ >appl_grp_name< は現在表スペースに対して構成されていません。

説明: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループは、表スペースを使用するように構成されていません。既存の表の表スペースへの移動に関する詳細については、「*IBM DB2 Content Manager OnDemand for z/OS: Administration Guide*」を参照してください。

ユーザーの処置: OnDemand 管理クライアントで、アプリケーション・グループを構成して表スペースを使用します。

ARS1303I 表スペースなし: ApplGroup(appl_grp_name) Agid(agrid) 表 (table_name)

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS1304I 表がロード用にオープンされたままです。ApplGroup(appl_grp_name) Agid(agrid) 表 (table_name)

説明: メッセージ中に示された表がロード用にオープンされたままです。ロード用にオープンされている表は、表スペースにマイグレーションできません。

ユーザーの処置: ARSTBLSP コマンドを使用して表をクローズします。アプリケーション・グループ名および表名は ARSTBLSP コマンド用に必要であり、これらはメッセージ・テキスト内にあります。

ARS1305I 表が正常にクローズされました: ApplGroup(appl_grp_name) Agid(agrid) 表 (table_name)

説明: ARSTBLSP プログラムはメッセージ中に示された表を正常にクローズしました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS1306E 表をクローズできません: ApplGroup(appl_grp_name) Agid(agrid) 表 (table_name)

説明: メッセージ中に示された表のクローズ中に、ARSTBLSP プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: アプリケーション・グループの名前および表の名前を確認します。タスクに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1307I 表が空 - 削除されました: ApplGroup(appl_grp_name) Agid(agrid) 表 (table_name)

説明: ARSTBLSP プログラムがメッセージ中に示された表を正常に削除しました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS1308E 表を削除できません: ApplGroup(appl_grp_name) Agid(agrid) 表 (table_name)

説明: メッセージ中に示された表の削除中に、ARSTBLSP プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: アプリケーション・グループの名前および表の名前を確認します。タスクに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1309I

ARS1309I 表を正常にコピー: **ApplGroup**(*appl_grp_name*) **Agid**(*agid*) **OldTable**(*old_table_name*)
NewTable(*new_table_name*)

説明: ARSTBLSP コマンドはメッセージ中に示された表を正常にコピーしました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS1310E 表のコピーに失敗: **ApplGroup**(*appl_grp_name*) **Agid**(*agid*) 表 (*table_name*)

説明: メッセージ中に示された表のコピー中に、ARSTBLSP プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: タスクに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS1311E ユーザー *>user_name<* には、アプリケーション・グループ *>appl_grp_name<* の表スペース・データを変換する権限がありません。

説明: メッセージ中に示されたユーザーにはアプリケーション・グループの表スペース・データを変換する権限がありません。

ユーザーの処置: アプリケーション・グループの表スペース・データを変換する権限を持つユーザーを指定するか、メッセージ中に示されたユーザーにアプリケーション・グループに対する管理者権限を付与します。次に、コマンドを再実行依頼します。

| **ARS1400E** *>file<* の重複したロードが検出されました。アプリケーション・グループ *>applgrp<*、部分的なロード
| **ID** *loadid*。

| **説明:** 前にロードに失敗したファイルのロードが試行されました。

| **ユーザーの処置:** `arsadmin unload -Q -L <load_ID>` を使用して、失敗したロードをアンロードしてください。

ARS2061W 失効したログオン・パスワードを変更してください。

説明: ユーザーのパスワードの有効期限が切れており、変更する必要があります。

ユーザーの処置: ユーザーのパスワードを変更して、コマンドを再実行依頼します。パスワードは大/小文字を区別する場合があります。

ARS2063I データベースへのアクセス

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS2067I サーバー '*hostname*' へのログオン

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS2068I サーバーでの *action*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS2071I コンピューターを選択してください。

説明: コンピューターが指定されていないため、このコマンドは失敗しました。

ユーザーの処置: コンピューターを選択して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS2072I 最終変更を追加または更新せずに終了しますか?

説明: Cancel コマンドが実行依頼されましたが、変更がコミットされていません。

ユーザーの処置: 最終変更を追加または更新しないで終了するかどうかを指定します。

ARS2073E Port 値は 1 から 4 桁である必要があります。

説明: 指定されたポート番号が有効なポート番号ではありません。

ユーザーの処置: 有効なポート番号を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS2074E ドライブ名の値は英字 1 文字である必要があります。

説明: 指定されたドライブ名は有効なドライブ名ではありません。有効なドライブ名は A から Z です。

ユーザーの処置: 1 文字の英字のドライブ名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS2075E サーバーを選択する必要があります。何もリストされない場合は、「サーバーの更新」ボタンを使用して、1 つ以上のサーバーを定義してください。

説明: ログオンが試行されましたが、サーバーが指定されていませんでした。

ユーザーの処置: リストからサーバーを選択して、ログオンします。ログオンするサーバーがリストされていない場合、「サーバーの更新」をクリックして、新規サーバーを指定します。次に、新規サーバーを選択して、ログオンします。

ARS2076E *** LOGIC ERROR: 共通サーバーが不明なメッセージ ID を戻しました。

説明: OnDemand に内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2077E コード・ページ *codepage* に対するマッピング・ファイル '*file_name*' が見つかりませんでした。デフォルトが使用されます。

説明: クライアントがコード・ページの変換に必要なマッピング・ファイルを検出できませんでした。代わりにデフォルトのマッピング・ファイルが使用されます。

ユーザーの処置: クライアントが正しくインストールされていることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2078E 共通サーバーを初期化できませんでした。ロケール・パスは '*path_name*' です。

説明: クライアント・ソフトウェアの初期化中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: クライアントが正しくインストールされていることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2079E ズーム指定は、`min_zoom%%` から `max_zoom%%` の範囲内にする必要があります。

説明: 指定されたズームのパーセントが有効な範囲内にありません。有効な範囲はデータ型により異なり、エラー・メッセージ内に示されています。

ユーザーの処置: ズームのパーセントに対する正しい値を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS2080E サーバー名は必須です。有効なサーバー名を入力してください。

説明: 指定されたサーバー名が無効です。

ユーザーの処置: 有効なサーバー名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS2081E サーバーを追加できません。このサーバーは既に存在しています。

説明: サーバーに対して指定された名前は既にシステム上に存在しています。

ユーザーの処置: システム上に存在していないサーバー名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS2082E UNC 名は必須です。有効な UNC 名を入力してください (例: `¥¥name`)。

説明: 指定された UNC (汎用命名規則) 名が無効です。UNC は、ネットワーク・サーバーおよびサーバー上の共有ポイントを記述する命名規則です。UNC 名は 2 つの円記号 (¥) で開始され、その後にサーバー名が続きます。すべてのその他のフィールドは 1 つの円記号 (¥) で区切られます。例えば次のように入力します。¥¥server¥share

ユーザーの処置: 有効な UNC 名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS2083E 操作を実行するための十分なメモリーが使用できません。

説明: コマンドを実行するための十分な空きメモリーがありませんでした。

ユーザーの処置: オペレーティング・システムおよびアプリケーションのタスク状況を確認して、十分なメモリーを割り振れなかった理由を判別します。コマンドを再実行依頼する前に、その他の処理を停止するか、ワークステーションをリポートする必要がある場合があります。

ARS2084E クライアントとサーバーは非互換です。製品の再インストールが必要です。

説明: クライアント・ソフトウェアとサーバー・ソフトウェアに互換性がありません。これらは同じバージョンであるか、互換性のあるバージョンである必要があります。

ユーザーの処置: クライアント・ソフトウェア、サーバー・ソフトウェア、またはその両方を同じバージョンまたは互換性のあるバージョンにアップグレードします。

ARS2085E サーバーを初期化できませんでした。システム管理者に連絡してください。

説明: サーバーの初期化中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2086E `hostname` サーバーに対して接続を確立できません。

説明: 指定されたサーバーへの接続中に、クライアントが失敗しました。

ユーザーの処置: サーバーが正しく構成されていること、およびサーバー・プログラムが実行中であることを確認します。

ARS2087E 動的ロード・ライブラリー 'dll_name' が見つかりませんでした。

説明: メッセージ中に示された動的ロード・ライブラリーのロード中に、クライアントが失敗しました。

ユーザーの処置: OnDemand ソフトウェアが正しくインストールされていることを確認します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2088E サーバー接続がタイムアウトになりました。通常は、ログオフしてからログオンして、操作を再試行する必要があります。場合によっては、システムがログオンするように指示する前の明示的なログオフは不要です。

説明: クライアントが非アクティブ・タイムアウト値で指定された時間内に、サーバー上で処理を実行しなかったため、サーバーは、強制的にクライアントをサーバーからログオフさせました。

ユーザーの処置: サーバーからログオフし、再度サーバーにログオンします。次に、コマンドを再実行依頼します。システム管理者は OnDemand 管理クライアント内のこのサーバーまたはその他のサーバーに対する非アクティブ・タイムアウト値を増やすことができます。詳しくは、OnDemand 管理クライアント内のオンライン・ヘルプを参照してください。

ARS2089E サーバー上で情報が変更されました。ログオフしてからログオンして、操作を再試行してください。

説明: サーバー上で、要求されたデータが変更されました。

ユーザーの処置: サーバーからログオフし、再度サーバーにログオンして、操作を再試行する必要があります。

ARS2090E 検索操作中にサーバーが失敗しました。

説明: 検索操作中にサーバー・プログラムでエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 検索に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2091E フォルダーのデータへアクセス中にサーバーが失敗しました。

説明: フォルダーへアクセス中にサーバー・プログラムでエラーが発生しました。

ユーザーの処置: フォルダー操作に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2092E 名前付き照会をリトリート中にサーバーが失敗しました。

説明: 名前付き照会をリトリート中にサーバー・プログラムでエラーが発生しました。

ユーザーの処置: リトリート操作に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2093E 名前付き照会を更新中にサーバーが失敗しました。

説明: 名前付き照会を更新中にサーバー・プログラムでエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 更新操作に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2094E 文書をリトリート中にサーバーが失敗しました。

説明: 文書をリトリート中にサーバー・プログラムでエラーが発生しました。

ユーザーの処置: リトリート操作に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2095E 文書を更新中にサーバーが失敗しました。

説明: 文書を更新中にサーバー・プログラムでエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 更新処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2096E 文書を保管中にサーバーが失敗しました。

説明: 文書を保管中にサーバー・プログラムでエラーが発生しました。

ユーザーの処置: ロード処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2097E 文書を削除中にサーバーが失敗しました。

説明: 文書を削除中にサーバー・プログラムでエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 削除処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2098E リソース・グループをリトリート中にサーバーが失敗しました。

説明: リソース・グループをリトリート中にサーバー・プログラムでエラーが発生しました。

ユーザーの処置: リトリート処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2099E ストレージ・セットをリトリート中にサーバーが失敗しました。

説明: ストレージ・セットをリトリート中にサーバー・プログラムでエラーが発生しました。

ユーザーの処置: リトリート処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2100E ユーザー情報を更新中にサーバーが失敗しました。

説明: ユーザー情報を更新中にサーバー・プログラムでエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 更新処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2101E 注釈をリトリート中にサーバーが失敗しました。

説明: 注釈をリトリート中にサーバー・プログラムでエラーが発生しました。

ユーザーの処置: リトリート処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2102E 注釈を保管中にサーバーが失敗しました。

説明: 注釈を保管中にサーバー・プログラムでエラーが発生しました。

ユーザーの処置: タスクに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2103E 注釈を削除中にサーバーが失敗しました。

説明: 注釈を削除中にサーバー・プログラムでエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 削除処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2104E アプリケーションを更新中にサーバーが失敗しました。

説明: アプリケーションを更新中にサーバー・プログラムでエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 更新に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2105E プリンターを照会中にサーバーが失敗しました。

説明: プリンターに対する照会を実行中にサーバー・プログラムでエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 照会に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2106E 印刷中にサーバーが失敗しました。

説明: 印刷中にサーバー・プログラムでエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 印刷処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2107E ユーザー ID またはパスワードがサーバーに対して無効です。

説明: ユーザー ID またはパスワードが OnDemand のインスタンスに対して無効です。

ユーザーの処置: OnDemand のインスタンスに対して有効なユーザー ID およびパスワードを指定します。パスワードは大/小文字を区別する場合があります。

ARS2108E 新規パスワードには、少なくとも `min_passwd_length` 文字が含まれている必要があります。

説明: パスワードを変更しようとしたのですが、新規パスワードにはシステムが必要とする最小限の文字数が含まれていません。最小のパスワードの長さは各 OnDemand サーバーに対して構成可能なシステム・パラメーターです。追加情報については、OnDemand 管理クライアントのオンライン・ヘルプを参照してください。

ユーザーの処置: 少なくともシステムが必要とする最小の文字数を含む新規パスワードを指定します。

ARS2109E 新規パスワードの最初の指定と 2 番目の指定が同じではありません。

説明: パスワードを変更しようとしたのですが、確認値が新規パスワードに対して指定された値と一致しませんでした。

ユーザーの処置: いずれのパスワード・フィールドにも同じ値を入力します。パスワードは大/小文字を区別する場合があります。

ARS2110E 現在のパスワードは無効です。

説明: 誤ったパスワードが使用されました。

ユーザーの処置: 正しいパスワードを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS2111E

ARS2111E ユーザーは操作の実行を許可されていません。

説明: 指定されたユーザー ID には操作を実行する権限がありません。

ユーザーの処置: 操作を実行するための権限を持つユーザー ID を指定するか、ユーザーが操作を実行することを許可して、コマンドを再実行依頼します。

ARS2112E データベースが読み取り専用のため、操作が失敗しました。

説明: データベースが読み取り専用のため、データベースを更新できません。このコマンドを OnDemand の読み取り専用インスタンスに対して実行することはできません。

ユーザーの処置: 読み取り専用でない OnDemand のインスタンスに対してコマンドを再実行依頼します。

ARS2113I ユーザーがアクセス可能なアプリケーション・グループがフォルダーに含まれていないため、フォルダーをオープンできません。システム管理者に連絡してください。

説明: ユーザー ID には、フォルダー内に含まれているいずれのアプリケーション・グループに対してもアクセス権がありません。

ユーザーの処置: フォルダーの名前およびユーザー ID を確認します。フォルダー内に含まれている 1 つ以上のアプリケーション・グループに対するユーザーのアクセスを許可します。その後、再度フォルダーのオープンを試行します。

ARS2114E 検索基準が指定されていません。

説明: 検索コマンドが試行されましたが、検索基準が指定されていません。

ユーザーの処置: 少なくとも 1 つの検索フィールドに対して検索基準を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS2115E 'field' に対して値が指定されている必要があります。

説明: 検索コマンドが試行されましたが、必要なフィールドに対する値が指定されていませんでした。

ユーザーの処置: フィールドに対する値を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS2116E 'value' が 'field' に対して無効です。最大 *max_chars* 文字を入力できます。

説明: 指定された検索ストリングが、フィールドに対して許可された最大文字数を超えています。

ユーザーの処置: フィールドに対する有効な検索ストリングを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS2117E 'field' に対して 1 つの値のみが入力されました。2 番目の値を入力するか、別の比較演算子を選択してください。

説明: 範囲の使用による検索が試行されましたが、有効な範囲が指定されていません。有効な範囲は高い値および低い値の 2 つの値で構成されます。

ユーザーの処置: フィールドに対する有効な範囲を指定するか、範囲を必要としない検索演算子を選択します。次に、検索を再実行依頼します。

ARS2118E 'value' が 'field' に対して無効です。'min_range' から 'max_range' の範囲内の整数値が必要です。

説明: 指定された検索ストリングは無効な整数値です。エラー・メッセージにより有効な整数値についての追加情報が提供されます。

ユーザーの処置: フィールドに対する有効な整数値を指定して、検索を再実行依頼します。

ARS2119E 'value' が 'field' に対して無効です。'min_decimal' から 'max_decimal' の範囲内の 10 進値が必要です。最大で max_digits 桁を小数点以下に指定できます。

説明: 指定された検索ストリングは無効な 10 進値です。エラー・メッセージにより有効な 10 進値についての追加情報が提供されます。

ユーザーの処置: フィールドに対する有効な 10 進値を指定して、検索を再実行依頼します。

ARS2120E 'value' が 'field' に対して無効です。'min_date' から 'max_date' の範囲内の日付/時刻が必要です。70 未満の 2 桁の年は 20nn 年と解釈されることに注意してください。

説明: 指定された検索ストリングは無効な日付値です。エラー・メッセージにより有効な日付値についての追加情報が提供されます。

ユーザーの処置: フィールドに対する有効な日付値を指定して、検索を再実行依頼します。

ARS2121E 'field' に関して、最初の値は 2 番目の値以下にする必要があります。

説明: 範囲の使用による検索が試行されましたが、有効な範囲が指定されていません。範囲内の最初の値は、範囲内の 2 番目の値以下にする必要があります。

ユーザーの処置: フィールドに対する有効な範囲を指定して、検索を再実行依頼します。

ARS2122E 'field' に対する 'value' が、'incompat_field' に対する 'incompat_value' と非互換です。

説明: 指定された検索ストリングに検索されたフィールドとの互換性はありません。例えば、ApplGrp=a および FieldX=b ですが、FieldX は ApplGrp a にマッピングされません。

ユーザーの処置: フィールドに対する有効な検索値を指定して、検索を再実行依頼します。

ARS2123E 'value' は 'field' に対して使用できません。

説明: 指定された検索ストリングに検索されたフィールドとの互換性はありません。

ユーザーの処置: フィールドに対する有効な検索値を指定して、検索を再実行依頼します。

ARS2124I このフォルダーに対しては、max_documents 文書のみリストできます。

説明: 文書リストにリストできるその他の項目が検索されました。OnDemand のフォルダーには、文書リストにリストできる項目の数に制限が設けられることがあります。この制限は、各フォルダーに対して「最大ヒット数」オプションを指定して定義されます。

ユーザーの処置: 照会を詳細化して、よりさらに戻される結果を減らすか、このフォルダーの最大結果数を増やします。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS2125I 'document' に対する文書は現在使用できません。文書は、マウントされていないストレージ・ボリュームにある可能性があります。システム管理者に連絡してください。

説明: 文書が、マウントされなかったストレージ・ボリュームにあるため、文書をリトリブできませんでした。

ユーザーの処置: システム管理者またはシステム・オペレーターに、ストレージ・ボリュームをマウントするように依頼します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS2126I 'view' がデフォルトのビューでした。別の専用のデフォルトのビューが設定されない限り、共通のデフォルトのビューが使用されます。

説明: デフォルトの専用論理ビューが削除されました。新規のデフォルトの専用論理ビューが指定されない限り、文書はデフォルトの共通論理ビューを使用して表示されます。

ARS2127E

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS2127E この文書に対して、最大で `max_views` ビューを保管できます。

説明: 論理ビューの作成が試行されましたが、論理ビューの最大数を超えました。

ユーザーの処置: 既存の論理ビューを削除して、次に、再度論理ビューの作成を試行します。

ARS2128E クライアントと CD-ROM マスタリング動的ロード・ライブラリーは非互換です。製品の再インストールが必要です。

説明: クライアント・ソフトウェアとサーバー・ソフトウェアに互換性がありません。これらは同じバージョンであるか、互換性のあるバージョンである必要があります。

ユーザーの処置: クライアント・ソフトウェア、サーバー・ソフトウェア、またはその両方を同じバージョンまたは互換性のあるバージョンにアップグレードします。

ARS2129E CD-ROM マスタリング DLL からプロシージャ・アドレスを取得できません。

説明: CD-ROM マスタリング動的ロード・ライブラリーのロード試行中に、クライアントが失敗しました。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2130E フォルダーの 1 つのコピーのみ CD-ROM に書き込むことができます。

説明: フォルダーは既に CD-ROM 上に存在しています。

ユーザーの処置: 別のフォルダーを選択します。

ARS2131E ステージング・ドライブを選択する必要があります。

説明: CD-ROM の生産にはステージング・ドライブが必要です。そのドライブが指定されていません。

ユーザーの処置: 有効なステージング・ドライブを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS2132E ステージング領域をクリーン処理できません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2133E ステージング・ドライブにディレクトリーをセットアップできません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2134E 文書をリトリブできません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: システム・ログ内の CD-ROM の操作に関連するその他のメッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2135E リソースをリトリブできません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: システム・ログ内の CD-ROM の操作に関連するその他のメッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2136E 索引ファイルをオープンできません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2137E クライアントと CD-ROM 索引は非互換です。

説明: クライアント・ソフトウェアとサーバー・ソフトウェアに互換性がありません。これらは同じバージョンであるか、互換性のあるバージョンである必要があります。

ユーザーの処置: クライアント・ソフトウェア、サーバー・ソフトウェア、またはその両方を同じバージョンまたは互換性のあるバージョンにアップグレードします。

ARS2138E 索引に項目を追加できません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: CD-ROM 処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2139E データ内に不明なフィールド・タイプが見つかりました。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: CD-ROM 処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2140E 注釈をリトリブできません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: CD-ROM 処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2141E ARS レイアウトを読み取ることができません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: CD-ROM 処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2142E クライアントのレイアウトを読み取ることができません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: CD-ROM 処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2143E CD-ROM マスタリング・ソフトウェアが定義されていません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: CD-ROM 処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2144E

ARS2144E 有効なボリューム ID を取得できません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: CD-ROM 処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2145E マニフェスト・ファイルをオープンできません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: CD-ROM 処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2146E ステージング用の元ファイルを開くことができません

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: CD-ROM 処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2147E ステージング用に宛先ファイルをオープンできません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: CD-ROM 処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2148E ステージング用にファイルを読み取れません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: CD-ROM 処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2149E 無効なフォルダーが見つかりました。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: CD-ROM 処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2150E 外部サーバー・エラー

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: タスクに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2151E *** 論理エラー: 外部サーバーからの予期しない例外。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: タスクに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2152E * 論理エラー: 不明なフォルダー名。**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: タスクに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2153E * 論理エラー: 'field' に対する無効な検索演算子。**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: タスクに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2154E * 論理エラー: CHOICE 基準に対する不明な選択。**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: タスクに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2155E * 論理エラー: 無効なセグメント番号。**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: タスクに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2156E * 論理エラー: 無効な CDROM フォルダー。**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: CD-ROM 処理に関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2157E * 論理エラー: LogView - 不明または共通であるか、保管、更新、削除の権限がない。**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: タスクに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2158E * 論理エラー: 名前付き照会 - 不明であるか、保管、更新、削除の権限がない。**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: タスクに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2159E * 論理エラー: CsvPrtOpt 名が指定されていない。**

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: タスクに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2160E

ARS2160E サーバー出口パスワードの妥当性検査に失敗しました。システム管理者に連絡してください。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: タスクに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2161E *** 論理エラー: 別のサーバーが開始されたときにサーバー操作が進行中でした。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: タスクに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2162E データの変換を試行中に、サーバーが失敗しました。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: タスクに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2163E ログオンの試行中に、サーバーが失敗しました。

説明: サーバーはログオンを完了できませんでした。

ユーザーの処置: タスクに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2164I 必要なデータが使用不可のアーカイブ・メディアにあるため、操作を完了できませんでした。システム管理者に連絡してデータを使用可能にしてください。

説明: 文書が存在するストレージ・ボリュームがオフラインまたは使用不可であるため、文書をリトリブできませんでした。

ユーザーの処置: システム管理者またはシステム・オペレーターに、ストレージ・ボリュームをマウントするように依頼します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS2166E ユーザーは文書 'document' に対するこの操作の実行を許可されていません。

説明: ユーザーにはメッセージ中に示された文書で操作を実行する権限がありません。

ユーザーの処置: ユーザーの権限を更新して操作を許可し、コマンドを再実行依頼するか、正しい権限を持つユーザー ID からコマンドを実行依頼します。

ARS2167I 検索基準に適合する文書がありません。

説明: 照会は実行されましたが、検索基準に一致する文書がありませんでした。

ユーザーの処置: これが期待される結果であることを確認します。それ以外の場合は、検索基準を変更して照会を再実行依頼します。

ARS2168E 'document' に対する文書は表示可能または印刷可能ではありません。

説明: メッセージ中に示された文書は表示または印刷できません。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 表示または印刷できる文書を選択します。

ARS2169E 引数 'value' は無効な 10 進数です。

説明: メッセージ中に示された検索値は無効な 10 進値です。

ユーザーの処置: 有効な 10 進数を指定して、再度検索を試行します。

ARS2170I 引数が指定されていません。

説明: 検索が試行されましたが、検索値が指定されていません。

ユーザーの処置: 1 つ以上の検索値を指定して、再度検索を試行します。

ARS2171E 引数 'value' が指定されていません。

説明: 検索が試行されましたが、検索値が必要な検索フィールドから欠落しています。

ユーザーの処置: フィールドに対する検索値を指定して、再度検索を試行します。

ARS2172E 関数 'function' が見つかりませんでした。

説明: 指定された関数が見つからなかったため、クライアントが失敗しました。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2173E このフォルダー内にフィールド 'field' が見つかりませんでした。

説明: メッセージ中に示されたフィールドはフォルダーに対して無効なフィールドです。

ユーザーの処置: 有効なフォルダー・フィールドを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS2174E 指定されたフォルダー・フィールドに対するマッピングが存在しません。

説明: アプリケーション・グループ・フィールドにフォルダー・フィールドがマッピングされていません。

ユーザーの処置: フォルダー・フィールドをアプリケーション・グループ・フィールドにマッピングして、コマンドを再実行依頼します。

ARS2175E 環境変数 'environ_variable' が見つかりませんでした。

説明: メッセージ中に示された環境変数が設定されていなかったため、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: 環境変数を設定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS2176I 指定されたユーザーにはどのフォルダーに対するアクセス権もありません。

説明: 指定されたユーザーにはどのフォルダーに対するアクセス権もありません。

ユーザーの処置: ユーザーの権限を更新して 1 つ以上のフォルダーへのアクセスを許可し、コマンドを再実行依頼します。

ARS2177E 環境を初期化できません。rc=returnCode

説明: 環境の初期化を試行中に、クライアントが失敗しました。

ユーザーの処置: ログイン可能になるようにサーバーを構成して、コマンドを再実行依頼します。ログインを使用可能化する方法、およびその他のこの環境で使用可能な問題判別ツールのヘルプについての情報は、「*Web Enablement Kit Implementation Guide*」を参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2184I

ARS2184I この文書に関連するメモがありません。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS2185I フォルダーを選択してください:

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS2187I ユーザーがログオフしました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS2192I 文書を表示してください。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS2193I 注釈を表示してください。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS2194I 注釈を追加してください。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS2195I サーバー印刷

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS2196I ユーザー専用

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS2197I グループ専用

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS2198I メモは別のサーバーにコピーできます。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS2201W 少なくとも 1 つの文書を選択する必要があります。

説明: コマンドが入力されましたが、文書が選択されていません。

ユーザーの処置: 1 つ以上の文書を選択して、コマンドを再実行依頼します。

ARS2202I 文書がプリンターに送信されました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS2203I メモが正常に追加されました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS2207I 文書が更新されました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS2209E プログラムの `>command<` を `exec` できません。 `errno=errno`

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。 `errno` 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは `/usr/include/sys/errno.h`、z/OS および OS/390 システムでは `/usr/include/errno.h`、i5/OS および OS/400 システムでは `/QIBM/include/errno.h` にあります。

ユーザーの処置: 詳細については `errno.h` ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS2210I `sterror_text`

説明: このメッセージには `sterror()` 関数が戻すテキストが含まれています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS2211I `temp_dir` は一時ファイルとして使用されています。

説明: メッセージ中に示されたディレクトリーは一時ファイルとして使用されています。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3001E `timestamp: 001`: サーバー名パラメーターが必要です。

説明: サーバー名が必要ですが、サーバー名が指定されていません。

ユーザーの処置: 有効なサーバー名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS3002E `timestamp: 002`: データ配布サーバー・セクション [`server`] が定義されていません。

説明: データ配布用のサーバー・セクションが存在しません。

ユーザーの処置: サーバー・セクション内でサーバーを定義および構成して、コマンドを再実行依頼します。

ARS3003E

ARS3003E *timestamp: 003:* ディレクトリー [*directory_name*] をクリーン処理できません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3004E *timestamp: 004:* ファイル [*file_name*] をコピーできません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3005E *timestamp: 005:* ボリューム・セット ID を取得できません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3006E *timestamp: 006:* 制御ファイル [*file_name*] を作成できません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3007E *timestamp: 007:* 制御ファイル [*file_name*] をオープンできません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3008E *timestamp: 008:* OnDemand のパスワードの有効期限が切れているか、パスワードが無効です。

説明: 使用されたパスワードが誤っているか、有効期限が切れています。

ユーザーの処置: 正しいパスワードを指定して、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、パスワードの有効期限が切れていないか確認します。

ARS3009E *timestamp: 009:* OnDemand のログイン・エラー RC [*rc*]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3010E *timestamp: 010:* Rimage イメージ・ディレクトリーが指定されていません。

説明: Rimage イメージ・ディレクトリーの名前が指定されていません。

ユーザーの処置: Rimage イメージ・ディレクトリーの名前を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS3011E *timestamp: 011:* Rimage イメージ・オーダー・ファイル名が指定されていません。

説明: Rimage イメージ・オーダー・ファイルの名前が指定されていません。

ユーザーの処置: Rimage イメージ・オーダー・ファイルの名前を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS3012E *timestamp: 012:* Rimage プロダクション・オーダー・ファイル名が指定されていません。

説明: Rimage プロダクション・オーダー・ファイルの名前が指定されていません。

ユーザーの処置: Rimage プロダクション・オーダー・ファイルの名前を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS3013E *timestamp: 013:* ネットワーク・コンピューター名が指定されていません。

説明: ネットワーク・コンピューター名が指定されていませんでした。

ユーザーの処置: システムのネットワーク・コンピューター名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS3014E *timestamp: 014: OnDemand* ライブラリー・サーバーのログオン情報が欠落しています。

説明: ライブラリー・サーバーが指定されなかったか、誤ったユーザー ID またはパスワードが指定されました。

ユーザーの処置: ライブラリー・サーバーおよび有効なユーザー ID とパスワードを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS3015E *timestamp: 015:* ログ・ディレクトリーが必要です。

説明: ログ・ディレクトリーが必要ですが、ログ・ディレクトリーが指定されていません。

ユーザーの処置: ログおよび Rimage 制御ファイル用に使用されるディレクトリーの名前を指定します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS3016E *timestamp: 016:* ロード・ディレクトリーが必要です。

説明: ロード・ディレクトリーが必要ですが、ロード・ディレクトリーが指定されていません。

ユーザーの処置: ロード・ディレクトリーの名前を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS3017E *timestamp: 017:* ボリューム・セット ID ファイル [file_name] をオープンできません。

説明: メッセージ中に示されたボリューム・セット ID ファイルのオープン中に、ARSDD プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: ボリューム・セット ID ファイルが存在することを確認して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS3018E *timestamp: 018:* 無効なボリューム・セット ID ファイル [file_name]

説明: メッセージ中に示されたボリューム・セット ID ファイルは正しくありません。ファイルは無効なフォーマットであるか空である、あるいは損傷している可能性があります。その他の可能性としては、複数ユーザーがイメージ情報の保管用と同じステー징・ディレクトリーを使用して、ボリューム・セット ID ファイルが上書きされたことが考えられます。

ユーザーの処置: 再度イメージ作成処理を開始します。問題が解決しない場合は、CD イメージの作成に関わる各ユーザー用に個別の配布サーバーを作成することを検討してください。

ARS3019E *timestamp: 019:* 無効なパラメーターの組み合わせである '-i' および '-g' が指定されました。

説明: **-i** (データ配布ファイル ID) および **-g** (データ配布グループ ID) パラメーターは同じタスクに対して指定できません。有効なパラメーターおよび使用法の説明はコマンド行 `arsdd -?` により使用可能です。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS3020E *timestamp: 020:* 制御ファイル [file_name] を保管できませんでした。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3021E

ARS3021E *timestamp: 021:* ロード失敗ファイル [file_name] を表示できませんでした。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3022E *timestamp: 022:* メモリー割り振りの失敗 [fileline]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3023E *timestamp: 023:* ルート・ディレクトリーをクリーン処理できません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3024E *timestamp: 024:* ID ファイル [file_name] をリトリブできません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3025E *timestamp: 025:* 無効または読めない配布グループ・ファイル [file_name]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3026E *timestamp: 026:* 無効な名前または誤った名前の付いた索引ファイル [file_name]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3027E *timestamp: 027:* 無効な名前または誤った名前の付いた入力ファイル [file_name]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3050I *timestamp: 050:* [file_name] を作成

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3051I *timestamp: 051:* ライブラリー・サーバー・ユーザー ID [hostname] [user_name]

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3052I *timestamp: 052:* 制御ファイルのエラー [file_name]

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3053I *timestamp: 053:* ディレクトリー [*directory_name*] のロードを完了しました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3054I *timestamp: 054:* ファイル ID [*file_id*] の配布を完了しました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3055I *timestamp: 055:* ディレクトリー [*directory_name*] のロード

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3056I *timestamp: 056:* ファイル [*file_name*] のロードを完了しました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3057E *timestamp: 057:* ファイル [*file_name*] のロードに失敗しました。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3058I *timestamp: 058:* 配布ファイル ID フォルダー [*file_id*] [*folder_name*]

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3059I *timestamp: 059:* 配布グループ ID フォルダー [*file_id*] [*folder_name*]

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3060I *timestamp: 060:* 照会フォルダー NQUERY [*named_query*] [*folder*]

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3061I *timestamp: 061:* 検査合格

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3062E *timestamp: 062:* 検査失敗

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3063E

ARS3063E *timestamp: 063:* 確認、アプリケーション・グループ [appl_grp_name] 用のフォルダーがありません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3064E *timestamp: 064:* 確認、アプリケーション・グループがありません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3065E *timestamp: 065:* 確認、警告、クライアント・ソフトウェアがありません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3066E *timestamp: 066:* 確認、フォルダー [folder_name] に対するアプリケーション・グループがありません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3067E *timestamp: 067:* 確認、警告、メディア・ラベル・テンプレートがありません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3068E *timestamp: 068:* 確認、ユーザーが存在しません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3069E *timestamp: 069:* 確認、警告、パスワードがありません。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3070I *timestamp: 070:* アプリケーション・グループ [appl_grp_name]

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3072I *timestamp: 071:* クライアント言語 [client] [language]

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3074I *timestamp: 072:* ユーザーがファイル SRC DEST タイプ [source] [destination] [file_name] を指定しました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3076I *timestamp: 073: フォルダー [folder_name]*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3078I *timestamp: 074: グループ [group_name]*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3080I *timestamp: 075: ラベル・テンプレート ID [file_id] [label]*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3082I *timestamp: 076: ユーザー [user_name]*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3084I *timestamp: 077: ユーザー・パスワード [user_name] [passwd]*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3086I *timestamp: 078: CFM ファイル ID [value] [file_id]*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3088I *timestamp: 079: リトリブされたラベル ID [label_file_name] [file_name]*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3090E *timestamp: 080: 失敗したリトリブ・ラベル ID [label_file_name] [file_name]*

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3100I *timestamp: 100: データ配布処理が開始されました。*

説明: データ配布処理が開始されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3101E *timestamp: 101: データ配布処理が失敗しました。*

説明: データ配布処理が失敗しました。

ユーザーの処置: 他のエラーについては、Rimage イメージ・サーバーおよびプロダクション・サーバーのログを調べます。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3102I

ARS3102I *timestamp: 102:* データ配布処理が完了しました。

説明: データ配布処理が完了しました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3103E *timestamp: 103:* データ配布処理の重大な失敗。

説明: データ配布処理が失敗しました。

ユーザーの処置: 何が失敗したかを明らかにするために、このエラーの前に開始された直前の処理に対する (このメッセージに先行する) メッセージを調べます。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3104I *timestamp: 104:* クライアントの転送が開始されました。

説明: クライアントの転送が開始されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3105E *timestamp: 105:* クライアントの転送が失敗しました。

説明: クライアントの転送が失敗しました。OnDemand ユーザー・クライアントが OnDemand ライブラリー・サーバー上で使用できない可能性があります。AIX の場合には、ユーザー・クライアントを /usr/lpp/ars/client/windows/win32 にインストールします。Solaris または HP-UX の場合のパスは opt/ondemand/client/windows/win32 に、Windows の場合のパスは %client%\windows\win32 になります。

ユーザーの処置: 最新の OnDemand クライアントが、OnDemand ライブラリー・サーバー上の適切なディレクトリーにインストールされていることを確認します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3106I *timestamp: 106:* クライアントの転送が完了しました。

説明: クライアントの転送が完了しました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3107E *timestamp: 107:* クライアント・コピー・ファイルのエラー [source] [errno]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。source は失敗したファイルの名前を示します。errno 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: 詳細については errno.h ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3108I *timestamp: 108:* CFM の転送が開始されました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3109E *timestamp: 109:* CFM の転送が失敗しました。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3110I *timestamp: 110: CFM の転送が完了しました。*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3111E *timestamp: 111: CFM コピー・ファイルのエラー [file_name] [errno]*

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは `/usr/include/sys/errno.h`、z/OS および OS/390 システムでは `/usr/include/errno.h`、i5/OS および OS/400 システムでは `/QIBM/include/errno.h` にあります。

ユーザーの処置: 詳細については `errno.h` ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3112I *timestamp: 112: ユーザーが指定したファイルの転送が開始されました。*

説明: ユーザーが指定したファイルの転送が開始されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3113E *timestamp: 113: ユーザーが指定したファイルの転送が失敗しました。*

説明: ユーザーが指定したファイルの転送が失敗しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3114I *timestamp: 114: ユーザーが指定したファイルの転送が完了しました。*

説明: ユーザーが指定したファイルの転送が完了しました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3115E *timestamp: 115: ユーザーが指定したファイルのエラー [file_name] [errno]*

説明: *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは `/usr/include/sys/errno.h`、z/OS および OS/390 システムでは `/usr/include/errno.h`、i5/OS および OS/400 システムでは `/QIBM/include/errno.h` にあります。

ユーザーの処置: 詳細については `errno.h` ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3116I *timestamp: 116: ボリュームの計算が開始されました。*

説明: ボリュームの計算が開始されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3117E *timestamp: 117: ボリュームの計算が失敗しました。*

説明: ボリュームの計算が失敗しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3118I *timestamp: 118: ボリュームの計算が完了しました。*

説明: ボリュームの計算が完了しました。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3119I *timestamp: 119:* ボリュームの計算、ボリューム、ファイル、バイト数 [volumes] [files] [total]

説明: ボリュームの計算が完了しました。ボリュームには、合計 *total* バイトの *files* ファイルを保持する *volumes* メディアが必要です。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3120W *timestamp: 120:* ボリューム索引容量がバイト数 [bytes] を超えました。

説明: 索引がメディアの容量を超えました。メディアがマルチボリューム・セットの場合、索引は OnDemand クライアントおよびすべてのユーザー指定ファイルとともに、セットの最初のボリュームに適合している必要があります。

ユーザーの処置: ユーザー定義ファイルの数を減らすか、文書またはフォルダーの数を減らします。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS3121W *timestamp: 121:* ボリューム・データ容量がボリュームのバイト数を超えました。 [volumes] [total]

説明: メッセージ中に示されたボリュームに対するデータ・ファイルがメディアの容量を超えました。

ユーザーの処置: データ・ファイルのサイズを減らして、コマンドを再実行依頼します。

ARS3122I *timestamp: 122:* ストレージ・セットの作成が開始されました。

説明: 指定された時刻にストレージ・セットの作成が開始されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3123E *timestamp: 123:* ストレージ・セットの作成が失敗しました。

説明: ストレージ・セットの作成が失敗しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3124I *timestamp: 124:* ストレージ・セットの作成が完了しました。

説明: ストレージ・セットの作成が完了しました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3125E *timestamp: 125:* ストレージ・セットの作成に失敗、ストレージ・セット [set_name] を追加してください。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3126I *timestamp: 126:* ストレージ・セットの作成に失敗、ストレージ・ノード [node_name] を追加してください。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3127I *timestamp: 127:* ストレージ・セット・アプリケーション・グループの更新が開始されました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3128E *timestamp: 128:* ストレージ・セット・アプリケーション・グループの更新が失敗しました。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3129I *timestamp: 129:* ストレージ・セット・アプリケーション・グループの更新が完了しました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3130E *timestamp: 130:* ログインに失敗、戻りコード [rc]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3131I *timestamp: 131:* ストレージ・セット・データ・ファイルの更新が開始されました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3132E *timestamp: 132:* ストレージ・セット・データ・ファイルの更新が失敗しました。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3133I *timestamp: 133:* ストレージ・セット・データ・ファイルの更新が完了しました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3134E *timestamp: 134:* データ・ファイルの更新エラー、アプリケーション・グループ・ファイル
[appl_grp_name] [file_name]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3135E *timestamp: 135:* データ・ファイルの更新エラー、戻りコード [RC=rc] [CTRC=ctrlc]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3136I *timestamp: 136:* 索引の最適化が開始されました。

説明: 索引の最適化が開始されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3137E *timestamp: 137:* 索引の最適化が失敗しました。

説明: 索引の最適化が失敗しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3138I

ARS3138I *timestamp: 138:* 索引の最適化が完了しました。

説明: 索引の最適化が完了しました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3139E *timestamp: 139:* 索引の変換エラー、ファイル、戻りコード [*file_name*] [*rc*]

説明: 索引の変換中に、エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3140I *timestamp: 140:* データ配布の書き込みが開始されました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3141E *timestamp: 141:* データ配布の書き込みが失敗しました。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3142I *timestamp: 142:* データ配布の書き込みが完了しました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3143E *timestamp: 143:* データ配布の書き込みのタイムアウト

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3144E *timestamp: 144:* 書き込みボリューム・ファイルの失敗 [*volume_number*]*rc*

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3145I *timestamp: 145:* Rimage の EDITLIST の作成が開始されました。ボリューム [*rc*]

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3146E *timestamp: 146:* Rimage の EDITLIST の作成が失敗しました。ボリューム [*rc*]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3147I *timestamp: 147:* Rimage の EDITLIST の作成が完了しました。ボリューム [*rc*]

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3148E *timestamp: 148: EDITLIST の作成エラー、ファイル、戻りコード [file_name] [rc]*

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3149I *timestamp: 149: Rimage のイメージ作成が開始されました。ボリューム [volume]*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3150E *timestamp: 150: Rimage のイメージ作成が失敗しました。ボリューム、ファイル [file_name] [rc]*

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3151I *timestamp: 151: Rimage のイメージ作成が完了しました。ボリューム [volume]*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3152E *timestamp: 152: Rimage のイメージ作成がタイムアウトになりました。ボリューム [volume]*

説明: Rimage イメージ・サーバーがジョブを受け入れる前に、イメージ作成処理がタイムアウトになりました。この状態は通常、イメージ・サーバーが Rimage ワークステーション上で実行中ではないか、Rimage イメージ・オーダーのタイムアウト値の設定が低すぎる場合に発生します。Rimage イメージ・オーダーのタイムアウト値は、ARSDD プログラムの **-Y** パラメーターによって指定されます。

ユーザーの処置: Rimage ワークステーション上で Rimage イメージ・サーバー・ソフトウェアを実行します。または、イメージ・オーダー・タイムアウト・パラメーターの値を大きくして、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS3153I *timestamp: 153: Rimage イメージ作成要求が受け入れられました。ボリューム [volume]*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3154I *timestamp: 154: Rimage イメージ・プロダクションが開始されました。ボリューム [volume]*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3155E *timestamp: 155: Rimage イメージ・プロダクションが失敗しました。ボリューム、ファイル [volume] [rc]*

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3156I *timestamp: 156: Rimage イメージ・プロダクションが完了しました。ボリューム [volume]*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3157E

ARS3157E *timestamp: 157: Rimage* イメージ・プロダクションがタイムアウトになりました。ボリューム [volume]

説明: Rimage プロダクション・サーバーがジョブを受け入れる前に、プロダクション処理がタイムアウトになりました。この問題は通常、プロダクション・サーバーが Rimage ワークステーション上で稼働中ではないか、Rimage プロダクション・オーダーのタイムアウト・パラメーターの設定が低すぎる場合に発生します。Rimage プロダクション・オーダーのタイムアウト・パラメーターは、ARSDD プログラムの **-Z** パラメーターを使用して指定されます。

ユーザーの処置: Rimage ワークステーション上で Rimage プロダクション・サーバー・ソフトウェアを実行します。または、プロダクション・オーダー・タイムアウト・パラメーターの値を大きくして、コマンドを再実行依頼します。

ARS3158I *timestamp: 158: Rimage* イメージ・プロダクション要求が受け入れられました。ボリューム [volume]

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3159E *timestamp: 159: Rimage IOF* ファイルからエントリーを除去できません。[file_name]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3160E *timestamp: 160: Rimage POF* ファイルからエントリーを除去できません。[file_name]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3161I *timestamp: 161:* ラベル処理が開始されました。

説明: ラベル処理が開始されました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3162E *timestamp: 162:* ラベル処理が失敗しました。

説明: ラベル処理が失敗しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3163I *timestamp: 163:* ラベル処理が完了しました。

説明: ラベル処理が完了しました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3164W *timestamp: 163:* 文書が戻りませんでした。NQUERY [named_query]

説明: 名前付き照会が実行されましたが、一致する文書が見つかりませんでした。

ユーザーの処置: これが期待される結果であることを確認します。それ以外の場合は、名前付き照会が正しいことを確認します。

ARS3165E *timestamp: 164:* ラベル・マージ・ファイルを作成できません。[file_name] [rc]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3166E *timestamp: 165:* ユーザー指定のマージ・ファイルをオープンできません。[*file_name*]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3167I *timestamp: 165:* ラベル・テンプレート AVN [*file_name*] [*avn_file_name*]

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3169I *timestamp: 166:* ラベル・テンプレート ID ファイル [*file_id*] [*label*] [*merge_file*]

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3171I *timestamp: 167:* ラベル・テンプレート ID フィールドの内容 [*file_id*] [*lable*] [*merge_field_number*]
[*merge_field*]

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3173E *timestamp: 168:* ファイル内でクライアント・タイプを識別できません。[*type*]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3174E *timestamp: 169:* クライアント・ディレクトリーを置換できません。[*directory_name*]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3175E *timestamp: 170:* ディレクトリー内にクライアント・ファイルをインストールできません。
[*directory_name*]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3176E *timestamp: 171:* ファイルが存在しないか、アクセス不能です。[*file_name*]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3178I *timestamp: 173:* OnDemand 32 ビット・クライアント・ファイルをインストールしています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3179I *timestamp: 174:* サーバーの定義が除去されました。[server]

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3180E *timestamp: 175:* サーバー定義がデータ配布用ではありません。[server]

説明: データ配布用に構成されていないサーバーが指定されました。

ユーザーの処置: データ配布用にサーバー定義を更新して、コマンドを再実行依頼します。

ARS3182E *timestamp: 176:* サーバーに対して定義が作成または更新されていません。[server]

説明: サーバー定義が作成または更新されませんでした。このメッセージは、通常、権限に問題がある場合に表示されます。Windows では、ユーザーは Administrator である必要があります。UNIX システムでは、ユーザーに少なくとも ars.ini ファイルに対する読み取り/書き込み権限がなければなりません。

ユーザーの処置: 権限を確認して、コマンドを再実行依頼します。

ARS3183I *timestamp: 177:* サーバーに対してデータ配布定義が作成されました。[server]

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3184I *timestamp: 178:* ロードが開始されました。ファイル [name]

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3185E *timestamp: 179:* Rimage イメージ・サーバーのエラー [rc]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3186E *timestamp: 180:* Rimage プロダクション・サーバーのエラー [rc]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3300E *timestamp: 028:* IOF ファイルをクリーン処理できませんでした。[rc]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3301E *timestamp: 029:* POF ファイルをクリーン処理できませんでした。[rc]

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS3302I 使用法: `arsdd [options]`バージョン: *version*

- a <dir> インデクサーを実行するディレクトリー (デフォルト: ロード・ディレクトリー)
- c ステージング・ディレクトリーを消去してリセットします。
- d <dir> ロード・ディレクトリー (必須)
- e エラーの警告
- g <id> データ配分グループ ID
- h <server> OnDemand ライブラリー・サーバー名
- i <id> データ配分ファイル ID
- j <name> データ配分マシンのネットワーク名
- k ロードおよび状況ファイルを保持する
- l <dir> 制御ファイル・ディレクトリー (必須)
- m <n> メディアのセット数を *n* にする
- n <cp> データと索引のコード・ページ (デフォルト: 819)
- o 保管されているオプションを表示する
- p <password> OnDemand ライブラリー・サーバー・パスワード
- r <dir> イメージ・ディレクトリー (例 `e:¥rimage¥images¥`)
- s <server> OnDemand データ配分サーバー名 (必須)
- u <userid> OnDemand ライブラリー・サーバー・ユーザー ID
- v 詳細出力
- w 構成オプションを保管する
- x <[580]/[640]/[700]/[DVD]> メディア容量 (デフォルト: 640)
 - 580: = ~580 M バイト
 - 640: = ~640 M バイト
 - 700: = ~700 M バイト
 - DVD: = ~4300 M バイト
- y <file> Rimage イメージ・オーダー・ファイル名 (デフォルト: `ondemand.iof`)
- z <file> Rimage プロダクション・オーダー・ファイル名 (デフォルト: `ondemand.pof`)
- C <zipfile> (UNIX) インストール OnDemand クライアント・ファイル
- N 名前付き照会が文書を戻さない場合がある
- R (UNIX) OnDemand データ配分サーバー定義を除去する
- S <dir> (UNIX) データ配分ステージング・ディレクトリーを割り当てるか変更する
- Y <seconds> Rimage イメージ・オーダー・タイムアウト (デフォルト: 3600)
- Z <seconds> Rimage プロダクション・オーダー・タイムアウト (デフォルト: 3600)

説明: コマンドに対して誤ったパラメーターが指定されました。コマンドに対する有効なパラメーターはメッセージ内に示されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS3303I [*server*] の現在のオプション:ファイル・フォルダーの制御と定義 ... *folder_name*[-n] データと索引のコード・ページ..... *codepage*[-S] ステージング・ディレクトリー..... *directory_name*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3304I

ARS3304I [-a] インデクサー・ディレクトリー..... *index_directory*
 [-d] ロード・ディレクトリー..... *load_directory*
 [-l] ログ・ディレクトリー..... *log_directory*
 [-h] OnDemand ライブラリー・サーバー..... *server*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3305I [-u] OnDemand ライブラリー・サーバー・ユーザー ID..... *userid*
 [-p] OnDemand ライブラリー・サーバー・パスワード..... *password*
 [-x] メディア容量..... *~capacity* バイト
 [-j] ネットワーク名..... *network*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3306I [-r] Rimage イメージ・ディレクトリー..... *imaging_directory*
 Rimage ステージ・ファイル・ディレクトリー..... *staged_directory*
 Rimage オーダー・ファイル・ディレクトリー..... *order_directory*
 [-y] Rimage イメージ・オーダー・ファイル名..... *order_directory*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3307I [-Y] Rimage イメージ・オーダー・タイムアウト..... *image_timeout* 秒
 [-z] Rimage プロダクション・オーダー・ファイル名..... *file_name*
 [-Z] Rimage プロダクション・オーダー・タイムアウト..... *production_timeout seconds*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS3308E *timestamp: 030: コピーの失敗 ¥file_name¥ [rc1|rc2]*

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4010I 使用法: `arsdb [options] [table(s)]`

バージョン: *version*

-- OnDemand データベース構成ツール --
 デフォルトはすべての表

-c (DB2/MSSQL) データベースを作成する

-d 表をドロップする

-e 索引をドロップする

-f DB 障害を無視する

-g (DB2/MSSQL) データベースを開始する

-h (DB2/MSSQL) データベースを停止する

-i データをインポートする

-k (DB2) データベースを活動化する

-l (DB2) インポート/エクスポートで、IXF フォーマットを使用する
 (MSSQL) インポート/エクスポートで、ネイティブのフォーマットを使用する

-m (DB2/MSSQL) メンテナンス

-o <filename> 出力ファイル名

-r 構成索引を作成する

-s 統計を実行する

-t 構成表を作成する

-v 詳細

-x データのエクスポート

-y <device> (DB2) データベースをオフラインでデバイスにバックアップする
 (MSSQL) デバイスへの完全データベース・バックアップを行う

-z <device> (DB2) データベースをオンラインでデバイスにバックアップする
 (MSSQL) デバイスへの差分データベース・バックアップを行う

-I <od_inst> OnDemand インスタンス名

-X (DB2) -Y または -Z の場合、表スペース `USERSPACE1` をバックアップしない

-Y <device> (DB2) データベース表スペースをオフラインでデバイスにバックアップする

-Z <device> (DB2) データベース表スペースをオンラインでデバイスにバックアップする

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS4011E 予期しない割り込みのため、`database_engine database_name` データベースのアクションが失敗しました。

説明: ARSDB プログラムが失敗、または停止しました。このメッセージは、Ctrl+C を押すなどしてプログラムの実行が割り込まれた場合、またはデータベースがセッションをキャンセルした場合に表示されることが予想されます。OnDemand システム・ログ内のその他のメッセージは、データベース・エラーなどの外部の問題の原因判別に役立つ場合があります。データベースが提供するメッセージとコードの説明用に、OnDemand と一緒に使用しているデータベース・マネージャー製品の文書を参照する必要がある場合があります。

ユーザーの処置: コマンドがキーボードからキャンセルされた場合、アクションは必要ありません。それ以外の場合、直前のメッセージを参照して問題を判別します。必要に応じて、ご使用のデータベースの資料を参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4012E 環境を初期化できません。rc=returnCode

説明: プログラムの開始時に、エラーが発生しました。このメッセージは、通常、構成ファイルのパスまたは権限に問題がある場合、または構成ファイル内に無効なパラメーターがある場合に表示されます。

ユーザーの処置: インスタンスの所有者に少なくとも構成ファイル (`ars.ini`、`ars.cfg`、`ars.cache`、および `ars.dbfs`) 対

ARS4013E

する読み取り権限があることを確認します。構成ファイル内で使用されているすべてのパラメーターが有効であることを確認します。 `ars.ini` ファイル内の他の構成ファイルに対するパスが正しいことを確認します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4013E データベース・エンジンを判別できません。

説明: OnDemand データベース・エンジンのパラメーターが正しく指定されていないか、権限の問題があります。データベース・エンジンのパラメーターには 3 つの有効な値、DB2、ORACLE、および MSSQL があります。インスタンスの所有者には、少なくともデータベースに対する読み取り権限がなければなりません。

ユーザーの処置: OnDemand データベースの構成を訂正し、権限が正しいことを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4014E >dll_name< をロードできません。

説明: メッセージ中に示された動的ロード・ライブラリーのロード中に ARSDB プログラムが失敗しました。インスタンスの所有者には、少なくとも動的ロード・ライブラリーに対する読み取り実行権限がなければなりません。

ユーザーの処置: 動的ロード・ライブラリーが存在すること、およびファイルの権限が正しいことを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4015I database_engine database_name データベース・インスタンスを開始しています。

説明: ARSDB コマンドが正常にデータベースを開始しました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4016E database_engine database_name データベース・インスタンスを開始できません。

説明: メッセージ中に示された OnDemand のインスタンスのロード中に ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: `-v` (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報をを使用してインスタンスが開始されなかった理由を判別します。問題を訂正して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4017I database_engine database_name データベースを活動化しています。

説明: ARSDB コマンドが正常にデータベースを活動化しました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4018I database_engine database_name データベースを作成しています。

説明: ARSDB コマンドが OnDemand データベースを作成中です。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4019E database_engine database_name データベースを作成できません。

説明: データベースの作成中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: `-v` (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報をを使用してデータベースを作成できなかった理由を判別します。問題を訂正して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4020E データ・ソース database_engine を構成できません。

説明: データベースの構成中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: `-v` (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報をを使用してデータベースを構成できなかった理由を判別します。問題を訂正して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4021I *database_engine database_name* データベースをオンライン・バックアップしています。

説明: ARSDB コマンドが OnDemand データベースのオンライン・バックアップを実行しています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4022I *database_engine database_name* データベースをオフライン・バックアップしています。

説明: ARSDB コマンドは OnDemand データベースのオフライン・バックアップを実行しています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4023E *database_engine database_name* データベースに接続できません。

説明: データベースの接続を試行中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: **-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して ARSDB プログラムがデータベースに接続できなかった理由を判別します。問題を訂正して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4024I 本当にデータベース表および/または索引を削除しますか?

説明: ARSDB プログラムは、データベース表または索引を除去する前にプロンプトを表示します。

ユーザーの処置: データベース表または索引を除去するには、**y** (はい) を指定し、これらをそのままにしておく場合は、**n** (いいえ) を指定します。

ARS4025E 不明な表 *table_name*

説明: メッセージ中に示された表がシステムに定義されていません。

ユーザーの処置: 表の名前を確認して、コマンドを再実行依頼します。

ARS4026I 表 *table_name* を作成しています。

説明: ARSDB コマンドが OnDemand データベース内に表を作成しています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4027E 表 *table_name* を作成できません。

説明: メッセージ中に示された表の作成中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: **-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して ARSDB プログラムが表を作成できなかった理由を判別します。問題を訂正して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4028I 表 *table_name* にデフォルト値を挿入しています。

説明: ARSDB コマンドがデフォルト値で表を初期化しています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4029E

ARS4029E 表 *table_name* に値 (*values*) を挿入できません。

説明: メッセージ中に示されたデフォルト値をメッセージ中に示された表に挿入中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: **-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して ARSDB プログラムがデフォルト値を表に挿入できなかった理由を判別します。問題を訂正して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4030I 索引 *index_name* を除去しています。

説明: ARSDB コマンドがメッセージ中に示された索引を除去しています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4031E 索引 *index_name* を除去できません。

説明: メッセージ中に示された索引の除去中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: **-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して ARSDB プログラムが索引を除去できなかった理由を判別します。問題を訂正して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4032I 表 *table_name* を除去しています。

説明: ARSDB コマンドがメッセージ中に示された表を除去しています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4033E 表 *table_name* を除去できません。

説明: メッセージ中に示された表の除去中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: **-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して ARSDB プログラムが表を除去できなかった理由を判別します。問題を訂正して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4034I 索引 *index_name* を作成しています。

説明: ARSDB コマンドがメッセージ中に示された索引を作成しています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4035E 索引 *index_name* を作成できません。

説明: メッセージ中に示された索引の作成中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: **-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して ARSDB プログラムが索引を作成できなかった理由を判別します。問題を訂正して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4036I 表 *table_name* をエクスポートしています。

説明: ARSDB コマンドがメッセージ中に示された表をエクスポートしています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4037E 表 *table_name* をエクスポートできません。

説明: メッセージ中に示された表のエクスポート中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: **-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して ARSDB プログラムが表をエクスポートできなかった理由を判別します。問題を訂正して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4038I 表 *table_name* をインポートしています。

説明: ARSDB コマンドがメッセージ中に示された表をインポートしています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4039E 表 *table_name* をインポートできません。

説明: メッセージ中に示された表のインポート中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: **-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して ARSDB プログラムが表をインポートできなかった理由を判別します。問題を訂正して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4040I 表 *table_name* を再編成しています。

説明: ARSDB コマンドがメッセージ中に示された表を再編成しています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4041E 表 *table_name* を再編成できません。

説明: メッセージ中に示された表の再編成中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: **-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して ARSDB プログラムが表を再編成できなかった理由を判別します。問題を訂正して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4042I 表 *table_name* に対する **runstat** 統計を更新しています。

説明: ARSDB コマンドがメッセージ中に示された表に対する統計を更新しています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4043E 表 *table_name* の **runstat** 統計を更新できません。

説明: メッセージ中に示された表の統計の更新中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: **-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して ARSDB プログラムが表の統計を更新できなかった理由を判別します。問題を訂正して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4044I

ARS4044I *database_engine database_name* インスタンスを停止しています。

説明: ARSDB コマンドがデータベースを停止しています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4045E *database_engine database_name* データベースの作業をコミットできません。

説明: トランザクションのコミット中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: **-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して ARSDB プログラムがトランザクションをコミットできなかった理由を判別します。問題を訂正して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4046E *database_engine database_name* データベース接続を終了できません。

説明: データベースからの切断中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: **-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して ARSDB プログラムがデータベースから切断できなかった理由を判別します。問題を訂正して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4047E *database_engine database_name* データベースをロールバックできません。

説明: トランザクションのロールバック中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: **-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して ARSDB プログラムがトランザクションをロールバックできなかった理由を判別します。問題を訂正して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4048I *database_engine database_name* の表スペース *tablespace_name* を *timestamp* にバックアップしていません。

説明: 示された時刻に ARSDB コマンドが、メッセージ中に示された OnDemand 表スペースのバックアップを開始しました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4049E *database_engine database_name* の表スペースを *tablespace_name* にバックアップできません。
rc=returnCode

説明: メッセージ中に示された表スペースのバックアップ中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: **-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して ARSDB プログラムが表スペースをバックアップできなかった理由を判別します。問題を訂正して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4051I *database_engine database_name* データベースを *timestamp* にバックアップしています。

説明: 示された時刻に ARSDB コマンドが、メッセージ中に示された OnDemand データベースのバックアップを開始しました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4052E *database_engine database_name* データベースを *directory_name* にバックアップできません。
rc=returnCode

説明: データベースのバックアップ中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: -v (冗長) オプションを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して問題を訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4053I *database_engine database_name* データベースが非活動化されました。データベースを活動化するには、-k を使用してください。

説明: データベースは正常に非活動化されました。

ユーザーの処置: データベースを活動化するには、-k パラメーターを指定して、ARSDB プログラムを実行依頼します。

ARS4054E **DB エラー:** *text* -- **SQLSTATE=sqlstate, SQLCODE=sqlcode**

説明: データベースが障害を起しました。メッセージ内の情報はデータベースにより提供されます。

ユーザーの処置: データベースのエラーおよび SQL 戻りコードについての詳細は、OnDemand と一緒に使用しているデータベース・マネージャー製品のメッセージとコードに関する資料を参照してください。

ARS4055E データベース *database_name* を活動化できません。SQLCODE = *sqlcode*

説明: データベースの活動化中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: -v (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して問題を訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4056E *database_engine* では、データベースの活動化はサポートされていません。

説明: ARSDB プログラムはデータベースの活動化に使用できません。

ユーザーの処置: データベースを活動化するには、OnDemand と一緒に使用しているデータベース・マネージャー製品に用意されている活動化機能を使用します。

ARS4057I バックアップ・イメージに対するタイム・スタンプは、*timestamp* です。

説明: ARSDB コマンドがデータベースのバックアップを完了しました。バックアップはメッセージ中に示されたタイム・スタンプでマークされました。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4058E データベース *database_name* をバックアップできません。err=*err*

説明: メッセージ中に示されたデータベースのバックアップ中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: -v (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して問題を訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4059E *database_engine* では、データベースのバックアップはサポートされていません。

説明: ARSDB プログラムはデータベースのバックアップに使用できません。

ユーザーの処置: データベースをバックアップするには、OnDemand と一緒に使用しているデータベース・マネージャー製品に用意されているバックアップ機能を使用します。

ARS4060E

ARS4060E *database_engine* では、データベース・ログのクリーン処理はサポートされていません。

説明: ARSDB プログラムはデータベース・ログのクリーン処理に使用できません。

ユーザーの処置: データベースのログをクリーン処理するには、OnDemand と一緒に使用しているデータベース・マネージャー製品に用意されているログ機能を使用します。

ARS4061E 言語 '*language*' を使用して OnDemand データベースを作成することができません。

説明: データベースの作成中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: 言語指定を確認および訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4062I ロケール '*locale*' およびコード・セット '*codeset*' の使用しています。

説明: ARSDB コマンドが、メッセージ中に示されたロケールおよびコード・セットを使用して OnDemand データベースを作成しています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4063E '*directory_name*' ディレクトリは存在しません。

説明: ARSDB プログラムがメッセージ中に示されたディレクトリを見つけることができませんでした。データベースの所有者には、ディレクトリに対する読み取り/書き込み/実行権限が必要です。

ユーザーの処置: ディレクトリを作成して、データベース・ディレクトリに対するディレクトリ権限を設定します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4064E *database_name* データベースは既に存在しています。

説明: メッセージ中に示されたデータベースは既に存在しています。

ユーザーの処置: メッセージ中に示されたデータベースが固有であること、および存在していないことを確認して、コマンドを再実行依頼します。

ARS4065E データベース名 '*database_name*' が無効です。

説明: データベースに対して指定された名前は誤っているか、データベースでサポートされていません。名前が長すぎるか、無効文字が含まれている可能性があります。

ユーザーの処置: 命名上の制約については、ご使用のデータベースの資料を参照してください。次に、有効なデータベース名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS4066E コード・ページ '*codepage*' または国別コード '*country_code*' が無効です。

説明: コード・ページまたは国別コードが誤っているか、データベースでサポートされていないため、データベースの作成中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: コード・ページまたは国別コードがデータベースでサポートされていること、および正しいものであることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4067E *database_name* データベースを作成できません。err=err

説明: データベースの作成中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: -v (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して問題を訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4068I *database_name* データベース構成を更新しています。

説明: ARSDB コマンドが OnDemand データベースのデータベース・パラメーターを構成しています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4069E ログへの新規のパスが無効です。

説明: データベースのログ・ファイルに対するパス名が無効な名前です。パスは絶対パスとして指定される必要があり、データベースの所有者には、ディレクトリー上での読み取り/書き込み/実行権限がなければなりません。

ユーザーの処置: 権限およびパスを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4070E *database_name* データベースの構成を更新できません。SQLCODE = *sqlcode*

説明: データベース構成の更新中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: -v (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報をを使用して問題を訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4071I 更新が有効になるように *database_name* データベースをバックアップしています。

説明: ARSDB コマンドが、更新されたパラメーターを保管するため、新規に作成されたデータベースをバックアップしています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4072E *database_engine* では、データベースの作成はサポートされていません。

説明: ARSDB プログラムはデータベースの作成に使用できません。

ユーザーの処置: データベースを作成するには、OnDemand と一緒に使用しているデータベース・マネージャー製品に用意されている作成機能を使用します。

ARS4073I データベース *database_name* を非活動化しています。

説明: ARSDB コマンドが、バックアップの準備のため OnDemand データベースを非活動化しています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4074E DB2 インスタンスが開始されていません。

説明: DB2 インスタンスが開始されなかったため、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: DB2 インスタンスを開始して、コマンドを再実行依頼します。

ARS4075W *database_name* データベースが活動化されませんでした。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4076E データベース *database_name* を非活動化できません。SQLCODE = *sqlcode*

説明: データベースの非活動化中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: -v (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報をを使用し

ARS4077E

て問題を訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4077E *database_engine* では、データベースの非活動化はサポートされていません。

説明: ARSDB プログラムはデータベースの非活動化に使用できません。

ユーザーの処置: データベースを非活動化するには、OnDemand と一緒に使用しているデータベース・マネージャー製品に用意されている非活動化機能を使用します。

ARS4078I *database_instance* インスタンスは既に開始されています。

説明: データベースのインスタンスは既に開始されています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4079E データベース *database_name* を開始できません。SQLCODE = *sqlcode*

説明: データベースの開始中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: -v (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して問題を訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4080E *database_engine* では、データベースの開始はサポートされていません。

説明: ARSDB プログラムはデータベースの開始に使用できません。

ユーザーの処置: データベースを開始するには、OnDemand と一緒に使用しているデータベース・マネージャー製品に用意されている開始機能を使用します。

ARS4081E データベース *database_name* を非活動化できません。

説明: データベースの非活動化中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: -v (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して問題を訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4082E *database_engine* を停止できません。SQLCODE = *sqlcode*

説明: データベースの停止中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: -v (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して問題を訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4083E *database_engine* では、データベースの停止はサポートされていません。

説明: ARSDB プログラムはデータベースの停止に使用できません。

ユーザーの処置: データベースを停止するには、OnDemand と一緒に使用しているデータベース・マネージャー製品に用意されている停止機能を使用します。

ARS4084E 表 *table_name* をエクスポートできません。err=*err*

説明: 表のエクスポート中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: **-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報をを使用して問題を訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4085E *database_engine* では、エクスポートはサポートされていません。

説明: ARSDB プログラムは表のエクスポートに使用できません。

ユーザーの処置: 表をエクスポートするには、OnDemand と一緒に使用しているデータベース・マネージャー製品に用意されているエクスポート機能を使用します。

ARS4086E 表 *table_name* をインポートできません。err=*err*

説明: 表のインポート中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: **-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報をを使用して問題を訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4087E *database_engine* では、インポートはサポートされていません。

説明: ARSDB プログラムは表のインポートに使用できません。

ユーザーの処置: 表をインポートするには、OnDemand と一緒に使用しているデータベース・マネージャー製品に用意されているインポート機能を使用します。

ARS4088E 表 *table_name* を再編成できません。SQLCODE = *sqlcode*

説明: 表の再編成中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: **-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報をを使用して問題を訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4089E *database_engine* では、再編成はサポートされていません。

説明: ARSDB プログラムはデータベースの再編成に使用できません。

ユーザーの処置: データベースを再編成するには、OnDemand と一緒に使用しているデータベース・マネージャー製品に用意されている再編成機能を使用します。

ARS4090E 表 *table_name* で **runstat** を実行できません。err=*err*

説明: 表の統計の更新中に、ARSDB プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: **-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報をを使用して問題を訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4091E *database_engine* では、**runstat** はサポートされていません。

説明: ARSDB プログラムはデータベース統計の実行に使用できません。

ユーザーの処置: データベース統計を実行するには、OnDemand と一緒に使用しているデータベース・マネージャー製品に用意されている統計機能を使用します。

ARS4092E

ARS4092E *database_name* データベースは非活動化されましたが、1 つ以上のノードへの接続がまだ存在していません。

説明: 1 つのノードのみが非活動化にされましたが、複数のノードが存在しています。

ユーザーの処置: 先に進む前にすべてのノードが非活動化されていることを確認します。

ARS4093E **CoCreateInstance** バルク・コピー・オブジェクトが失敗しました。

説明: ARSDB コマンドが、インポートおよびエクスポートに使用されるバルク・コピー・オブジェクトを作成できませんでした。データベースからの関連するメッセージがあります。このメッセージは SQL サーバーにのみ表示されません。

ユーザーの処置: イベント・ログまたは SQL サーバー・ログを検査して、エラーの理由を判別します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4094E データベースに接続できません。

説明: ARSDB コマンドが指定された OnDemand データベースに接続できませんでした。OnDemand システム・ログ内にデータベース関連メッセージがある場合があります。

ユーザーの処置: データベースの名前を確認します。関連するメッセージについては、OnDemand システム・ログを調べてください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4095E **MSSQL** に対する **filegroup** バックアップは **Database Maintenance Planner** を使用して実行する必要があります。

説明: ARSDB プログラムは SQL サーバーの **filegroup** バックアップの実行に使用できません。

ユーザーの処置: SQL サーバー内の **Database Maintenance Planner** を使用して **filegroup** バックアップを実行します。

ARS4096E **MSSQL** の差分バックアップは **Database Maintenance Planner** を使用して実行する必要があります。

説明: ARSDB プログラムは SQL サーバーの差分バックアップの実行に使用できません。

ユーザーの処置: SQL サーバー内の **Database Maintenance Planner** を使用して差分バックアップを実行します。

ARS4097E **CoCreate** のインスタンスが失敗しました。

説明: ARSDB コマンドは Microsoft COM 環境をセットアップできません。Microsoft SQL Server がインストールされていないか、正しくインストールされていない可能性があります。

ユーザーの処置: Microsoft SQL Server がインストール済みであり、作動可能であることを確認します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4098E **CoInitialize** が失敗しました。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4099E *database_name* データベース・ファイルを作成しています。

説明: ARSDB コマンドが SQL サーバーに対するデータベース・ファイルを作成しています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4100E データベース DBFile *db_file_name* を追加できませんでした。HRESULT=*hresult*

説明: ARSDB コマンドが SQL サーバーに対する OnDemand データベース・ファイルを作成できませんでした。

ユーザーの処置: データベースのエラーについての詳細は、ご使用のバージョンの Microsoft SQL Server のメッセージとコードに関する資料を参照してください。

ARS4101E GetFileGroup インスタンスが失敗しました。rc

説明: ARSDB コマンドが指定されたインスタンスに対するデータベース・ファイル・グループ情報を取得できませんでした。

ユーザーの処置: データベースのエラーについての詳細は、OnDemand と一緒に使用しているデータベース・マネージャ製品のメッセージとコードに関する資料を参照してください。

ARS4102E *database_name* トランザクション・ログ・ファイルを作成しています。

説明: ARSDB コマンドが SQL サーバーに対する OnDemand 用のトランザクション・ログ・ファイルを作成しています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4103E データベース・ログ・ファイルを追加できませんでした。HRESULT=*hresult*

説明: ARSDB コマンドが OnDemand データベースに対するトランザクション・ログを作成できませんでした。

ユーザーの処置: データベースのエラーについての詳細は、OnDemand と一緒に使用しているデータベース・マネージャ製品のメッセージとコードに関する資料を参照してください。

ARS4104E Get トランザクション・ログのインスタンスが失敗しました。

説明: ARSDB コマンドが SQL サーバーに対するトランザクション・ログについての情報を取得できませんでした。ログが正常に作成されなかった可能性があります。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4105I 言語 *language* を指定した *database_name* データベースを作成しています。

説明: ARSDB コマンドが、指定された言語を使用して OnDemand データベースを作成しています。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4106I *database_name* サーバー・ログインを作成しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4107W 警告: サーバー・ログインは既に存在しています。

説明: サーバー・ログインは既に存在しており、既存のログインでコマンドは続きます。

ユーザーの処置: 追加のアクションは不要です。

ARS4108E サーバー・ログインを作成できませんでした。HRESULT=*hresult*

説明: データベースが障害を起しました。HRESULT は Microsoft SQL Server により提供されるエラー・コードです。

ARS4109E

ユーザーの処置: データベースのエラーについての詳細は、ご使用のバージョンの Microsoft SQL Server のメッセージとコードに関する資料を参照してください。

ARS4109E データベース・ユーザーを作成できませんでした。HRESULT=*hresult*

説明: データベースが障害を起しました。HRESULT は Microsoft SQL Server により提供されるエラー・コードです。

ユーザーの処置: データベースのエラーについての詳細は、ご使用のバージョンの Microsoft SQL Server のメッセージとコードに関する資料を参照してください。

ARS4110E 言語を *language* に設定できません。HRESULT=*hresult*

説明: データベースが障害を起しました。HRESULT は Microsoft SQL Server により提供されるエラー・コードです。

ユーザーの処置: データベースのエラーについての詳細は、ご使用のバージョンの Microsoft SQL Server のメッセージとコードに関する資料を参照してください。

ARS4111E 接続が失敗しました。HRESULT=*hresult*

説明: データベースが障害を起しました。HRESULT は Microsoft SQL Server により提供されるエラー・コードです。

ユーザーの処置: データベースのエラーについての詳細は、ご使用のバージョンの Microsoft SQL Server のメッセージとコードに関する資料を参照してください。

ARS4112E *database_name* を開始できません。HRESULT=*hresult*

説明: データベースが障害を起しました。HRESULT は Microsoft SQL Server により提供されるエラー・コードです。

ユーザーの処置: データベースのエラーについての詳細は、ご使用のバージョンの Microsoft SQL Server のメッセージとコードに関する資料を参照してください。

ARS4113W *database_name* は既に開始されています。

説明: データベースが既に開始されているため、データベースの開始パラメーターを指定する必要はありません。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4114E *database_name* を停止できません。HRESULT=*hresult*

説明: データベースが障害を起しました。HRESULT は Microsoft SQL Server により提供されるエラー・コードです。

ユーザーの処置: データベースのエラーについての詳細は、ご使用のバージョンの Microsoft SQL Server のメッセージとコードに関する資料を参照してください。

ARS4115I エクスポートされた行数 = *rows_exported*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4116I インポートされた行数 = *rows_imported*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4117E 表 *table_name* が存在しません。HRESULT=*hresult*

説明: メッセージ中に示された表名は存在しません。

ユーザーの処置: データベースのエラーについての詳細は、OnDemand と一緒に使用しているデータベース・マネージャー製品のメッセージとコードに関する資料を参照してください。

ARS4118E ライブラリー *database_name* に対する *action* が失敗し、例外が出されました。rc

説明: データベースが障害を起しました。

ユーザーの処置: データベースのエラーについての詳細は、OnDemand と一緒に使用しているデータベース・マネージャー製品のメッセージとコードに関する資料を参照してください。

ARS4119I Creating links for the following file:

file_name

Do you wish to use DISK(1) or ADSM(2)?

Please specify 1 or 2:

説明: ARSDB プログラムはプロンプトを発行して、アーカイブ・ログ・ファイル・ユーザー出口のタイプを指定します。

ユーザーの処置: ディスク上にログ・ファイルを保守するには、**1** を指定します。Tivoli Storage Manager を使用してログ・ファイルを保守するには、**2** を指定します。

ARS4120E SET RULES=STD が失敗しました。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4200E 予期しない割り込みのため、*system_folder* 情報の作成が失敗しました。

説明: ARSSYSCR プログラムが失敗、またはキャンセルされました。このメッセージは、Ctrl+C を押すなどしてプログラムの実行が割り込まれた場合に表示されることが予想されます。

ユーザーの処置: コマンドがキーボードからキャンセルされた場合、アクションは必要ありません。それ以外の場合、直前のメッセージを参照して問題を判別し、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4201I *fid = fid* のフォルダーを削除しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4202I フォルダー/*fid = fid* に関連する名前付き照会 (存在する場合) を削除しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4203I

ARS4203I `agid = agid` のアプリケーション・グループを削除しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4204I `owner.table_name` の更新では更新されない場合があります。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4206I `owner.table_name` を更新しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4207I `Storage Set Id = sid` の `owner.table_name` へ追加しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4208I `owner.table_name` へ追加しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4209I `system_folder` 情報の作成が正常に実行されました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4210E `system_folder` 情報の作成が失敗しました。

説明: システム定義の作成中に、ARSSYSCR プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: ARSSYSCR プログラムにより生成されたその他のメッセージを参照して、問題の原因を判別します。コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4211E `OnDemand system_folder` の作成中に失敗しました。

説明: システム定義の作成中に、ARSSYSCR プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: ARSSYSCR プログラムにより生成されたその他のメッセージを参照して、問題の原因を判別します。コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4212I 使用法: arssyscr [-I <od_inst>] [-l | -m | -p]

バージョン: *version*
 -l システム・ログ
 -m システム移行
 -o <filename> 出力ファイル名
 -p OnDemand 資料
 -I <od_inst> OnDemand インスタンス名

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS4300I 使用法: arslod [options] [load_file]

バージョン: *version*
 -a <appl> アプリケーション・グループ内のアプリケーション
 デフォルトはファイル名規則
 -A <field> OnDemand アプリケーションで使用する MVS ファイル名コンポーネント
 -c <idx_dir> インデクサーを実行するディレクトリー
 デフォルトは現行ディレクトリー
 -C <class> OD/390 モニターする JES クラス
 -d <dl_dir> ダウンロード・ディレクトリー
 2 度以上指定できる
 -E ARS.RSADUPDT 論理出口ポイントに関連付けられた出口を呼び出す
 -f ロードが失敗すると、データをアンロードする
 -F <form> OD/390 モニターする JES フォーム
 -g <appl_grp> アプリケーション・グループ
 デフォルトはファイル名規則
 -G <field> OnDemand アプリケーション・グループで使用する MVS ファイル名コンポーネント
 (OD/390) WRITER.MVS.JOBNAME.DATASET.FORMS
 -あるいは-
 MVS.JOBNAME.DATASET.FORMS
 (それ以外の場合) MVS.JOBNAME.DATASET.FORMS
 デフォルトは FORMS
 -h <od_inst> OnDemand ライブラリー・サーバーまたはインスタンス名 (-I と同様)
 -i インデクサーだけを実行する
 -I <od_inst> OnDemand ライブラリー・サーバーまたはインスタンス名 (-h と同様)
 -j <parm_file> その他の索引付けパラメーター
 -n ファイルを除去しない
 -p <passwd> パスワード
 -s <input>
 (OD/390) 入力として使用する JCL DD 名 (すなわち INPUT)
 -t <seconds> スリープまでの時間間隔
 デフォルトは *seconds* 秒
 -u <userid> ユーザー ID
 -U <file> デフォルトのユーザー ID/パスワードを検索するファイル
 デフォルトは *file_name*
 -v 詳細
 -W <writer> (OD/390) モニターする JES 書き込みプログラム
 -Z <user_def> ユーザー出口をロードするために渡されたユーザー定義済みストリング

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ARS4302I

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS4302I *timestamp* -- 索引付けの開始、*bytes* バイトを処理

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4303I --索引付けのみ--

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4304W ---->残りのインデクサー・メッセージは無視しています。<----

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4305E 汎用インデクサーでは、データが既に索引付けされている必要があります。データに索引を付けるか、入力ファイルを確認して、ジョブを再実行依頼します。

説明: ARSLOAD プログラムにより、OnDemand 汎用インデクサーの使用が試行されました。しかし、索引ファイルが存在しないか、索引ファイル内の索引付けレコードが汎用インデクサーに対して無効です。

ユーザーの処置: 索引ファイル内の索引付けレコードが汎用インデクサーに対して有効であることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。汎用インデクサーについての詳細は、「索引付けリファレンス」を参照してください。

ARS4306E 不明なインデクサー >*indexer*<

説明: アプリケーションに対して指定されたインデクサーは有効な索引付けプログラムではありません。

ユーザーの処置: データの形式が、定義済みインデクサーに適した形式になっていることを確認するか、OnDemand 管理クライアント内のアプリケーションに別のインデクサーを指定します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4307E 出力/インデクサー・ファイルが作成されませんでした。

説明: 索引付けプログラムが出力ファイルまたは索引ファイルを作成しませんでした。

ユーザーの処置: 索引付けパラメーターを確認および訂正して、コマンドを再実行依頼します。

ARS4308I *timestamp* 索引付けが完了しました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4309E *timestamp* 索引付けが失敗しました。

説明: 索引付けプログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: 索引付けパラメーターを確認および訂正して、次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4310I *timestamp* ロードが完了しました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4311E *timestamp* ロードが失敗しました。

説明: ARSLOAD プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: **-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して問題を訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4312I *timestamp --* ロードの開始、*bytes* バイトを処理

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4313E ファイル *>file_name<* に対する DB ファイル *>db_file_name<* 上でポストプロセッサ・コマンド *>command<* が失敗しました。

説明: メッセージ中に示されたポストプロセッサ・コマンドの実行中に、ARSLOAD プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドの絶対パス名を確認します。 OnDemand 環境の外部でコマンドが正常に実行されることを確認します。次に、**-v** (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報を使用して問題を訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4314E アプリケーション・グループが判別できないため、ファイル *>file_name<* を処理できません。

説明: ロードするアプリケーション・グループの名前が指定されなかったか、入力ファイル名から取得できなかったため、ARSLOAD プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: アプリケーション・グループの名前を指定してコマンドを再実行依頼するか、アプリケーション・グループの名前を含む入力ファイルの名前を確認してコマンドを再実行依頼します。 ARSLOAD プログラムが入力ファイル名からアプリケーション・グループの名前を取得する方法についての詳細は、「管理ガイド」を参照してください。

ARS4315I ファイル *>file_name<* を処理しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4316E 処理対象のファイル *>file_name<* が見つかりません。

説明: ARSLOAD プログラムがメッセージ中に示されたファイルを検出できませんでした。汎用インデクサーを使用している場合、索引内のデータ・ファイルに対するパスが誤っている可能性があります。その他のインデクサーとは異なり、汎用インデクサーは索引内で参照されるデータ・ファイルへの絶対パスの使用を必要とします。

ユーザーの処置: ファイルが存在すること、およびユーザーに少なくともそのファイルおよびディレクトリーに対する読み取り権限があることを確認します。パスが相対パスではなく絶対パスとして指定されていることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4317I

ARS4317I ファイル >file_name< の処理が成功しました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4318E ファイル >file_name< の処理に失敗しました。

説明: メッセージ中に示されたファイルを処理中に ARSLOAD プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: -v (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報をを使用して問題を訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4319W データのアンロードが実行「されません」でした。

説明: ARSLOAD プログラムが失敗しました。しかし、ARSLOAD プログラムはデータをアンロードしませんでした。

ユーザーの処置: UNLOAD 関数を指定して ARSADMIN プログラムを実行依頼することによりデータをアンロードするか、ARSLOAD プログラムを実行依頼するときにアンロード・パラメーターを使用します。

ARS4320I timestamp -- アンロードが開始されました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4321I timestamp -- データのアンロードが正常に実行されました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4322E timestamp -- データのアンロードに失敗しました。

説明: データのアンロード中に、ARSLOAD プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: -v (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報をを使用して問題を訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4323E ロード情報をログに記録できません。

説明: ロード情報のログを取得中に、ARSLOAD プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: -v (冗長) パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。追加メッセージの情報をを使用して問題を訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4324E ファイル >file_name< が file_name.Failed< に名前変更されました。問題を訂正して、ファイルを再実行依頼してください。

説明: ARSLOAD プログラムが失敗し、メッセージ中に示されたファイルを名前変更しました。

ユーザーの処置: ARSLOAD プログラムにより生成されたその他のメッセージも参照します。すべての問題を訂正して、コマンドを再実行依頼します。

ARS4325E このコマンドがデーモンとして実行されている場合は、**-n** オプションを使用しないでください。このオプションを使用するとファイルが再帰的にロードされます。

説明: ARSLOAD プログラムをデーモンとして開始しようとしたが、**-n** パラメーターが指定されていました。ARSLOAD プログラムをデーモンとして実行する場合には、**-n** パラメーターは無効です。ARSLOAD パラメーターの完全なリストについては、「管理ガイド」を参照してください。

ユーザーの処置: **-n** パラメーターを指定しないで、コマンドを再実行依頼します。

ARS4326E サーバーに接続してログ ID を確立できませんでした。

説明: ログ ID の取得中に、ARSLOAD プログラムが失敗しました。

ユーザーの処置: データをロードするサーバーが実行中であることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4327E 処理が停止しました。残りのファイルは処理「されません」。

説明: ファイルのロード中に ARSLOAD プログラムが失敗しました。いくつかのファイルがロードされなかった可能性があります。再度実行依頼する必要があります。デーモンを使用してファイルを処理した場合、失敗したファイルのファイル名に `.failed` が付加されます。

ユーザーの処置: ARSLOAD プログラムにより生成されたメッセージを参照してください。ARSLOAD プログラムを再実行依頼して、ロードされなかったファイルをロードします。

ARS4328E ARSSAPIR が失敗しました: `rc = rc sapi_rc(sapi_rsn)`

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4329E SVC 99 がファイル `file_name` に対して失敗しました: `S99ERROR = error`, `S99INFO = info`

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4400I 使用法: `arsview [-c] [-l] [-w] [-h] [-o] [-r] [-f] [-t] inputfile`

バージョン: `version`

-c <chars> 1 インチ当りの文字数 (水平方向) (デフォルト: 18)

-l <lines> 1 インチ当りの行数 (垂直方向) (デフォルト: 12)

-w <inches> ページ幅 (デフォルト: 8.5)

-h <inches> ページ高さ (デフォルト: 11.0)

-o <rot> ページ方向 (0 | 90 | 180 | 270)

-r <file> リソース・グループ・ファイル

-f <dir> フォント・ディレクトリー

-t <file> トレース・ファイル

-x 罫線/線の抑止

-y 文字スペースのリセット

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS4401E

ARS4401E 入力ファイル - *file_name* のオープン・エラー

説明: メッセージ中に示されたファイルのオープン中に、ARSVIEW プログラムが失敗しました。ユーザーには少なくともファイルの読み取り権限がなければなりません。

ユーザーの処置: ファイルが存在することを確認し、ファイルの名前を確認します。ファイルの権限を確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4500I 使用法: `arsdate [-al-il-t] [-d] [-f] [-g] [-h] [-m] [-n] [-s] [-y] (value | number)`

バージョン: *version*

-a	内部日付形式を保存する。(デフォルト)
-d <days>	追加する日
-f <fmt>	値または番号の形式ストリング
-g	今日の日付を取得する
-h <hours>	追加する時
-i	内部日付形式 (TZ なし) を保存する
-m <months>	追加する月
-n <mins>	追加する分
-s <secs>	追加する秒
-t	内部時刻形式を保存する
-y <years>	追加する年
-z	内部日付/時刻形式 (TZ 付き) を保存する

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS4501I 本日: *timestamp*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4502E 失敗しました。

説明: ARSDATE プログラムが要求された日付変換を実行できませんでした。有効な日付形式は、「管理ガイド」にリストされています。

ユーザーの処置: 日付の値または日付と時刻の値が正しいことを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4600I 使用法: `arsadm [user | group | printer | set]`

バージョン: *version*

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS4601I 使用法: `arsdoc [get | query | add | update | delete | print]`

バージョン: *version*

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS4602E 不明なコマンド >command<

説明: メッセージ中に示されたコマンドを実行できません。ユーザーには少なくともファイルに対する読み取り/実行権限がなければなりません。

ユーザーの処置: コマンドが存在すること、およびファイルの権限が正しいことを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4700I OnDemand のコマンド・プロンプト

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4701E 不明な実行コマンド

説明: OnDemand がコマンドを認識しません。

ユーザーの処置: コマンドの構文を確認し、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4702E コマンド >command< の状況を取得できません。errno=errno

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。

ユーザーの処置: OnDemand インストール・ディレクトリーでメッセージ中に示されたコマンドを検査します。OnDemand が正しくインストールされていることを確認します。詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4703E コマンド >command< を実行できません。errno=errno

説明: OnDemand サーバーがメッセージ中に示されたコマンドを実行できませんでした。 *errno* 値で追加情報が提供される場合があります。この値の説明は、UNIX システムでは /usr/include/sys/errno.h、z/OS および OS/390 システムでは /usr/include/errno.h、i5/OS および OS/400 システムでは /QIBM/include/errno.h にあります。ユーザーには少なくともコマンドに対する読み取り/実行権限がある必要があります。

ユーザーの処置: コマンドが存在することを確認し、ファイルの権限を検査します。次に、コマンドを再実行依頼します。詳細については *errno.h* ファイルを参照してください。

ARS4800I 受信された索引データ >text<

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4801I 戻された索引データ >text<

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4802I すべての索引データが戻されました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4804I

ARS4804I 受信したバイト数 = 'num_bytes'、hex 値 = 'hex_value'

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4805I 受信したバイト数 = 'num_bytes'、hex 値 = 'hex_value'

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4806I arscmnst を初期化しています。バージョン: version

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4807E UTF-8 文字ストリング char_string を UTF-16 文字ストリングに変換できません。

説明: UTF-8 文字ストリングの変換の試行中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4808E UTF-16 文字ストリング char_string を UTF-8 文字ストリングに変換できません。

説明: UTF-16 文字ストリングの変換の試行中にコマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4900I 使用法: arspdoc [parmdd filename]

バージョン: version

座標: メトリック (X と Y の単位は、次で指定される)

インチ | センチメートル | ミリメートル

Fontlib: フォント・ディレクトリー

Inputdd: 入力ファイル名

Msgdd: メッセージ・ファイル名 - デフォルトは、STDOUT です。

Outputdd: 出力ファイル名のパターン

TraceDD: トレース・ファイル - デフォルトは、STDERR です。

トレース: トレースの対象 - デフォルトはオフです。

API | WORDS | FCNS | INDEX | ALL

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS4901I parameter

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4902I 入力ページの数 = pages

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4903E *keyword* キーワードには非数値 ID が含まれています。

説明: メッセージ中に示されたキーワードの ID は 1 から 16 の数 (TRIGGER パラメーター) または 1 から 32 の数 (INDEX または FIELD パラメーター) でなければなりません。

ユーザーの処置: ID を訂正して、コマンドを再実行依頼します。

ARS4904E *bytes* バイトのメモリー割り振りエラー

説明: PDF インデクサーは要求された量のメモリーを割り振ることができませんでした。

ユーザーの処置: システムの負荷を減らすか、PDF インデクサーが使用可能なメモリーの量を増やして、コマンドを再実行依頼します。

ARS4905E *parameter* パラメーターの構文に誤りがあります。

説明: TRIGGER、FIELD、または INDEX パラメーターの構文が正しくありません。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し、コマンドを再実行依頼します。

ARS4906E 不明なパラメーター: *parameter*

説明: 指定されたストリングは無効な PDF インデクサー・パラメーターです。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し、コマンドを再実行依頼します。

ARS4907E 索引ファイル定義が間違っています。

説明: INDEXDD ファイル定義パラメーターに対して指定されたファイルを作成できません。ユーザーにはディレクトリーに対する読み取り/書き込み権限がなければなりません。ファイルが存在しない場合は作成されます。ファイルが存在する場合は置き換えられます。

ユーザーの処置: ファイル名およびパラメーター・ファイル内のパスが正しいことを確認します。ディレクトリーが存在すること、および権限が正しいことを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4908E 入力ファイル定義が間違っています。

説明: INPUTDD ファイル定義パラメーターに対して指定されたファイルを読み取れません。ユーザーにはディレクトリーおよびファイルに対する読み取り権限がなければなりません。

ユーザーの処置: ファイル名およびパラメーター・ファイル内のパスが正しいことを確認します。ディレクトリーおよびファイルが存在すること、および権限が正しいことを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4909E 出力ファイル定義が間違っています。

説明: OUTPUTDD ファイル定義パラメーターに対して指定されたファイルを作成できません。ユーザーにはディレクトリーに対する読み取り/書き込み権限がなければなりません。ファイルが存在しない場合は作成されます。ファイルが存在する場合は置き換えられます。

ユーザーの処置: ファイル名およびパラメーター・ファイル内のパスが正しいことを確認します。ディレクトリーが存在すること、および権限が正しいことを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4910E 不完全な索引付けパラメーターが指定されました。

説明: 現在の索引付けパラメーターのセットでは PDF インデクサーは索引データを作成できません。TRIGGER パラメーター内に構文エラーが存在する可能性があります。パラメーター・ファイルが存在する必要があり、このファイルには少なくとも 1 セットの TRIGGER、FIELD、および INDEX パラメーターが含まれている必要があります。索引付け参照はサンプルのパラメーター・ファイルを提供します。

ARS4911E

ユーザーの処置: パラメーターを訂正して、コマンドを再実行依頼します。

ARS4911E 索引ファイル *file_name* のオープン・エラー

説明: 指定されたファイルが存在しないか、ファイル権限にこのファイルのオープン権限がありません。

ユーザーの処置: ファイルが存在することおよびファイルをオープンできる権限があることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4912E 入力ファイル *file_name* のオープン・エラー

説明: 指定されたファイルが存在しないか、ファイル権限にこのファイルのオープン権限がありません。

ユーザーの処置: ファイルが存在することおよびファイルをオープンできる権限があることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4913E パラメーター・ファイル *file_name* のオープン・エラー

説明: 指定されたファイルが存在しないか、ファイル権限にこのファイルのオープン権限がありません。

ユーザーの処置: ファイルが存在することおよびファイルをオープンできる権限があることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4914E ページ *page* でトリガーが見つかりません。

説明: PDF インデクサーが、メッセージ中に示されたページ番号でトリガーを検出しませんでした。

INDEXSTARTBY パラメーターは、PDF インデクサーがトリガーを検索し、索引付けを開始する必要があるページ番号を判別します。

ユーザーの処置: INDEXSTARTBY パラメーターに指定されたページ番号を確認します。ページ番号が正しい場合、TRIGGER パラメーターを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4915E ページ *page* でフィールドが見つかりません。

説明: PDF インデクサーが、メッセージ中に示されたページ番号でフィールドを検出しませんでした。

INDEXSTARTBY パラメーターは、PDF インデクサーがトリガーを検索し、フィールドに対する索引付けを開始する必要があるページ番号を判別します。

ユーザーの処置: INDEXSTARTBY パラメーターに指定されたページ番号を確認します。ページ番号が正しい場合、FIELD パラメーターを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4916E Adobe ツールキットの初期化に失敗しました。rc=returnCode エラー・ストリング: *string*

説明: Adobe ツールキットがエラーを戻しました。FONTLIB および TEMPDIR パラメーターに対して指定されたディレクトリーの権限に問題があるか、ディレクトリーが誤っている、あるいはディスクに十分なスペースがない可能性があります。ユーザーにはディレクトリーに対する読み取り/書き込み権限がなければなりません。イメージは、通常、テキストより大きなスペースを必要とします。

ユーザーの処置: FONTLIB および TEMPDIR パラメーターに対して指定されたディレクトリーを確認します。これらのパラメーターで名前の付けられたディレクトリーに対する権限を確認します。FONTLIB ディレクトリーが、PDF インデクサーが必要とするフォントに対してアクセスを提供していることを確認します。入力ファイルを処理するための十分なフリー・スペースが TEMPDIR ディレクトリーにあることを確認します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4917E 新規文書セグメントの作成に失敗しました。

説明: 新規文書セグメントの作成を試行中に、Adobe ツールキットがエラーを戻しました。FONTLIB および TEMPDIR パラメーターに対して指定されたディレクトリーの権限に問題があるか、ディレクトリーが誤っている、あるいはディスクに十分なスペースがない可能性があります。ユーザーにはディレクトリーに対する読み取り/書き込み権限がなければなりません。イメージは、通常、テキストより大きなスペースを必要とします。

ユーザーの処置: FONTLIB および TEMPDIR パラメーターに対して指定されたディレクトリー、および INPUTDD および OUTPUTDD パラメーターで名前を付けられたファイルおよびディレクトリーを確認します。これらのパラメーターで名前を付けられたファイルおよびディレクトリーに対する権限を確認します。FONTLIB ディレクトリーが、PDF インデクサーが必要とするフォントに対してアクセスを提供していることを確認します。入力ファイルを処理するための十分なフリー・スペースが TEMPDIR および OUTPUTDD ディレクトリーにあることを確認します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4918E ページの抽出に失敗しました。

説明: 新規セグメントに対してページを抽出中に、Adobe ツールキットがエラーを戻しました。オリジナルの PDF が損傷している可能性があります。FONTLIB および TEMPDIR パラメーターに対して指定されたディレクトリーの権限に問題があるか、ディレクトリーが誤っている、あるいはディスクに十分なスペースがない可能性があります。ユーザーにはディレクトリーに対する読み取り/書き込み権限がなければなりません。イメージは、通常、テキストより大きなスペースを必要とします。

ユーザーの処置: PDF を Adobe Acrobat で表示して、PDF が損傷していないことを確認します。FONTLIB および TEMPDIR パラメーターで指定されたディレクトリーを確認します。これらのパラメーターで名前の付けられたディレクトリーに対する権限を確認します。FONTLIB ディレクトリーが、PDF インデクサーが必要とするフォントに対してアクセスを提供していることを確認します。入力ファイルを処理するための十分なフリー・スペースが TEMPDIR ディレクトリーにあることを確認します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4919E ワード検索または抽出のエラー

説明: PDF 文書の検索中に Adobe ツールキットがエラーを戻しました。オリジナルの PDF が損傷している可能性があります。FONTLIB および TEMPDIR パラメーターで指定されたディレクトリーの権限に問題があるか、ディレクトリーが誤っている、あるいはディスクに十分なスペースがない可能性があります。ユーザーにはディレクトリーに対する読み取り/書き込み権限がなければなりません。イメージは、通常、テキストより大きなスペースを必要とします。

ユーザーの処置: FONTLIB および TEMPDIR パラメーターで指定されたディレクトリーを確認します。ディレクトリーの権限を確認します。FONTLIB パラメーターで名前の付けられたディレクトリーが、PDF インデクサーが必要とするフォントに対してアクセスを提供していることを確認します。TEMPDIR パラメーターで名前の付けられたディレクトリーに、入力ファイルを処理するための十分なフリー・スペースがあることを確認します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4920E Distil 実行中のエラー rc =rc エラー・ストリング: string ディスティラー・メッセージを確認してください。

説明: 入力ファイルの抽出を試行中に、Acrobat Distiller がエラーを戻しました。

ユーザーの処置: Distiller の出力メッセージを使用してエラーの原因と解決法を判別します。エラーの訂正の後、コマンドを再実行依頼します。

ARS4921E 入力ファイルにサポートされていないデータ型が含まれています。

説明: 入力ファイルに PostScript® または PDF データが含まれていません。

ユーザーの処置: INPUTDD パラメーターで正しいファイルが名前を付けられていることを確認します。INPUTDD パラメーターで名前を付けられたファイルに PostScript または PDF データが含まれていることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS4922I

ARS4922I ARSPDOCI が完了しました。コード *rc*

説明: PDF インデクサーが入力データの処理を完了し、完了コードがリストされました。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4923E *action* バージョン *rc string*

説明: 製品バージョンおよびリリースを表示するメッセージ。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4924E *action* API の実行エラー *rc =rc エラー・ストリング: string*

説明: Adobe ツールキットがエラーを戻しました。*rc* (理由コード) および *string* は Adobe ツールキットにより提供されます。

ユーザーの処置: FONTLIB および TEMPDIR パラメーターで指定されたディレクトリーを確認します。これらのパラメーターで名前の付けられたディレクトリーに対する権限を確認します。FONTLIB ディレクトリーが、PDF インデクサーが必要とするフォントに対してアクセスを提供していることを確認します。入力ファイル进行处理するための十分なフリー・スペースが TEMPDIR ディレクトリーにあることを確認します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS4925I 使用法: `arspdump -f filename [-F font_dir] [-h] [-o output file]`

`[-p page number] [-t temp dir]`

バージョン: *version*

-f: PDF ファイル名

-F: フォント・ディレクトリー

-h: このメッセージ

-o: 出力ファイル (デフォルトは STDOUT)

-p: ページ番号を指定する (デフォルトは全ページ)

-t: 一時ディレクトリー

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS4926I ----- ページ *page* -----

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4927I ----- 90 度回転 -----

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4928I ----- 180 度回転 -----

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4929I ----- 270 度回転 -----

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4930I WordFinder バージョン: *version*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS4931I ページ数 = *page*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS5001I *program* はパラメーターを受け入れません。

説明: パラメーターがメッセージ中に示されたプログラムに渡されましたが、プログラムは JCL PARM パラメーターでパラメーターが渡されることを予想していません。

ユーザーの処置: パラメーターを除去して、プログラムを再実行します。

ARS5002I *program* へのパスが判別できません。

説明: メッセージ中に示されたプログラムが実行されましたが、プログラムへのパスが判別できません。

ユーザーの処置: 問題に対する修正方法を問題報告データベースで検索してください。修正方法がない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS5004I *file_name (RC:int_rc (X'hex_rc))* の *fldata()* に失敗しました。

説明: ファイルのファイル情報を判別中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 問題に対する修正方法を問題報告データベースで検索してください。修正方法がない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS5005I 構文エラー - キーワード区切り文字がありません。

説明: キーワード区切り文字が指定されていません。

ユーザーの処置: エラーを訂正し、コマンドを再実行依頼します。

ARS5006I 未認識のキーワード: *keyword*

説明: キーワードが無効であることが判明しました。

ユーザーの処置: キーワードのスペルを確認します。また、キーワードがユーティリティーに対して有効であることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS5007I キーワード・オペランドが指定されていません。

説明: キーワードにはオペランドが必要ですが、オペランドが指定されていません。

ユーザーの処置: 欠落しているオペランドを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS5008I

ARS5008I オペランドの右側の区切り文字がありません。

説明: キーワード・オペランドの右側の区切り文字がありません。例: KEYWORD=(a,b) ではなく、KEYWORD=(a,b と入力されました。

ユーザーの処置: 欠落している区切り文字を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS5009I オペランドの左側の区切り文字がありません。

説明: キーワード・オペランドの左側の区切り文字がありません。例: KEYWORD=(a,b) ではなく、KEYWORD=a,b) と入力されました。

ユーザーの処置: 欠落している区切り文字を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS5010I オペランド長が無効です。

説明: キーワードのオペランドがキーワードに対して長すぎます。

ユーザーの処置: オペランドを短くして、コマンドを再実行依頼します。

ARS5011I 真/偽のオペランドが予想されません。

説明: 真 (true、yes、または 1) または偽 (false、no、または 0) がキーワードのオペランドとして予想されました。

ユーザーの処置: オペランドを訂正して、コマンドを再実行依頼します。

ARS5012I オペランドの一部が 10 進数ではありません。

説明: オペランドは整数である必要があります。

ユーザーの処置: オペランドを訂正して、コマンドを再実行依頼します。

ARS5013I 制御ステートメント処理が完了しました。- RC=int_rc (X'hex_rc')

説明: パラメーター・ファイル処理が完了しました。最大の戻りコードが表示されます。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS5014I instance の環境を初期化できません。RC=rc

説明: メッセージ中に示されたインスタンスの環境を初期化できませんでした。

ユーザーの処置: インスタンス名が正しく、かつ ars.ini ファイル内のインスタンスに対応していることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS5015I ODINSTANCE を指定する必要があります。

説明: ARSEXPIR に対する制御ステートメントとして ODINSTANCE キーワードが必要です。

ユーザーの処置: ODINSTANCE キーワードを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS5016I ストレージ・セット sset1 および sset2 に同じストレージ・ノード nodename が含まれています。

説明: 2 つのストレージ・セットに同じノード名が指定されています。ARSEXPIR は使用するノード ID を判別できません。

ユーザーの処置: いずれかのストレージ・セットから重複するノードを除去します。

ARS5017I 無効なメッセージ ID *msgid*

説明: メッセージ・テンプレートが存在しないメッセージの発行が試行されました。

ユーザーの処置: 問題に対する修正方法を問題報告データベースで検索してください。修正方法がない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS5018I ARSMVSSR の処理中にエラーが発生しました。RC = *rc1 (rc2-rsn)*

説明: MVS™ システム管理機能 (SMF) レコードを抽出するため、ARSMVSSR 関数が呼び出されましたが、問題が発生しました。*rc1* は、エラーのタイプを示します。

- 1 ATTACH 失敗
- 2 SORT 失敗
- 3 BPX1OPN 失敗
- 4 BPX1WRT 失敗

rc2 および *rsn* には、エラーに関する戻りコードおよび理由コードが含まれています。

ユーザーの処置: 問題に対する修正方法を問題報告データベースで検索してください。修正方法がない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS5019I Arsadm が行 *linenum* に無効なノードを戻しました。テキスト = *text*

説明: OnDemand ストレージ・ノードのリストをリトリブするために ARSADM プログラムが呼び出されましたが、戻されたリストは正しくフォーマットされていませんでした。メッセージには行番号および行の最初の 200 文字が含まれています。

ユーザーの処置: 問題に対する修正方法を問題報告データベースで検索してください。修正方法がない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS5020I SORT がデータを戻しませんでした。

説明: 削除されるべきオブジェクトが見つかったことをソート処理が示しました。しかし、データを含んでいるとされたファイルが存在しないか、ゼロ・バイトを含んでいます。

ユーザーの処置: 問題に対する修正方法を問題報告データベースで検索してください。修正方法がない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS5021I *text*

説明: IBM サポート・センターの指示のもとで要求されたときに、メッセージ・テキストが作成されます。

ユーザーの処置: サポート・センターにメッセージ・テキストを送ってください。

ARS5022I ソートが完了しました。 *num_objs* オブジェクトが戻されました。

説明: ソートのステップがすべての MVS SMF レコードの読み取りを完了しました。アンロード候補 *num_objs* が見つかりました。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS5023I *cmd* が *rc* を戻しました。Parms=>*parms*<

説明: 非ゼロの戻り値が *cmd* により指定されました。このメッセージはコマンドの起動に使用されたパラメーターを示しています。

ユーザーの処置: 問題に対する修正方法を問題報告データベースで検索してください。修正方法がない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS5024I

ARS5024I ARSEXPIR *version* が *tstamp* に起動されました。

説明: 指定された時刻に ARSEXPIR が起動されました。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS5400E ACIF PARM パーサーが値を戻しませんでした。

説明: 索引付けパラメーターが、トリガー、フィールド、あるいは索引の値の結果を出しませんでした。索引命令のセットが無効です。

ユーザーの処置: 有効な索引付けパラメーターのセットを指定してください。

ARS5401E 入力 PARM スtringが空です。

説明: 索引付けパラメーターが見つかりませんでした。

ユーザーの処置: 有効な索引付けパラメーターのセットを指定してください。

ARS5402E トリガー列のスキャンはサポートされません。

説明: OS/390 インデクサーは、トリガーの列スキャンをサポートしません。

ユーザーの処置: トリガーの列番号を指定してください。

ARS5403E 複数フィールドを使用した索引の作成はサポートされません。

説明: OS/390 インデクサーは、索引値を構成するために複数のフィールドを使用することをサポートしません。

ユーザーの処置: 索引には単一のフィールドを指定してください。

ARS5404E 8 セットを超えるセグメンテーション命令が識別されました。

説明: OS/390 インデクサーは、8 セットまでのセグメンテーション命令をサポートします。8 つを超える索引命令は、BREAK=YES と指定されます。

ユーザーの処置: 索引付けパラメーターを再定義して、最大 8 個までの BREAK=YES 命令を使用します。

ARS5405E フィールド・デフォルト値はサポートされません。

説明: OS/390 インデクサーは、フィールド・パラメーターでの「デフォルト値」の使用をサポートしません。

ユーザーの処置: 索引付けパラメーターを再定義して、「デフォルト値」を使用しないようにします。

ARS5406E フィールド定数値はサポートされません。

説明: OS/390 インデクサーは、フィールド・パラメーターでの「定数値」の使用をサポートしません。

ユーザーの処置: 索引付けパラメーターを再定義して、「定数値」を使用しないようにします。

ARS5407E *size* に指定された DOC SIZE が無効です。

説明: ANYSTORE 出口から戻された文書サイズが無効でした。値は、1 から 1048320 の間でなければなりません。

ユーザーの処置: ANYSTORE 出口のエラーをすべて訂正してください。

ARS5408E ANYSTORE - INDEX 呼び出しに先行するセグメントがないか、あるいは不完全です。

説明: ANYSTORE 出口が ANY-INDEX 戻りコードで戻りましたが、完成した文書が先行していませんでした。

ユーザーの処置: ANYSTORE 出口のエラーをすべて訂正してください。

ARS5409E ANYSTORE - EOF 呼び出しに先行するセグメントがないか、あるいは不完全です。

説明: ANYSTORE 出口が ANY-EOF 戻りコードで戻りましたが、完成した文書が先行していませんでした。

ユーザーの処置: ANYSTORE 出口のエラーをすべて訂正してください。

ARS5410E NULL ファイル読み取り。処理は停止しました。

説明: ファイルの終わりを検出しましたが、文書の保管は行われませんでした。

ユーザーの処置: ANYSTORE 出口を使用している場合は、ANYSTORE 出口のエラーをすべて訂正してください。レポート・ファイルが有効なデータを含んでいることを確認します。さらに支援が必要な場合は、IBM サービス技術員に依頼してください。

ARS5411E ANYSTORE 出口から戻された重大エラーです。処理は停止しました。

説明: ANYSTORE 出口は ANY-ERR 戻りコードを戻しました。

ユーザーの処置: ANYSTORE 出口が生成する追加メッセージを探して、ANYSTORE 出口のエラーをすべて訂正してください。

ARS5412E ARSASTOR - 無効な doc サイズが指定されました: size

説明: AFP 文書が無効な文書サイズで戻されました。値は、1 から 1048320 の間でなければなりません。

ユーザーの処置: AFP レポートが有効なデータを含むようにします。さらに支援が必要な場合は、IBM サービス技術員に依頼してください。

ARS5413E ARSASTOR - 索引呼び出しに先行するセグメントがないか、あるいは不完全です。

説明: ARSASTORE 出口は、AFP-INDEX 戻りコードで戻りましたが、完成した文書が先行していませんでした。

ユーザーの処置: AFP レポートが有効なデータを含むようにします。さらに支援が必要な場合は、IBM サービス技術員に依頼してください。

ARS5414E ARSASTOR - EOF 呼び出しに先行するセグメントがないか、あるいは不完全です。

説明: ARSASTORE 出口は、AFP-EOF 戻りコードで戻りましたが、完成した文書が先行していませんでした。

ユーザーの処置: AFP レポートが有効なデータを含むようにします。さらに支援が必要な場合は、IBM サービス技術員に依頼してください。

ARS5415E ARSASTOR 出口から戻された重大エラーです。処理は停止しました。

説明: AFP レポートの処理中に重大エラーが検出されました。

ユーザーの処置: 保管ルーチンが生成した追加メッセージを探してください。レポート・ファイルが有効なデータを含んでいることを確認します。さらに支援が必要な場合は、IBM サービス技術員に依頼してください。

ARS5416E

ARS5416E PAGE-TABLE 配列サイズが大きすぎます。

説明: ラージ・オブジェクト処理がサポートするページの最大数が大きすぎます。

例えば、ラージ・オブジェクト・サポートを使用可能にして OS/390 インデクサーを使用する場合、単一文書の最大ページ数は、379,359 ページです。

ユーザーの処置: レポートがインデクサーでサポートされる最大ページ数を超えないように、レポートまたは索引付けの命令を変更します。さらに支援が必要な場合は、IBM サービス技術員に依頼してください。

ARS5417E 無効な AFP レコード、pos 1 に 5A が検出されません。

説明: AFP ファイル内で、列 1 に X'5A' を含まない行が検出されました。

ユーザーの処置: レポート・ファイルが有効なデータを含んでいることを確認します。

ARS5418I ANYSTORE 文書が、行印刷、AFP のどちらとも認識されず、ラージ・オブジェクト処理が実行されませんでした。

説明: ANYSTORE 出口で取り込まれたレポートは、「行印刷」、「AFP」のどちらとも認識されませんでした。ラージ・オブジェクトとしての取り込みは試行されません。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ARS5419E 文書がありません - 入力枯渇しました。

説明: トリガーの命令に基づく「レポートの開始」が、ファイルの終わりまでに検出されませんでした。

ユーザーの処置: レポート・ファイルが有効なデータを含んでいること、および索引付けの命令が正しいことを確認します。

ARS5420E 通知日が要求されましたが見つかりません。

説明: 通知日の値が検出されませんでした。

ユーザーの処置: レポート・ファイルが有効な日付を含んでいること、および索引付けの命令が正しいことを確認します。

ARS5421E 入力出口がエラー状態を戻しました。

説明: 入力出口の戻りコードが、エラーが検出されたことを示しています。

ユーザーの処置: 入力出口が生成した追加メッセージを探してください。

ARS5422E ページ・バッファー・サイズが大きすぎます。

説明: 文書の現行ページは 256 行より多くの行を含んでいます。

ユーザーの処置: レポート・ファイルが有効な紙送り制御文字のデータを含んでいることを確認します。

ARS5423E 日付が予想されましたが検出されませんでした。その代わりに date_value が見つかりました。

説明: レポートから日付の値として抽出された文字は有効な日付形式ではありませんでした。

ユーザーの処置: レポート・ファイルが有効なデータを含んでいること、および日付フィールドの位置を決める索引付けの命令が正しいことを確認します。

ARS5424E 日付マスクの月の部分にエラーが検出されました。マスクは *report_mask* です。

説明: 日付マスクの月の部分が無効です。

ユーザーの処置: マスクの値が正しいことを確認します。

ARS5425E 日付マスクの日の部分にエラーが検出されました。マスクは *report_mask* です。

説明: 日付マスクの日の部分が無効です。

ユーザーの処置: マスクの値が正しいことを確認します。

ARS5426E 日付マスクの世紀の部分にエラーが検出されました。マスクは *report_mask* です。

説明: 日付マスクの世紀の部分が無効です。

ユーザーの処置: マスクの値が正しいことを確認します。

ARS5427E 日付マスクの年の部分にエラーが検出されました。マスクは *report_mask* です。

説明: 日付マスクの年の部分が無効です。

ユーザーの処置: マスクの値が正しいことを確認します。

ARS5428E 入力データ・セットの OPEN エラーです。

説明: レポートを含むデータ・セットのオープンを試行中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: ジョブ・ログで追加のメッセージを検討してください。問題を訂正し、再試行してください。

ARS5429E AFP データ・ストリームの RECFM (F) が無効です。

説明: AFP レポートを含むデータ・セットのレコード・フォーマットは、VARIABLE でなければなりません。

ユーザーの処置: AFP レポート・データ・セットが、有効な AFP データを含み、VARIABLE レコード・フォーマットであることを確認してください。

ARS5430E 構造化フィールド長がレコード長と一致しません。レコード・カウント: *record_count* 入力 DDNAME *ddname*

説明: AFP レコードの構造化フィールド長の値 (列 2 から 3) が可変長レコードのレコード長と一致しません。可変長レコードは、構造化フィールド長の値よりも 1 バイト長くなっていなければなりません。

ユーザーの処置: AFP レポート・データ・セットが、有効な AFP データを含むようにしてください。

ARS5431E DDNAME *ddname* の EOF が早すぎます。

説明: ファイルの終わりの状態が予想よりも早く検出されました。これは、ファイルに BDT および EDT レコードの両方が含まれていない場合に起こることがあります。

ユーザーの処置: AFP レポート・データ・セットが、有効な AFP データを含むようにしてください。

ARS5432I TLE レコードの値に一致が検出されませんでした。レコード番号 *record_num*。入力 DDNAME *ddname*

説明: どの索引とも一致しない TLE レコードが検出されました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。このメッセージは、通知を目的としたものです。

ARS5433E

ARS5433E AFPDSIN データ・セットが空でした。

説明: 入力 AFP データ・セットにレコードがありません。

ユーザーの処置: AFP レポート・データ・セットが、有効な AFP データを含むようにしてください。

ARS5434E BRG がリソース・ファイルの最初のレコードではありません。

説明: リソース・ファイルの最初のレコードが BRG レコードではありません。

ユーザーの処置: AFP レポート・データ・セットが、有効な AFP データを含むようにしてください。

ARS5435E TLE が無効な構造です。NAME トリプレットが検出されません。レコード番号 *record_num*。入力 DDNAME *ddname*

説明: 有効な Name トリプレットを含まない TLE レコードが検出されました。

ユーザーの処置: AFP レポート・データ・セットが、有効な AFP データを含むようにしてください。

ARS5436E TLE が無効な構造です。VALUE トリプレットが検出されません。レコード番号 *record_num*。入力 DDNAME *ddname*

説明: 有効な Value トリプレットを含まない TLE レコードが検出されました。

ユーザーの処置: AFP レポート・データ・セットが、有効な AFP データを含むようにしてください。

ARS5437E AFP 索引/セグメントが最大数 *max_num_of_indexes* を超えています。キャプチャーは終了しました。

説明: 許可されている索引の最大数を超えました。

ユーザーの処置: AFP レポート・データ・セットが、有効な AFP データを含むようにしてください。

ARS5438I AFP ファイルに合わせた修正のために切り捨てられたレコード *ddname*、カウント *record_count*

説明: プログラムは、AFP レコードの中に物理レコード長より長いレコード長の値がある 1 つ以上のレコードを識別しました。プログラムは、末尾ブランクを追加し、AFP レコードの長さに一致させます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。JES が末尾ブランクを除去するので、プログラムがそれらを元に戻すと想定されます。

ARS5439I リソース・ファイルに合わせた修正のために切り捨てられたレコード *ddname*、カウント *record_count*

説明: プログラムは、リソース・レコードの中に物理レコード長より長いレコード長の値がある 1 つ以上のレコードを識別しました。プログラムは、末尾ブランクを追加し、リソース・レコードの長さに一致させます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。JES が末尾ブランクを除去するので、プログラムがそれらを元に戻すと想定されます。

ARS5440E 無効な NOP レコード・フォーマット、無効な長さ。

説明: OD390 または ODZOS ID 値のある NOP レコードが検出されましたが、このレコード長は有効ではありませんでした。OD390 NOP レコードのレコード長は 1048 です。ODZOS NOP レコードのレコード長は 8208 です。

ユーザーの処置: AFP レポート・データ・セットが、有効な AFP データを含むようにしてください。

ARS5441E OBJINPT データ・セットのオープン・エラーです (AFP 用)。

説明: 入力レポート・データ・セットをオープンするときにエラーが発生しました。

ユーザーの処置: JES ログで追加のメッセージを確認してください。

ARS5442E AFP データ・ストリームの RECFM (F) が無効です。ddname

説明: AFP 入力データ・セットのレコード・フォーマットが「固定」でした。予想されるレコード・フォーマットは「変数」です。

ユーザーの処置: AFP レポート・データ・セットが、有効な AFP データを含むようにしてください。

ARS5443E AFP ファイルのオープンに失敗しました - ddname

説明: 入力 AFP レポート・データ・セットをオープンするときにエラーが発生しました。

ユーザーの処置: JES ログで追加のメッセージを確認してください。

ARS5444E AFP ファイル ddname のクローズに失敗しました。

説明: 入力 AFP レポート・データ・セットをクローズするときにエラーが発生しました。

ユーザーの処置: JES ログで追加のメッセージを確認してください。

ARS5445E AFP は、ファイル ddname の読み取りに失敗しました。

説明: 入力 AFP レポート・データ・セットの読み取り中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: JES ログで追加のメッセージを確認してください。

ARS5446E AFP リソース・ファイルのオープンに失敗しました - ddname

説明: 入力 AFP リソース・データ・セットをオープンするときにエラーが発生しました。

ユーザーの処置: JES ログで追加のメッセージを確認してください。

ARS5447E AFP リソース・ファイル ddname のクローズに失敗しました。

説明: 入力 AFP リソース・データ・セットをクローズするときにエラーが発生しました。

ユーザーの処置: JES ログで追加のメッセージを確認してください。

ARS5448E レコード #record_count の後のファイル ddname のリソースの読み取りに失敗しました。

説明: 入力 AFP リソース・データ・セットの読み取り中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: JES ログで追加のメッセージを確認してください。

| **ARS5450E** TYPE=GROUP を使用したトリガーは、INDEXSTARTBY パラメーターで指定されているページ範囲内
| で満たされませんでした。

| 説明: TYPE=GROUP を指定した TRIGGER 索引付けパラメーターで指定された値を含むレポートのページが、
| INDEXSTARTBY パラメーターで指定されたページ番号に達するまでに見つかりませんでした。

| ユーザーの処置: 索引付けパラメーターがロード中のレポート・データに適切であるかどうか確認してください。それ
| に従って、レポート・データおよび/または索引付けパラメーターを調整してください。

| ARS5451E TRIGGER nn が見つかりませんでした| 説明: 索引付けの命令が、TRIGGER パラメーターのセットにあるシーケンス nn の使用をスキップしました。

| TRIGGER シーケンス番号はスキップできません。

| ユーザーの処置: 索引付けパラメーター TRIGGER シーケンスを訂正してください。

| ARS5452E INDEX nn が見つかりませんでした| 説明: 索引付けの命令が、INDEX パラメーターのセットにあるシーケンス nn の使用をスキップしました。INDEX

| シーケンス番号はスキップできません。

| ユーザーの処置: 索引付けパラメーターを訂正してください。

| ARS5453E FIELD nn が見つかりませんでした| 説明: 索引付けの命令が、FIELD パラメーターのセットにあるシーケンス nn の使用をスキップしました。FIELD シーケンス番号はスキップできません。

| ユーザーの処置: 索引付けパラメーターを訂正してください。

ARS6000I 使用法: `arsdoc add -h hostname [-u <userid>] [-p <passwd>] [-v] (-F <parmfile> | ([-i <sql_query> | -q <namedquery> | -o <filename>] [-f <foldername>] -a <name> (-g <name> | -G <name>) -n field1=value1 [-O][-S <startdate,enddate[,format]>]))`

バージョン: *version*

-a <name> アプリケーション名

-f <foldername> OnDemand フォルダー (パラメーター・ファイルが必要)

-g <name> アプリケーション・グループ名

-h <hostname> OnDemand ホスト名 (コマンド行のみ)

-i <sql_query> SQL 照会ストリング

-n <field1=value1> 1 つまたは複数のデータベース・フィールド名と値

-o <filename> データ・ファイル名

-p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード (コマンド行のみ)

-q <namedquery> パブリック名前付き照会

-u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名 (コマンド行のみ)

-v 詳細 (コマンド行のみ)

-F <parmfile> パラメーター・ファイルの要求 (コマンド行のみ)

-G <name> アプリケーション・グループ名

-O データベース・フィールド値を必要としない

-S <startdate,enddate[,format]> セグメントの日付範囲

パラメーター・ファイル内で、フラグは大括弧で区切る必要がある。例: [-f foldername]

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6001I 用法: `arsdoc update -h hostname [-u <userid>] [-p <passwd>] [-v]`
 (-F <parmfile> | ((-i <sql_query> | -q <namedquery>)
 [-f <foldername>] (-g <name> | -G <name>) -n field1=value1
 [-S <startdate,enddate[,format]>]))

バージョン: *version*

-f <foldername> OnDemand フォルダー (パラメーター・ファイルが必要)

-g <name> アプリケーション・グループ名

-h <hostname> OnDemand ホスト名 (コマンド行のみ)

-i <sql_query> SQL 照会ストリング

-n <field1=value1> 1 つまたは複数のデータベース・フィールド名と値

-p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード (コマンド行のみ)

-q <namedquery> パブリック名前付き照会

-u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名 (コマンド行のみ)

-v 詳細 (コマンド行のみ)

-F <parmfile> パラメーター・ファイルの要求 (コマンド行のみ)

-G <name> アプリケーション・グループ名

-S <startdate,enddate[,format]> セグメントの日付範囲

パラメーター・ファイル内で、フラグは大括弧で区切る必要がある。例: [-f foldername]

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6002I 用法: `arsdoc delete -h hostname [-u <userid>] [-p <passwd>] [-v]`
 (-F <parmfile> | ((-i <sql_query> | -q <namedquery>)
 [-f <foldername>] [-G <name>] [-S <startdate,enddate[,format]>]))

バージョン: *version*

-f <foldername> OnDemand フォルダー (パラメーター・ファイルが必要)

-h <hostname> OnDemand ホスト名 (コマンド行のみ)

-i <sql_query> SQL 照会ストリング

-p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード (コマンド行のみ)

-q <namedquery> パブリック名前付き照会

-u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名 (コマンド行のみ)

-v 詳細 (コマンド行のみ)

-F <parmfile> パラメーター・ファイルの要求 (コマンド行のみ)

-G <name> アプリケーション・グループ名

-S <startdate,enddate[,format]> セグメントの日付範囲

パラメーター・ファイル内で、フラグは大括弧で区切る必要がある。例: [-f foldername]

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6003I 使用法: `arsdoc get -h <hostname> [-u <userid>] [-p <passwd>] [-s] [-v]`
`(-F <parmfile> | ((-i <sql_query> | -Q <sql_filename> |`
`-q <namedquery> | -X <load_id>) [-x <load_id>] [-f <foldername>] [-G <name>]`
`[-a] [-c] [-g] [-A <type>] [-N] [-n] [-o <filename>] [-d <dir>]`
`[-L <max_docs>] [-S <startdate,enddate[,format]>]))`
バージョン: *version*
-a リソース・グループを組み込む
-c 文書を 1 つのファイルに保管する
-d <dir> ファイルを保管するディレクトリー
-f <foldername> OnDemand フォルダー (パラメーター・ファイルで必要)
-g 総称インデクサー・ファイルを作成する
-h <hostname> OnDemand ホスト名 (コマンド行のみ)
-i <sql_query> SQL 照会ストリング
-n バルク検索を使用しない
-o <filename> 出力ファイル名 (パラメーター・ファイルで必要)
-p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード
-q <namedquery> パブリック名前付き照会
-s <seconds> 要求間の遅延時間 (コマンド行のみ)
-u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名
-x <load_id> OnDemand で使用する LoadId
-v 詳細 (コマンド行のみ)
-A <type> 注釈を検索
値は加算して表す。
0 公開テキスト注釈を含む
1 専用注釈を含む
2 別のサーバーにコピーできない注釈を含む
4 グラフィック注釈を含む
-F <parmfile> パラメーター・ファイルの要求 (コマンド行のみ)
-G <name> アプリケーション・グループ名
-L <max_docs> 検索する文書数の最大値
-N ファイル名にアプリケーション・グループ名とアプリケーション名を使用する
-Q <sql_filename> SQL 照会ストリング・ファイル名
-S <startdate,enddate[,format]> セグメントの日付範囲
-X <load_id> OnDemand で使用する LoadId
パラメーター・ファイル内で、フラグは大括弧で区切る必要がある。例: [-f foldername]

説明: コマンドに対して誤ったパラメーターが指定されました。

ユーザーの処置: 正しいパラメーターでコマンドを再実行依頼します。有効なパラメーターは、メッセージに提供されています。このコマンドについて詳しくは、OnDemand 「Administrator's Guide」を参照してください。

ARS6004I 使用法: `arsdoc query -h hostname [-u <userid>] [-p <passwd>] [-v]`

`(-F <parmfile> | ((-i <sql_query> | -q <namedquery> |
 -X <load_id>) [-x <load_id>] [-f <foldername>] [-G <name>]
 [-e <delim>] [-H] [-I] [-N <(field1)>][-n] [-o <filename>]
 [-d <dir>] [-L <max_hits>] [-S <startdate,enddate[,format]>]))`

バージョン: *version*

-d <dir> 出力ファイルを書き込むディレクトリー
 -e <delim> データベース値の間の区切り文字
 -f <foldername> OnDemand フォルダー (パラメーター・ファイルが必要)
 -h <hostname> OnDemand ホスト名 (コマンド行のみ)
 -i <sql_query> SQL 照会ストリング
 -n 出力ファイルに行番号を追加する
 -o <filename> 出力ファイル名 (パラメーター・ファイルが必要)
 -p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード
 -q <namedquery> パブリック名前付き照会
 -u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名
 -x <load_id> OnDemand で使用する LoadId
 -v 詳細 (コマンド行のみ)
 -F <parmfile> パラメーター・ファイルの要求 (コマンド行のみ)
 -G <name> アプリケーション・グループ名
 -D ファイルの各レコードに文書ハンドルを付加する
 -H ヘッダー・レコードを作成する
 -I ファイルの各レコードに LoadId を付加する
 -L <max_hits> 処理する最大ヒット
 -N <(field1)> 1 つまたは複数のデータベース・フィールド名。ファイル内の順序を定義する
 -S <startdate,enddate[,format]> セグメントの日付範囲
 -X <load_id> OnDemand で使用する LoadId

パラメーター・ファイル内で、フラグは大括弧で区切る必要がある。例: `[-f foldername]`

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6005I 使用法: `arsdoc print -h hostname [-u <userid>] [-p <passwd>] [-v]`
`(-F <parmfile> | ((-i <sql_query> | -q <namedquery>)`
`[-f <foldername>] [-G <name>] [-P <prtr>] [-L <max_docs>]`
`[-S <startdate,enddate[,format]>]))`

バージョン: *version*

`-f <foldername>` OnDemand フォルダー (パラメーター・ファイルが必要)

`-h <hostname>` OnDemand ホスト名 (コマンド行のみ)

`-i <sql_query>` SQL 照会ストリング

`-p <passwd>` OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード (コマンド行のみ)

`-q <namedquery>` パブリック名前付き照会

`-u <userid>` OnDemand ユーザー・ログイン名 (コマンド行のみ)

`-v` 詳細 (コマンド行のみ)

`-F <parmfile>` パラメーター・ファイルの要求 (コマンド行のみ)

`-G <name>` アプリケーション・グループ名

`-L <max_docs>` 検索する文書数の最大値

`-P <prtr>` システム・プリンター名

`-S <startdate,enddate[,format]>` セグメントの日付範囲

パラメーター・ファイル内で、フラグは大括弧で区切る必要がある。例: `[-f foldername]`

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6006E フォルダー情報を取得できません。フォルダーが存在しないか、ユーザーにそのフォルダーにアクセスする権限がありません。

説明: 指定されたサーバーで、指定されたフォルダーの検索中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: サーバー上にフォルダーが存在すること、およびユーザーにそのフォルダーにアクセスする権限があることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6007E 検索操作中にサーバーが失敗しました。追加メッセージについては、システム・ログを参照してください。

説明: 文書の照会中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: SQL ストリングが有効な SQL 照会であること、および SQL ストリングに指定されたデータベース・フィールド名が有効であることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6008E セグメントの開始日または終了日が無効です。

説明: セグメントの開始日またはセグメントの終了日を内部の日付形式に変換できませんでした。日付形式は、オプションで、有効な形式は「管理ガイド」にリストされています。

ユーザーの処置: セグメントの日付が有効な日付の値であること、および日付の値が正しい日付形式であることを確認します。

ARS6009E サーバーの要求時にキャンセル要求を受信しました。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: コマンドに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。メッセージの情報をを使用して問題を訂正し、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6010E サーバー操作が失敗しました。

説明: 照会またはリトリブを要求中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。メッセージの情報を使用して問題を訂正し、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6011E 行番号 *line_number* でエラーが発生しました。

説明: メッセージ中に示された行番号でエラーが発生し、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドに関連するその他のメッセージについては、OnDemand システム・ログを参照してください。メッセージの情報を使用して問題を訂正し、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6012E パラメーター・ファイル '*file_name*' を読み取れません。

説明: メッセージ中に示されたパラメーター・ファイルからレコードの読み取り中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: パラメーター・ファイルを確認および訂正します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6013E 操作を継続するには、ホスト名またはアドレスを指定する必要があります。

説明: ホスト名または IP アドレスがコマンド行で指定されていませんでした。

ユーザーの処置: **-h** パラメーターおよびサーバーのホスト名または IP アドレスを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6014E 操作を継続するには、フォルダー名を指定する必要があります。

説明: フォルダー名が指定されていません。

ユーザーの処置: **-f** パラメーターおよびフォルダーの名前を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6015E プリンター '*printer_name*' が検出されませんでした。

説明: 指定されたプリンターがサーバー上で検出されませんでした。

ユーザーの処置: サーバー上にプリンターが存在すること、およびユーザーにプリンターにアクセスする権限があることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6016E 出力ファイル名 '*file_name*' が最大長 *length* を超えています。

説明: 出力ファイル名の文字数が許容最大長を超えています。

ユーザーの処置: ファイル名の長さが許容最大長を超えないように出力ファイルの名前を変更します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6017E ユーザーに文書を追加する権限がありません。

説明: ユーザーに対するアプリケーション・グループ文書の権限に文書を追加する権限は含まれていません。

ユーザーの処置: 文書を追加する権限を持つユーザー ID を指定してコマンドを再実行依頼するか、文書を追加する権限を含むようにアプリケーション・グループの文書の権限を変更して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6018E ユーザーに文書を削除する権限がありません。

説明: ユーザーに対するアプリケーション・グループ文書の権限に文書を削除する権限は含まれていません。

ユーザーの処置: 文書を削除する権限を持つユーザー ID を指定してコマンドを再実行依頼するか、文書を削除する権限を含むようにアプリケーション・グループの文書の権限を変更して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6019E ユーザーに文書を更新する権限がありません。

説明: ユーザーに対するアプリケーション・グループ文書の権限に文書を更新する権限は含まれていません。

ユーザーの処置: 文書を更新する権限を持つユーザー ID を指定してコマンドを再実行依頼するか、文書を更新する権限を含むようにアプリケーション・グループの文書の権限を変更して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6020E アプリケーション・グループ内にデータベース・フィールド 'database_name' は見つかりませんでした。

説明: アプリケーション・グループ内にデータベース・フィールド名は見つかりませんでした。

ユーザーの処置: データベース・フィールドの名前が、アプリケーション・グループ内のデータベース・フィールドと同じであることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6021E 操作を継続するには、アプリケーション・グループ名を指定する必要があります。

説明: アプリケーション・グループ名が指定されていません。

ユーザーの処置: 有効なアプリケーション・グループ名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6022E アプリケーション・グループ 'applgrp_name' はフォルダー 'folder_name' 内に見つかりませんでした。

説明: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループは指定されたフォルダー内に見つかりませんでした。フォルダーにアプリケーション・グループが含まれていないか、ユーザーにそのアプリケーション・グループにアクセスする権限がありません。

ユーザーの処置: アプリケーション・グループがフォルダーから検索できること、およびユーザーにそのアプリケーション・グループへアクセスする権限があることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6023E -s フラグは、パラメーター・ファイル名が -F フラグを使用して指定されている場合にのみ使用できません。

説明: -s パラメーターは、サーバーに対する要求と要求の間の遅延時間を指定します。サーバーに送信される要求が 1 つのみである場合は、-s パラメーターは適用されません。すべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: -s パラメーターを指定しないで、コマンドを再実行依頼します。

ARS6024E -g フラグが使用される場合は、-N および -c フラグを指定する必要があります。

説明: -g パラメーター、-N パラメーター、および -c パラメーターは、同時に使用され、汎用索引ファイルおよび出力ファイルを生成します。すべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: -g、-N、および -c パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6025E 出力ファイル名にデータベース・フィールド名が含まれている場合は、-c または -g フラグは使用できません。

説明: 出力ファイル名はデータベース・フィールド名から生成されます。このオプションが使用されている場合、文書は個別のファイルに書き込まれる必要があります。すべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: `-c` または `-g` パラメーターを指定しないで、コマンドを再実行依頼します。

ARS6026I `arsdoc` が完了しました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6027E 操作を継続するには、アプリケーション名を指定する必要があります。

説明: アプリケーション名が指定されていません。

ユーザーの処置: 有効なアプリケーション名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6028E アプリケーション '`appl_name`' はアプリケーション・グループ '`applgrp_name`' 内に見つかりませんでした。

説明: メッセージ中に示されたアプリケーションはメッセージ中に示されたアプリケーション・グループ内に見つかりませんでした。

ユーザーの処置: アプリケーションおよびアプリケーション・グループの名前を確認します。アプリケーションがアプリケーション・グループに属していることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6029E フラグ `-n 'value'` の値に対する構文が無効です。'`dbfield=value`' が有効な構文です。

説明: `-n` パラメーターで指定された値は正しい構文ではありません。正しい構文は、メッセージに提供されており、すべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: 形式 '`dbfield=value`' に対する `-n` パラメーターの値を変更して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6030E `-o` フラグと `-S` フラグは同時に使用できません。

説明: データ・ファイル名が指定されている場合、セグメントの日付は指定できません。すべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: `-o` パラメーターまたは `-S` パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6031E `-o` フラグが使用されている場合 `-i` フラグまたは `-q` フラグは指定できません。

説明: データ・ファイル名が指定されている場合、SQL クエリーまたは名前付きクエリーは指定できません。すべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: `-i` または `-q` パラメーターを指定しないで、コマンドを再実行依頼します。

ARS6032E 操作を継続するには、少なくとも 1 つの `field=value` のペアを指定する必要があります。

説明: 文書を追加または更新する要求が出されましたが、文書のフィールド値が指定されていませんでした。

ユーザーの処置: 少なくとも 1 つの `field=value` のペアを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6033E 操作を継続するには、SQL 照会ストリング (`-i ¥"WHERE database_name = value¥"`) を指定する必要があります。

説明: SQL 照会ストリング名が指定されていません。

ユーザーの処置: 有効な SQL 照会ストリングを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6034W 検索基準に一致するヒットがありませんでした。

説明: 検索基準に一致する文書がありませんでした。

ユーザーの処置: これが期待される結果であることを確認します。それ以外の場合、別の検索基準を指定して、コマンドを実行依頼します。

ARS6035E 名前付き照会 '*named_query*' はフォルダー '*folder_name*' 内に存在しません。

説明: メッセージ中に示された名前付き照会はメッセージ中に示されたフォルダー内に見つかりませんでした。

ユーザーの処置: フォルダー内に名前付き照会が存在すること、名前付き照会が共通の名前付き照会であること、およびユーザーがフォルダーの名前付き照会を表示する権限があることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6036E **-q** フラグと **-i** フラグは同時に使用できません。

説明: 名前付き照会および SQL 照会ストリングは同じコマンド内に指定できません。すべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: **-q** パラメーターまたは **-i** パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6037E **-q** フラグと **-S** フラグは同時に使用できません。

説明: 名前付き照会が指定されている場合、セグメントの日付は指定できません。すべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: **-S** パラメーターを指定しないで、コマンドを再実行依頼します。

ARS6038E フラグ **-S** '*segment_dates*' の値の構文が無効です。有効な構文は、**segdate1**、**segdate2** または **segdate1**、**segdate2**、**format** です。

説明: **-S** パラメーターを指定した値は無効です。日付が形式に一致しないか、指定された形式が無効である可能性があります。有効な日付形式およびすべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: 値が **segdate1**、**segdate2**、**format** 形式であることを確認し、日付形式が有効であることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6039E **-F** オプションと同時に指定できるオプションは **-u**、**-p**、**-h**、および **-v** のみです。

説明: **-F** パラメーターが指定され、コマンド行で無効な 1 つ以上のその他のパラメーターも同時に指定されました。すべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6040E **-F** オプションと同時に指定できるオプションは **-u**、**-p**、**-h**、**-s**、および **-v** のみです。

説明: **-F** パラメーターが指定され、コマンド行で無効な 1 つ以上のその他のパラメーターも同時に指定されました。すべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6041E **-d** フラグを使用している場合、**-o** フラグを指定する必要があります。

説明: 出力ファイル名を指定しないでディレクトリー名が指定されました。すべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: **-d** パラメーターを指定しないか、**-d** および **-o** パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6042E 文書ハンドルまたは LoadID を要求する場合、**-H**、**-n**、および **-N** フラグは使用できません。

説明: 文書ハンドルまたはロード ID を要求する場合、**-H**、**-n**、および **-N** パラメーターは指定できません。すべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: **-H**、**-n**、および **-N** パラメーターを指定しないで、コマンドを再実行依頼します。

ARS6043E データベース・フィールド名のみを要求する場合、**-L**、**-n**、および **-N** フラグは使用できません。

説明: データベース・フィールド名のみを要求する場合、**-L**、**-n**、および **-N** パラメーターは指定できません。すべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: **-L**、**-n**、および **-N** パラメーターを指定しないで、コマンドを再実行依頼します。

ARS6044E 出力ファイル名 'outfile_name' およびディレクトリー・パス 'dir_path' が最大長 path_size を超えています。

説明: 出力ファイル名およびディレクトリーの文字数が許容最大長を超えています。

ユーザーの処置: ファイル名の長さが許容最大長を超えないようにファイル名またはディレクトリー・パスを変更します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6045E 出力ファイル名 'file_name' が最大長 length を超えています。

説明: 出力ファイル名の文字数が許容最大長を超えています。

ユーザーの処置: ファイル名の長さが許容最大長を超えないようにファイル名を変更します。

ARS6046E フィールド 'field_name' に対して値が指定されていません。

説明: メッセージ中に示されたフィールドに対する値が欠落しています。デフォルトでは、文書の追加時に、すべてのフィールドに値を指定する必要があります。 **-O** パラメーターを指定して、いくつかのフィールドの値はオプションであることを示すことができますが、日付と時刻のフィールドは常に指定する必要があります。すべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: フィールドの値を指定してコマンドを再実行依頼するか、**-O** パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6047E データはアプリケーション 'appl_name1'、アプリケーション・グループ 'applgrp_name1' からのものであり、アプリケーション 'appl_name2'、アプリケーション・グループ 'applgrp_name2' からのものである必要があります。

説明: 既存の文書を指す文書の追加が試行されましたが、2つの文書が同じアプリケーションからのものではありませんでした。既存の文書を指す文書を追加している場合、2つの文書は同じアプリケーション内にある必要があります。アプリケーション名はアプリケーション・グループ内で固有である必要がありますが、複数のアプリケーション・グループは同様の名前の付いたアプリケーションを保持できます。指定されたアプリケーションは同じアプリケーション・グループに属する必要があります。

ユーザーの処置: 文書またはアプリケーションのいずれかを識別できなかったかを判別します。次に、同じアプリケーションおよびアプリケーション・グループに属している文書を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6048E 操作を継続するには、システム・プリンターの名前が必要です。

説明: システム・プリンター名が必要ですが、**-P** パラメーターで指定されていませんでした。すべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: **-P** パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼し、システム・プリンターの名前を指定します。

ARS6049E

ARS6049E -N フラグが使用される場合は、-c フラグを指定する必要があります。

説明: -N パラメーターが指定された場合、文書は 1 つのファイルに連結される必要があります。すべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: -c パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6050E -c フラグまたは -g フラグが指定されている場合は、-o フラグを指定する必要があります。

説明: -c または -g パラメーターが指定されている場合は、出力ファイル名が指定されている必要があります。すべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: -o パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6051E 操作を継続するには、データ・ファイル名、SQL 照会ストリング、または名前付き照会を指定する必要があります。

説明: 文書を追加する場合は、-o、-i、または -q パラメーターを指定する必要があります。すべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: -o、-i、または -q パラメーターを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6052E 区切り文字の長さが無効です。1 文字のみを区切り文字に使用できます。

説明: 区切り文字に指定した値に 1 文字を超える文字が含まれています。

ユーザーの処置: 有効な 1 文字の区切り文字を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6053E 出力ファイル名の形式が無効です。
構文は以下のとおりです (括弧も必要です)。

(ag_name1)(ag_name2)(ag_name3)

説明: 出力ファイル名が正しい形式ではありません。正しい形式はメッセージ・テキスト内に示されています。

ユーザーの処置: 有効な出力ファイル名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6054E ヘッダーの形式が無効です。構文は以下のとおりです (括弧も必要です)。

(ag_name1)(ag_name2)(ag_name3)

説明: ヘッダーの形式が間違っています。正しい形式はメッセージ・テキスト内に示されています。

ユーザーの処置: 有効なヘッダー・ストリングを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6055E 最大 'max_hits' ヒット数がこの照会に対して要求されました。見つかったマッチング・ヒット数は 'num_hits' です。

説明: SQL 照会は要求された数より多い項目と一致しました。

ユーザーの処置: より少ない項目と一致するように SQL 照会ストリングを変更するか、戻す項目の最大数を増やしません。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6056E 'file_name' のリソース・グループをリトリートできません。

説明: リソース・グループのリトリート中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログの追加メッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6057E 'LoadId が見つかりません。'

説明: OnDemand システム・ログを検索しましたがロード ID が見つかりませんでした。

ユーザーの処置: 有効なロード ID を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6058E 無効なオプション '*option*'。

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6059W 戻されるヒット数がフォルダー内で定義された最大ヒット数に制限されました。

説明: フォルダーには、戻すことのできる項目の数に制限が設けられており、照会が最大制限を超えました。

ユーザーの処置: これが期待される結果であることを確認します。それ以外の場合、別の検索基準を指定して、コマンドを実行依頼します。

ARS6060I ユーザー ID '*userid*' のログインを試行しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6061I サーバー '*server_name*' 上のプリンターを照会しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6062I フォルダー '*folder_name*' を検索しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6063I '*folder_name*' 内の文書を検索しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6064I *num_documents* 文書を削除しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6065I 文書 *document_name* を削除しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6066I

ARS6066I *seconds* 秒待機しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6067I サーバー '*server_name*' 上のプリンター '*printer_name*' に *num_documents* 個の文書を送信しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6068I *num_documents* 個の文書を *field_values* を指定して更新しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6069I 文書 *field_values_string* を更新しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6070I フィールド *field_values* で文書を追加中...

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6071I ファイル '*file_name*' に *num_hits* ヒットを書き込んでいます。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6072I ファイル '*file_name*' にデータベース・フィールド名を書き込んでいます。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6073I ユーザー ID '*userid*' の文書をリトリブしています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6080I ログイン成功

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6081E ログイン失敗

説明: サーバーへのログオン中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログの追加メッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6082I 照会成功

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6083E 照会失敗

説明: データベースの照会中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログの追加メッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6084I 検索成功

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6085E 検索失敗

説明: データベースの照会中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログの追加メッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6086I 追加成功

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6087E 追加失敗

説明: 文書の追加中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログの追加メッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6088I 更新成功

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6089E 更新失敗

説明: 文書の更新中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログの追加メッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6090I

ARS6090I 削除成功

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6091E 削除失敗

説明: 文書の削除中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログの追加メッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6092I 書き込み成功

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6093E 書き込み失敗

説明: 文書の書き込み中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログの追加メッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6094I 文書は正常にリトリートされました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6095I 文書は正常にリトリートされ、ファイル '*file_name*' に保管されました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6096E リトリート失敗

説明: 文書のリトリート中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログの追加メッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6097I 印刷要求成功

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6098E 印刷要求失敗

説明: 文書の印刷中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、

OnDemand システム・ログの追加メッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6099E フォルダー・フィールド値 '*field_value*' が、フィールド '*field_name*' に対して無効です。

説明: メッセージ中に示された値がメッセージ中に示されたフォルダー・フィールドに対して無効です。

ユーザーの処置: フォルダー・フィールドに対して有効な値を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6100E **-f、-i、-q、-x、-Q、または -S** フラグは、**-X** フラグとともに使用することはできません。

説明: 誤ったパラメーターが指定されました。すべての ARSDOC パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: **-f、-i、-q、-x、-Q、または -S** パラメーターを使用しないコマンドで再実行依頼します。

ARS6101E アプリケーション・グループ '*applgrp_name*' はサーバー '*server_name*' 上で見つかりませんでした。

説明: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループが、メッセージ中に示されたサーバー上で見つかりませんでした。

ユーザーの処置: アプリケーション・グループの名前およびサーバーの名前を確認します。サーバー上にアプリケーション・グループが存在すること、およびユーザーにそのアプリケーション・グループへアクセスする権限があることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6102E ファイル '*file_name*' 内のレコード '*rec_number*' からのヒットを復元できません。

説明: レコードに欠落情報または無効な値が含まれており、処理できません。

ユーザーの処置: 有効なレコードを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6103E コマンド '*command*' を使用した索引ファイルのオブジェクト検索が失敗しました。

説明: 索引ファイルのリトリブ中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログの追加メッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6104E コマンド '*command*' を使用した索引ファイルの解凍が失敗しました。

説明: 索引ファイルの解凍中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログの追加メッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6105E コマンド '*command*' を使用したクライアント・コード・ページへの索引ファイルの変換が失敗しました。

説明: コマンドを処理した OnDemand のインスタンスのコード・ページへ索引ファイルを変換中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログの追加メッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6107I

ARS6107I *hits_queried* 個の文書が照会されました。*hits_retrieved* 個の文書をリトリブしています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6108I *arsdoc* を開始しています。バージョン: *version*

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6110I 汎用インデクサー・ファイルを書き込んでいます。

説明: これは通知メッセージです。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ARS6111I 汎用インデクサー・ファイル *filename* が正常に作成されました。

説明: これは通知メッセージです。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ARS6112I *numNotes* 注釈がファイル *filename* に書き込まれました。

説明: これは通知メッセージです。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ARS6113E ラージ・オブジェクト・ストリング *string* を変換できません。

説明: ラージ・オブジェクト・ストリングの変換を試行中に障害が発生しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログの追加メッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6114E コード・ページ *codePage1* および *codePage2* を使用したストリング変換ルーチンを初期化できません。

説明: ストリング変換プロセスの初期化を試行中に障害が発生しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログの追加メッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6115I 注釈番号 *noteNum* は、他のサーバーにコピーできない注釈として識別されています。

説明: これは通知メッセージです。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ARS6116E *-i*、*-q*、*-x*、または *-X* フラグは、*-Q* フラグとともに使用することはできません。

説明: 誤ったパラメーターが指定されました。

ユーザーの処置: *-i*、*-q*、*-x*、または *-X* パラメーターを使用しないコマンドで再実行依頼します。

ARS6117I SQL ストリング *string* でデータベースを照会中です。

説明: これは通知メッセージです。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ARS6118I *numDocs* 個の文書が照会されました。

説明: これは通知メッセージです。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ARS6120E

トークン化された照会ストリング・フォーマットに、
マーカー *position*、入力値 *str_value*: で障害が起きました。
タイプ・ストリングが予想されます。値は単一引用符で囲む必要があります。

説明: ストリング値が単一引用符で囲まれていません。例えば次のように入力されています。

SQL ストリング:

```
2;balance,name;777.77,A & A%';WHERE balance = ? AND name LIKE ?
```

システム・ログ・メッセージ:

トークン化された照会ストリング・フォーマットに、
マーカー (2)、入力値 (A & A%'): で障害が起きました。
タイプ・ストリングが予想されます。値は単一引用符で囲む必要があります。

ユーザーの処置: ストリング値を単一引用符で囲み、コマンドを再実行依頼してください。

ARS6121W

トークン化された照会ストリング・フォーマット警告: マーカー *position*、
入力値 *str_value*: で数値以外の値が検出されました。数値が予想されます。

説明: 無効な数値が指定されました。例えば次のように入力されています。

SQL ストリング:

```
2;balance,name;777.77abc,'A & A%';WHERE balance = ? AND name LIKE ?
```

システム・ログ・メッセージ:

トークン化された照会ストリング・フォーマット警告: マーカー (1)、
入力値 (777.77abc) で数値以外の値が検出されました。
数値が予想されます。

ユーザーの処置: 値が数値であることを確認してコマンドを再実行依頼します。

ARS6122E

トークン化された照会ストリング・フォーマットで障害が起きました。
パラメーター・マーカーの数 (*numMarkers*) が、パラメーター名の数 (*numNames*) と同一では
ありません。

説明: パラメーターの数が、パラメーター名の数と同一ではありません。例えば次のように入力されています。

SQL ストリング:

```
3;balance,name;777.77,'A & A%';WHERE balance = ? AND name LIKE ?
```

システム・ログ・メッセージ:

ARS6123E

トークン化された照会ストリング・フォーマットで障害が起きました。
パラメーター・マーカーの数 (3) がパラメーター名の数 (2) と等しくありません。

ユーザーの処置: 有効な SQL 照会ストリングを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6123E

トークン化された照会ストリング・フォーマットで障害が起きました。
パラメーター値が欠落しています。
パラメーター・マーカーの数は (*numMarkers*) として指定されました。

説明: 予想よりも少ない数のパラメーター値が指定されました。例えば次のように入力されています。

SQL ストリング:

```
2;balance,name;777.77;WHERE balance = ? AND name LIKE ?
```

システム・ログ・メッセージ:

トークン化された照会ストリング・フォーマットで障害が起きました。
パラメーター値が欠落しています。パラメーター・マーカーの数は (2) として指定されました。

注: 予想されるよりも多い数のパラメーター値が指定されると、OnDemand は、パラメーター名および値を左から右にマップして、余分な値を廃棄します。

ユーザーの処置: パラメーター値ストリングの値の数を訂正して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6124E

トークン化された照会ストリング・フォーマットで障害が起きました。
パラメーターの数 (*numParams*) が、照会ストリング中のマーカーの数 (*numMarkers*) と等しくありません。

説明: 指定されたパラメーター値の数が WHERE 文節のマーカーの数と異なります。例えば次のように入力されています。

SQL ストリング:

```
2;balance,name;777.77,'A & A%';WHERE balance IN (?, ?) AND name LIKE ?
```

システム・ログ・メッセージ:

トークン化された照会ストリング・フォーマットで障害が起きました。
パラメーターの数 (2) 照会ストリング中のマーカーの数 (3) と等しくありません。

ユーザーの処置: WHERE 文節を訂正して有効な SQL 照会ストリングでコマンドを再実行依頼します。

ARS6125E

トークン化された照会ストリング・フォーマットで障害が起きました。
無効なデータベース・フィールド名
(*fName*) が、パラメーター名ストリングの (*position*) で 検出されました。

説明: パラメーター名がデータベース・フィールド名ではありません。例えば次のように入力されています。

SQL ストリング:

```
2;balance,name_abc;777.77,'A & A%';WHERE balance = ? AND name LIKE ?
```

システム・ログ・メッセージ:

トークン化された照会ストリング・フォーマットで障害が起きました。
無効なデータベース・フィールド名 (*name_abc*) がパラメーター名ストリングの (2) で検出されました。

ユーザーの処置: パラメーター名のスペルを訂正して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6126E

文書照会をトークン化して、パラメーターのバインディングに失敗しました。rc = *returnCode*
パラメーター・マーカの位置 (*colPosition*) を変数値 (*sqlData*) でバインドしてください。

説明: プログラム変数のパラメーター・マーカへのバインドに失敗しました。SQL ストリングは有効ですが、内部エラーが発生しました (パラメーター名とその値のマッピングが誤っている可能性があります)。例えば次のように入力されています。

SQL ストリング:

```
2;balance,name_abc;777.77,'A & A%';WHERE balance = ? AND name LIKE ?
```

システム・ログ・メッセージ:

文書照会をトークン化して、パラメーターのバインディングに失敗しました。rc = 6
パラメーター・マーカの位置 (0) を変数値 (777.770000) でバインドしてください。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6500I 用法: `arsadm user -h hostname [-u <userid>] [-p <passwd>] [-v]`
`(-F <parmfile> | ([-a <action>] [-d <desc>] [-e <expire_date>]`
`[-f <format>] [-g <[+]-group1>] [-i <userid>] [-s <time_out>]`
`[-t <type>] [-w <passwd>] [-A <account>] [-B <bldg>]`
`[-C <company>] [-D <dept>] [-G <cover_page>] [-L <dflt_prtr>]`
`[-N <name>] [-P <phone_no>] [-R <room>] [-T <title>]`
`[-U <uid>] [-X <fax_no>] [-E <email>] [-1 <addr1>]`
`[-2 <addr2>] [-3 <addr3>] [-4 <addr4>]))`

バージョン: *version*

-a <action>
a ユーザーの追加
d ユーザーの削除
u ユーザーの更新

-d <desc> 記述

-e <expire_date> ユーザーの削除に使用する日付

-f <format> 日付ストリングの形式

-g <[+]-group1> スペースで区切られたユーザー ID のリスト
+ ユーザーをグループに追加する
- 更新時にユーザーをグループから除去する

-h <hostname> OnDemand ホスト名 (コマンド行のみ)

-i <userid> 新規または既存のユーザー ID

-p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード (コマンド行のみ)

-s <time_out> 非活動タイムアウト

-t <type>
a アプリケーション/アプリケーション・グループの作成
b アプリケーション/アプリケーション・グループとフォルダーの作成
c ユーザーの作成
d アプリケーション・グループ/フォルダー管理者
e グループの作成
f フォルダーの作成
g ユーザー管理者
s システム管理者
u ユーザー

-u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名 (コマンド行のみ)

-v 詳細 (コマンド行のみ)

-w <passwd> 処理するユーザーのパスワード

-A <account> アカウント情報

-B <bldg> ビル

-C <company> 会社

-D <dept> 部門

-E <email> E メール・アドレス

-F <parmfile> パラメーター・ファイルの要求 (コマンド行のみ)

-G <cover_page> カバー・ページ

-L <dflt_prtr> デフォルト・プリンター

-N <name> 名前

-P <phone_no> 電話番号

-R <room> 部屋

-T <title> 役職

-U <uid> UID

-X <fax_no> Fax 番号

-1 <addr1> 所在地、行 1

-2 <addr2> 所在地、行 2

-3 <addr3> 所在地、行 3

-4 <addr4> 所在地、行 4

パラメーター・ファイル内で、フラグは大括弧で区切る必要がある。例: [-i userid]

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6501I 用法: `arsadm group -h hostname [-u <userid>] [-p <passwd>] [-v]`

`(-F <parmfile> | ([-a <action>] [-d <desc>] -g <groupname>`

`[-i <[+<user1>] [-o <owner>] [-G <gid>]))`

バージョン: *version*

-a <action>

a グループの追加

d グループの削除

u グループの更新

-d <desc> 記述

-g <groupname> 新規または既存のグループ名

-h <hostname> OnDemand ホスト名 (コマンド行のみ)

-i <[+<user1> スペースで区切られたユーザー ID のリスト

+ ユーザーをグループに追加する

- 更新時にユーザーをグループから除去する

-o <owner> グループを所有するユーザー ID またはグループ名

-p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード (コマンド行のみ)

-u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名 (コマンド行のみ)

-v 詳細 (コマンド行のみ)

-F <parmfile> パラメーター・ファイルの要求 (コマンド行のみ)

-G <gid> GID

パラメーター・ファイル内で、フラグは大括弧で区切る必要がある。例: [-g groupname]

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6502I 使用法: `arsadm printer -h hostname [-u <userid>] [-p <passwd>] [-v] (-F <parmfile> | ([-a <action>] [-d <desc>] -n <printername> -q <queue> [-t <type>]))`

バージョン: *version*

-a <action>

- a プリンターの追加
- d プリンターの削除
- u プリンターの更新

-d <desc> 記述

-h <hostname> OnDemand ホスト名 (コマンド行のみ)

-n <printername> 新規または既存のプリンター名

-p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード (コマンド行のみ)

-q <queue> PSF プリンター・キューの名前

-t <type>

- p プリンター
- f ファクシミリ
- i 情報付きプリンター

-u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名 (コマンド行のみ)

-v 詳細 (コマンド行のみ)

-F <parmfile> パラメーター・ファイルの要求 (コマンド行のみ)

パラメーター・ファイル内で、フラグは大括弧で区切る必要がある。例: `[-n printername]`

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6503E ユーザー情報を得ようとしてサーバーは失敗しました。

説明: サーバーからのユーザー情報の取得中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログのメッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6504E グループ情報を得ようとしてサーバーは失敗しました。

説明: サーバーからのグループ情報の取得中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログのメッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6505E プリンター情報を得ようとしてサーバーは失敗しました。

説明: サーバーからのプリンター情報の取得中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログのメッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6507I **arsadm** が完了しました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6508E **UID** は、**80000** 以下の有効な数値でなければなりません。

説明: UID に指定された値が無効な値です。

ユーザーの処置: 有効な UID 値を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6509E **GID** は **80000** より大きい有効な数値でなければなりません。

説明: GID に指定された値が無効な値です。

ユーザーの処置: 有効な GID 値を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6510E 操作を継続するには、ユーザー ID が必要です。

説明: ユーザー ID が必要ですが、ユーザー ID が指定されていません。

ユーザーの処置: 有効なユーザー ID を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6511E 操作を継続するには、グループ名が必要です。

説明: グループ名が必要ですが、グループ名が指定されていません。

ユーザーの処置: 有効なグループ名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6512E 操作を継続するには、キュー名が必要です。

説明: キュー名が必要ですが、キュー名が指定されていません。

ユーザーの処置: 有効なキュー名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6513E プリンターを更新中には、キュー名を除去できません。

説明: キュー名は必須フィールドであり、ブランクにはできません。

ユーザーの処置: 有効なキュー名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6514E 操作を継続するには、プリンター名が必要です。

説明: プリンター名が必要ですが、プリンター名が指定されていません。

ユーザーの処置: 有効なプリンター名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6515E ユーザーの更新中には、UID を指定できません。

説明: 既存のユーザーに対する UID の値を変更することはできません。

ユーザーの処置: UID 値を指定しないで、コマンドを再実行依頼します。

ARS6516E グループを更新中には、GID を指定できません。

説明: 既存のグループに対する GID の値を変更することはできません。

ユーザーの処置: GID 値を指定しないで、コマンドを再実行依頼します。

ARS6517E

ARS6517E ユーザーの削除時には、**-i** フラグまたは **-e** および **-f** フラグのみが指定できます。

説明: 競合するパラメーターまたは誤ったパラメーターが指定されています。すべての ARSADM パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6518E グループの削除時に、グループ情報を提供するフラグを指定することはできません (例: **-d desc**)。

説明: 競合するパラメーターまたは誤ったパラメーターが指定されています。すべての ARSADM パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6519E プリンターの削除時には、プリンター情報を提供するフラグを指定できません (例: **-d desc**)。

説明: 競合するパラメーターまたは誤ったパラメーターが指定されています。すべての ARSADM パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6520E プリンター '*printer_name*' が検出されませんでした。

説明: メッセージ中に示されたプリンターがサーバー上で検出されませんでした。

ユーザーの処置: プリンターの名前およびサーバー上にプリンターが存在することを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6521E グループ '*group_name*' が検出されませんでした。

説明: メッセージ中に示されたグループがサーバー上で検出されませんでした。

ユーザーの処置: グループの名前およびサーバー上にグループが存在することを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6522E ユーザー '*userid*' が検出されませんでした。

説明: メッセージ中に示されたユーザーがサーバー上で検出されませんでした。

ユーザーの処置: ユーザーの名前およびサーバー上にユーザーが存在することを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6523E 追加操作の実行中に、ユーザーをグループ '*group*' から削除することはできません。

説明: メッセージ中に示されたグループの先頭にはマイナス (-) 文字が付与されており、これはグループからユーザーを除去する必要があることを示します。ただし、追加操作中にグループからユーザーを除去することはできません。

ユーザーの処置: グループの先頭のマイナス文字を指定しないでコマンドを再実行依頼するか、グループを指定しないでコマンドを再実行依頼します。

ARS6524E ユーザー ID '*userid*' が存在しません。

説明: メッセージ中に示されたユーザー ID がサーバー上で検出されませんでした。

ユーザーの処置: ユーザー ID がサーバー上に存在することを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6525E グループ名 *group_name* が存在しません。

説明: メッセージ中に示されたグループ名がサーバー上で検出されませんでした。

ユーザーの処置: グループの名前およびサーバー上にグループが存在することを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6528E ユーザー '*userid*' を追加できません。ユーザー ID または UID は既に存在しています。

説明: メッセージ中に示されたユーザー ID または UID が既に存在しています。例えば、ARSXML を使用して多数のユーザーをインポートした場合に、ARSXML によってユーザーの UID が生成されるものの、UID が固有であることが保証されていないために、このメッセージを受け取る場合があります。場合によっては、2 つのインポートで同じ UID が生成され、1 つが失敗することがあります。

ユーザーの処置: 別のユーザー ID または UID 値を指定して、コマンドを再実行依頼します。例えば、ARSXML の場合、最初のインポート・アクションで失敗したユーザーが追加されます。2 回目のインポート・アクションを試みると、以前に成功した追加はすべて失敗となりますが、ユーザーはすでに定義されているので、失敗に関するメッセージは無視してかまいません。

ARS6529E グループ名 '*group_name*' を追加できません。グループ名または GID は既に存在しています。

説明: メッセージ中に示されたグループ名または GID が既に存在しています。

ユーザーの処置: 別のグループ名または GID 値を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6530E プリンター名 '*printer_name*' を追加できません。プリンター名は既に存在しています。

説明: メッセージ中に示されたプリンター名が既に存在しています。

ユーザーの処置: 別のプリンター名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6531E '*-flag*' フラグの値が最大長 '*length*' を超えています。

説明: 指定されたパラメーターの値が許容される最大長を超えています。許容される長さはメッセージ内に示されています。

ユーザーの処置: パラメーターに対して有効な値を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6532E ユーザー '*userid*' はグループ '*group_name*' 内に既に存在しています。

説明: メッセージ中に示されたユーザーが既にメッセージ中に示されたグループに追加されました。

ユーザーの処置: ユーザー ID およびグループの名前を確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6533E ユーザー '*userid*' は既にグループ '*group_name*' から除去されています。

説明: メッセージ中に示されたユーザーが既にメッセージ中に示されたグループから除去されました。

ユーザーの処置: ユーザー ID およびグループの名前を確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6534E '*name*' がリスト内で複数回見つかりました。

説明: メッセージ中に示された名前が複数回リストに含まれていました。

ユーザーの処置: リストから重複する名前を除去して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6535E

ARS6535E 最初の使用可能な UID をサーバーから判別できませんでした。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6536E 最初の使用可能な GID をサーバーから判別できませんでした。

説明: 本プログラムの実行中に、予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6537E 非アクティブ・タイムアウト値は、-1 (タイムアウトしない)、0 (システム値を使用)、または 1 から 1440 の範囲内にある必要があります。

説明: 非アクティブ・タイムアウト値に指定された値は無効です。有効範囲はメッセージ内に示されています。

ユーザーの処置: 有効な非アクティブ・タイムアウト値を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6538I サーバー '*server_name*' 上のユーザー '*userid*' を照会しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6539I サーバー '*server_name*' 上のグループ '*group_name*' を照会しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6540I グループ '*group_name*' にユーザー '*userid*' を追加しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6541I グループ '*group_name*' からユーザー '*userid*' を削除しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6542I ユーザー '*userid*' を追加しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6543I ユーザー '*userid*' を削除しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6544I ユーザー '*userid*' を更新しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6545I グループ '*group_name*' を追加しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6546I グループ '*group_name*' を削除しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6547I グループ '*group_name*' を更新しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6548I プリンター '*printer_name*' を追加しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6549I プリンター '*printer_name*' を削除しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6550I プリンター '*printer_name*' を更新しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6551E グループ '*group_name*' はグループの所有者として使用できません。

説明: グループの所有者をグループ自体にすることはできません。

ユーザーの処置: グループの所有者に対して別のグループ名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6552E 形式 '*format*' を使用する日付の値 '*date_value*' を内部の日付の値に変換できません。

説明: 指定されたデータ値は内部の日付の値に変換できませんでした。有効な日付形式の完全なリストは、「管理ガイド」に示されています。

ユーザーの処置: 指定された形式を使用して有効な日付の値を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6553E ユーザーの削除時には、**-e** フラグおよび **-f** フラグのみが使用できます。

説明: **-e** または **-f** パラメーターが指定され、要求された操作は削除されませんでした。すべての ARSADM パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: **-e** または **-f** パラメーターを指定しないで、コマンドを再実行依頼します。

ARS6554E

ARS6554E 報告書作成フラグ **-O** および **-S** を、追加/更新/削除機能に対して使用されたフラグと同時に使用することはできません。

説明: **-O** および **-S** パラメーターは報告書の作成にのみ指定できます。すべての ARSADM パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: **-O** または **-S** パラメーターを指定しないで、コマンドを再実行依頼します。

ARS6594I 報告書がファイル '*file_name*' に書き込まれました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6617I サーバー '*server*' 上のアプリケーション・グループを照会しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6635I サーバー '*server*' 上のフォルダーを照会しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6653I 報告書の要求時に、追加/更新/削除機能の実行に使用されるフラグを指定することはできません。

説明: 報告書の要求時には、ディレクトリー、ファイル名、および名前のみが指定できます。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6661E ディレクトリーのパスが指定されている場合、出力ファイル名が指定されている必要があります。

説明: 出力ファイル名を指定しないでディレクトリーのパスが指定されました。

ユーザーの処置: 有効なパスおよび出力ファイル名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6662E 操作を継続するには、名前を指定する必要があります。

説明: 名前が指定されていません。

ユーザーの処置: 有効な名前を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6663I 用法: `arsadm set -h hostname [-u <userid>] [-p <passwd>] [-v] (-F <parmfile> | ([-a <action>] -n <setname> [-d <desc>] [-t <type>] [-H <objserver>] [-N <nodename>] [-D <desc>] [-i <logon>] [-w <passwd>] [-l <nodename>] [-T <nodetype>] [-c <value>] [-A nodeaction]))`

バージョン: *version*

-a <action>

- a ストレージ・セットの追加
- d ストレージ・セットの削除
- u ストレージ・セットの更新

-c <value>

- y キャッシュだけ
- n キャッシュ以外だけ

-d <desc> ストレージ・セットの記述

-h <hostname> OnDemand ホスト名 (コマンド行のみ)

-i <logon> ストレージ・マネージャーのログオン名

-l <nodename> ストレージ・ノードの ID
 ストレージ・ノード
 高水準修飾子 (VSAM) OD/390 オブジェクト・サーバー
 集合名 (OAM) OD/390 オブジェクト・サーバー

-n <setname> ストレージ・セット名

-p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード (コマンド行のみ)

-t <loadtype> ストレージ・セット・ロード・タイプ

- f 固定
- l ローカル

-u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名 (コマンド行のみ)

-v 詳細 (コマンド行のみ)

-w <passwd> ストレージ・マネージャーのログオン・パスワード

-A <nodeaction>

- a ストレージ・ノードの追加
- d ストレージ・ノードの削除
- u ストレージ・ノードの更新

-D <desc> ストレージ・ノードの記述

-F <parmfile> パラメーター・ファイルの要求 (コマンド行のみ)

-H <objserver> ストレージ・ノードのオブジェクト・サーバー名

-N <nodename> ストレージ・ノード名

-T <nodetype> ストレージ・ノード・タイプ

- n 非 OD/390 オブジェクト・サーバー
- o OAM アクセス方式を使用した OD/390 オブジェクト・サーバー
- v VSAM アクセス方式を使用した OD/390 オブジェクト・サーバー

パラメーター・ファイル内で、フラグは大括弧で区切る必要がある。例: `[-n setname]`

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6664E 'name' が見つからなかったか、サーバー上に存在しません。

説明: メッセージ中に示されたオブジェクトがサーバー上で検出されませんでした。

ユーザーの処置: サーバー上にオブジェクトが存在すること、およびユーザーにオブジェクトへアクセスする権限があることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6692I 使用法: `arsadm appl -h hostname [-u <userid>] [-p <passwd>] [-v]`
 (-F <parmfile> | ([-a <action>] -n <applname> [-O <filename>]
 [-S <dir>]))

バージョン: *version*

-a <action>

r アプリケーションのレポートを生成する

-h <hostname> OnDemand ホスト名 (コマンド行のみ)

-n <applname> 既存のアプリケーション名

-p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード (コマンド行のみ)

-u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名 (コマンド行のみ)

-v 詳細 (コマンド行のみ)

-F <parmfile> パラメーター・ファイルの要求 (コマンド行のみ)

-O <filename> レポート・ファイル名

-S <dir> レポートの保管先ディレクトリー

パラメーター・ファイル内で、フラグは大括弧で区切る必要がある。例: [-n applname]

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6693I 使用法: `arsadm applgrp -h hostname [-u <userid>] [-p <passwd>] [-v]`
 (-F <parmfile> | ([-a <action>] -n <applgrpname> [-O <filename>]
 [-S <dir>]))

バージョン: *version*

-a <action>

r アプリケーション・グループのレポートを生成する

-h <hostname> OnDemand ホスト名 (コマンド行のみ)

-n <applgrpname> 既存のアプリケーション・グループ名

-p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード (コマンド行のみ)

-u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名 (コマンド行のみ)

-v 詳細 (コマンド行のみ)

-F <parmfile> パラメーター・ファイルの要求 (コマンド行のみ)

-O <filename> レポート・ファイル名

-S <dir> レポートの保管先ディレクトリー

パラメーター・ファイル内で、フラグは大括弧で区切る必要がある。例: [-n applgrpname]

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6694I 使用法: `arsadm folder -h hostname [-u <userid>] [-p <passwd>] [-v]`
 (-F <parmfile> | ([-a <action>] -n <foldername> [-O <filename>]
 [-S <dir>]))

バージョン: *version*

-a <action>

r フォルダのレポートを生成する

-h <hostname> OnDemand ホスト名 (コマンド行のみ)

-n <foldername> 既存のフォルダ名

-p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード (コマンド行のみ)

-u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名 (コマンド行のみ)

-v 詳細 (コマンド行のみ)

-F <parmfile> パラメーター・ファイルの要求 (コマンド行のみ)

-O <filename> レポート・ファイル名

-S <dir> レポートの保管先ディレクトリー

パラメーター・ファイル内で、フラグは大括弧で区切る必要がある。例: [-n foldername]

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6700I 使用法: `arsexprt -h hostname [-u <userid>] [-p <passwd>] [-v]`
 (-F <parmfile> | ([-c] [-e <user_group_list>] -i <import_userid>
 -s <import_srvr> -t <type> -w <import_passwd> -N <name>))

バージョン: *version*

-c 警告を無視

-e <user_group_list> 許可を与えないユーザーとグループのリスト

(例 -e ¥"user1 +group1 user2 +group2¥")

(グループ名の前に正符号 (+) がなければならない)

-h <hostname> OnDemand ホスト名 (コマンド行のみ)

-i <import_userid> インポート・サーバー・ログイン・ユーザー ID

-p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード (コマンド行のみ)

-s <import_srvr> オブジェクトを追加するサーバー

-t <type>

u ユーザー

g グループ

a アプリケーション・グループ

s ストレージ・セット

f フォルダ

p プリンター

-u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名 (コマンド行のみ)

-w <import_passwd> インポート・サーバー・ログイン・パスワード

-v 詳細 (コマンド行のみ)

-F <parmfile> パラメーター・ファイルの要求 (コマンド行のみ)

-N <name> エクスポートするオブジェクト名

パラメーター・ファイル内で、フラグは大括弧で区切る必要がある。例: [-u userid]

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6703E

ARS6703E 操作を継続するには、エクスポートする項目の名前を指定する必要があります。

説明: 要求に名前が欠落しています。

ユーザーの処置: エクスポートする項目の名前を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6708I `arsexprt` が完了しました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6712E `-F` オプションと同時に指定できるオプションは `-u`、`-p`、`-h`、`-c`、`-v`、`-i`、`-s`、および `-w` のみです。

説明: `-F` パラメーターに無効な 1 つ以上のパラメーターが指定されました。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS6720E `'server_name'` サーバー上で `'name'` が検出されませんでした。

説明: メッセージ中に示された名前が、メッセージ中に示されたサーバー上で見つかりませんでした。

ユーザーの処置: サーバー上にオブジェクトが存在すること、およびユーザーにオブジェクトへアクセスする権限があることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6815E 操作を継続するには、インポートのユーザー ID を指定する必要があります。

説明: ターゲット・サーバー用のユーザー ID が指定されていません。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバー用のユーザー ID を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6816E 操作を継続するには、インポートのパスワードを指定する必要があります。

説明: ターゲット・サーバー用のパスワードが指定されていません。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバー用のパスワードを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6817E 操作を継続するには、インポートのホスト名を指定する必要があります。

説明: ターゲット・サーバーのホスト名が指定されていません。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーのホスト名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6819E 操作を継続するには、エクスポートのタイプを指定する必要があります。

説明: 実行するエクスポートのタイプが指定されていません。

ユーザーの処置: 実行するエクスポートのタイプを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6822I サーバー `'server_name'` 上のユーザー ID `'userid'` のログインを試行しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6825I `object` を処理しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6826I サーバー '*server_name*' 上のユーザーを照会しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6827E ID '*id*' を持つユーザーまたはグループをサーバー '*server_name*' 上で検出できませんでした。

説明: ユーザー ID の UID またはグループの GID が指定されたサーバー上で検出できませんでした。

ユーザーの処置: ユーザー ID、グループの名前、およびサーバーの名前を確認して、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6828I サーバー '*server_name*' 上のグループを照会しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6829I サーバー '*server_name*' 上のストレージ・セットを照会しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6830E '*name*' はサーバー '*server_name*' 上に既に存在しています。

説明: メッセージ中に示されたオブジェクトがメッセージ中に示されたサーバー上に既に存在しています。

ユーザーの処置: 別のオブジェクト名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS6831E ストレージ・セットを追加中にサーバーが失敗しました。

説明: ストレージ・セットの追加中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログのメッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6832E ストレージ・ノードをストレージ・セットに追加中にサーバーが失敗しました。

説明: ストレージ・ノードのストレージ・セットへの追加中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログのメッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6833E 操作を継続するには、サーバーのホスト名が別のものである必要があります。

説明: ソース・サーバーの名前とターゲット・サーバーの名前が同じです。

ユーザーの処置: コマンドを再実行依頼して、ターゲット・サーバーの名前とは異なる名前をソース・サーバーに指定します。

ARS6834E デフォルト・プリンターの名前を識別できません。

説明: デフォルト・プリンターの名前を判別できません。

ユーザーの処置: ユーザーにプリンターへのアクセス権があり、プリンター名を判別できることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6835E アプリケーション・グループ '*applgrp_name*' が存在しないか、ユーザーにアプリケーション・グループへアクセスする権限がありません。

説明: メッセージ中に示されたアプリケーション・グループがサーバー上で検出されないか、ユーザーにアプリケーション・グループへアクセスする権限がありません。

ユーザーの処置: アプリケーション・グループの名前およびサーバー上にアプリケーション・グループが存在することを確認します。ユーザーにアプリケーション・グループへアクセスする権限があることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS6836I サーバー '*server_name*' 上のアプリケーション・グループ '*applgrp_name*' を照会しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6837E ID '*sid*' を持つストレージ・セットをサーバー '*server_name*' 上で検出できませんでした。

説明: メッセージ中に示されたサーバー上でストレージ・セットを検出できなかったためコマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: ストレージ・セットの名前と ID、およびサーバーの名前を確認します。コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6838E ID '*pid*' を持つプリンターをサーバー '*server_name*' 上で検出できませんでした。

説明: メッセージ中に示されたサーバー上でプリンターを検出できなかったためコマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: プリンターの名前と ID、およびサーバーの名前を確認します。エクスポートを実行しているユーザー ID にプリンターを参照する権限があることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6839I サーバー '*server_name*' 上のフォルダー '*folder_name*' を照会しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS6840E フォルダー '*folder_name*' が存在しないか、ユーザーにフォルダーへアクセスする権限がありません。

説明: メッセージ中に示されたフォルダーをサーバー上で検出できなかったためコマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: フォルダーの名前およびサーバー上にフォルダーが存在することを確認します。ユーザーにフォルダーへアクセスする権限があることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6841E ストレージ・セットを削除中にサーバーが失敗しました。

説明: ストレージ・セットの削除中に、サーバー操作が失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログのメッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6842E ストレージ・セットを更新中にサーバーが失敗しました。

説明: ストレージ・セットの更新中に、サーバー操作が失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、

OnDemand システム・ログのメッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6843E ストレージ・セットからストレージ・ノードを削除中にサーバーが失敗しました。

説明: ストレージ・セットからノードを削除中に、サーバー操作が失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログのメッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS6844E ストレージ・セット内でストレージ・ノードを更新中にサーバーが失敗しました。

説明: ストレージ・ノードの更新中に、サーバー操作が失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログのメッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS7000I 使用法: `arsmdmgr -h hostname [-u <userid>] [-p <passwd>] [-v]`
`[-c <out_dir>] -d <in_dir> [-e <delim>] [-f <foldername>]`
`[-l] -m <min_nbr> [-n <nbr_drives>] [-t <seconds>] [-F <ext>]`
`-T <max_wait_time> [-r] [-H] [-I]`

バージョン: *version*

-c <out_dir> 出力ディレクトリー

-d <in_dir> 入力ディレクトリー

-e <delim> 索引値の間の区切り文字

-f <foldername> OnDemand フォルダー

-h <hostname> OnDemand ホスト名

-l ログ・ファイルにメッセージを書き込み

-m <min_nbr> 検索を始める前に提示するエントリーの最小数

-n <nbr_drives> OnDemand オブジェクト・サーバー当たりのドライブの最大数

-p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード

-r 調停処理を実行する

-t <seconds> 要求を探索する前に待機する秒数

-u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名

-v 詳細

-F <ext> 入力パラメーター・ファイルのファイル拡張子

-H 要求ファイルをヒット・リスト形式にする

-I ヒットをファイルに書き込む

-R <name> 要求ファイル名

-T <max_wait_time> 要求を処理する前に待機する秒数

説明: コマンドに誤ったパラメーターが指定されています。有効なパラメーターはメッセージに記載されています。説明は、OnDemand の「管理ガイド」に記載されています。

ユーザーの処置: 適切なパラメーターを指定してコマンドを再実行依頼してください。

ARS7001I `arsmdmgr` が完了しました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS7002E

ARS7002E 操作を継続するには、入力ディレクトリーを指定する必要があります。

説明: 入力ディレクトリーが指定されていません。

ユーザーの処置: 有効な入力ディレクトリーを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS7003E ディレクトリー '*dirpath*' は存在しないか、アクセスできません。

説明: メッセージ中に示されたディレクトリーが検出またはアクセスできませんでした。

ユーザーの処置: ディレクトリーが存在すること、およびユーザーにディレクトリーへアクセスできる権限があることを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS7004E 操作を継続するには、処理する要求の最小数を指定する必要があります。

説明: 処理する要求の最小数が指定されていません。

ユーザーの処置: 処理する要求の最小数を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS7005E 操作を継続するには、要求を処理するために待機する最大時間を指定する必要があります。

説明: 待機する最大時間が指定されていませんでした。

ユーザーの処置: 待機する最大時間を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS7006E フォルダー・フィールド値 '*field_value*' は、要求 '*request_identifier*' のフィールド '*field_name*' に対して無効です。

説明: メッセージ中に示された値はメッセージ中に示されたフィールドに対して無効です。

ユーザーの処置: フィールドに対して有効な値を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS7008E ファイルにレコードがありません。

説明: 要求されたファイルにレコードがありません。

ユーザーの処置: 要求のレコードを含むファイルを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS7009E コマンド '*command*' を使用した要求を実行依頼できません。

説明: 指定されたコマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: 環境変数 `ARS_MEDMGR` が正しく設定されていること、およびシステム上にコマンドが存在することを確認します。次に、コマンドを再実行依頼します。

ARS7010I このセッションでは `-d`、`-F`、`-I`、`-n`、`-m`、`-r`、`-t`、および `-T` フラグは無視されています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS7011I サーバーからログオフしています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS7012I ファイル '*file_name*' が '*file_name_new*' に名前変更されました。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS7013I '*folder_name*' のヒット・リストを作成しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS7014I ヒット・リスト作成成功

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS7015E ヒット・リスト作成失敗

説明: 文書リストの生成中に、コマンドが失敗しました。

ユーザーの処置: コマンドにより生成されたその他のメッセージを参照してください。また、詳細については、OnDemand システム・ログの追加メッセージを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してください。

ARS7016E **-r** フラグと **-H** フラグは同時に使用できません。

説明: 調整処理 (**-r**) は、要求ファイルがヒット・リスト形式 (**-H**) の場合、実行できません。

ユーザーの処置: **-r** パラメーターまたは **-H** パラメーターのいずれかを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS7505I ストレージ・セット '*set_name*' を追加しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS7506I ストレージ・セット '*set_name*' を削除しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS7507I ストレージ・セット '*set_name*' を更新しています。

説明: このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS7508E ストレージ・セット '*set_name*' を追加できません。ストレージ・セットは既に存在しています。

説明: メッセージ中に示された名前のストレージ・セットは、既にサーバー上に存在しています。

ユーザーの処置: 別のストレージ・セット名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS7509E セットの削除時に、セットまたはノード情報を提供するフラグを指定することはできません (例: **-d desc**)。

説明: 削除操作で無効なパラメーターが指定されました。すべての ARSADM パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: パラメーターを指定しないで、コマンドを再実行依頼します。

ARS7510E セットの削除時に、ストレージ・ノード情報を提供するフラグを指定することはできません (例: **-N nodename**)。

説明: 更新操作で無効なパラメーターが指定されました。すべての ARSADM パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: パラメーターを指定しないで、コマンドを再実行依頼します。

ARS7511E ストレージ・ノードがキャッシュのみであり、OD/390 オブジェクト・サーバーまたは OS/400 サーバーにある場合、ユーザー ID およびパスワード情報を提供するフラグは指定できません。

説明: ストレージ・ノードのこのタイプまたは場所に対して無効なパラメーターが指定されました。すべての ARSADM パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: パラメーターを指定しないで、コマンドを再実行依頼します。

ARS7512E ストレージ・ノードがキャッシュのみでない場合は、ユーザー ID とパスワード情報を提供するフラグを指定する必要があります。

説明: ユーザー ID およびパスワードが指定されていません。

ユーザーの処置: 有効なユーザー ID およびパスワードを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS7513E ストレージ・ノード名が必要です。有効なストレージ・ノード名を入力してください。

説明: ストレージ・ノード名が指定されていませんでした。

ユーザーの処置: 有効なストレージ・ノード名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS7514E ストレージ・セットを削除できません。ストレージ・セットにアプリケーション・グループが含まれています。

説明: 1 つ以上のアプリケーション・グループがストレージ・セットに割り当てられているため、ストレージ・セットの削除中に、コマンドが失敗しました。1 つ以上のアプリケーション・グループがストレージ・セットに割り当てられている場合、そのストレージ・セットは削除できません。

ユーザーの処置: ストレージ・セットに割り当てられているアプリケーション・グループを削除します。次に、コマンドを再実行依頼して、ストレージ・セットを削除します。

ARS7515E ストレージ・セットを更新するときに、記述、ロード・タイプ、またはノード情報を指定する必要があります。

説明: ストレージ・セットを更新するために必要な情報が指定されていません。

ユーザーの処置: 記述、ロード・タイプ、およびノード情報を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS7516E 「ロード・タイプ」を「ローカル」に変更できません。データがロードされるノードとして、サーバーごとに 1 つの 1 次ノードが識別される必要があります。

説明: ロード・タイプをローカルに変更する要求が出されました。しかし、どのサーバーの 1 次ノードも、データのロード先となるノードとして識別されていませんでした。

ユーザーの処置: データがロードされる各サーバー上の 1 つの 1 次ノードでデータ・ロード・オプションを設定します。

ARS7517E 「ロード・タイプ」を「固定」に変更できません。複数のノードが、データがロードされるノードとして識別されています。

説明: ロード・タイプを固定に変更する要求が出されました。しかし、複数のノードが、データがロードされるノードとして識別されました。

ユーザーの処置: ストレージ・セットで 1 つのみのストレージ・ノードでデータ・ロード・オプションを設定します。

ARS7518E ストレージ・ノードを削除する場合は、セット名、ノード名、および新規ロード・ノード名しか提供できません。

説明: 削除操作で無効なパラメーターが指定されました。すべての ARSADM パラメーターは、「管理ガイド」で説明されています。

ユーザーの処置: セット名、ノード名、および新規ロード・ノード名のみを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS7519E ストレージ・セットが追加されたときは、ストレージ・ノードの削除や更新はできません。

説明: 同じ操作の間にストレージ・セットを追加し、ストレージ・ノードを更新または削除するための要求が出されました。ストレージ・ノードのアクションは、ストレージ・セットの追加とは別に実行される必要があります。

ユーザーの処置: 更新または削除パラメーターを指定しないで、コマンドを再実行依頼します。

ARS7520E ストレージ・ノード '*node_name*' を追加できません。そのストレージ・セットに既に存在しています。

説明: メッセージ中に示されたストレージ・ノードが、ストレージ・セット内に既に存在しています。

ユーザーの処置: 別のストレージ・ノード名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS7521E ストレージ・ノード '*node_name*' を更新または削除できません。そのストレージ・セットに存在しません。

説明: メッセージ中に示されたストレージ・ノード名が、ストレージ・セット内に存在していません。

ユーザーの処置: 別のストレージ・ノード名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS7522E ストレージ・ノード '*node_name*' は削除できません。これはストレージ・セット内の唯一のストレージ・ノードです。

説明: ストレージ・セット内の唯一のストレージ・ノードを削除するための要求が出されました。ストレージ・セットには少なくとも 1 つのストレージ・ノードが含まれている必要があります。

ユーザーの処置: ストレージ・ノードを削除して、ストレージ・セットを削除しない場合は、最初に新規ストレージ・ノードを追加して、次に、古いストレージ・ノードを削除します。ストレージ・ノードおよびストレージ・セットを削除する場合は、ストレージ・セットを削除します。

ARS7523E ストレージ・ノードが更新、削除、または追加された場合は、ロード・タイプを変更できません。

説明: ストレージ・ノードを更新、削除、または追加しているときに、ロード・タイプを変更する要求が出されました。これらの操作の間にロード・タイプを変更することはできません。

ユーザーの処置: 個別のコマンドを実行依頼して、ロード・タイプを変更します。

ARS7524E ノードを追加するとき、ロード・データ・フラグは追加するノードに対してだけ設定できます。

説明: Load Data パラメーターが追加中のストレージ・ノード以外のストレージ・ノードに指定されています。

ユーザーの処置: コマンドを再実行依頼して、追加中のストレージ・ノードに対する Load Data パラメーターを設定します。

ARS7525E ストレージ・セットを更新するときに、ノード情報を指定する必要があります。

説明: ストレージ・ノードを更新するために必要な情報が指定されていません。

ユーザーの処置: 必要なストレージ・ノード情報を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS7526E データがロードされるノードとして、サーバーごとに 1 つの 1 次ノードが識別される必要があります。

説明: データをロードする 1 次ノードを指定する必要があります。複数のサーバーにデータをロードしている場合、各サーバーに対して 1 次ノードを指定する必要があります。

ユーザーの処置: 各サーバーに対して、データがロードされる 1 次ノードでデータ・ロード・オプションを設定します。

ARS7527E サーバー 'server_name' 上で、複数の 1 次ノードが、データがロードされるノードとして識別されています。

説明: サーバー上の複数の 1 次ノードが、データがロードされるノードとして識別されました。

ユーザーの処置: 各サーバー上の唯一の 1 次ノードでデータ・ロード・オプションを設定します。

ARS7528E 複数のノードが、データがロードされるノードとして識別されています。

説明: ロード・タイプが固定の場合、1 つのストレージ・ノードのみを、データがロードされるノードとして識別可能です。

ユーザーの処置: ストレージ・セット内の 1 つのみのストレージ・ノードでデータ・ロード・オプションを設定します。

ARS7529E ストレージ・ノードのパスワードは、非ブランク文字から成る、1 文字以上でなければなりません。

説明: ストレージ・ノードのパスワードがブランクでした。

ユーザーの処置: 有効なストレージ・ノードのパスワードを指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS7530E データがロードされるノードとして、サーバーごとに 1 つの 1 次ノードが識別される必要があります。

説明: ホスト名がブランク文字のみで構成されていました。

ユーザーの処置: 有効なホスト名を指定して、コマンドを再実行依頼します。

ARS7531I ノード '*node_name*' をストレージ・セット '*set_name*' に追加中...

説明: メッセージ中に示されたノードが、メッセージ中に示されたストレージ・セットに追加されています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS7532I ストレージ・セット '*set_name*' のノード '*node_name*' を削除中...

説明: メッセージ中に示されたノードが、メッセージ中に示されたストレージ・セットから削除されています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

ARS7533I ストレージ・セット '*set_name*' のノード '*node_name*' を更新中...

説明: メッセージ中に示されたノードが、メッセージ中に示されたストレージ・セット内で更新されています。このメッセージは単なる参考メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。

第 2 部 OAM サポート・サービスの異常終了コード

第 3 章 概要

通常のプログラム実行を継続できない障害またはエラー状態が発生すると、OAM サポート・サービスによって ABEND コード U-0039 (X'0027') が発行されます。

この状態の詳細は、関連する理由コード (通常は ABEND 時に汎用レジスター 15 に格納) で示されます。理由コードは *mmmmrrrr* の形式の 8 桁の 16 進値であり、各項の意味は次のとおりです。

mmmm (上位 4 桁)

関連するメッセージ番号を表す 2 進値 10 進表記です。これらの数字が 0000 の場合、メッセージは発行されていません。

rrrr (下位 4 桁)

障害またはエラー状態を特定する理由コードです。177 ページの『第 4 章 OAM サポート・サービスの理由コード』に記載された理由コードの説明は、この *rrrr* の数字に対応しています。

ほかに指定がない場合、すべての理由コードに次の項目が適用されます。

システム・アクション:

システムにより LOGREC レコードが作成され、SVC ダンプも作成されます。

システム・プログラマー応答:

問題に対する修正方法を問題報告データベースで検索してください。フィックスが存在しない場合は、以下の診断および問題判別資料を使用し、IBM サービス技術員に連絡してください。

- バイナリー機械可読ダンプ・データ・セット (SVC ダンプや SYSMDUMP データ・セットなど)。通常、SYSUDUMP および SYSABEND DD ステートメントが参照するデータ・セットに記述された印刷イメージ定様式ダンプでは、問題を判別するに不十分です。
- 障害に関連するフォーマット済み LOGREC レコード。LOGREC レコードの選択およびフォーマットに関する情報は、「*Environmental Record Editing and Printing Program (EREP) User's Guide*」(GC35-0151) および「*Environmental Record Editing and Printing Program (EREP) Reference*」(GC35-0152) を参照してください。
- MVS システム・ログに関連するセクション。
- すべての関連ジョブのログおよび JCL リスト。

第 4 章 OAM サポート・サービスの理由コード

通常のプログラム実行を継続できない障害またはエラー状態が発生した場合に、OAM サポート・サービスによって発行される ABEND コード U-0039 (X'0027') には、次の理由コードが関連付けられています。システム・アクションやシステム・プログラマー応答など、理由コードの一般情報については、175 ページの『第 3 章 概要』を参照してください。

0250

説明: キューイング・サービス要求エラー: キューまたはキュー・エレメント BUILD 要求に指定されたストレージ属性の組み合わせが無効です。

モジュールの検出: ARS3QMGR

0251

説明: キューイング・サービス要求エラー: 呼び出し元がタスク・モードで実行されておらず、適切に認可されません。

モジュールの検出: ARS3QMGR

0252

説明: キューイング・サービス・エラー: ロックの取得を試行中、MVS ロック・マネージャーから予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: 操作中であったロックを示します。

- 1: LOCAL
- 2: CMS

R14: ロック・マネージャー (SETLOCK) 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARS3QMGR

0253

説明: キューイング・サービス・エラー: ロックの解放を試行中、MVS ロック・マネージャーから予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: 操作中であったロックを示します。

- 1: LOCAL
- 2: CMS

R14: ロック・マネージャー (SETLOCK) 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARS3QMGR

0254

説明: キューイング・サービス・エラー: キュー妥当性エラーが検出されました。キュー内にあると予想されたエレメントが、適切に格納されていません。

モジュールの検出: ARS3QMGR

0255

0255

説明: キューイング・サービス・エラー: キュー妥当性エラーが検出されました。キューに存在しないと予想されたエレメントが見つかりましたが、そのキュー・ヘッダーのポインターはゼロ以外でした。

モジュールの検出: ARS3QMGR

0256

説明: キューイング・サービス・エラー: キュー・ヘッダー内のキュー・シリアライゼーション・レベル値が無効でした。

モジュールの検出: ARS3QMGR

0257

説明: キューイング・サービス要求エラー: キュー内に存続するエレメントを破棄しようとしてしました。

モジュールの検出: ARS3QMGR

0258

説明: キューイング・サービス要求エラー: キューが空でないことを示すキュー・ヘッダーを破棄しようとしてしました。

モジュールの検出: ARS3QMGR

0259

説明: キューイング・サービス要求エラー: 権限のない呼び出し元がワークステーション命令以外の手段を使用してサービスを起動しました。

モジュールの検出: ARS3QMGR

025A

説明: キューイング・サービス要求エラー: 呼び出し元がタスク・モードで実行されておらず、VSM 要求と関連付ける TCB ポインターが指定されませんでした。

モジュールの検出: ARS3QMGR

025B

説明: キューイング・サービス・エラー: TCBTOKEN サービスから予期せぬ戻りコードが戻されました。 ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: TCBTOKEN PLIST のアドレスを格納します。

R14: TCBTOKEN サービス戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARS3QMGR

0270

説明: 初期化障害: 1 つ以上のサポート・モジュールをロードできませんでした。

モジュールの検出: ARS3OCT

0271

説明: ATTACH から予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: ATTACH PLIST のアドレスを格納します。

R14: ATTACH サービス戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARS3OCT

0272

説明: ロックの取得を試行中、MVS ロック・マネージャーから予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: 操作中であったロックを示します。

1: LOCAL

2: CMS

R14: ロック・マネージャー (SETLOCK) 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARS3OCT

0273

説明: ロックの解放を試行中、MVS ロック・マネージャーから予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: 操作中であったロックを示します。

1: LOCAL

2: CMS

R14: ロック・マネージャー (SETLOCK) 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARS3OCT

0274

説明: ARS3CAS_TCBQH サブタスク・キュー上に対応するエレメントがなかった TCB に対して、タスクの終わり出口プログラムが入力されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: ARS3QMP 構造体のアドレスを格納します。

R2: ETXR に渡された TCB ポインターを格納します。

R14: ARS3QMGR サービス戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARS3OCT

0275

説明: 初期化エラー: 付加される ARS3OSR タスク数に予期せぬ値が指定されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: 指定されたタスク・カウントを格納します。

追加のプログラム判別情報: OAM サービス初期化パラメーターは、/usr/lpp/ars/config ディレクトリー内の ars.cfg ファイルに格納されます。付加される ARS3OSR タスク数は、ARS_NUM_OAMSRVR ステートメントのオペランドとして指定されます。指定された値は、30 以下の負でない値でなければなりません。

モジュールの検出: ARS3OCT

0276

0276

説明: ESTAEX リカバリー環境を確立しようとして失敗しました。 ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: ESTAEX 理由コードを格納します。

R14: ESTEAX 理由コードを格納します。

モジュールの検出: ARS3OCT

027A

説明: ARS3QMGR サービスから予期せぬ戻りコードが戻されました。 ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: ARS3QMP 構造体のアドレスを格納します。

R14: ARS3QMGR サービス戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARS3OCT

027B

説明: TCBTOKEN サービスから予期せぬ戻りコードが戻されました。 ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: TCBTOKEN PLIST のアドレスを格納します。

R14: TCBTOKEN サービス戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARS3OCT

027D

説明: IEANT_{xx} サービスから予期せぬ戻りコードが戻されました。 ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: 要求中であったサービスを示します。

4: IEANTCR

8: IEANTRT

C: IEANTDL

R14: IEANT_{xx} 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARS3OCT

027E

説明: 終了要求があったときに、サブタスクが終了しませんでした。サブタスクは CALLRTM によって強制終了中です。

モジュールの検出: ARS3OCT

027F

説明: サブシステムのシャットダウン中に、一部のサブタスクを終了できませんでした。

モジュールの検出: ARS3OCT

0292

説明: ロックの取得を試行中、MVS ロック・マネージャーから予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: 操作中であったロックを示します。

1: LOCAL

2: CMS

R14: ロック・マネージャー (SETLOCK) 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARS3OSR

0293

説明: ロックの解放を試行中、MVS ロック・マネージャーから予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: 操作中であったロックを示します。

1: LOCAL

2: CMS

R14: ロック・マネージャー (SETLOCK) 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARS3OSR

0296

説明: ESTAEX リカバリー環境を確立しようとして失敗しました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: ESTAEX 理由コードを格納します。

R14: ESTEAX 理由コードを格納します。

モジュールの検出: ARS3OSR

029A

説明: ARS3QMGR サービスから予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: ARS3QMP 構造体のアドレスを格納します。

R14: ARS3QMGR サービス戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARS3OSR

029B

説明: TCBTOKEN サービスから予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: TCBTOKEN PLIST のアドレスを格納します。

R14: TCBTOKEN サービス戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARS3OSR

037A

037A

説明: ARS3QMGR サービスから予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: ARS3QMP 構造体のアドレスを格納します。

R14: ARS3QMGR サービス戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARS3ORI

第 3 部 JES スプール・データ・キャプチャー機能の異常終了コード

第 5 章 概要

通常のプログラム実行を継続できない障害またはエラー状態が発生すると、ABEND コード U-0039 (X'0027') が発行されます。この状態の詳細は、関連する理由コード (通常は ABEND 時に汎用レジスター 15 に格納) で示されます。

理由コードは *mmmmrrrr* の形式の 8 桁の 16 進値であり、各項の意味は次のとおりです。

mmmm (上位 4 桁)

関連するメッセージ番号を表す 2 進値 10 進表記です。これらの数字が 0000 の場合、メッセージは発行されていません。

rrrr (下位 4 桁)

障害またはエラー状態を特定する理由コードです。187 ページの『第 6 章 JES スプール・データ・キャプチャー機能の理由コード』に記載された理由コードの説明は、この *rrrr* の数字に対応しています。

ほかに指定がない場合、すべての理由コードに次の項目が適用されます。

システム・アクション:

システムにより LOGREC レコードが作成され、SVC ダンプも作成されます。

システム・プログラマー応答:

問題に対する修正方法を問題報告データベースで検索してください。フィックスが存在しない場合は、以下の診断および問題判別情報を収集し、その後、IBM サポート・センターにお問い合わせ下さい。

- バイナリー機械可読ダンプ・データ・セット (SVC ダンプや SYSMDUMP データ・セットなど)。通常、SYSUDUMP および SYSABEND DD ステートメントが参照するデータ・セットに記述された印刷イメージ定様式ダンプでは、問題を判別するに不十分です。
- 障害に関連するフォーマット済み LOGREC レコード。LOGREC レコードの選択およびフォーマットに関する情報は、「*Environmental Record Editing and Printing Program (EREP) User's Guide*」(GC35-0151) および「*Environmental Record Editing and Printing Program (EREP) Reference*」(GC35-0152) を参照してください。
- MVS システム・ログに関連するセクション。
- すべての関連ジョブのログおよび JCL リスト。

第 6 章 JES スプール・データ・キャプチャー機能の理由コード

通常のプログラム実行を継続できない障害またはエラー状態が発生した場合に、JES スプール・データ・キャプチャー機能 (ARSYSPIN) によって発行される ABEND コード U-0039 (X'0027') には、次の理由コードが関連付けられています。システム・アクションやシステム・プログラマー応答など、理由コードの一般情報については、185 ページの『第 5 章 概要』を参照してください。

025C

説明: 次のいずれかの理由により、キュー・ヘッダーまたはキュー・エレメントの妥当性検査に失敗しました。

- 構造体ポインターがヌルであったか、ダブルワード境界上にありませんでした。
- 予想された ID スtringが構造体内にありませんでした。

モジュールの検出: ARS3QMGR

025D

説明: 次のいずれかの理由により、キュー・ヘッダーの妥当性検査に失敗しました。

- キュー・ポインターの先頭または末尾のいずれか (両方ではない) がヌルでした。
- キュー・ポインターの先頭または末尾のいずれか (両方ではない) がキュー・ヘッダーを指していました。

モジュールの検出: ARS3QMGR

025E

説明: キュー検証時、キュー・エレメント・チェーンを復元しようとしたときに、シリアライゼーション・エラーが検出されました。

モジュールの検出: ARS3QMGR

025F

説明: キュー検証時、キュー・エレメント・チェーンを削除しようとしたときに、シリアライゼーション・エラーが検出されました。

モジュールの検出: ARS3QMGR

0260

説明: キュー検証時、エレメント・チェーニング・エラーまたはエレメント状態エラーが検出されました。

モジュールの検出: ARS3QMGR

0261

説明: 特定のエレメントをデキューするための要求が受信されましたが、指定されたキュー内にエレメントが見つかりませんでした。

モジュールの検出: ARS3QMGR

0401

0401

説明: DCB の OPEN に失敗しました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: DDNAME およびその直後の DCB で構成される領域を指します。

R14: OPEN 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSPIN

0402

説明: キャプチャー・データ・スペースの作成に失敗しました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: DSPSERV 理由コードを格納します。

R2: DSPSERV インターフェース PLIST を指します。

R14: DSPSERV 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSPIN

0403

説明: キャプチャー・データ・スペースのアクセス・リスト・エントリーの作成に失敗しました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: ALESERV 理由コードを格納します。

R2: ALESERV インターフェース PLIST を指します。

R14: ALESERV 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSPIN

0404

説明: キャプチャー・データ・スペースの削除に失敗しました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: DSPSERV 理由コードを格納します。

R2: DSPSERV インターフェース PLIST を指します。

R14: DSPSERV 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSPIN

0405

説明: キャプチャー・データ・スペースのアクセス・リスト・エントリーの削除に失敗しました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: ALESERV 理由コードを格納します。

R2: ALESERV インターフェース PLIST を指します。

R14: ALESERV 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSPIN

0470

説明: 1 つ以上のサポート・モジュールをロードできませんでした。

モジュールの検出: ARSYSPIN

0471

説明: ATTACH から予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: ATTACH PLIST のアドレスを格納します。

R14: ATTACH サービス戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSPIN

0472

説明: ロックの取得を試行中、MVS ロック・マネージャーから予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: 操作中であったロックを示します。

1: LOCAL

2: CMS

R14: ロック・マネージャー戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSPIN

0473

説明: ロックの解放を試行中、MVS ロック・マネージャーから予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: 操作中であったロックを示します。

1: LOCAL

2: CMS

R14: ロック・マネージャー戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSPIN

0474

説明: ARSYCAS_TCBQH サブタスク・キュー上に対応するエレメントがなかった TCB に対して、タスクの終わり出口プログラムが入力されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: ARS3QMP 構造体のアドレスを格納します。

R2: ETXR に渡された TCB ポインターを格納します。

R14: ARS3QMGR サービス戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSPIN

0476

説明: ESTAEX リカバリー環境を確立しようとして失敗しました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: ESTAEX 理由コードを格納します。

047A

R14: ESTAEX 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSPIN

047A

説明: ARS3QMGR サービスから予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: ARS3QMP 構造体のアドレスを格納します。

R14: ARS3QMGR サービス戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSPIN

047B

説明: TCBTOKEN サービスから予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: TCBTOKEN PLIST のアドレスを格納します。

R14: TCBTOKEN サービス戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSPIN

047D

説明: IEANTxx サービスから予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: 要求中であったサービスを示します。

4: IEANTCR

8: IEANTRT

C: IEANTDL

R14: IEANTxx 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSPIN

047E

説明: 終了要求があったときに、サブタスクが終了しませんでした。サブタスクは CALLRTM によって強制終了中です。

モジュールの検出: ARSYSPIN

047F

説明: サブシステムのシャットダウン中に、一部のサブタスクを終了できませんでした。

モジュールの検出: ARSYSPIN

0480

説明: IEALSQRY 要求に失敗しました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R14: IEALSQRY 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSPIN

0490

説明: JES3 サブシステムと対話するように要求されましたが、現在の作業単位は JES3 の制御下で実行されていません。

モジュールの検出: ARSYSSI

0491

説明: MVS サブシステム要求ルーターから予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: IEFSSREQ 戻りコードを格納します。

R14: ARSYCBSI 構造体のアドレスを格納します。

モジュールの検出: ARSYSSI

0492

説明: ロックの取得を試行中、MVS ロック・マネージャーから予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: 操作中であったロックを示します。

1: LOCAL

2: CMS

R14: ロック・マネージャー戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSSI

0493

説明: ロックの解放を試行中、MVS ロック・マネージャーから予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: 操作中であったロックを示します。

1: LOCAL

2: CMS

R14: ロック・マネージャー戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSSI

0494

説明: SAPI 要求に応答して、JES から予期せぬ戻りコードが戻されました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: SSOBRETN 値を格納します。

R14: ARSYCBSI 構造体のアドレスを格納します。

モジュールの検出: ARSYSSI

0496

0496

説明: ESTAEX リカバリー環境を確立しようとして失敗しました。 ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: ESTAEX 理由コードを格納します。

R14: ESTAEX 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSSI

049A

説明: ARS3QMGR サービスから予期せぬ戻りコードが戻されました。 ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: ARS3QMP 構造体のアドレスを格納します。

R14: ARS3QMGR サービス戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSSI

049B

説明: TCBTOKEN サービスから予期せぬ戻りコードが戻されました。 ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: TCBTOKEN PLIST のアドレスを格納します。

R14: TCBTOKEN サービス戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSSI

049C

説明: データ・スペース・ページを解放しようとしたときに、DSPSERV サービスから予期せぬ戻りコードが戻されました。 ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: DSPSERV 理由コードを格納します。

R2: DSPSERV インターフェース PLIST を格納します。

R14: DSPSERV 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSSI

049D

説明: ATTACH から予期せぬ戻りコードが戻されました。 ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: ATTACH PLIST のアドレスを格納します。

R14: ATTACH サービス戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSSI

04A9

説明: 転送データ・セットの割り振り解除要求に失敗しました。 ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: DYNALLOC 要求ブロックの S99RSC フィールドを格納します。

R14: S99RB アドレスを格納します。

モジュールの検出: ARSYSSI

04AA

説明: 転送ファイル DCB の OPEN に失敗しました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R14: DCB アドレスを格納します。

モジュールの検出: ARSYSSI

04AB

説明: 転送データ・セットの動的な割り振り (DYNALLOC) 要求に失敗しました。 ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: DYNALLOC 要求ブロックの S99RSC フィールドを格納します。

R14: S99RB アドレスを格納します。

モジュールの検出: ARSYSSI

04AC

説明: スプール・ファイルの割り振り解除要求に失敗しました。 ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: DYNALLOC 要求ブロックの S99RSC フィールドを格納します。

R14: S99RB アドレスを格納します。

モジュールの検出: ARSYSSI

04AD

説明: スプール・ファイル ACB のクローズに失敗しました。 ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R14: ACB アドレスを格納します。

モジュールの検出: ARSYSSI

04AE

説明: スプール・ファイル ACB のオープンに失敗しました。 ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R14: ACB アドレスを格納します。

モジュールの検出: ARSYSSI

04AF

説明: スプール・ファイルの動的な割り振り (DYNALLOC) 要求に失敗しました。 ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: DYNALLOC 要求ブロックの S99RSC フィールドを格納します。

R14: S99RB アドレスを格納します。

モジュールの検出: ARSYSSI

04B0

04B0

説明: IEALSQRY 要求に失敗しました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R14: IEALSQRY 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSSI

04B3

説明: キャプチャー・データ・スペースのアクセス・リスト・エントリーの作成に失敗しました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: ALESERV 理由コードを格納します。

R2: ALESERV インターフェース PLIST を指します。

R14: ALESERV 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSSI

04B5

説明: キャプチャー・データ・スペースのアクセス・リスト・エントリーの削除に失敗しました。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: ALESERV 理由コードを格納します。

R2: ALESERV インターフェース PLIST を指します。

R14: ALESERV 戻りコードを格納します。

モジュールの検出: ARSYSSI

04D0

説明: 指定されたユーザー出口インターフェース・ドライバー・アクション・コードが無効です。ABEND 時に、レジスターは次のようにロードされます。

R0: ARSYUXIP アドレスを格納します。

モジュールの検出: ARSYUXI

第 7 章 JES スプール・データ・キャプチャー機能のメッセージ

JES スプール・データ・キャプチャー機能 (ARSYSPIN) に関連するメッセージを次に示します。

ARSY0100E <filename> (errno: <integer> (x'<hexdigits>')) をオープンできませんでした。

説明: 指定されたファイルのオープンに失敗しました。C ルーチン errno 値 (10 進数および 16 進数で表示) については、「OS/390 C++ ランタイム・ライブラリー・リファレンス」(SC88-6319) で説明されています。

エラーの原因となる可能性が最も高いのは、DD ステートメントの欠落です。

モジュール: ARSYPPXP

ARSY0101E <filename> (RC: <integer> (x'<hexdigits>')) の fldata() に失敗しました。

説明: 指定されたファイルの記述情報のリトリートに失敗しました。fldata() 関数の戻り値についての説明は、「OS/390 C++ ランタイム・ライブラリー・リファレンス」(SC88-6319) を参照してください。

モジュール: ARSYPPXP

ARSY0102E ファイル <filename> の fread() でエラーが発生しました。

説明: 指定されたファイルからの論理レコードの読み取りに失敗しました。通常、このメッセージの後には、エラーの詳細を示す、EDC で開始するメッセージが表示されます。

モジュール: ARSYPPXP

ARSY0103I <<options statement text>>

説明: このメッセージは、指定された制御ステートメントのテキストをエコーします。

モジュール: ARSYPPXP

ARSY0104E 構文エラー - キーワード区切り文字がありません。

説明: 現在の制御ステートメント (直前の ARSY0103I メッセージで識別されるステートメント) に、キーワードとオペランドを分離する等号 (=) 区切り文字が見つかりませんでした。

モジュール: ARSYPPXP

ARSY0105E 未認識のキーワード: <string>

説明: 現在の制御ステートメントのキーワード (等号の左側のテキスト) が無効です。

モジュール: ARSYPPXP

ARSY0106E キーワード・オペランドが指定されていません。

説明: 現在の制御ステートメントのキーワード区切り文字の後に、テキストがありませんでした。

モジュール: ARSYPPXP

ARSY0107E

ARSY0107E オペランドの右側の区切り文字がありません。

説明: 現在の制御ステートメントのオペランドの右側に、予想された区切り文字がありませんでした。例えば、現在の制御ステートメント・キーワードのオペランドが括弧で囲まれると予想される場合、右側の括弧文字が見つかりませんでした。指定されたキーワードに対して予想されるオペランドの特性については、「*IBM DB2 Content Manager OnDemand for z/OS: Administration Guide*」の ARSYSPIN プログラム・リファレンスを参照してください。

モジュール: ARSYPPX

ARSY0108E オペランドの左側の区切り文字がありません。

説明: 現在の制御ステートメントのオペランドの左側に、予想された区切り文字がありませんでした。例えば、現在の制御ステートメント・キーワードのオペランドが括弧で囲まれると予想される場合、左側の括弧文字が見つかりませんでした。指定されたキーワードに対して予想されるオペランドの特性については、「*IBM DB2 Content Manager OnDemand for z/OS: Administration Guide*」の ARSYSPIN プログラム・リファレンスを参照してください。

モジュール: ARSYPPX

ARSY0109E オペランド長が無効です。

説明: 現在の制御ステートメント・キーワードに指定されたオペランドが短すぎるか、または長すぎます。指定されたキーワードに対して予想されるオペランドの特性については、「*IBM DB2 Content Manager OnDemand for z/OS: Administration Guide*」の ARSYSPIN プログラム・リファレンスを参照してください。

モジュール: ARSYPPX

ARSY0110E 真/偽のオペランドが予想されます。

説明: 現在の制御ステートメント・キーワードには、ブール・オペランドが予想されます。有効なブール・オペランド値については、「*IBM DB2 Content Manager OnDemand for z/OS: Administration Guide*」の ARSYSPIN プログラム・リファレンスを参照してください。

モジュール: ARSYPPX

ARSY0111E オペランドの一部が 10 進数ではありません。

説明: 現在の制御ステートメント・キーワードのオペランドは、10 進数のストリングのみで構成されると予想されず。

モジュール: ARSYPPX

ARSY0112E サブオペランド長が無効です。

説明: 括弧で囲んだサブオペランド・リストとして指定できるオペランドを処理する場合に、これらのサブオペランドの中に短すぎるか長すぎるものが 1 つ以上あります。指定されたキーワードに対して予想されるオペランドの特性については、「*IBM DB2 Content Manager OnDemand for z/OS: Administration Guide*」の ARSYSPIN プログラム・リファレンスを参照してください。

モジュール: ARSYPPX

ARSY0113I 制御ステートメント処理が完了しました - RC= <integer> (x'<hexdigits>')

説明: 制御ステートメント・ストリームの処理が完了しました。RC 値がゼロ以外の場合は、少なくとも 1 つの構文エラーが検出され、ARSYSPIN の実行が終了しています。

モジュール: ARSYPPX

ARSY0114E 未認識のサブパラメーター: <string>

説明: 現在の制御ステートメント・キーワードのオペランドまたはサブオペランドは、特定の文字ストリング・セットのメンバーであると予想されます。例えば、ERROPT キーワードのオペランドは、ABEND、ACCEPT、または HOLD のいずれかであると予想されます。指定された制御ステートメント・キーワードに使用可能なオペランド値については、「*IBM DB2 Content Manager OnDemand for z/OS: Administration Guide*」の ARSYSPIN プログラム・リファレンスを参照してください。

モジュール: ARSYPPX

ARSY0115E サブパラメーター数が不適切です。

説明: 現在の制御ステートメントに指定されたサブパラメーターの数が不適切です (多すぎるか、または少なすぎます)。指定されたキーワードに対して予想されるオペランドの特性については、「*IBM DB2 Content Manager OnDemand for z/OS: Administration Guide*」の ARSYSPIN プログラム・リファレンスを参照してください。

モジュール: ARSYPPX

第 4 部 ACIF メッセージ

第 8 章 概要

ACIF は、各コンパイルの終わりにメッセージ・リストを印刷します。戻りコード 0 は、エラーが発生することなく ACIF が処理を完了したことを意味します。ACIF は標準的な戻りコードをサポートしています。

注:

1. ACIF メッセージには、PSF または Infoprint® Manager システム・プログラマーのための指示が含まれています。PSF または Infoprint Manager のメッセージ資料には含まれていない場合があるため、これらのメッセージはシステム・プログラマーに提示してください。
2. AIX および Windows ユーザーは、サーバー上で PSF MSG コマンドを起動して、オンラインでメッセージを表示または印刷することができます。

メッセージ ID

ACIF は、AIX、HP-UX、OS/390、Solaris、Windows、および z/OS に対して同じメッセージを出します。ただし、AIX、HP-UX、Solaris、および Windows のメッセージ ID は、OS/390 および z/OS のメッセージ ID とは異なります。

- AIX、HP-UX、Solaris、および Windows のメッセージ ID のフォーマットは **0425-*nnn*** です。

0425- AIX、HP-UX、Solaris、または Windows のメッセージを識別します。
nnn 3 桁のメッセージ番号を示します。

- OS/390 および z/OS のメッセージ ID のフォーマットは、**APK*nnnt*** です。

APK OS/390 および z/OS のメッセージを識別します。
nnn 3 桁のメッセージ番号を示します。

t エラー状態を示します。

エラー・タイプ

説明

S ACIF が現行の印刷ファイルの処理を終了する原因となる重大エラー。終了する方法は、異なることがあります。特定の重大エラーの場合、ACIF は異常終了し、戻りコードと理由コードを戻します。これは、通常、システム・サービスに障害が起こった場合に発生します。その他のケースでは、ACIF が終了するとき、該当するエラー・メッセージが ACIF の呼び出し時に指定されたメッセージ・ファイルに書き込まれます。ACIF によって検出される多くのエラー状態は、重大なカテゴリーに該当します。

W 文書の精度に問題がある可能性がある (再印刷が想定される) 場合に、ACIF によって出される警告エラー。

I 印刷ファイルを処理するときに、オペレーターまたはア

アプリケーション・プログラマーが正しい処理パラメーターが指定されているかどうかを判別できるように、ACIF によって出される通知エラー。これらのメッセージは、監査証跡を提供する場合に役立ちます。

3 桁のメッセージ番号 *nnn* は、すべての環境で同じです (例えば、AIX、HP-UX、Solaris、および Windows では 0425-031、または OS/390 および z/OS では APK031I)。AIX、HP-UX、Solaris、および Windows ユーザーは PSF MSG コマンドを使用してオンラインでメッセージを表示することが多いため、この資料では、ACIF メッセージと説明を OS/390 および z/OS のメッセージ ID (例えば、APK031I) に従ってリストしています。

メッセージと説明に使用される用語は、OS/390 および z/OS で使用される用語ですが、メッセージと説明は、AIX、HP-UX、Solaris、および Windows にも適用されます。以下のリストは、この資料のメッセージに使用されているいくつかの用語と、AIX、HP-UX、Solaris、および Windows においてこれらの用語が示す意味を表したものです。

用語	AIX、HP-UX、Solaris、Windows
印刷データ・セット	入力ファイル
データ・セット	入力ファイル
データ・ストリーム	ファイル
PSF	PSF または Infoprint Manager
レコード	データ・セット

複数のメッセージ・シナリオ

ACIF は、1 つのエラー状態の結果として複数のエラー・メッセージを出す場合があります。これらの状態は、構造化フィールドの構文解析 (例えば、構造化フィールドの長さやタイプの判別) の領域に限定されます。考えられるシナリオとしては、以下のメッセージ番号が挙げられます。

- 105、108、109、103
- 105、108、110、103
- 106、108、109、103
- 106、108、110、103

最初のものから開始した場合 (105、108、109 または 105、108、あるいは 105、110 など)、リストしたメッセージ番号のサブセットも可能です。最初のメッセージは、エラー状態を正確に説明し、以降のメッセージは追加情報を提供します。追加のエラー・メッセージは正確ではない場合があります。

ACIF では、リカバリー手順の一部として、エラーが含まれるリソースの終わりを検出しようとするため、多数のエラー状況の後にメッセージ番号 101 が表示される場合があります。

第 9 章 ACIF メッセージ

APK03II データ・セットでインライン・メディア・マップが検出されましたが、インライン・メディア・マップはサポートされていません。

説明: データ・セットのリソースが処理された後に、データ・ストリームで「メディア・マップの開始 (BMM)」構造化フィールドが検出されました。ACIF はページ間のインライン・メディア・マップをサポートしていません。このデータ・セットは、インライン・メディア・マップを作成するプログラムによって作成された可能性があります。インライン・メディア・マップを含むデータ・セットは印刷できません。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: エラーを訂正し、要求を再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 入出力エラー・メッセージを調べて、適切な処置を決定してください。

APK102S IM イメージ・オブジェクトに無効なデータまたは正しくないデータが含まれています。IM イメージ・オブジェクトを IO イメージ・オブジェクトに変換することができません。

説明: このメッセージは、ACIF が IM イメージ・オブジェクトを IO イメージ・オブジェクトに変換する際、イメージ・サイズ値の 1 つがゼロである場合に出されます。単純な IM イメージ・オブジェクトの場合、IID 構造化フィールドの XSize または YSize パラメーター値がゼロである場合に、このメッセージが出されます。複雑な IM イメージ・オブジェクトの場合、ICP 構造化フィールドの XCSize、YCSize、XFilSize、または YFilSize パラメーター値のいずれかがゼロである場合に、このメッセージが出されます。

システムの処置: ACIF は入力ファイルの処理を停止します。

ユーザーの処置: エラーを訂正し、要求を再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したりリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK103S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。structuredfield1 構造化フィールドが、本来は structuredfield2 構造化フィールドがあるべき位置にあります。

説明: structuredfield1 が、入力データ・ストリームまたはリソースにおける現在の位置では間違っています。この位置にあるべき構造化フィールドのタイプは structuredfield2 です。要求された構造化フィールドが欠落またはシーケンス外であるか、行データ・レコードの場所が間違っているかのいずれかです。

後続のエラー・メッセージは、エラー発生時の処理環境に関する追加情報を提供します。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: ユーザーが印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドを作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。参照先の構造化フィールドの正しいフォーマットについては、「Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference」または「Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference」を参照してください。構造化フィールドの順序が正しい場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性あります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK104S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。*structuredfield* 構造化フィールドが許可されていないか、無効なシーケンスです。

説明: このメッセージに示される構造化フィールドは、シーケンス外であるか、オブジェクト内で有効ではありません。レコードは行データである可能性があります。データ・セット・ヘッダー・ページとともにインライン・リソースを使用している場合、複数のリソース・グループが存在している可能性があります。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: ユーザーが印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドを作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。参照先の構造化フィールドの正しいフォーマットについては、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドの順序が正しい場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が無効であったかどうかを確認してください。入力が無効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK105I 報告された上記のエラーは、シーケンス番号が *sequencenumber* である論理レコード番号 *recordnumber* で発生しました。

説明: このメッセージは、エラーを記述するメッセージとは別に表示されます。このメッセージは、無効な特定の入力レコードを示します。無効なレコードを含むオブジェクト (ある場合) は、メッセージ APK108I または APK109I に示されます。

メッセージに示されたレコード番号は、ユーザー・データ・ストリームに相対するものであり、データ・セットのそれぞれの送信ごとに異なります。ただし、データ・セットが条件処理を実行するページ定義を使用している場合、レコード番号は不正確であることがあります。

シーケンス番号は、メッセージに「該当なし」と印刷されることがあります。例えば、行データ・レコードにシーケンス番号はありません。

システムの処置: ファイルの後処理は、付随するメッセージに記述されたエラーによって異なります。

ユーザーの処置: 付随するメッセージに記述された特定のエラー状態を参照して、適切な応答を決定します。

システム・プログラマーの応答: 付随するメッセージに記述された特定のエラー状態を参照して、適切な応答を決定します。

APK106I 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。*begintypestructuredfield* の名前 *tokenname* が *endtypestructuredfield* の名前 *tokenname* と一致しません。

説明: このメッセージに示される開始タイプと終了タイプ構造化フィールドの TOKEN NAME パラメーターは一致しません。構造化フィールドは、入力データ・ストリーム内でシーケンス外にある可能性があります。

トークン名を指定した場合、関連する開始タイプと終了タイプ構造化フィールドの TOKEN NAME パラメーターが一致する必要があります。

システムの処置: 処理が継続され、ACIF は、入力データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。ACIF は、エラーが検出されたときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK108I 報告された上記のエラーは、トークン名 *tokenname* を持つオブジェクト・タイプ *objecttype* 内で検出されました。

説明: このメッセージは、エラーを記述するメッセージとは別に出されます。処理中であったオブジェクトがリストされ、入力データ・ストリーム内またはリソース内のエラーの位置が示されます。

システムの処置: ファイルの後処理は、付随するメッセージに記述されたエラーによって異なります。

ユーザーの処置: 付随するメッセージに記述された特定のエラー状態を参照して、適切な応答を決定します。

システム・プログラマーの応答: 付随するメッセージに記述された特定のエラー状態を参照して、適切な応答を決定します。

APK109I 報告された上記のエラーは、外部ライブラリーまたはインライン・リソース内のリソース *resourcename* が原因で発生しました。

説明: このメッセージは、エラーを記述するメッセージとは別に出されます。付随するメッセージに示されるオブジェクトは、外部ライブラリーまたはインライン・リソースの処理中であったリソースです。エラー・メッセージ APK108I は、ページ定義、書式定義、フォント、コード・ページ、フォント文字セット、ページ・セグメント、またはオーバーレイとしてメンバーを示します。これらの 2 つのメッセージの情報を組み合わせて使用し、*typeLIB* パラメーターで ACIF に定義されたライブラリーを識別します。*type* は、オーバーレイを表す OVLY など、リソースのタイプを示します。インライン書式定義またはページ定義の場合、リソースは外部ライブラリーのメンバーではありませんが、ユーザーのデータ・セットの先頭に含まれています。

システムの処置: ファイルの後処理は、付随するメッセージに記述されたエラーによって異なります。

ユーザーの処置: 付随するメッセージに記述された特定のエラー状態を参照して、適切な応答を決定します。

システム・プログラマーの応答: 付随するメッセージに記述された特定のエラー状態を参照して、適切な応答を決定します。

APK110S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。構造化フィールド *structuredfield* の自己定義パラメーター *identifier* に指定された長さが正しくありません。

説明: 自己定義パラメーターまたはトリプレットに指定された長さに関して構造化フィールドに不十分なデータがあります。自己定義パラメーターまたはトリプレット ID が 0 の場合、自己定義パラメーターまたはトリプレットの長さは 0 または 1 である場合があります、このメッセージで使用できる ID がないことを意味します。

システムの処置: ページまたはリソースの構造化フィールドでエラーが発生すると、PSF はページまたはリソースの終わりを探そうとします。PSF は、ページの終わりを見つけると、現行ページに対して累積されたデータを印刷します。PSF は、ページの終わりを見つけない場合、データ・セットを終了します。書式定義、ページ定義、または非表示オブジェクト・コンテナ・リソース (例えば、COMSETUP) でエラーが発生すると、書式定義、ページ定義、または非表示オブジェクト・コンテナ・リソースは使用されず、次のいずれかが発生します。

- 次の場合に PSF が開始されない。
 - デフォルトの書式定義
 - メッセージまたは区切りページの印刷用に指定した書式定義
 - メッセージまたは区切りページの印刷用に指定したページ定義
- PSF は、ユーザーの OUTPUT JCL ステートメントで指定された書式定義または非表示オブジェクト・コンテナ・リソース (または行データを印刷する場合はページ定義) で、データ・セットの印刷を開始できません。PSF は、次のデータ・セットの印刷を試みます。PSF は、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが起きたときの処理環境を示す追加のメッセージを出します。

APK112S

ユーザーの処置: オブジェクトの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があります。オブジェクトの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したオブジェクトの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK112S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。レコードには少なくとも 1 個の制御文字が必要ですが、データがありません。

説明: ACIF は、レコード記述子ワード (RDW) の後に制御文字がない入力レコードを読み取りました。レコードを有効にするには、少なくとも 1 バイトの制御文字データが必要です。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK113S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。構造化フィールドの長さが接頭部の長さより短くなっています。

説明: 構造化フィールドは、構造化フィールドの接頭部に必要な最小長さとして少なくとも 8 バイトのデータを持つ必要があります。構造化フィールドの接頭部の拡張インディケータ・フラグは、構造化フィールドの最小長さが 8 バイトを超えることができるかどうかを示します。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK114S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。RDW の長さが構造化フィールドの接頭部の長さとは一致しません。

説明: すべての構造化フィールドの前に、レコード記述子ワード (RDW) を含むそのレコードの長さを指定する RDW があります。現行レコードの RDW のレコード長が、構造化フィールド接頭部の LENGTH パラメーターと、RDW (4

バイト) と制御文字 (1 バイト) の両方のバイト数の合計未満です。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、無効な構造化フィールドの RDW が有効なレコード長を含むようにし、印刷要求を再実行依頼してください。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK116S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。構造化フィールドに対する埋め込みの長さまたは拡張の長さが誤っています。

説明: 構造化フィールドの接頭部の LENGTH または EXTENSION パラメーターに指定した埋め込みまたは拡張の長さが、構造化フィールドにあるデータより長いことを示します。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、拡張インディケータ・フラグが正しくセットされ、構造化フィールドの接頭部の LENGTH パラメーターが無効な構造化フィールドの実際の埋め込みの長さを指定していることを確認します。構造化フィールド接頭部についての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK117S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。structuredfield 構造化フィールドに対して構造化フィールドの接頭部に指定された長さがで誤っています。

説明: 構造化フィールドの接頭部により示される長さが、このメッセージ中に示された構造化フィールドに対して誤ったバイト数を指定しています。このエラーの原因は、以下のいずれかです。

- 構造化フィールドの接頭部の拡張または埋め込みインディケータ・フラグが正しく設定されていない。
- 無効な構造化フィールド内の 1 つ以上のパラメーターに含まれるデータのバイト数が多すぎる。

構造化フィールドの長さが、別の構造化フィールドにあるパラメーターに指定される場合もあります。例えば、固定データ・テキスト (FDX) 構造化フィールドの長さは、固定データ・サイズ (FDS) 構造化フィールドの SIZE パラメーターに指定されます。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、構造化フィールドの接頭部の LENGTH パラメーターが、構造化フィールドの有効な長さを指定していることを確認します。また、構造化フィールドのパラメーターのバイト数が構造化フィールドの接頭部に指定した長さと一致することを確認します。構造化フィールド接頭部についての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。

構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。印刷データ・セットまた

APK118W

はリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK118W サポートされない構造化フィールド *code* が無視されました。それがオブジェクトを開始していた場合、そのオブジェクトは無視されました。

説明: 誤った構造化フィールドの構造化フィールドの接頭部の IDENTIFIER パラメーターに、有効な構造化フィールド・コードとして認識されない構造化フィールド・コードが指定されています。

システムの処置: 構造化フィールドがオブジェクトを開始していた場合、そのオブジェクトは無視されました。開始していない場合は、構造化フィールドのみが無視され、残りのデータ・セットの処理は通常通り継続されます。

ACIF は、入力データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。ACIF は、エラーが検出されたときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: 印刷出力が受諾不能であり、印刷データ・セットまたはリソースに対して構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、誤った構造化フィールドに、その構造化フィールド・タイプに対して有効なコードを指定しません。有効な構造化フィールド・タイプのリストについては、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。

構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK120S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。structuredfield1 構造化フィールドに、structuredfield2 繰り返しグループの誤ったサイズ値が含まれています。

説明: Structuredfield1 は、structuredfield2 にある各繰り返しグループの長さを指定します。繰り返しグループのサイズに対して structuredfield1 に指定した値が小さすぎるか、繰り返しグループ・データの実際の長さが指定サイズの倍数ではありません。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK130S 入力レコードのデータが無効です。structuredfield 構造化フィールドはデータ・ストリームの先頭では受け入れ不可です。

説明: このメッセージに示された構造化フィールド・タイプは、データ・ストリームの先頭では無効です。後続のエラー・メッセージは、エラー発生時の処理環境に関する追加情報を提供します。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。印刷データ・セットの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK135I FORMDEF リソースのデータが無効です。構造化フィールド *structuredfield* に重複したオーバーレイ・ローカル ID が見つかりました。

説明: マップ・メディア・オーバーレイ (MMO) またはマップ・ページ・オーバーレイ (MPO) 構造化フィールドの繰り返しグループの複数の OVERLAY LOCAL IDENTIFIER パラメーターに、同じローカル ID が割り当てられています。MMO 構造化フィールドは書式定義に含まれています。MPO はページ定義または印刷データ・セットに含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK138S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。オーバーレイ・ローカル ID 値が *structuredfield* 構造化フィールドで受け入れ不可です。

説明: マップ・メディア・オーバーレイ (MMO)、マップ・ページ・オーバーレイ (MPO)、またはメディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドの繰り返しグループで、誤ったオーバーレイ・ローカル ID が見つかりました。MMO および MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。MPO はページ定義または印刷データ・セットに含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK139S FORMDEF リソースのデータが無効です。抑止ローカル ID 値が MSU 構造化フィールドで受け入れ不可です。

説明: マップ抑止 (MSU) 構造化フィールドの SUPPRESSION LOCAL IDENTIFIER パラメーターが無効です。MSU 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK140S FORMDEF リソースのデータが無効です。2 つの MMC 構造化フィールドが同じ ID identifier で定義されています。

説明: 単一の書式環境グループの 2 つのメディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドが、MEDIUM MODIFICATION CONTROL IDENTIFIER パラメーターに同じ値を持っています。MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれていません。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、MMC 構造化フィールドを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。MMC にエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK141S FORMDEF リソースのデータが無効です。メディア抑止トークン名が MSU 構造化フィールドで繰り返されています。

説明: マップ抑止 (MSU) 構造化フィールドの 2 つの繰り返しグループの TOKEN NAME パラメーターが同じ値を持っています。MSU 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK143S FORMDEF リソースのデータが無効です。MCC 構造化フィールドのコピー仕様が受け入れ不可です。

説明: 開始および停止コピー番号にギャップまたはオーバーラップが存在しているか、1 セットの変更に対する最大コピー数を超えました。COPY NUMBER パラメーターはメディア・コピー・カウント (MCC) 構造化フィールドに指定します。MCC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義で構造化フィールドを作成した場合は、MCC 構造化フィールドの繰り返しグループ内の Starting Copy Number および Stopping Copy Number パラメーターが、関連する有効な値であるか確認します。また、255 未満のコピー数が要求されているか確認します。同じ変更のコピーが 255 以上必要な場合は、複数の MCC 構造化フィールドを定義します。MCC 構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。MCC にエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性ががあります。

書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が無効であったかどうかを確認してください。入力が無効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK145S FORMDEF リソースのデータが無効です。MMC 構造化フィールド (ID identifier) の FORMS-FLASH 値が受け入れ不可です。

説明: メディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドに、フォーム・フラッシュ変更を含む繰り返しグループに対する誤った値が含まれています。MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、MMC 構造化フィールドを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。MMC にエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性ががあります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が無効であったかどうかを確認してください。入力が無効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK146S FORMDEF リソースのデータが無効です。8 個を超えるオーバーレイが MMC 構造化フィールド (ID identifier) に指定されています。

説明: メディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドで、1 セットの変更で許容される最大オーバーレイ数を超えました。MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、MMC 構造化フィールドを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。MMC にエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性ががあります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が無効であったかどうかを確認してください。入力が無効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK147S FORMDEF リソースのデータが正しくない: 8 個を超える抑止が MMC 構造化フィールド (ID identifier) に指定されています。

説明: メディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドで、1 セットの変更で許容される最大抑止数を超過しました。MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、MMC 構造化フィールドを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。MMC にエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK152S FORMDEF リソースのデータが無効です。MCC 構造化フィールドの ID identifier と一致する MMC 構造化フィールドが見つかりません。

説明: メディア・コピー・カウント (MCC) 構造化フィールドの MEDIUM MODIFICATION CONTROL IDENTIFIER パラメーターに、書式環境グループのどのメディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドの MEDIUM MODIFICATION CONTROL IDENTIFIER パラメーターにも一致しない値が含まれています。MCC および MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、MCC または MMC 構造化フィールドを訂正してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。MCC および MMC にエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK154S FORMDEF リソースのデータが無効です。MMC 構造化フィールド (ID identifier) のオーバーレイ・ローカル ID が MMO 構造化フィールドで見つかりません。

説明: メディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドのオーバーレイ変更が、マップ・メディア・オーバーレイ (MMO) 構造化フィールドに存在していません。MMC および MMO 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK155S FORMDEF リソースのデータが無効です。現行書式環境グループに指定されたコピー制御の数が多すぎます。

説明: 指定の物理ページでは、実行されるコピー枚数および変更の数を記述するプリンター・コマンドに、最大 256 バイトのデータを指定することができます。現行の書式環境グループが原因で、コマンド用のデータが 256 バイトを超えています。ACIF は、書式定義に含まれているデータからプリンター・コマンドを構築します。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、メディア・コピー・カウント (MCC) 構造化フィールドのコピー・グループ数を減らすか、メディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドに指定された変更の数を減らします。これらを減らさない場合には、これらの機能を複数のメディア・マップ内の複数の書式環境グループに分割してください。その後で、それぞれがメディア・マップ呼び出し (IMM) 構造化フィールドを使用して該当するコピー・グループを選択する、同じページの複数の同一コピーを入力に組み込んでください。MMC および MMO 構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。

書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK156S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。ヌル名は *structuredfield* 構造化フィールドでは受け入れ不可です。

説明: すべての開始タイプおよび終了タイプ構造化フィールドは、8 バイトのトークン名を含むことができます。リストされた構造化フィールドには、ヌル・トークン名は使用できません。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK157S 印刷データ・セットと FORMDEF リソースが一致していない: IMM 構造化フィールドに指定されたメディア・マップ *mediummap* が FORMDEF *formdefinition* で見つかりません。

説明: メディア・マップ呼び出し (IMM) 構造化フィールドの TOKEN NAME パラメーターは、書式定義内のメディア・マップを見つけるために使用するトークン名を指定します。このパラメーターは、現行書式定義のメディア・マップ開始 (BMM) 構造化フィールドの内の 1 つのフィールドの 0-7 バイトで指定された TOKEN NAME パラメーターと一致していなければなりません。IMM 構造化フィールドは印刷データ・セットに含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 正しい書式定義が指定されていることを確認してください。正しい書式定義が指定されていて、メディア・マップ呼び出し構造化フィールドを印刷データ・セットに追加した場合には、IMM 構造化フィールドで TOKEN NAME を変更して、ACIF を実行してください。BMM および IMM 構造化フィールドについての詳細は、

APK158I

「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。正しい書式定義が指定されていて、IMM 構造化フィールドを印刷データ・セットに組み込むためにプログラムを使用した場合は、プログラムに指定したコピー・グループ名が、指定した書式定義に対して有効であるかどうかを確認してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK158I このデータ・セットを印刷するためには、PAGEDEF パラメーターを指定しなければなりません。インストールの際に PAGEDEF パラメーターに対して使用された設定可能な値を判別してください。

説明: 現在のデータ・セットには、MO:DCA-P ページを形成していない行データ、XML データ、または構造化フィールドが含まれています。この種のデータ・セットは、アクティブ・ページの定義がなければ印刷できません。このジョブには、OUTPUT JCL ステートメントに PAGEDEF キーワードが指定されていません。また、PSF 初期設定プロシージャにデフォルトのページ定義が定義されていません。

このエラーは、印刷データ・セットの MO:DCA-P データに、構造化フィールド接頭部の前に必要な X'5A' 制御文字がないレコードが含まれている場合にも起こることがあります。欠落している制御文字は、レコードを行データとして表示します。行データの処理にはページ定義が必要です。このため、PSF はエラーを検出します。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: 行データまたは XML データを印刷する場合は、以下のいずれか 1 つを行ってページ定義を指定してください。

- PAGEDEF パラメーターを OUTPUT JCL ステートメントにコーディングする。OUTPUT ステートメントのコーディング方法について詳しくは、「*PSF for OS/390 and z/OS: User's Guide*」を参照してください。
- FCB パラメーターを DD JCL ステートメントにコーディングする。
- システム・プログラマーに、PSF 初期設定プロシージャにデフォルト・ページ定義名をコーディングするように要求する。

行データ、または XML データの印刷が目的ではなく、印刷データ・セットの構造化フィールドを作成するためにプログラムを使用した場合は、すべての MO:DCA-P データ・レコードが X'5A' 制御文字から始まっていることを確認して、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK159S データ・ストリーム内のオブジェクトの論理終了の前にデータ・ストリームの終わりが見つかりました。

説明: ACIF は、開始タイプ構造化フィールドで始まるオブジェクトを処理中でした。ただし、対応する終了タイプ構造化フィールドが見つかる前に入力データ・ストリームが終了しました。このメッセージは、システム・オペレーターが、INTERRUPT、RESTART、または CANCEL JES (Job Entry Subsystem) コマンドを発行して、早まって印刷要求に割り込んだり、終了したりした場合にも発生することがあります。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性あります。印刷データ・セットの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK162S 印刷データ・セットと PAGEDDEF リソースが一致していない: IDM 構造化フィールドに指定されたデータ・マップ *datamap* が PAGEDDEF *pagedefinition* に見つかりません。

説明: データ・マップ呼び出し (IDM) 構造化フィールドの TOKEN NAME パラメーターは、ページ定義内でデータ・マップを見つけるために使用するトークン名を指定します。この名前は、現行ページ定義のデータ・マップ開始 (BDM) 構造化フィールドの TOKEN NAME パラメーターで指定された値と一致していなければなりません。IDM 構造化フィールドは印刷データ・セットに含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 正しいページ定義が指定されていることを確認してください。正しいページ定義が指定されていて、データ・マップ呼び出し構造化フィールドを印刷データ・セットに追加した場合は、IDM 構造化フィールドのトークン名を変更して、印刷要求を再実行依頼してください。BDM および IDM 構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。正しいページ定義が指定されていて、IDM 構造化フィールドを印刷データ・セットに組み込むためにプログラムを使用した場合は、プログラムに指定したデータ・マップ名が、指定したページ定義に対して有効であるかどうか確認してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK163S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。IOC 構造化フィールドのスケール・ファクターの値が受け入れ不可です。

説明: イメージ出力制御 (IOC) 構造化フィールドの IMAGE BLOCK SCALE FACTOR パラメーターが無効です。イメージ・ブロックまたはイメージ・セルが、オーバーレイ、ページ・セグメント、または合成テキスト印刷データ・セットに含まれている可能性があります。これらは、イメージ開始 (BIM) 構造化フィールドを使用して行データを含むデータ・セットに組み込まれる場合もあります。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: イメージを含むリソースまたは印刷データ・セットの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、参照先の構造化フィールドでエラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、イメージを含むリソースまたは印刷データ・セットの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK166S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。MCF 構造化フィールドの項目にあいまいな識別が入力されています。

説明: マップ・コード化フォント (MCF) 構造化フィールドのフォントの識別には、CODED FONT NAME パラメーターによる方法と、FONT CHARACTER SET NAME パラメーターと CODE PAGE NAME パラメーターを組み合わせる方法、あるいは CODED FONT パラメーター (GRID パラメーターとも呼ばれる) による方法があります。MCF 構造化フィールドの反復グループの 1 つが、これらの方法から複数の方法を指定してフォントを指定したか、CODED FONT (GRID) と 0 以外のセクション番号を指定しました。MCF 構造化フィールドは、MO:DCA-P データ、オーバーレイ、またはページ定義内にあります。

システムの処置: ページ定義にエラーが含まれている場合は、PSF はそのデータ・セットの処理を終了し、次のデータ・セットに移って処理を続けます。含まれていない場合、PSF は、エラーのある構造化フィールドを含むページまたはオーバーレイを終了します。PSF は、現行ページの終わりを探し出して、次ページから処理を再開しようとしますが、現行ページの終わりが見つからなかった場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。PSF は、入力デー

APK167S

タ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加のメッセージを出します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK167S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。MCF 構造化フィールドの項目に不完全な識別が含まれています。

説明: マップ・コード化フォント (MCF) 構造化フィールドの反復グループの 1 つに、コード化フォントを識別するための十分な情報が含まれていません。マップ・コード化フォント (MCF) 構造化フィールドのフォントを識別する方法は、CODED FONT NAME パラメーターによる方法と FONT CHARACTER SET NAME パラメーターおよび CODE PAGE NAME パラメーターの組み合わせによる方法の 2 つがあります。1 つの項目には、1 つの FONT CHARACTER SET NAME パラメーターおよび 1 つの CODE PAGE NAME パラメーターのみ含まれます。MCF 構造化フィールドは、合成テキスト印刷データ・セット、オーバーレイ、またはページ定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK169S 仮想記憶域が不十分なため、これ以上処理を続けられません。領域サイズを増やし、印刷要求を再実行依頼してください。

説明: ACIF アドレス・スペースに、オブジェクトの読み取りに必要な内部制御ブロックを組み込むだけの十分な記憶域がありません。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: このエラーが発生したことをシステム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: ACIF ジョブに使用する REGION パラメーターの値を大きくしなければなりません。

APK170S FORMDEF リソースのデータが無効です。MMC 構造化フィールド (ID identifier) の片面印刷/両面印刷の値を受け入れ不可です。

説明: 指定された ID を持つメディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドの片面印刷または両面印刷キーワード・パラメーター値が無効です。MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、MMC 構造化フィールドを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。MMC にエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK171S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。structuredfield 構造化フィールドのフォント・ローカル ID の値が受け入れ不可です。

説明: マップ・コード化フォント (MCF) 構造化フィールドが反復グループから構成されています。グループの 1 つの、マップされるフォント (セクション) 用の CODED FONT LOCAL IDENTIFIER パラメーターの値が無効です。MCF 構造化フィールドは、合成テキスト印刷データ・セット、オーバーレイ、またはページ定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK172S FORMDEF リソースのデータが無効です。MCC 構造化フィールドに指定された複数の変更通常両面印刷および反転両面印刷の両方が含まれています。

説明: メディア・コピー・カウント (MCC) 構造化フィールドが、通常両面印刷および反転両面印刷の両方の要求を含む 1 つ以上のメディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドを参照しています。同一のメディア・マップで通常両面印刷および反転両面印刷の両方を要求することはできません。MCC および MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、MCC または MMC 構造化フィールドを訂正してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。MCC および MMC にエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK178S FORMDEF リソースのデータが無効です。MCC 構造化フィールドのコピー・グループは奇数ですが、両面印刷が指定されています。

説明: メディア・コピー・カウント (MCC) 構造化フィールドは奇数のコピー・グループを指定していますが、メディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドで指定されたコピー・グループ変更には、偶数のコピー・グループを必要とする両面印刷が含まれています。MCC および MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、MCC または MMC 構造化フィールドを訂正してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。MCC および MMC にエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性がります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK179S FORMDEF リソースのデータが無効です。MCC 構造化フィールドに指定された複数の変更面に片面印刷および両面印刷の両方が含まれています。

説明: メディア・コピー・カウント (MCC) 構造化フィールドが、片面印刷および両面印刷の両方の要求を含む複数のメディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドを参照しています。同一のメディア・マップで片面印刷および両面印刷の両方を要求することはできません。MCC および MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、MCC または MMC 構造化フィールドを訂正してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。MCC および MMC にエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性がります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK181S FORMDEF リソースのデータが無効です。MCC 構造化フィールドの両面印刷用紙に対して等しくないコピー・カウントが指定されています。

説明: メディア・コピー・カウント (MCC) 構造化フィールドが参照する変更セットは両面印刷を指定していますが、対応する 2 つの反復グループのコピー枚数が等しくありません。反復グループはメディア変更制御構造化フィールド (MMC) で定義されています。MCC および MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、MCC または MMC 構造化フィールドを訂正してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。MCC および MMC にエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性がります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合

は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK182S FORMDEF リソースのデータが無効です。MCC 構造化フィールドに指定された複数の変更に、競合する表示システム・セットアップ ID 値が含まれています。

説明: MCC 構造化フィールドが参照する複数の MMC 構造化フィールドが、正確に一致する一連の表示システム・セットアップ ID 値を使用していません。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、MCC 構造化フィールドを訂正してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。MCC にエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性がります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK183S FORMDEF リソースのデータが無効です。MMC 構造化フィールド *structuredfield* で指定された変更には、ペアではない *keyword1* キーワードと *keyword2* キーワードが含まれています。

説明: メディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドではキーワードがペアになっていなければなりません。この書式定義には、キーワードのうち両方ではなく片方があるか、あるいはキーワードのペアが隣接していません。MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: エラーが含まれる書式定義は使用されず、次のいずれかの状況が発生します。

- エラーが含まれる書式定義が PSF 開始プロシージャで定義されている場合、PSF は開始されません。PSF 開始プロシージャで定義されている書式定義リソースは、ユーザー印刷データ・セットの区切りページ、メッセージ・データ・セット、およびデフォルトの書式定義リソース用です。
- エラーが、ユーザーの OUTPUT JCL ステートメントで指定された書式定義にある場合、PSF はデータ・セットの印刷を開始できず、次のデータ・セットの印刷を試行します。PSF は、書式定義内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加のメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性がります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK188S MCC 構造化フィールドで指定された複数の変更で複数の入力ソースが選択されていますが、デバイスは複数の入力ソースをサポートしていません。

説明: メディア・コピー・カウント (MCC) 構造化フィールドが、複数の入力ソースまたはメディア・タイプ・ローカル ID の要求を含む、複数のメディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドを参照しています。使用しているプリンターがサポートしていないため、複数のコピー・グループに複数の入力ソースやメディア・タイプ・ローカル ID を指定することはできません。MCC および MMC 構造化フィールドは書式定義にあります。

システムの処置: エラーが含まれる書式定義は使用されず、次のいずれかの状況が発生します。

- エラーがデフォルト書式定義、または印刷メッセージや区切りページに指定された書式定義にある場合、PSF は開始されません。

APK190S

- エラーが、ユーザーの OUTPUT JCL ステートメントで指定された書式定義にある場合、PSF はデータ・セットの印刷を開始できず、次のデータ・セットの印刷を試行します。PSF は、書式定義内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが起きたときの処理環境を示す追加のメッセージを出します。

ユーザーの処置: Load Copy Control (LCC) コマンドの入力ソースの指定をサポートするプリンターでジョブが印刷されるよう要求してください。書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、MMC 構造化フィールドを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。MMC にエラーがない場合、このエラーは PSF またはプリンターの論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK190S FORMDEF リソースのデータが無効です。MMC 構造化フィールド (ID identifier) のピン選択値が受け入れ不可です。

説明: メッセージ・テキストに示された ID を持つメディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドのピン選択パラメータ値が無効です。MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、MMC 構造化フィールドを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。MMC にエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK191S FORMDEF リソースのデータが無効です。MMC 構造化フィールド (ID identifier) の抑止ローカル ID の値が受け入れ不可です。

説明: メディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドの MEDIUM MODIFICATION CONTROL IDENTIFIER パラメータが無効です。MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、MMC 構造化フィールドを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。MMC にエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK209S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。 *structuredfield1* 構造化フィールドが、本来は *structuredfield2* 構造化フィールドがあるべき位置にあります。

説明: *structuredfield1* が、入力データ・ストリームまたはリソースにおける現在の位置では間違っています。この位置にあるべき構造化フィールドのタイプは *structuredfield2* です。要求された構造化フィールドが欠落またはシーケンス外であるか、行データ・レコードの場所が間違っているかのいずれかです。

後続のエラー・メッセージは、エラー発生時の処理環境に関する追加情報を提供します。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: ユーザーが印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドを作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。参照先の構造化フィールドの正しいフォーマットについては、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドの順序が正しい場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK210S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。必須のトリプレット、または ID *identifier* を持つ自己定義パラメーターが、*structuredfield* 構造化フィールドから欠落しています。

説明: メッセージに示されたトリプレットまたは自己定義パラメーターが、指定された構造化フィールドで見つかりませんでした。これは、必須のトリプレットまたは自己定義パラメーターです。

システムの処置: 構造化フィールドが、ページまたはオーバーレイに組み込まれているオブジェクト・コンテナ、バーコード、グラフィックス、またはイメージ・オブジェクトに組み込まれている場合、PSF はそのオブジェクトを無視し、現行ページまたは現行オーバーレイの処理を続行します。

構造化フィールドが、ページまたはオーバーレイに組み込まれているリソースにある場合、PSF はページまたはオーバーレイを終了します。PSF は、現行ページの終わりを探し出して、次ページから処理を再開しようとします。現行ページの終わりが見つからなかった場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。非表示オブジェクト・コンテナの場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。

ページ定義または書式定義にエラーが含まれている場合、PSF はそのデータ・セットの処理を終了し、次のデータ・セットに移って処理を続けます。PSF は、入力データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが起きたときの処理環境を示す追加のメッセージを出します。

ユーザーの処置: 構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり。イメージ・オブジェクトの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK212S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。 *structuredfield* 構造化フィールドの単位ベース・パラメーターが無効です。

説明: このメッセージに示された構造化フィールドに、誤った単位ベース値が見つかりました。構造化フィールドは、イメージ・オブジェクトのオブジェクト環境グループに含まれています。イメージ・オブジェクトは、合成テキスト印刷データ・セット、オーバーレイ、またはページ・セグメントに含まれているか、行データを含むデータ・セットに組み込まれている可能性があります。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: イメージ・オブジェクトの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。イメージ・オブジェクトの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したイメージ・オブジェクトの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力が無効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK213S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。 *structuredfield* 構造化フィールドの L-UNITS PER UNIT BASE パラメーターが無効です。

説明: このメッセージに示された構造化フィールドに、誤った L-UNITS 値が見つかりました。構造化フィールドは、イメージ・オブジェクトのオブジェクト環境グループに含まれています。イメージ・オブジェクトは、合成テキスト印刷データ・セット、オーバーレイ、またはページ・セグメントに含まれているか、行データを含むデータ・セットに組み込まれている可能性があります。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止します。 ACIF は、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: イメージ・オブジェクトの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。イメージ・オブジェクトの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したイメージ・オブジェクトの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力が無効であった場合は、「*Advanced Function Presentation: Diagnosis Guide*」を参考にして問題の原因を判別してください。

APK217S 入力レコードのデータが無効です。 BR 構造化フィールドのパラメーターに受け入れられないデータが含まれています。

説明: リソース開始 (BR) 構造化フィールドのパラメーターの 1 つが無効です。 BR 構造化フィールドは印刷データ・セットに含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットに BR 構造化フィールドを配置した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。印刷データ・セットに BR 構造化フィールドを配置するためにプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: 印刷データ・セットに BR 構造化フィールドを配置するために IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK221S FORMDEF リソースのデータが無効です。MDD 構造化フィールドの方向値 *value* が受け入れ不可です。

説明: メディア記述子 (MDD) 構造化フィールドに誤った方向値があります。MDD 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK244I 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。structuredfield 構造化フィールドに含まれている反復グループの数が多すぎます。

説明: 構造化フィールドに、許容範囲を超える数の反復グループが含まれています。エラーが発生した構造化フィールドは、リソース環境グループ、合成テキスト・ページ、オーバーレイ、またはページ定義にある可能性があります。

システムの処置: リソースでこのエラーが発生した場合、PSF はデータ・セットの処理を停止します。リソース環境グループでこのエラーが発生した場合、PSF はリソース環境グループの処理を停止し、データ・セットの処理を続行します。

合成テキスト・ページでこのエラーが発生した場合、PSF は現行ページの処理を停止します。PSF は、現行ページの終わりを探し出して、次ページから印刷を再開します。現行ページの終わりが見つからなかった場合は、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。

PSF は、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加のメッセージを出します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK245I 複合 IM イメージ・オブジェクトに無効なデータまたは誤ったデータが含まれています。複合 IM イメージ・オブジェクトを IO イメージ・オブジェクトに変換することはできません。

説明: このメッセージは、ACIF が複合 IM イメージ・オブジェクトを IO イメージ・オブジェクトに変換するときに、イメージ・サイズが小さいために IRD 構造化フィールドからのイメージ・ラスター・データを組み込むことができない場合に出されます。このメッセージは、デフォルトの IMAGEOUT=IOCA パラメーターが指定された場合に出されます。このメッセージは、次のいずれかが当てはまる場合に出されます。

APK246S

- ICP 構造化フィールドの XCSize パラメーター値または YCSize パラメーター値が、それぞれ計算されたイメージの X サイズまたは Y サイズよりも大きい。
- ICP 構造化フィールドの XCOset パラメーター値に XFilSize パラメーター値を加えた値、または YCOset パラメーター値に YFilSize パラメーター値を加えた値が、それぞれ計算されたイメージの X サイズまたは Y サイズよりも大きい。

ACIF は、複合 IM イメージ・オブジェクトを IO イメージ・オブジェクトに変換する場合に、X と Y のページ・サイズから X と Y のイメージ起点を減算することでイメージ・サイズを計算します。X と Y のイメージ起点は、IOC 構造化フィールドの Xoa0set パラメーター値と Yoa0set パラメーター値から取得します。イメージ・オブジェクトが MO:DCA-P ファイルまたはオーバーレイに含まれている場合、あるいは行データを含むファイルに組み込まれている場合には、X と Y のページ・サイズは、PGD 構造化フィールドの XpgSize パラメーター値と YpgSize パラメーター値から取得します。ページ・セグメント内のイメージ・オブジェクトの場合、ACIF が使用する X と Y のページ・サイズはそれぞれ 2040 および 2640 です。IOC 構造化フィールドと ICP 構造化フィールドは、MO:DCA-P ファイル、オーバーレイ、またはページ・セグメントに含まれているか、行データを含むファイルに組み込まれていません。PGD 構造化フィールドは、MO:DCA-P ファイル、オーバーレイ、またはページ定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性がります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK246S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。ID *identifier* を持つ必須トリプレットが、IOB 構造化フィールドから欠落しています。

説明: ID によって、次のようになります。

X'4C' オブジェクト内容またはオブジェクト領域サイズ (X'4C') トリプレットの x 軸または y 軸の起点は IOB に指定されていましたが、計算単位 (X'4B') トリプレットが指定されていませんでした。構造化フィールドは印刷データ・セットまたはオーバーレイに含まれています。

X'22' IOB 構造化フィールドがページ定義に含まれている場合は、拡張リソース・ローカル ID (X'22') トリプレットが必要です。

システムの処置: ページ定義にエラーが含まれている場合は、PSF はそのデータ・セットの処理を終了し、次のデータ・セットに移って処理を続けます。含まれていない場合、PSF は、エラーのある構造化フィールドを含むページまたはオーバーレイを終了します。PSF は、現行ページの終わりを探し出して、次ページから処理を再開しようとします。現行ページの終わりが見つからなかった場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。PSF は、入力データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加のメッセージを出します。

ユーザーの処置: IOB 構造化フィールドを印刷データ・セットまたはオーバーレイに配置した場合は、エラーを訂正し、ACIF ジョブを再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Mixed Object Document Content Architecture™ Reference*」を参照してください。印刷データ・セットまたはオーバーレイに IOB 構造化フィールドを配置するためにプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: 印刷データ・セットまたはオーバーレイに IOB 構造化フィールドを配置するために IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK247S 入力レコードのデータが無効です。IOB 構造化フィールドのパラメーターに受け入れられないデータが含まれています。

説明: 組み込みオブジェクト (IOB) 構造化フィールドのパラメーターの 1 つが無効です。参照座標系システムが X'00' にセットされている場合、指定されたオブジェクト・タイプがサポートされていないか無効である、あるいはオブジェクト領域の x または y のオフセット、または回転値が明示的に指定されていません。IOB 構造化フィールドは印刷データ・セットまたはオーバーレイに含まれています。

システムの処置: ACIF は入力データ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: IOB 構造化フィールドを入力データ・セットまたはオーバーレイに配置した場合は、エラーを訂正し、ACIF ジョブを再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。印刷データ・セットまたはオーバーレイに IOB 構造化フィールドを配置するためにプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK248S ページ・セグメントのデータが無効です。structuredfield 構造化フィールドは、IOB に組み込まれているページ・セグメントでは許可されていません。

説明: MO:DCA-P ページ・セグメントのみを IOB 構造化フィールドに組み込むことができます。MO:DCA-P ページ・セグメントは IM1 イメージまたは PTOCA データを含むことはできません。

システムの処置: ACIF は入力データ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: IOB 構造化フィールドを入力データ・セットまたはオーバーレイに配置した場合は、エラーを訂正し、ACIF ジョブを再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。印刷データ・セットまたはオーバーレイに IOB 構造化フィールドを配置するためにプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK250S ページまたはリソースのデータが欠落している: ページまたはリソースの処理を完了するために必要な構造化フィールド structuredfield を見つけることができません。

説明: このメッセージに示された構造化フィールドは、ページまたはリソースの処理を完了する必要があります。ページまたはリソースの終わりが見つかる前に、この構造化フィールドが見つかりませんでした。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が無効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK251S FORMDEF リソースのデータが欠落している: FORMDEF にメディア・マップが含まれていません。

説明: 書式定義にメディア・マップが指定されていませんが、ページを印刷するためにメディア・マップが必要です。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼

APK252I

してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK252I MCC 構造化フィールドに指定されている変更セットが、両面用紙の表と裏に対して、それぞれ異なる入力ソースの選択値を示しています。

説明: メディア・コピー・カウント (MCC) 構造化フィールドの反復グループが参照するメディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドが、反転両面印刷または標準両面印刷のいずれかと一緒に、異なる入力ソース値またはメディア・タイプ・ローカル ID 値を指定しています。これは、異なる入力ピンから用紙の表面と裏面を印刷しようとしていることとなります。

システムの処置: エラーが含まれる書式定義は使用されず、次のいずれかの状況が発生します。

- エラーがデフォルト書式定義、または印刷メッセージや区切りページに指定された書式定義にある場合、PSF は開始されません。
- エラーが、ユーザーの OUTPUT JCL ステートメントで指定された書式定義にある場合、PSF はデータ・セットの印刷を開始できず、次のデータ・セットの印刷を試行します。PSF は、書式定義内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加のメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK253S FORMDEF リソースのデータが無効です。MMC 構造化フィールド (ID identifier) の印刷品質の値が受け入れ不可です。

説明: メディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドが、印刷品質値に有効範囲外の値 0 を指定しました。MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、MMC 構造化フィールドを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。MMC にエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK254S FORMDEF リソースのデータが無効です。MMC 構造化フィールド (ID identifier) のオフセット・スタッキング値が受け入れ不可です。

説明: メディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドが、0 と 1 以外のオフセット・スタッキング値を指定しました。MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、MMC 構造化フィールドを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。MMC にエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が無効であったかどうかを確認してください。入力が無効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK255S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。フォント・レゾリューションとメトリック・テクノロジー・トリプレットが誤った値を指定しています。

説明: フォント・レゾリューションとメトリック・テクノロジー・トリプレット (X'84) の中のメトリック・テクノロジー、単位ベース、または単位ベースあたりのユニット数のいずれかのフィールドに誤った値が指定されています。トリプレットは、印刷データ・セットまたはオーバーレイの中に配置可能なマップ・コード化フォント (MCF) 構造化フィールド上に指定されています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、ACIF にジョブを再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が無効であったかどうかを確認してください。入力が無効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK256S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。structuredfield 構造化フィールドに、無効値を含む triplet トリプレットが含まれています。無効値は、トリプレットのバイト byte から始まります。

説明: このメッセージに示されたトリプレットのバイト・オフセットから始まるフィールドで、誤った値が指定されました。トリプレットは、このメッセージに示された構造化フィールドで指定されています。

システムの処置: 書式定義、ページ定義、または非表示オブジェクト・コンテナ・リソース (例えば、COMSETUP) でエラーが発生すると、書式定義、ページ定義、または非表示オブジェクト・コンテナ・リソースは使用されず、次のいずれかが発生します。

- 次の場合に PSF が開始されない。
 - デフォルトの書式定義
 - メッセージまたは区切りページの印刷用に指定した書式定義
 - メッセージまたは区切りページの印刷用に指定したページ定義
- PSF は、ユーザーの OUTPUT JCL ステートメントで指定された書式定義または非表示オブジェクト・コンテナ・リソース (または行データを印刷する場合はページ定義) で、データ・セットの印刷を開始できません。PSF は、次のデータ・セットの印刷を試みます。ページまたは別のタイプのリソースの構造化フィールドでエラーが発生

APK258S

すると、PSF はページまたはリソースの終わりを探します。PSF は、ページまたはリソースの終わりを見つけると、現行ページに対して累積されたデータを印刷します。PSF がページまたはリソースの終わりを見つけることができないと、データ・セットは終了されます。

PSF は、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが起きたときの処理環境を示す追加のメッセージを出します。

ユーザーの処置: オブジェクトの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、オブジェクトの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK258S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。structuredfield 構造化フィールドはオブジェクト間では使用できません。

説明: このメッセージに示された構造化フィールドは、入力データ・ストリーム内またはリソース内のその構造化フィールドが見つかったポイントでは使用することができません。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ユーザーが印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドを作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドの順序が正しい場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK259S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。構造化フィールド (ID structuredfield) に指定された X 方向と Y 方向の L-UNITS PER UNIT BASE 値が一致していません。

説明: メッセージに示された構造化フィールドの、X 方向および Y 方向の L-UNITS PER UNIT BASE 値が同一ではありません。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してくだ

い。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK260S *structuredfield* 構造化フィールドで指定されたオブジェクトは、このプリンターではサポートされていません。

説明: PSF は、プリンターでサポートされていない有効な AFP オブジェクトを検出しました。オブジェクトは、開始構造化フィールド、ページ・オーバーレイ組み込み (IPO) などの呼び出し構造化フィールド、または OTH レコード (データをラッピングする MO:DCA-P 構造化フィールドがないオブジェクト・コンテナ) のいずれかによって識別されます。

システムの処置: オブジェクトまたは呼び出し構造化フィールドがページまたはオーバーレイに組み込まれている場合、PSF はそのオブジェクトを無視し、現行ページまたは現行オーバーレイの処理を続行します。

開始構造化フィールド、呼び出し構造化フィールド、または OTH レコードが、ページまたはオーバーレイに組み込まれているリソースにある場合、PSF はそのページまたはオーバーレイを終了します。PSF は、現行ページの終わりを探し出して、次ページから処理を再開しようとします。現行ページの終わりが見つからなかった場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。

ユーザーの処置: メッセージに示されたオブジェクト・タイプを印刷するには、そのオブジェクト・タイプをサポートするプリンターに印刷ジョブを実行依頼します。プリンターでサポートされているオブジェクト・タイプについての詳細は、プリンターの資料を参照してください。

システム・プログラマーの応答:

このプリンターの区切りページ・データ・セットから、サポートされていないオブジェクト・タイプを削除してください。

APK261S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。構造化フィールド *structuredfield* に、前のフォント・マッピング構造化フィールドに使用されたコード化フォント・ローカル ID の値が含まれています。

説明: 同一の活動環境グループまたはオブジェクト環境グループで 1 つ以上のフォント・マッピング構造化フィールドが、異なるコード化フォントに同一のコード化フォント・ローカル ID を使用しました。メッセージに、既にマップ済みのコード化フォント・ローカル ID の使用を試みたマップ・コード化フォント (MCF) 構造化フィールドが示されています。MCF 構造化フィールドは、合成テキスト印刷データ・セット、オーバーレイ、またはページ定義に含まれている可能性があります。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 合成テキスト印刷データ・セットまたはオーバーレイの印刷中に、ユーザーがエラーを含むオブジェクトに構造化フィールドを作成した場合は、MCF 構造化フィールドでコード化フォント・ローカル ID の重複がないかどうか確認してください。MCF 構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、エラーを含むオブジェクトで構造化フィールドを作成するためにプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

ページ定義を使用して行データを含むデータ・セットを印刷中に、ユーザーがページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、MCF 構造化フィールドでコード化フォント・ローカル ID の重複がないか確認してください。MCF 構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK262S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。構造化フィールド *structuredfield* に無効な回転値が含まれています。

説明: 指定の構造化フィールドに指定された回転値が無効です。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止します。ACIF は、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK263S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。IPO 構造化フィールドに指定されたオーバーレイ *overlayname* が MPO 構造化フィールドに指定されていません。

説明: ページ・オーバーレイ組み込み (IPO) 構造化フィールドがページ・オーバーレイを指定しましたが、オーバーレイは、その IPO を含むページの活動環境グループ (AEG) のマップ・ページ・オーバーレイ (MPO) 構造化フィールドに事前に定義されていません。MPO は合成テキスト・ページまたはページ定義の AEG に含まれている可能性があります。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: MPO が、このオーバーレイが注釈専用であることを示している場合には、ページ・オーバーレイを定義する AEG に他の MPO 構造化フィールドを作成してください。ページ・オーバーレイの名前を定義する入力データを使用していて、その入力データが ASCII の場合には、MPO 内のリソース名が EBCDIC になっているため、このエラーが発生することがあります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用する場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK264S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。オブジェクト環境グループ内の *structuredfield* 構造化フィールドによってマップされているリソースが、ページまたはリソースのアクティブ環境グループで指定されていません。

説明: オブジェクト環境グループ内の構造化フィールドがリソースを指定しています。しかし、そのリソースが、オブジェクト環境グループを含むページまたはリソースのアクティブ環境グループ内の構造化フィールドで定義されていません。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。ACIF は入力データ・セットの処理および印刷を停止します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation:*

「Programming Guide and Line Data Reference」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK265I FORMDEF リソースのデータが無効です。MFC の有効範囲は scope ですが、structuredfield が MFC の有効範囲を制限する構造化フィールドになっています。

説明: 現行の書式定義内の文書環境グループまたはメディア・マップのいずれかに、誤った有効範囲値を持つメディア終了制御 (MFC) 構造化フィールドが含まれています。

システムの処置: MFC は無視され、処理が続行されます。ACIF は、エラーが起きたときの処理環境を示す追加のメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference」または「Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK266I MMC 構造化フィールドまたは出力ステートメントで指定された入力ピンは挿入ピンで、使用不可になっています。代替ピンに置換されました。

説明: メディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドまたは出力ステートメントが、プリンターでサポートはされているが使用不可の状態にある入力ピンを要求しました。このピンは挿入ピンです。MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。出力ステートメントは JCL にあります。

システムの処置: ACIF は処理を続行し、代替ピンから用紙を選択します。挿入ページは、代替ピンからのブランク用紙です。

ユーザーの処置: 出力が受け入れられない場合は、指定されたピンを使用できるプリンターに印刷要求を実行依頼するか、オリジナルのプリンターでピンが使用可能であることを確認してから、印刷要求を再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK267S ページに環境グループが指定されていないか、あるいは環境グループでエラーが起きました。

説明: 環境グループが指定されていないか、あるいは環境グループの構造化フィールドの 1 つでエラーが起きました。環境グループが存在していて、エラーが発生した場合には、前の ACIF メッセージにエラーが示されています。このエラーの原因である環境グループは、オーバーレイ、ページ定義、または合成テキスト印刷データ・セットに含まれている可能性があります。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference」または「Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラ

ムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK268S MCF 構造化フィールドの項目にコード・ページ情報が含まれていません。

説明: マップ・コード化フォント形式 2 (MCF-2) 構造化フィールドの反復グループの 1 つがフォント文字セットを指定しましたが、コード・ページ情報がありません。このエラーは、ページまたはオーバーレイ内のグラフィックス・オブジェクトの処理中に検出されました。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: オブジェクトの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性あります。オブジェクトの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したオブジェクトの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK269S *structuredfield* 構造化フィールドの L-UNITS PER UNIT BASE として値ゼロが指定されました。

説明: メディア記述子 (MDD)、ページ記述子 (PGD)、表示テキスト記述子 (PTD-2)、オブジェクト領域記述子 (OBD)、グラフィックス・データ記述子 (GDD)、イメージ・データ記述子 (IDD)、バーコード・データ記述子 (BDD)、およびイメージ入力記述子 (IID) といった構造化フィールドが、L-UNITS PER UNIT BASE 値を指定します。L-UNITS PER UNIT BASE に対して値ゼロは無効です。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ユーザーが印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドを作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性あります。印刷データ・セットの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、問題の原因を判別する際の参考として、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」、および適切なシステム・プログラミング・ガイドを参照してください。

APK270S PAGEDEF リソースがみつかりません。PAGEDEF はデータ・マップに含まれていません。

説明: ページ定義はデータ・マップを指定していませんが、行データを含むデータ・セットを印刷するためにデータ・マップが必要です。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性あります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK271S FORMDEF リソースのデータが無効です。PGP 構造化フィールドの DUPLEX 仕様が受け入れ不可です。

説明: ページ位置 (PGP) 構造化フィールド の DUPLEX 仕様の値が受け入れ不可です。PGP 構造化フィールド は書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK272S FORMDEF リソースのデータが無効です。PGP 構造化フィールドには用紙表側のページ起点は含まれていません。

説明: ページ位置の形式 2 (PGP) 構造化フィールド には、表側のページ起点を定義する繰り返しグループが含まれている必要があります。PGP 構造化フィールドに用紙裏側のページ起点を定義する繰り返しグループが含まれていなければ、この値は両面用紙裏側にも使用されます。PGP 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK273S FORMDEF リソースのデータが無効です。MMC 構造化フィールド (ID identifier) の書式制御定数値が受け入れ不可です。

説明: メディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドの書式制御定数の変更には、サポートされていない値が含まれています。MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

APK274S

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK274S FORMDEF リソースのデータが無効です。MCC 構造化フィールドに指定されている変更、シートの同一面で競合する書式制御定数値が含まれています。

説明: メディア・コピー・カウント (MCC) 構造化フィールドによって参照されているすべてのメディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドはシートの同一面に対して同じ書式制御定数値を使用しなければなりません。MMC および MCC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK275S FORMDEF リソースのデータが無効です。メディア・マップはページのための定数データのみを指定します。

説明: 両面ページの表裏の両方に対する書式制御定数、または片面ページの表に対する書式制御定数を指定するメディア・マップを使用して、ページの処理を行おうとしました。残りの行、または残りのページのデータ処理を可能にする別のメディア・マップを呼び出す必要があります。メディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドには書式制御定数が含まれています。MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK276I FORMDEF リソースのデータが無効です。MMC 構造化フィールド (ID identifier) の出力ピンの選択値が受け入れ不可です。

説明: このメッセージ・テキストに示されている ID を持つメディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドに指定されている出力ピン選択パラメーター値が無効です。MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論

理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK277I **MCC 構造化フィールドに指定されている変更セットが、両面用紙の表と裏に対して、それぞれ異なる出力ピン値を示しています。**

説明: メディア・コピー・カウント (MCC) 構造化フィールドの繰り返しグループによって参照されているメディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドが、反転両面印刷または通常両面印刷のいずれかとともに、異なる出力ピン値を指定しています。これは、用紙の表と裏を異なる出力ピンに送出するという事です。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK278S **入力レコードまたはリソースのデータが無効です。structuredfield に指定されたマッピング・オプションが誤っているかサポートされていません。**

説明: エラー発生した構造化フィールドが誤ったマッピング・オプションの値が含んでいるか、プリンターがマッピング・オプションの値をサポートしていません。構造化フィールドは、バーコード・オブジェクト、グラフィックス・オブジェクト、イメージ・オブジェクト、またはオブジェクト・コンテナ・オブジェクトに含まれるか、バッド・マッピング・オプション・トリプレットを持つ IOB 構造化フィールドである可能性があります。バーコード・オブジェクト、グラフィックス・オブジェクト、イメージ・オブジェクト、または IOB は オーバーレイ、または MO:DCA-P ページに含まれているか、行データに組み込まれています。グラフィックス・オブジェクトは、合成テキスト印刷データ・セット、オーバーレイに含まれているか、または行データを含むデータ・セットに組み込まれています。イメージ・オブジェクトは、合成テキスト印刷データ・セット、オーバーレイ、またはページ・セグメントに含まれているか、あるいは行データを含むデータ・セットに組み込まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: オブジェクトの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。オブジェクトの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したオブジェクトの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力がある有効であったかどうかを確認してください。入力がある有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK279I **FORMDEF リソースのデータが無効です。MMC 構造化フィールド (ID identifier) に指定されている変更セットに、競合する keyword キーワード値が重複して含まれています。**

説明: メディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドには、このメッセージ・テキストに示された、競合するキーワード値が重複して含まれています。MMC 構造化フィールドは、書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF はこのメッセージを出し、重複するキーワードを無視して処理を続けます。

APK280I

ユーザーの処置: 書式定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、MMC 構造化フィールドを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。MMC にエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性がありません。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したオブジェクトの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK280I FORMDEF リソースが、次の裏面へのメディア・ページ替え制御を要求しましたが、出力ステートメントで **DUPLEX=NO** が指定されています。

説明: 次の裏面へのメディア・ページ替え制御が書式定義で指定されている場合は、OUTPUT ステートメントの **DUPLEX=NO** キーワードを使用して、両面印刷（書式定義で設定されています）から片面印刷に変更することはできません。その理由は、非互換要求が行われたためです。片面印刷の場合は、次の裏面にページ替えすることができません。

次の裏面へのメディア・ページ替え制御が書式定義で指定され、その書式定義が通常両面印刷または反転両面印刷を要求している場合は、両面印刷キーワードに有効な唯一のオプションは、OUTPUT ステートメントで **DUPLEX=NORMAL** または **DUPLEX=TUMBLE** のいずれかを指定することです。

システムの処置: ACIF は現在のデータ・セットの処理を停止し、エラーを検出したときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: OUTPUT ステートメントで両面印刷キーワードを要求せずに、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: なし。

APK299I IM イメージ・オブジェクトに無効なデータまたは正しくないデータが含まれています。**IM** イメージ・オブジェクトを **IO** イメージ・オブジェクトに変換することができません。

説明: このメッセージは、ACIF が IM イメージ・オブジェクトを IO イメージ・オブジェクトに変換する際、イメージ・サイズ値の 1 つがゼロである場合に出されます。単純な IM イメージ・オブジェクトの場合、IID 構造化フィールドの XSize または YSize パラメーター値がゼロである場合に、このメッセージが出されます。複雑な IM イメージ・オブジェクトの場合、ICP 構造化フィールドの XCSize、YCSize、XFilSize、または YFilSize パラメーター値のいずれかがゼロである場合に、このメッセージが出されます。

システムの処置: ACIF は入力ファイルの処理を停止します。

ユーザーの処置: エラーを訂正し、要求を再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK300I PAGEDEF リソースのデータが無効です。**LND** 構造化フィールド番号 *number* の **NEXT LINE DESCRIPTOR IF SKIPPING PARAMETER** パラメーター値がゼロです。

説明: 現行レコードは、特定のチャンネル制御とともに行記述子 (LND) 構造化フィールドへのスキップを指示する制御文字を含んでいます。しかし、このメッセージに示された LND 構造化フィールドの **NEXT LINE DESCRIPTOR IF SKIPPING** パラメーターには値ゼロが指定されています。LND 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line*

Data Reference」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性がります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK301S PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND 構造化フィールド番号 *number* の NEXT LINE DESCRIPTOR IF SKIPPING PARAMETER パラメーター値が *parametervalue* です。これは、LNC 構造化フィールドのカウンタ値 *parametervalue* を超えています。

説明: このメッセージに示された行記述子 (LND) 構造化フィールドの、次の LND IF SKIPPING パラメーター値がページ定義の LND 構造化フィールドの合計より大きくなっています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性がります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK307S PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND 構造化フィールド番号 *number* に、再利用レコードのフラグが設定されましたが、NEXT LINE DESCRIPTOR IF REUSING DATA パラメーターがゼロです。

説明: このメッセージに示された行記述子 (LND) 構造化フィールドの再利用レコード・フラグの値が 'B1' です。これは、この LND 構造化フィールドの処理データが再利用および処理されることを示します。NEXT LINE DESCRIPTOR IF REUSING DATA パラメーターが、処理を継続するために使用される LND 構造化フィールドを指している必要があります。しかし、REUSING DATA パラメーターの値が 'X'0000' になっており、チェーンの終了を示しています。LND 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性がります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK309S PAGEDEF リソースのデータが無効です。CCP 構造化フィールド *ccpidentifier* の繰り返しグループの長さパラメーター値が無効です。

説明: 条件付きプロセス制御 (CCP) 構造化フィールドの値が誤っています。LENGTH OF REPEATING GROUPS パラメーターがゼロか、繰り返しグループ・データの長さが、このパラメーターで指定したサイズの倍数ではありません。CCP 構造化フィールドはページ定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK310S PAGEDEF リソースのデータが無効です。LNC 構造化フィールドの COUNT パラメーター値がゼロです。

説明: 行記述子 (LNC) 構造化フィールドの COUNT パラメーターはゼロの値です。LNC 構造化フィールドはページ定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK312S PAGEDEF リソースのデータが無効です。FDS 構造化フィールドの SIZE パラメーター値がゼロです。

説明: 固定データ・サイズ (FDS) 構造化フィールドの SIZE パラメーター値がゼロです。FDS 構造化フィールドはページ定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK314S PAGEDEF リソースのデータが無効です。CCP 構造化フィールド *ccpidentifier* の NUMBER OF REPEATING GROUPS パラメーター値が無効です。

説明: 条件付きプロセス制御 (CCP) 構造化フィールドの値が誤っています。CCP 構造化フィールドに含まれる NUMBER OF REPEATING GROUPS パラメーターがゼロであるか、繰り返しグループの数がこのパラメーターに指定された数と一致していません。CCP 構造化フィールド はページ定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性あります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK315S PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND 構造化フィールド番号 *number* の NEXT LINE DESCRIPTOR IF SPACING パラメーター値がゼロです。

説明: 論理レコードの制御文字は、NEXT LINE DESCRIPTOR IF SPACING パラメーターが続くことを示しています。しかし、このメッセージに示された行記述子 (LND) 構造化フィールドの NEXT LINE DESCRIPTOR IF SPACING パラメーター値がゼロです。LND 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性あります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK316S PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND 構造化フィールド番号 *number* の NEXT LINE DESCRIPTOR IF SPACING パラメーター値が *parametervalue* です。この値は大きすぎます。

説明: 論理レコードの制御文字は、行記述子 (LND) 構造化フィールドの NEXT LINE DESCRIPTOR IF SPACING パラメーターが続くことを示しています。しかし、このメッセージに示された行記述子 (LND) 構造化フィールドの NEXT LINE DESCRIPTOR IF SPACING パラメーターの値がデータ・マップの行記述子の総数より大きくなっています。LND 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性あります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK317S PAGEDEF リソースのデータが無効です。CCP 構造化フィールド *ccpidentifier* の LENGTH OF COMPARISON STRING パラメーター値が無効です。

説明: 条件付きプロセス制御 (CCP) 構造化フィールドの値が誤っています。LENGTH OF COMPARISON STRING パラメーターがゼロか、比較ストリング・データの長さが、繰り返しグループから繰り返しグループの残存フィールドの固定長を引いた長さとは一致していません。CCP 構造化フィールドはページ定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力があり有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK319I PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND、RCD、または XMD 構造化フィールド番号 *number* に、SUPPRESSION TOKEN NAME パラメーターに指定されたヌル値があります。ヌル値は無効です。

説明: ページ定義内の行記述子 (LND)、レコード記述子 (RCD)、または XML 記述子 (XMD) 構造化フィールドの SUPPRESSION TOKEN NAME パラメーターがヌル値です。ヌル値は最初の 2 バイトに 'XFFFF' を含む値です。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があり有効であったかどうかを確認してください。入力があり有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK320S PAGEDEF リソースのデータが無効です。CCP 構造化フィールド *identifier2* の NEXT CCP IDENTIFIER パラメーターで指定される ID *identifier1* が見つかりませんでした。

説明: 条件付きプロセス制御 (CCP) 構造化フィールドの値が誤っています。CCP 構造化フィールドがチェーニングされた場合は、CCP 構造化フィールドの NEXT CONDITIONAL PROCESSING CONTROL IDENTIFIER パラメーターにより、CCP を見つけるための ID が指定されます。ID は同じページ定義内の別の CCP の CCP IDENTIFIER パラメーターの値と一致していなければなりません。NEXT CCP IDENTIFIER パラメーターで指定される ID が、ページ定義内のどの CCP ID ととも一致していません。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能

性があります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK321S PAGEDEF リソースのデータが無効です。CCP 構造化フィールド *ccpidentifier* の TIMING OF ACTION パラメーター値 *value* が無効です。

説明: 条件付きプロセス制御 (CCP) 構造化フィールドの値が誤っています。CCP 構造化フィールドのいずれかの繰り返しグループの TIMING OF ACTION パラメーターに誤った値が含まれています。CCP 構造化フィールドはページ定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK322S PAGEDEF リソースのデータが無効です。CCP 構造化フィールド *ccpidentifier* のメディア・マップの ACTION パラメーター値 *value* が無効です。

説明: 条件付きプロセス制御 (CCP) 構造化フィールドの値が誤っています。CCP 構造化フィールドのいずれかの繰り返しグループの MEDIUM MAP ACTION パラメーターに誤った値が含まれています。CCP 構造化フィールドはページ定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK323S PAGEDEF リソースのデータが無効です。CCP 構造化フィールド *ccpidentifier* の DATA MAP ACTION パラメーター値 *value* が無効です。

説明: 条件付きプロセス制御 (CCP) 構造化フィールドの値が誤っています。CCP 構造化フィールドのいずれかの繰り返しグループの DATA MAP ACTION パラメーターに誤った値が含まれています。CCP 構造化フィールドはページ定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼

APK324S

頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性がります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK324S PAGEDEF リソースのデータが無効です。CCP 構造化フィールド *ccpidentifier* の COMPARISON パラメーター値 *value* が無効です。

説明: 条件付きプロセス制御 (CCP) 構造化フィールドの値が誤っています。CCP 構造化フィールドのいずれかの繰り返しグループの COMPARISON パラメーターに誤った値が含まれています。CCP 構造化フィールドはページ定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性がります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK326S PAGEDEF リソースのデータが無効です。CCP 構造化フィールド *ccpidentifier* の DATA MAP NAME パラメーターに指定されたデータ・マップ *datamapname* が見つかりませんでした。

説明: 条件付きプロセス制御 (CCP) 構造化フィールドの値が誤っています。CCP 構造化フィールドのいずれかの繰り返しグループの DATA MAP NAME パラメーターが、ページ定義内のデータ・マップを見つけるために使用されるデータ・マップのトークン名を指定します。この名前は、現行ページ定義のデータ・マップ開始 (BDM) 構造化フィールドの TOKEN NAME パラメーターに指定された値と一致していなければなりません。名前 *datamapname* というデータ・マップがページ定義内に見つかりません。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性がります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK327S PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND 構造化フィールド番号 *number* の NEXT LINE DESCRIPTOR IF REUSING DATA パラメーター値が原因で無限ループが発生します。

説明: このメッセージで示される行記述子 (LND) 構造化フィールドの NEXT LINE DESCRIPTOR IF REUSING DATA パラメーターが原因で無限ループが発生します。LND 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性あります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK329S PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND 構造化フィールド番号 *number* の NEXT LINE DESCRIPTOR IF REUSING DATA パラメーター値が *parametervalue1* です。これは、LNC 構造化フィールドのカウント値 *parametervalue2* を超えています。

説明: このメッセージに示された行記述子 (LND) 構造化フィールドの NEXT LINE DESCRIPTOR IF REUSING DATA パラメーターに誤った値が含まれています。この値は、現行データ・マップの行記述子カウント (LNC) 構造化フィールドの COUNT パラメーターより大きくなっています。LNC および LND 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性あります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK330I PAGEDEF リソースのデータが無効です。DATA START POSITION 値を LND、RCD、または XMD 構造化フィールド番号 *number* の DATA LENGTH 値に加えると、FDS 構造化フィールドのサイズ値 *parametervalue* を超えます。

説明: 行記述子 (LND) 構造化フィールドのバイト 0、レコード記述子 (RCD) 構造化フィールドのバイト 11、または XML 記述子 (XMD) 構造化フィールド のバイト 1 の固定データ使用フラグ が 'B1' に設定されています。このセットは、固定データ・テキスト (FDX) 構造化フィールドのデータが LND、RCD、XMD 構造化フィールドによりページ内のデータに加えられることを示します。FDX、RCD、および LND 構造化フィールドはページ定義にあります。

LND、RCD、XMD 構造化フィールドの DATA START POSITION パラメーターはデータの先頭のバイトのオフセットを示します。DATA LENGTH パラメーターはページ内に何バイトの FDX を置くか指定します。これら 2 つのパラメーターが FDX 構造化フィールドが含むデータより多くのデータを指定した場合に、このエラーが発生します。FDX 構造化フィールドのデータのバイト数は、固定データ・サイズ (FDS) 構造化フィールドの SIZE パラメーターに指定されています。

システムの処置: PSF は、現行データのセット処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があ

APK334S

ります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーが区切りページやメッセージ・データ・セットに関連している場合は、『ユーザーの処置』セクションに示されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK334S PAGEDEF リソースのデータが無効です。受け取った固定データの量が FDS STRUCTURED FIELD SIZE パラメーターに指定された値と一致しません。

説明: 固定データ・テキスト (FDX) 構造化フィールドには、固定データ・サイズ (FDS) 構造化フィールドの SIZE パラメーターに指定されたデータのバイト数より多いデータが含まれます。FDS および FDX 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性あります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK335S PAGEDEF リソースのデータが無効です。CCP 構造化フィールド *ccpidentifier* の MEDIUM MAP NAME パラメーターに指定したメディア・マップ *mediummapname* が見つかりませんでした。

説明: 条件付きプロセス制御 (CCP) 構造化フィールドの値が誤っています。CCP 構造化フィールドのいずれかの繰り返しグループの MEDIUM MAP NAME パラメーターが、書式定義内でメディア・マップを見つけるために使用するメディア・マップのトークン名を指定します。この名前は、現行の書式定義のいずれかのメディア・マップ開始 (BMM) 構造化フィールドの TOKEN NAME パラメーターに指定された値と一致していなければなりません。*mediummapname* という名前のメディア・マップが書式定義内に見つかりません。CCP 構造化フィールドはページ定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性あります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK337I PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND、RCD、または XMD 構造化フィールド番号 *number* 内の、条件付き処理フラグが設定されましたが、条件付き処理制御 ID がゼロです。

説明: 行記述子 (LND)、レコード記述子 (RCD)、または XML 記述子 (XMD) 構造化フィールド内の、条件付き処理フラグの値が 'B1' に設定されています。これは、この LND、RCD、または XMD 構造化フィールドにより処理され

る行データが、条件付き処理制御 (CCP) 構造化フィールドに指定された値と比較されるということを示します。LND、RCD、または XMD 構造化フィールドの CCP IDENTIFIER パラメーターは現行ページ定義内のいずれかの CCP 構造化フィールドを検索するために使用されます。このパラメーターがゼロに設定されています。これは、条件付き処理フラグがオンのときに有効な値ではありません。LND、RCD、XMD、および CCP 構造化フィールドはページ定義内にあります。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性ががあります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK339I PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND、RCD、または XMD 構造化フィールド番号 *number* の **CONDITIONAL PROCESSING CONTROL IDENTIFIER** パラメーターに指定された **ID identifier** が見つかりません。

説明: 行記述子 (LND)、レコード記述子 (RCD)、または XML 記述子 (XMD) 構造化フィールド内の、条件付き処理フラグの値が 'B1' に設定されています。これは、この LND、RCD、または XMD 構造化フィールドにより処理される行データが、条件付き処理制御 (CCP) 構造化フィールドに指定された値と比較されるということを示します。LND、RCD、または XMD 構造化フィールドの CCP IDENTIFIER パラメーターは現行ページ定義内のいずれかの CCP 構造化フィールドを検索するために使用されます。しかし、このメッセージに示された LND、RCD、または XMD 構造化フィールドに指定された ID が、現行ページ定義の CCP 構造化フィールドの CCP IDENTIFIER パラメーターに指定された値と一致していません。LND、RCD、XMD、および CCP 構造化フィールドはページ定義内にあります。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性ががあります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK340I PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND、RCD、または XMD 構造化フィールド番号 *number* の **NEXT LINE DESCRIPTOR IF CONDITIONAL PROCESSING** パラメーターが *value1* です。これは、LNC 構造化フィールドのカウント値 *value2* を超えています。

説明: 行記述子 (LND)、レコード・フォーマット記述子 (RCD)、または XML 記述子 (XMD) 構造化フィールドの

APK341S

NEXT LINE DESCRIPTOR IF CONDITIONAL PROCESSING パラメーターに誤った値が含まれています。この値は、現行データ・マップの行記述子カウント (LNC) 構造化フィールドの COUNT パラメーターより大きくなっています。LNC、LND、RCD、XMD 構造化フィールドは、ページ定義に含まれます。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK341S PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND 構造化フィールド番号 *number* のシフトアウト・コード化フォントのローカル ID が非ゼロですが、フォント変更の生成フラグが設定されていません。

説明: このメッセージに示された行記述子 (LND) またはレコード記述子 (RCD) 構造化フィールドのシフトアウト・コード化フォント ID が非ゼロです。シフトイン・コードが処理される場合には常にプライマリー・コード化フォントのローカル ID を使用する必要があるということを示すために、フォント変更の生成フラグを設定する必要があります。しかし、フォント変更の生成フラグに値 B'0' が指定されています。LND 構造化フィールドまたは RCD 構造化フィールドは、ページ定義に含まれています。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK342I PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND、RCD、または XMD 構造化フィールド番号 *number* の NEXT LINE DESCRIPTOR IF CONDITIONAL PROCESSING パラメーターが原因で無限ループが発生します。

説明: 行記述子 (LND)、レコード・フォーマット記述子 (RCD)、または XML 記述子 (XMD) 構造化フィールドの NEXT LINE DESCRIPTOR IF CONDITIONAL PROCESSING パラメーターが原因で無限ループ条件が発生します。LND、RCD、そして XMD 構造化フィールドはページ定義にあります。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログ

ラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK343I 入力レコードまたは PAGEDEF リソースのデータが無効です。負の方向の論理ページ外の相対位置データ。以前と現在の LND、RCD、または XMD 構造化フィールド番号は、それぞれ *priornumber* と *currentnumber* です。

説明: 相対位置が行記述子 (LND)、レコード記述子 (RCD)、または XML 記述子 (XMD) 構造化フィールドに使用されると、Y 方向への相対位置はマイナスの値になります。現在の LND、RCD、または XMD の位置 (*priornumber*) は、現在の LND、RCD、または XMD の相対オフセットの測定基準となるベースライン位置を定義します。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK344S PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND 構造化フィールドの数が LNC 構造化フィールドに指定された値と一致しません。

説明: ページ定義内で見つかった行記述子 (LND) レコード記述子 (RCD) 構造化フィールドの数が、行記述カウント (LNC) 構造化フィールドに指定された値より大きいか小さくなっています。LND、RCD、および LNC 構造化フィールドはページ定義にあります。

システムの処置: PSF は、現在のデータ・セットの処理を停止し、エラーが発生した処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK346W 入力レコード、または PAGEDEF リソースが無効です。レコード番号 *recordnumber* に存在しないチャンネル *channel* へのスキップが LND 構造化フィールド内で検出されました。単一のスペーシングの出力が強制され、ブランク・ページの原因となります。

説明: 現行データ・マップに定義されていないチャンネルへのスキップを実行しようとして、ページ定義内の行記述子 (LND) 構造化フィールドが誤っています。スキャン時、スキップ標識が設定されていると LND が終了ページを持

APK350S

つようになるため、NEXT LINE DESCRIPTOR IF SKIPPING パラメーター全体が無効になります。これにより、同じ入力レコード上に無限ループが作成されます。LND 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: エラーを含むレコードは単一のスペーシングに強制されます。単一のスペーシングが強制されると、レコードの紙送り制御文字が無視されます。このレコードは、エラーが発生したレコードに X'09' マシン制御文字、または X'40' ANSI 制御文字が指定された場合と同様に処理されます。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性あります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、「*Advanced Function Presentation: Diagnosis Guide*」を参考にして問題の原因を判別してください。

APK350S PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND 構造化フィールド番号 *number* のシフトアウト・コード化フォントのローカル ID が非ゼロですが、フォント変更の生成フラグが設定されていません。

説明: このメッセージに示された行記述子 (LND) またはレコード記述子 (RCD) 構造化フィールドのシフトアウト・コード化フォント ID が非ゼロです。シフトイン・コードが処理される場合には常にプライマリー・コード化フォントのローカル ID を使用する必要があるということを示すために、フォント変更の生成フラグを設定する必要があります。しかし、フォント変更の生成フラグに値 B'0' が指定されています。LND 構造化フィールドまたは RCD 構造化フィールドは、ページ定義に含まれています。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性あります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK352I PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND、RCD、または XMD 構造化フィールド番号 *number* でバーコード生成が要求されましたが、プリンターがバーコード・オブジェクトをサポートしていません。

説明: ページ定義内の行記述子 (LND)、レコード記述子 (RCD)、または XML 記述子 (XMD) 構造化フィールドが、行データからバーコード・オブジェクトを生成するよう PSF に要求しましたが、プリンターがバーコード・オブジェクトをサポートしていません。

システムの処置: PSF はこの要求を無視し、データ・セットの処理を続けます。

ユーザーの処置: データ・セットを印刷し、PSF にバーコード・オブジェクトを生成させるには、バーコード・オブジェクトをサポートしているプリンターに印刷ジョブを実行依頼してください。バーコード・オブジェクトをサポートしている AFP プリンターについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Printer Information*」を参照してください。

システム・プログラマーの応答: ページ定義が、区切りページ、メッセージ・データ・セット、または PSF 開始プロシージャで定義されているユーザー印刷データ・セットのデフォルトのページ定義に対するものである場合は、バーコードの生成を要求しているページ定義からこのオプションを削除してください。

APK353S PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND 構造化フィールド番号 *number* の DATA LENGTH パラメーター値が、CCP 構造化フィールド *ccpidentifier* の LENGTH OF COMPARISON STRING パラメーター値と一致しません。

説明: 行記述子 (LND) 構造化フィールドの DATA LENGTH パラメーターの値は、条件付き処理の実行対象である現行入力レコードのフィールドを識別するために使用されます。このフィールドは、条件付き処理制御 (CCP) 構造化フィールドで指定されている比較ストリングと比較されます。LND 構造化フィールドの DATA LENGTH パラメーターで指定されている長さが、CCP 構造化フィールドの LENGTH OF COMPARISON STRING で指定されている長さと一致していません。LND および CCP 構造化フィールドは、ページ定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK355S PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND または RCD 構造化フィールド *structuredfield* でページ・オーバーレイが要求されましたが、プリンターがページのオーバーレイをサポートしていません。

説明: ページ定義内の行記述子 (LND) またはレコード記述子 (RCD) 構造化フィールドがオーバーレイを要求しましたが、プリンターがページのオーバーレイをサポートしていません。

システムの処置: PSF はページを終了し、データ・セットの処理を続けます。

ユーザーの処置: ページ・オーバーレイを含むデータ・セットを印刷するには、ページ・オーバーレイをサポートしているプリンターに印刷ジョブを実行依頼してください。ページ・オーバーレイをサポートしている AFP プリンターについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Printer Information*」を参照してください。

システム・プログラマーの応答: ページ定義が、区切りページ、メッセージ・データ・セット、または PSF 開始プロシージャで定義されているユーザー印刷データ・セットのデフォルトのページ定義に対するものである場合は、そのページ定義からページ・オーバーレイを削除してください。

APK356S PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND または RCD 構造化フィールド *structuredfield* でページ・セグメントまたはオーバーレイが要求されましたが、LND または RCD にはインラインまたはベスラインの位置の値が指定されています。

説明: LND 構造化フィールドで、リソース・オブジェクト組み込みトリプレットが指定されている場合は、その LND 構造化フィールド内のバイト 0 から 1 のビット 2 および 3 がどちらも設定されている必要があります。RCD 構造化フィールドで、リソース・オブジェクト組み込みトリプレットが指定されている場合は、その RCD 構造化フィールド内のバイト 11 から 13 のビット 2 および 3 がどちらも設定されている必要があります。

システムの処置: PSF は現在のデータ・セットの処理を停止し、エラーが発生した処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK359I データ・セットでインライン・メディア・マップが検出されましたが、インライン・メディア・マップはサポートされていません。

説明: データ・セットのリソースが処理された後に、データ・ストリームで「メディア・マップの開始 (BMM)」構造化フィールドが検出されました。ACIF はページ間のインライン・メディア・マップをサポートしていません。このデータ・セットは、インライン・メディア・マップを作成するプログラムによって作成された可能性があります。インライン・メディア・マップを含むデータ・セットは印刷できません。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: エラーを訂正し、要求を再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 入出力エラー・メッセージを調べて、適切な処置を決定してください。

APK364I MCC 構造化フィールドに指定されている変更セットが、両面用紙の表と裏に対して、それぞれ異なる入力ソースの選択値を示しています。

説明: メディア・コピー・カウント (MCC) 構造化フィールドの反復グループが参照するメディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドが、反転両面印刷または標準両面印刷のいずれかと一緒に、異なる入力ソース値またはメディア・タイプ・ローカル ID 値を指定しています。これは、異なる入力ピンから用紙の表面と裏面を印刷しようとしていることとなります。

システムの処置: エラーが含まれる書式定義は使用されず、次のいずれかの状況が発生します。

- エラーがデフォルト書式定義、または印刷メッセージや区切りページに指定された書式定義にある場合、PSF は開始されません。
- エラーが、ユーザーの OUTPUT JCL ステートメントで指定された書式定義にある場合、PSF はデータ・セットの印刷を開始できず、次のデータ・セットの印刷を試行します。PSF は、書式定義内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加のメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK366I 入力レコードまたは PAGEDEF リソースのデータが無効です。相対位置で使用されている用紙の向きが、最後に印刷に使用された向きと異なっています。以前と現在の LND、RCD、または XMD 構造化フィールド番号は、それぞれ *priornumber* と *currentnumber* です。

説明: 行記述子 (LND)、レコード記述子 (RCD)、または XML 記述子 (XMD) 構造化フィールドで相対的位置付けが使用されている場合、現在の LND、RCD、または XMD (*currentnumber*) のテキスト方向フィールドが、データの位置づけに最後に使用された LND、RCD、または XMD (*priornumber*) のテキスト方向フィールドに一致している必要があります。前の LND、RCD、または XMD の位置は、現在の LND、RCD、または XMD の相対オフセットの測定基準となるベースライン位置を定義します。

システムの処置: PSF は、現在のデータ・セットの処理を停止し、エラーが発生した処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data*」

Reference」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性が
あります。ページ定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡して
ください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラ
ムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメ
ッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、
エラーを訂正してください。

**APK367I PAGEDEF リソースのデータが無効です。リソース・ローカル ID が *identifier* の IOB 構造化フィール
ドに指定されている出力オプションが無効であるか、サポートされていません。IOB は、
LND、RCD、または XMD 構造化フィールド番号 *number* に組み込まれています。**

説明: エラーが発生した組み込みオブジェクト (IOB) 構造化フィールドに、無効な出力オプション値が含まれている
か、プリンターがその出力オプション値をサポートしていません。IOB は、このメッセージに示された行記述子
(LND)、レコード記述子 (RCD)、または XML 記述子 (XMD) 構造化フィールドを使用して組み込まれます。
IOB、LND、RCD、XMD 構造化フィールドは、ページ定義に含まれています。

システムの処置: PSF は現在のデータ・セットの処理を停止し、エラーが発生した処理環境を示す追加メッセージを
出します。

ユーザーの処置: リソースに対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼
してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document
Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data
Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性が
あります。プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡して
ください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラ
ムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

**APK368S PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND 構造化フィールド番号 *number* の拡張リソース・ローカ
ル ID トリプレットに指定されているリソース・ローカル ID *identifier* が見つかりませんでした。**

説明: 行記述子 (LND) またはレコード記述子 (RCD) 構造化フィールド、および拡張リソース・ローカル ID トリプ
レットは、この LND または RCD が印刷に使用されたときにオブジェクトを組み込むために使用される組み込みオブ
ジェクト (IOB) 構造化フィールドのローカル ID (*identifier*) を指定します。LND または LCD で指定されたこの ID
が、ページ定義内の IOB 構造化フィールドのいずれとも一致しません。

システムの処置: PSF は現在のデータ・セットの処理を停止し、エラーが発生した処理環境を示す追加メッセージを
出します。

ユーザーの処置: リソースに対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼
してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document
Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data
Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性が
あります。プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡して
ください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラ
ムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメ
ッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エ
ラーを訂正してください。

APK369S 入力レコードのデータが無効です。 *structuredfield* 構造化フィールドが非プレゼンテーション・オブジェクト・コンテナを組み込もうとしています。

説明: 構造化フィールドのオブジェクト区分トリプレット (X'10') が、非プレゼンテーション・オブジェクトをオブジェクト・クラスとして要求しています。この構造化フィールドを介して組み込むことができるのは、プレゼンテーション・オブジェクトのみです。

システムの処置: PSF は現行ページの処理を停止します。

PSF は現行ページの終わりを見つけて、その次のページから印刷を再開しようとします。ページの終わりを見つけない場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。リソースでこのエラーが発生した場合、PSF はデータ・セットの処理を停止します。

リソース環境グループでこのエラーが発生した場合、PSF はリソース環境グループの処理を停止し、データ・セットの処理を続行します。

ユーザーの処置:

システム・プログラマーの応答:

APK380S オブジェクト・コンテナ・リソースの登録 ID (*identifier*)、名前 *resourcename* またはオブジェクト OID *objectoid* が、呼び出し側の JCL キーワードまたは構造化フィールドの対応する登録 ID に一致しません。

説明: JCL キーワード、IOB または MDR 構造化フィールドを介してオブジェクト・コンテナ・リソースが要求されましたが、オブジェクト・コンテナの開始構造化フィールド内のオブジェクト区分トリプレットに、対応する登録 ID がありませんでした。登録 ID とそれらの想定機能のリストについては、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。*** という値は、リソース名またはオブジェクト OID が指定されなかったことを意味しています。

システムの処置: オブジェクト・コンテナが JCL で呼び出された場合は、PSF は現在のデータ・セットの処理を停止し、エラーが発生した処理環境を示す追加メッセージを出します。オブジェクト・コンテナが、IOB または MDR 構造化フィールドによって組み込まれていた場合は、PSF はページまたはオーバーレイを終了します。PSF は、現行ページの終わりを探し出して、次ページから処理を再開しようとします。現行ページの終わりが見つからなかった場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。

ユーザーの処置: オブジェクト・コンテナ・リソースに構造化フィールドを作成している場合は、この登録 ID が、リソースの起動に使用されたキーワード、または IOB または MDR 構造化フィールドに指定されているオブジェクト区分トリプレットで指定された登録 ID に対応していることを確認してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したオブジェクト・コンテナの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK381S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。 *structuredfield* 構造化フィールドのオブジェクト区分トリプレットの登録済みオブジェクト ID が指定されていません。

説明: オブジェクト区分トリプレット内の登録済みのオブジェクト ID が 0 です。オブジェクト・コンテナには、登録済み ID を指定する必要があります。

システムの処置: 構造化フィールドが、ページまたはオーバーレイに埋め込まれたオブジェクトに含まれている場合、または構造化フィールドが、ページまたはオーバーレイに組み込まれているリソース内にある場合、PSF はそのページまたはオーバーレイを終了します。PSF は、現行ページの終わりを探し出して、次ページから処理を再開しようとします。現行ページの終わりが見つからなかった場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。非表示オブジェクト・コンテナの場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。

ページ定義にエラーが含まれている場合は、PSF はそのデータ・セットの処理を終了し、次のデータ・セットに移って

処理を続けます。PSF は、入力データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが起きたときの処理環境を示す追加のメッセージを出します。

ユーザーの処置: 構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があります。プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK384S FORMDEF リソースのデータが無効です。MCC 構造化フィールドに指定された複数の変更、競合する表示システム・セットアップ ID 値が含まれています。

説明: MCC 構造化フィールドが参照する複数の MMC 構造化フィールドが、正確に一致する一連の表示システム・セットアップ ID 値を使用していません。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、MCC 構造化フィールドを訂正してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。MCC にエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK385S FORMDEF リソースのデータが無効です。MMC 構造化フィールド *structuredfield* で指定された変更、ペアではない *keyword1* キーワードと *keyword2* キーワードが含まれています。

説明: メディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドではキーワードがペアになっていなければなりません。この書式定義には、キーワードのうち両方ではなく片方があるか、あるいはキーワードのペアが隣接していません。MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: エラーが含まれる書式定義は使用されず、次のいずれかの状況が発生します。

- エラーが含まれる書式定義が PSF 開始プロシーチャーで定義されている場合、PSF は開始されません。PSF 開始プロシーチャーで定義されている書式定義リソースは、ユーザー印刷データ・セットの区切りページ、メッセージ・データ・セット、およびデフォルトの書式定義リソース用です。
- エラーが、ユーザーの OUTPUT JCL ステートメントで指定された書式定義にある場合、PSF はデータ・セットの印刷を開始できず、次のデータ・セットの印刷を試行します。PSF は、書式定義内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加のメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK386S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。ID *identifier* を持つ必須トリプレットが、IOB 構造化フィールドから欠落しています。

説明: ID によって、次のようになります。

X'4C' オブジェクト内容またはオブジェクト領域サイズ (X'4C') トリプレットの x 軸または y 軸の起点は IOB に指定されていましたが、計算単位 (X'4B') トリプレットが指定されていませんでした。構造化フィールドは印刷データ・セットまたはオーバーレイに含まれています。

X'22' IOB 構造化フィールドがページ定義に含まれている場合は、拡張リソース・ローカル ID (X'22') トリプレットが必要です。

システムの処置: ページ定義にエラーが含まれている場合は、PSF はそのデータ・セットの処理を終了し、次のデータ・セットに移って処理を続けます。含まれていない場合、PSF は、エラーのある構造化フィールドを含むページまたはオーバーレイを終了します。PSF は、現行ページの終わりを探し出して、次ページから処理を再開しようとしません。現行ページの終わりが見つからなかった場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。PSF は、入力データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加のメッセージを出します。

ユーザーの処置: IOB 構造化フィールドを印刷データ・セットまたはオーバーレイに配置した場合は、エラーを訂正し、ACIF ジョブを再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。印刷データ・セットまたはオーバーレイに IOB 構造化フィールドを配置するためにプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: 印刷データ・セットまたはオーバーレイに IOB 構造化フィールドを配置するために IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK387S 入力レコードのデータが無効です。IOB 構造化フィールドのパラメーターに受け入れられないデータが含まれています。

説明: 組み込みオブジェクト (IOB) 構造化フィールドのパラメーターの 1 つが無効です。参照座標系システムが X'00' にセットされている場合、指定されたオブジェクト・タイプがサポートされていないか無効である、あるいはオブジェクト領域の x または y のオフセット、または回転値が明示的に指定されていません。IOB 構造化フィールドは印刷データ・セットまたはオーバーレイに含まれています。

システムの処置: ACIF は入力データ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: IOB 構造化フィールドを入力データ・セットまたはオーバーレイに配置した場合は、エラーを訂正し、ACIF ジョブを再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。印刷データ・セットまたはオーバーレイに IOB 構造化フィールドを配置するためにプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK388S ページ・セグメントのデータが無効です。*structuredfield* 構造化フィールドは、IOB に組み込まれているページ・セグメントでは許可されていません。

説明: MO:DCA-P ページ・セグメントのみを IOB 構造化フィールドに組み込むことができます。MO:DCA-P ページ・セグメントは IM1 イメージまたは PTOCA データを含むことはできません。

システムの処置: ACIF は入力データ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: IOB 構造化フィールドを入力データ・セットまたはオーバーレイに配置した場合は、エラーを訂正し、ACIF ジョブを再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。印刷データ・セットまたはオーバーレイに IOB 構造化フィールドを配置するためにプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK389S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。フォント・レゾリューションとメトリック・テクノロジー・トリプレットが誤った値を指定しています。

説明: フォント・レゾリューションとメトリック・テクノロジー・トリプレット (X'84') の中のメトリック・テクノロジー、単位ベース、または単位ベースあたりのユニット数のいずれかのフィールドに誤った値が指定されています。トリプレットは、印刷データ・セットまたはオーバーレイの中に配置可能なマップ・コード化フォント (MCF) 構造化フィールド上に指定されています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、ACIF にジョブを再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が無効であったかどうかを確認してください。入力が無効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK390S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。structuredfield 構造化フィールドに、無効値を含む triplet トリプレットが含まれています。無効値は、トリプレットのバイト byte から始まります。

説明: このメッセージに示されたトリプレットのバイト・オフセットから始まるフィールドで、誤った値が指定されました。トリプレットは、このメッセージに示された構造化フィールドで指定されています。

システムの処置: 書式定義、ページ定義、または非表示オブジェクト・コンテナ・リソース (例えば、COMSETUP) でエラーが発生すると、書式定義、ページ定義、または非表示オブジェクト・コンテナ・リソースは使用されず、次のいずれかが発生します。

- 次の場合に PSF が開始されない。
 - デフォルトの書式定義
 - メッセージまたは区切りページの印刷用に指定した書式定義
 - メッセージまたは区切りページの印刷用に指定したページ定義
- PSF は、ユーザーの OUTPUT JCL ステートメントで指定された書式定義または非表示オブジェクト・コンテナ・リソース (または行データを印刷する場合はページ定義) で、データ・セットの印刷を開始できません。PSF は、次のデータ・セットの印刷を試みます。ページまたは別のタイプのリソースの構造化フィールドでエラーが発生すると、PSF はページまたはリソースの終わりを探します。PSF は、ページまたはリソースの終わりを見つけると、現行ページに対して累積されたデータを印刷します。PSF がページまたはリソースの終わりを見つけることができないと、データ・セットは終了されます。

PSF は、データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが起きたときの処理環境を示す追加のメッセージを出します。

ユーザーの処置: オブジェクトの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があります。オブジェクトの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が無効であったかどうかを確認してください。入力が無効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK392I FORMDEF リソースのデータが無効です。MFC の有効範囲は *scope* ですが、*structuredfield* が MFC の有効範囲を制限する構造化フィールドになっています。

説明: 現行の書式定義内の文書環境グループまたはメディア・マップのいずれかに、誤った有効範囲値を持つメディア終了制御 (MFC) 構造化フィールドが含まれています。

システムの処置: MFC は無視され、処理が続行されます。ACIF は、エラーが起きたときの処理環境を示す追加のメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」または「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があり、印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK393I MMC 構造化フィールドまたは出力ステートメントで指定された入力ピンは挿入ピンで、使用不可になっています。代替ピンに置換されました。

説明: メディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドまたは出力ステートメントが、プリンターでサポートはされているが使用不可の状態にある入力ピンを要求しました。このピンは挿入ピンです。MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。出力ステートメントは JCL にあります。

システムの処置: ACIF は処理を続行し、代替ピンから用紙を選択します。挿入ページは、代替ピンからのブランク用紙です。

ユーザーの処置: 出力が受け入れられない場合は、指定されたピンを使用できるプリンターに印刷要求を実行依頼するか、オリジナルのプリンターでピンが使用可能であることを確認してから、印刷要求を再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK395I FORMDEF リソースが、次の裏面へのメディア・ページ替え制御を要求しましたが、出力ステートメントで **DUPLEX=NO** が指定されています。

説明: 次の裏面へのメディア・ページ替え制御が書式定義で指定されている場合は、**OUTPUT** ステートメントの **DUPLEX=NO** キーワードを使用して、両面印刷 (書式定義で設定されています) から片面印刷に変更することはできません。その理由は、非互換要求が行われたためです。片面印刷の場合は、次の裏面にページ替えすることができません。

次の裏面へのメディア・ページ替え制御が書式定義で指定され、その書式定義が通常両面印刷または反転両面印刷を要求している場合は、両面印刷キーワードに有効な唯一のオプションは、**OUTPUT** ステートメントで **DUPLEX=NORMAL** または **DUPLEX=TUMBLE** のいずれかを指定することです。

システムの処置: ACIF は現在のデータ・セットの処理を停止し、エラーを検出したときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: **OUTPUT** ステートメントで両面印刷キーワードを要求せずに、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: なし。

APK396I FORMDEF リソースのデータが無効です。MMC 構造化フィールド (**ID identifier**) の出力ピンの選択値が受け入れ不可です。

説明: このメッセージ・テキストに示されている **ID** を持つメディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドに指定されている出力ピン選択パラメーター値が無効です。MMC 構造化フィールドは書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK397I MCC 構造化フィールドに指定されている変更セットが、両面用紙の表と裏に対して、それぞれ異なる出力ピン値を示しています。

説明: メディア・コピー・カウント (MCC) 構造化フィールドの繰り返しグループによって参照されているメディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドが、反転両面印刷または通常両面印刷のいずれかとともに、異なる出力ピン値を指定しています。これは、用紙の表と裏を異なる出力ピンに送出するということです。

システムの処置: ACIF は印刷データ・セットの処理を停止し、データ・ストリームまたはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK398I FORMDEF リソースのデータが無効です。MMC 構造化フィールド (ID identifier) に指定されている変更セットに、競合する keyword キーワード値が重複して含まれています。

説明: メディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドには、このメッセージ・テキストに示された、競合するキーワード値が重複して含まれています。MMC 構造化フィールドは、書式定義に含まれています。

システムの処置: ACIF はこのメッセージを出し、重複するキーワードを無視して処理を続けます。

ユーザーの処置: 書式定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、MMC 構造化フィールドを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。MMC にエラーがない場合、このエラーは ACIF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したオブジェクトの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

APK400S parameter 番号が数値ではありません。

説明: パラメーターの後に数値を指定する必要があります。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: パラメーターの後に数値を指定し、ジョブを再実行依頼してください。

APK401S

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK401S *parameter* 名は、引用符で区切る必要があります。

説明: パラメーターの属性名は、単一引用符で始まり、単一引用符で終わる必要があります。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: パラメーターの属性名の前と後に、単一引用符を使用してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK402S パラメーター *parameter* が無効です。

説明: ACIF に対して無効なパラメーターが指定されました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK403S 要求されたりソース *number* が不明です。

説明: リソースの入出力が要求されましたが、そのリソース・タイプは ACIF に対して不明です。この状態の原因は、ACIF 論理エラーです。リソース・タイプのコードを以下にリストします。

タイプ リソース

- 1 印刷入力ファイル
- 2 FORMDEF ファイル
- 3 PAGEDEF ファイル
- 4 OVERLAY ファイル
- 5 SEGMENT ファイル
- 6 コード化フォント・ファイル
- 7 コード化ページ・ファイル
- 8 フォント文字セット・ファイル
- 9 フォント・メトリック・ファイル
- 10 フォント形状ファイル
- 20 印刷出力ファイル
- 21 メッセージ出力ファイル
- 22 スプール・ファイル
- 23 ダミー入力ファイル
- 24 ダミー出力ファイル
- 25 パラメーター・ファイル
- 26 リソース・オブジェクト・ファイル

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK404S *indexn* で使用されている属性名に、不適切な引用符が含まれています。

説明: **INDEX_n** パラメーターの属性名に、対になっていない引用符のセットが検出されました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: **INDEX_n** パラメーターを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK405S パラメーター *parameter* に対する *value* という値は無効です。

説明: パラメーターに指定された値が無効です。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: パラメーター値を訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK406S パラメーター *parameter* に指定されたデータ・セットが多すぎます。

説明: 8 データ・セットを超えるデータ・セットがパラメーターに指定されました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: データ・セットの数を訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK407S 値が *value* の **RESTYPE** パラメーターは無効です。

説明: NONE というリソース・タイプが、RESTYPE パラメーター内で別の値と共に検出されました。別の値の例としては、**FONT**、**OVLY**、**FDEF**、または **PSEG** があります。NONE というリソース・タイプを、別の値と一緒に指定することはできません。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: RESTYPE パラメーターを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK408S 仮想記憶域要求が失敗しました - 要求サイズ *storagerequestsize* 戻りコード *returncode*。

説明: GETMAIN マクロが仮想記憶域を取得しようとしたましたが、失敗しました。このメッセージは、ストレージ・サイズと、システムの GETMAIN マクロからの戻りコードを示しています。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: REGION サイズを増やして、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: GETMAIN の戻りコードを解釈するには、使用しているオペレーティング・システムのアプリケーション開発マクロに関する文書を参照してください。

APK409S *parameter* の DD 名が提供されませんでした。 *default* が使用されました。

説明: MSGDD パラメーターまたは PARMDD パラメーターのいずれかに DD 名が指定されていません。

システムの処置: 欠落している DD 名が MSGDD の場合は、SYSPRINT に割り当てられている DD 名が使用されます。欠落している DD 名が PARMDD の場合は、SYSIN に割り当てられている DD 名が使用されます。

ユーザーの処置: 使用された DD 名が受け入れられない場合は、このパラメーターに DD 名を指定して、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK410S ACIF ストレージ要求が失敗しました - 要求サイズ *storagerequestsize requesttype* 戻りコード *returncode*。

説明: ACIF サブプール・ストレージを取得または解放しようとしたましたが、失敗しました。このエラー・メッセージは、以下の情報を戻します。

- ストレージ要求サイズ
- 要求タイプ

APK411S

- 戻りコード

- | このエラーは、通常、次のいずれかの理由でシステムがメモリー不足で実行されている場合に発生します。
- | • ページ・データを保管するのに十分なメモリーがない。ページ・サイズがストレージ総量を超えている場合、条件付きの GETMAIN は失敗します。ページ・サイズは、2 つの ASA 「行 1 ヘスキップ (skip to line 1)」の紙送り制御文字の間にある印刷行の数によって決まります。
- | • EXTENSIONS=RESORDER が指定されており、使用可能な内部メモリー量に対して、インライン・リソースが多すぎる。

| 例:

| AN ACIF STORAGE REQUEST WAS UNSUCCESSFUL - REQUEST SIZE 295, GETMAIN RETURN CODE 255.

| システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: 応答は不要です。

システム・プログラマーの応答: このメッセージに示された情報を使用してエラーを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

| 例: 紙送り制御および紙送り制御タイプが入力パラメーターで正しく指定されていることを確認してください。

APK411S *action* の実行中にエラーが発生しました。DDNAME *ddname*、戻りコード *returncode*。

説明: ファイル入出力マクロが、このメッセージに示された DD に対して、読み取り、書き込み、またはクローズを実行しようとしたますが、失敗しました。戻りコードは以下のとおりです。

戻りコード

	説明
0	成功
1	永続入出力エラー
2	指定されたバイト数がゼロまたは負です
3	データ・バッファー・アドレスが間違っています
4	アドレスがワード位置合わせされていません
6	FILE_CB@ が間違っています
7	MODE パラメーターが間違っています
8	データ・レコードの長さが、LRECL またはバッファーを超えています
9	ファイルが、サポートされているタイプではありません
10	ストレージ割り振り/割り振り解除に失敗しました
11	レコード番号が間違っています
12	ファイルの終わりを検出しました
13	ディスクがいっぱいです
14	RECFM が無効です
20	ファイル ID が間違っています
28	ファイルが見つかりません
51	長さが最大値を超えています
310	ファイル形式が無効です

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードに示された情報を使用して、問題を訂正してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK412W モジュール *modulename* が戻りコード *returncode* を戻しました。

説明: 呼び出し先モジュールから、ゼロ以外の戻りコードが戻されました。このメッセージは、呼び出し先モジュールで異常が発生したことを示しています。このメッセージは通知であり、必要であれば上位レベルのモジュールでさらに処置が行われます。

システムの処置: ありません。このメッセージは、単に通知を目的としたものです。

ユーザーの処置: これと一緒に出されるメッセージを見て、応答を決定してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK413S 実行アクション *action*、リソース・ファイル *ddname*、リソース・メンバー名 *membername* が失敗しました。戻りコード *returncode*。

説明: リソースをオープンする、クローズする、読み取る、または書き込もうとしましたが、失敗しました。このメッセージは、呼び出し先モジュールで異常が発生したことを示しています。このメッセージは通知であり、必要であれば上位レベルのモジュールでさらに処置が行われます。

戻りコード

	説明
0	成功
1	永続入出力エラー
2	指定されたバイト数がゼロまたは負です
3	データ・バッファ・アドレスが間違っています
4	アドレスがワード位置合わせされていません
6	FILE_CB@ が間違っています
7	MODE パラメーターが間違っています
8	データ・レコードの長さが、LRECL またはバッファを超えています
9	ファイルが、サポートされているタイプではありません
10	ストレージ割り振り/割り振り解除に失敗しました
11	レコード番号が間違っています
12	ファイルの終わりを検出しました
13	ディスクがいっぱいです
14	RECFM が無効です
20	ファイル ID が間違っています
28	ファイルが見つかりません
51	長さが最大値を超えています
310	ファイル形式が無効です

システムの処置: ありません。このメッセージは、単に通知を目的としたものです。

ユーザーの処置: これと一緒に出されるメッセージを見て、応答を決定してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK414I この実行には以下のパラメーターが使用されます。

説明: このメッセージは、この実行に使用されるパラメーターのリストを開始するために、APK415I、APK416I、および APK417I よりも前に出されます。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 応答は不要です。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK415I

APK415I *parameter = value.*

説明: この実行では、リストされているパラメーターが、それに関連付けられている値を用いて使用されます。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 応答は不要です。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK416I これらのパスは、*libraryname* に指定されています。

説明: このメッセージは、メッセージ APK417I よりも前に出され、データ・セットまたはファイル・タイプが指定されているリソース・タイプを示しています。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 応答は不要です。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK417I パス: *name*

説明: このメッセージは APK416I よりも後に出され、特定のリソース・タイプのデータ・セットまたはファイル・タイプの名前をリストします。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: 応答は不要です。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK418S 最大レコード ID 値を超えました。

説明: 現在のジョブには、99999999 を超える文書が含まれています。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: ジョブをこれよりも少ない文書に分割してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK419S ユーザー *exittype* 出口 *programname* 戻りコード *returncode*。

説明: 入力、出力、またはリソースのユーザー出口プログラムが、ゼロ以外の戻りコードを戻しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: 出口プログラムのエラーを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK420S 「*dataset*」をオープンしているときに、エラーが発生しました。戻りコード *returncode*。

説明: データ・セットをオープンしようとしたますが、失敗しました。このメッセージは通知であり、必要であれば上位レベルのモジュールでさらに処置が行われます。

戻りコード

説明

- | | |
|---|------------------------|
| 0 | 成功 |
| 1 | 永続入出力エラー |
| 2 | 指定されたバイト数がゼロまたは負です |
| 3 | データ・バッファー・アドレスが間違っています |

- 4 アドレスがワード位置合わせされていません
- 6 FILE_CB@ が間違っています
- 7 MODE パラメーターが間違っています
- 8 データ・レコードの長さが、LRECL またはバッファを超えています
- 9 ファイルが、サポートされているタイプではありません
- 10 ストレージ割り振り/割り振り解除に失敗しました
- 11 レコード番号が間違っています
- 12 ファイルの終わりを検出しました
- 13 ディスクがいっぱいです
- 14 RECFM が無効です
- 20 ファイル ID が間違っています
- 28 ファイルが見つかりません
- 32 ACIF メッセージ・カタログが、NLSPATH 環境変数で指定されたパスに見つかりませんでした。 ACIF はデフォルトのメッセージ・カタログ・ファイル `/usr/lib/nls/msg/en_US/acif.cat` を使用します。
- 36 デフォルトのメッセージ・カタログにアクセスできません。権限をチェックしてください。
- 51 長さが最大値を超えています
- 310 ファイル形式が無効です

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードに示された情報を使用して、問題を訂正してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK421S 「dataset」をクローズしているときに、エラーが発生しました。戻りコード *returncode*。

説明: データ・セットをクローズしようとしたのですが、失敗しました。このメッセージは通知であり、必要であれば上位レベルのモジュールでさらに処置が行われます。

戻りコード

- | 説明 |
|---|
| 0 成功 |
| 1 永続入出力エラー |
| 2 指定されたバイト数がゼロまたは負です |
| 3 データ・バッファ・アドレスが間違っています |
| 4 アドレスがワード位置合わせされていません |
| 6 FILE_CB@ が間違っています |
| 7 MODE パラメーターが間違っています |
| 8 データ・レコードの長さが、LRECL またはバッファを超えています |
| 9 ファイルが、サポートされているタイプではありません |
| 10 ストレージ割り振り/割り振り解除に失敗しました |
| 11 レコード番号が間違っています |
| 12 ファイルの終わりを検出しました |
| 13 ディスクがいっぱいです |
| 14 RECFM が無効です |
| 20 ファイル ID が間違っています |
| 28 ファイルが見つかりません |
| 32 ACIF メッセージ・カタログが、NLSPATH 環境変数で指定されたパスに見つかりませんでした。 ACIF はデフォルトのメッセージ・カタログ・ファイル <code>/usr/lib/nls/msg/en_US/acif.cat</code> を使用します。 |
| 36 デフォルトのメッセージ・カタログにアクセスできません。権限をチェックしてください。 |
| 51 長さが最大値を超えています |
| 310 ファイル形式が無効です |

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードに示された情報を使用して、問題を訂正してください。

APK422S

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK422S 「dataset」の読み取り中にエラーが発生しました。戻りコード *returncode*。

説明: データ・セットを読み取ろうとしましたが、失敗しました。このメッセージは通知であり、必要であれば上位レベルのモジュールでさらに処置が行われます。

戻りコード

	説明
0	成功
1	永続入出力エラー
2	指定されたバイト数がゼロまたは負です
3	データ・バッファ・アドレスが間違っています
4	アドレスがワード位置合わせされていません
6	FILE_CB@ が間違っています
7	MODE パラメーターが間違っています
8	データ・レコードの長さが、LRECL またはバッファを超えています
9	ファイルが、サポートされているタイプではありません
10	ストレージ割り振り/割り振り解除に失敗しました
11	レコード番号が間違っています
12	ファイルの終わりを検出しました
13	ディスクがいっぱいです
14	RECFM が無効です
20	ファイル ID が間違っています
28	ファイルが見つかりません
32	ACIF メッセージ・カタログが、NLSPATH 環境変数で指定されたパスに見つかりませんでした。ACIF はデフォルトのメッセージ・カタログ・ファイル <code>/usr/lib/nls/msg/en_US/acif.cat</code> を使用します。
36	デフォルトのメッセージ・カタログにアクセスできません。権限をチェックしてください。
51	長さが最大値を超えています
310	ファイル形式が無効です

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードに示された情報を使用して、問題を訂正してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK423S 「dataset」の書き込み中に、エラーが発生しました。戻りコード *returncode*。

説明: データ・セットを書き込もうとしましたが、失敗しました。このメッセージは通知であり、必要であれば上位レベルのモジュールでさらに処置が行われます。

戻りコード

	説明
0	成功
1	永続入出力エラー
2	指定されたバイト数がゼロまたは負です
3	データ・バッファ・アドレスが間違っています
4	アドレスがワード位置合わせされていません
6	FILE_CB@ が間違っています
7	MODE パラメーターが間違っています
8	データ・レコードの長さが、LRECL またはバッファを超えています
9	ファイルが、サポートされているタイプではありません
10	ストレージ割り振り/割り振り解除に失敗しました
11	レコード番号が間違っています

- 12 ファイルの終わりを検出しました
- 13 ディスクがいっぱいです
- 14 RECFM が無効です
- 20 ファイル ID が間違っています
- 28 ファイルが見つかりません
- 32 ACIF メッセージ・カタログが、NLSPATH 環境変数で指定されたパスに見つかりませんでした。 ACIF はデフォルトのメッセージ・カタログ・ファイル `/usr/lib/nls/msg/en_US/acif.cat` を使用します。
- 36 デフォルトのメッセージ・カタログにアクセスできません。権限をチェックしてください。
- 51 長さが最大値を超えています
- 310 ファイル形式が無効です

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: 戻りコードに示された情報を使用して、問題を訂正してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK424I パラメーター「`RESFILE=PDS`」は、MVS 下でのみ有効であり、デフォルトの「`RESFILE=SEQ`」に設定されます。

説明: `RESFILE` パラメーターに指定された値が有効なのは、OS/390 および MVS の場合だけです。AIX、Windows NT®、VM、または VSE オペレーティング・システムの場合、この値は誤りです。

システムの処置: ACIF は、順次リソース・ファイルを作成します。

ユーザーの処置: 応答は不要です。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK425S ユーザー `type` 出口 `program` が見つかりませんでした。

説明: 出口の DD パラメーターで指定された入力、出力、またはリソースのユーザー出口プログラムが存在していません。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: 出口プログラムを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK426S パラメーターの不一致です。 `RESTYPE type` が指定されましたが、サポートするライブラリー定義が指定されませんでした。

説明: リソース・タイプ `type` が `RESTYPE` パラメーターで指定されましたが、そのリソース・タイプの DD パラメーターが、ACIF パラメーター・ファイルに指定されていません。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK427I `FILEDEF filename` でエラーが発生しました。戻りコード = `rc`。 `ddname` のデフォルトである `filename filetype filemode` が使用されます。

説明: 誤った `filename` が指定されました。その代わりに、このメッセージにリストされているデフォルトが使用されます。

システムの処置: ACIF は続行します。

ユーザーの処置: 応答は不要です。

APK428S

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK428S *resource* が要求されましたが、名前が指定されませんでした。

説明: このメッセージにリストされているリソースを ACIF が処理するよう要求しましたが、取得すべき名前が ACIF に渡されませんでした。この状態の原因は、ACIF 論理エラーです。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK435W *parameter* に指定された *ddname* DD ステートメントが欠落しています。

説明: JCL (OS/390 または VSE) または FILEDEF ステートメント (VM) で指定されていない DD 名が ACIF DD パラメーターで指定されています。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: ACIF パラメーターが、ジョブ・コマンドで定義されている DD 名を指定していることを確認してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK436S **GROUPNAME** 値 *value* が、許容範囲内にありません。

説明: 処理を実行中の ACIF が、誤った INDEX 番号が指定された **GROUPNAME** パラメーターを検出しました。INDEX_n の範囲は、1 から 8 です。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: リソースを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK437S 「(TYPE=FLOAT)」が **TRIGGER1** に指定されていない可能性があります。

説明: 「TYPE=FLOAT」サブパラメーターが **TRIGGER1** に対して無効です。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し、ACIF を再実行してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK438S *parameter1* に対して指定されている値が、*parameter2* に対して指定されている値と競合しています。

説明: 最初のパラメーターに指定された値が、2 番目に指定された値と競合しています。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し、ACIF を再実行してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK440I <APAR#> の ACIF が正常に完了しました。戻りコードは 0 です。

説明: ACIF 処理が完了し、戻りコード 0 が戻されました。このメッセージには、現在の APAR 番号が含まれていません。例えば、「PQ63028 の ACIF が正常に完了しました。戻りコードは 0 です。」のようになります。

システムの処置: このメッセージは、通知を目的としたものです。

ユーザーの処置: これと一緒に出されるメッセージを見て、応答を決定してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK441I <APAR#> の ACIF が異常終了しました。戻りコードは 4 です。

説明: ACIF 処理が完了し、戻りコード 4 が戻されました。このメッセージには、現在の APAR 番号が含まれていません。例えば、「PQ63028 の ACIF が異常終了しました。戻りコードは 4 です。」のようになります。戻りコード 4 は警告です。処理は続行します。

システムの処置: このメッセージは、通知を目的としたものです。

ユーザーの処置: これと一緒に出されるメッセージを見て、応答を決定してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK442S ACIF が起動しましたが、パラメーターがありません。

説明: ACIF が機能するためには、最小限のパラメーターが必要です。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: INPUTDD、FORMDEF、CC、および PAGEDEF パラメーターを指定してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK443S FIELD_n の開始桁指定が、<= 0 です。この指定が有効なのは、(BASE=TRIGGER) も指定されている場合だけです。

説明: 列のオフセットをゼロ以下にして、FIELD_n が指定されましたが、(BASE=TRIGGER) が指定されていませんでした。FIELD 指定における負の列オフセットは、(BASE=TRIGGER) も指定されている場合にのみ有効です。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: ACIF の FIELD_n パラメーター指定を訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK444S (BASE=TRIGGER) で定義されている FIELD_n に、複数の列が指定されました。(BASE=TRIGGER) を使用して FIELD が定義されている場合は、1 つの列しか指定できません。

説明: 複数の列と (BASE=TRIGGER) を指定して FIELD_n が指定されました。(BASE=TRIGGER) も指定されているフィールドには、1 つの列しか指定できません。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: ACIF の FIELD_n パラメーター指定を訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK445S (TYPE=PAGERANGE) または (TYPE=GROUPRANGE) のいずれかとして定義されている INDEX_n に、(BASE=TRIGGER) として定義されている FIELD_n が含まれています。この組み合わせは無効です。

説明: INDEX_n が、(TYPE=PAGERANGE) または (TYPE=GROUPRANGE) として指定され、さらに (BASE=TRIGGER) として定義された FIELD_n もあります。この組み合わせはサポートされていません。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: ACIF パラメーターを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK446S INDEX_n が FIELD_n を使用していますが、これは無効です。(TYPE=PAGERANGE) または (TYPE=GROUPRANGE) として定義された索引では、1 つのフィールドしか使用できません。

説明: (TYPE=PAGERANGE) または (TYPE=GROUPRANGE) のいずれかとして定義されている INDEX_n に、複数のフィールドが指定されています。これは無効です。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: ACIF パラメーターを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK447S FIELD_n に対するオフセットの対 pair の長さ length1 が、FIELD_n に対して指定されている長さ length2 と等しくありません。

説明: フィールドのオフセット・キーワードで指定された、開始 - 終了の対の長さが、そのフィールドの長さ一致していません。これは無効です。これらの長さは、等しくなければなりません。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: ACIF パラメーターを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK448S 索引付けが要求されましたが、INDEXSTARTBY パラメーターで指定されたページ範囲内で「TRIGGER_n」も、どの「FIELD」も満たされませんでした。

説明: 索引付けが要求されましたが、これを満たす最初のグループ索引は、INDEXSTARTBY パラメーターで指定されたページの範囲外でした。グループ索引とは、フィールド (1 つまたは複数) がグループまたはレコード範囲トリガーに基づいている索引です。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK449S 索引フィールドが、レコードの外部を参照しています。フィールド番号 number 入力レコード番号 number。

説明: INDEX_n パラメーターで指定された FIELD_n 値が、要求されたレコードの長さの外にある領域を参照しています。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK450S 要求された ACIF のパラメーター parametername が、パラメーター・ファイル内で見つかりませんでした。

説明: 必須の ACIF パラメーターが、パラメーター・ファイル内で見つかりませんでした。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: パラメーター・ファイルに、欠落しているパラメーターを追加して、再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK451S *ddname* の処理中に、ファイル *action* エラーが発生しました。 **SVC 99** エラー *error* 情報コード *code*。

説明: AFP リソース・ライブラリーの割り振り中、連結中、または出力のアドレッシング中にエラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: このエラーが発生したことをシステム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: 戻りコード、理由コード、エラーの原因を判別するためのエラー・コード、および情報コードを使用して、適切な応答を決定してください。 **SVC 99** については、使用しているオペレーティング・システムで許可されているアセンブラ言語プログラム資料を参照してください。

APK452S *parameter* に対しては、*trigger* 番号 *number* は無効です。

説明: *FIELDn* または *INDEXn* パラメーターで指定されたトリガーまたはレコード番号が無効です。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: フィールド定義で使用されるトリガーを定義する必要があります。パラメーターを訂正し、ACIF を再実行してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK453S *fields* 長 *length* が、許可されている最大値 *maxlength* を超えています。

説明: *INDEXn* パラメーターの *FIELDn* の値をすべて結合した長さが長すぎます。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: *FIELDn* と *INDEXn* パラメーターをチェックし、どこでこのエラーが発生しているのかを見つけてください。パラメーターを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK454S *value* という値は、*FIELDn* に対しては無効です。

説明: *FIELDn* パラメーター値に、誤った文字が含まれています。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: パラメーター値を訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK455S *INDEXn* によって使用される *FIELDn* が定義されていません。

説明: *INDEXn* が、パラメーター・ファイルに定義されていない *FIELDn* を参照しています。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK456S **TRIGGER1** 相対レコード番号が、アスタリスクに等しくありません。

説明: **TRIGGER1** パラメーターに関連付けられているレコード番号がアスタリスクではありません。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

APK457S

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK457S TRIGGER1 が定義されていないにもかかわらず、2 次トリガーが存在しています。

説明: 2 次の TRIGGER n パラメーターが存在している場合は、TRIGGER1 が指定されていなければなりません。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: 索引付けが不要の場合は、パラメーター・ファイルからすべての TRIGGER n パラメーターを削除してください。索引付けが必要な場合は、この ACIF の実行用に TRIGGER1 パラメーターを指定してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK458S リテラル以外の値 *value* が、TRIGGER n に指定されています。

説明: 指定されている TRIGGER n 値がリテラルではありません。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK459S GROUPNAME に必要な索引が見つかりません。

説明: GROUPNAME に使用する索引に、浮動トリガーに基づくフィールドが含まれていましたが、トリガーが見つかりません。したがって、GROUPNAME の値はありません。デフォルトにより、GROUPNAME の代わりに INDEX1 が使用されます。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: GROUPNAME パラメーターを使用して、浮動トリガーに基づくフィールドのない索引を指定してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK460S トリガーは満たされていますが、索引はファイルの終わりで不完全です。

説明: パラメーター・ファイルに指定されている TRIGGER n パラメーターは満たされていますが、INDEX n パラメーターを見つける前にファイルの終わりに達しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK461S トリガーが指定されましたが、すべての索引値がリテラルです。

説明: TRIGGER n の値が指定されましたが、すべての INDEX n 値がリテラルです。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK462S 「トリガー」パラメーターが指定されましたが、入力ファイルは既に索引付けされています。

説明: パラメーター・ファイルに TRIGGER n パラメーターが含まれていますが、入力ファイルに索引付け構造化フィールドが含まれています。ACIF は、既に索引付けされているファイルに索引付けすることはできません。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: 入力ファイルとして索引オブジェクト・ファイルを作成したい場合には、ACIF パラメーター・ファイルからすべての TRIGGER_n パラメーターを除去して、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK463S **GROUPNAME** パラメーターによって使用された INDEX_n が定義されていないか、無効でした。

説明: GROUPNAME パラメーターによって指定された INDEX_n が定義されていなかったか、この索引に浮動トリガーに基づくフィールドが含まれていました。GROUPNAME パラメーターが使用されていない場合、デフォルトにより INDEX1 が使用されます。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: 応答は不要です。

APK464S *token2* が予想されているときに *token1* が指定されました。

説明: このメッセージの上に印刷されたパラメーターの構文が誤っています。

システムの処置: ACIF はパラメーター・ファイルの処理を続行しますが、レポート・ファイルは処理しません。

ユーザーの処置: パラメーターの値を訂正し、ACIF を再実行してください。

APK465S 無効なトークン *token* を受信しました。

説明: このメッセージに示されたトークンは、このメッセージの上にリストされたパラメーターで予想されていなかったものです。

システムの処置: ACIF はパラメーター・ファイルの処理を続行しますが、レポート・ファイルは処理しません。

ユーザーの処置: パラメーターの値を訂正し、ACIF を再実行してください。

APK466S サブパラメーター *subparameter* は *parameter* パラメーターではサポートされていません。

説明: 指定のサブパラメーターは、このメッセージの上にリストされたパラメーターではサポートされていません。

システムの処置: ACIF はパラメーター・ファイルの処理を続行しますが、レポート・ファイルは処理しません。

ユーザーの処置: パラメーターの値を訂正し、ACIF を再実行してください。

APK467S 番号 *number* は *parameter* ではサポートされていません。

説明: FIELD_n、INDEX_n、または TRIGGER_n パラメーター・キーワードに誤った番号が指定されていました。

システムの処置: ACIF はパラメーター・ファイルの処理を続行しますが、レポート・ファイルは処理しません。

ユーザーの処置: 番号がそのパラメーターで許容される範囲内に収まるようにパラメーター・キーワードを訂正して、ACIF を再実行してください。

APK468S 入力バッファーがパラメーター値 *value* に対して小さすぎます。

説明: 指定の値が ACIF 内部入力バッファーに対して長すぎます。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: ローカル問題報告システムを使用して、このエラーを報告してください。

APK469S 値 *value* の長さが *parameter* パラメーターの最大許容長を超えています。

説明: 指定の値の長さが最大長を超えています。

システムの処置: ACIF はパラメーター・ファイルの処理を続行しますが、レポート・ファイルは処理しません。

ユーザーの処置: 長さがそのパラメーターの最大値の範囲内に収まるように値を訂正し、ACIF を再実行してください。

APK470S 長さ *length* のオフセット *offset* から始まります。

説明: このメッセージは、エラーの原因を示すメッセージの次に出されます。

システムの処置: ACIF はパラメーター・ファイルの処理を続行しますが、レポート・ファイルは処理しません。

ユーザーの処置: 長さがそのパラメーターの最大値の範囲内に収まるように値を訂正し、ACIF を再実行してください。

APK471S 索引パラメーターのフィールド値の数が許容最大値を超えています。

説明: このメッセージの上に印刷された INDEX_{*n*} パラメーターに指定した FIELD_{*n*} 値の数が多すぎます。

システムの処置: ACIF はパラメーター・ファイルの処理を続行しますが、レポート・ファイルは処理しません。

ユーザーの処置: INDEX_{*n*} パラメーターから余分の FIELD_{*n*} 値を除去し、ACIF を再実行してください。

APK472S *parameter* パラメーターに指定された値の数が許容最大値を超えています。

説明: メッセージ中に示されたパラメーターに指定された値が多すぎます。

システムの処置: ACIF はパラメーター・ファイルの処理を続行しますが、レポート・ファイルは処理しません。

ユーザーの処置: このパラメーターの最大数について ACIF のマニュアルを参照し、パラメーターを訂正して、ACIF を再実行してください。

APK473S RECORDRANGE サブパラメーターが許容されるのは、レコード値が「*」の場合のみです。

説明: TRIGGER_{*n*} パラメーターに RECORDRANGE サブパラメーターが有効なのは、レコード値が「*」として指定された場合のみです。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: レコード値に「*」を指定するか、TRIGGER パラメーターから RECORDRANGE サブパラメーターを除去してください。

APK474S *value* の終了引用符が見つかる前にファイルの終わりに達しました。

説明: リテラル値の終了引用符の前に、パラメーター・ファイルの終わりが見つかりました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: リテラル値が引用符で囲まれていることを確認して、ACIF を再実行してください。

APK475S 16 進ストリング *hexstring* が無効です。

説明: 指定された値が無効な 16 進ストリングです。

システムの処置: ACIF はパラメーター・ファイルの処理を続行しますが、レポート・ファイルは処理しません。

ユーザーの処置: 16 進ストリングを訂正して、ACIF を再実行してください。

APK476I メッセージ番号 *number* では、メッセージ・テキストを使用できません。

説明: ACIF がメッセージ・カタログに定義されていないメッセージを書き込もうとしました。

システムの処置: 未定義メッセージの重要度に従って ACIF 処理が続行されます。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、ACIF が未定義メッセージを書き込もうとしたことを報告してください。この状態の修正は、IBM が行います。

APK499S モジュール *module* 内の関数 *function* での内部エラー。

説明: 内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、このメッセージが表示されたことを報告してください。メッセージに示されたモジュールおよび関数を書き留めてください。

APK532S メンバー名 (*membrname*) を持つ *resource* が見つからなかったか、無効でした。戻りコード *returncode*。

説明: 要求された書式定義、ページ定義、ページ・セグメント、メディア・オーバーレイ、またはセットアップ・ファイルがどの使用可能なパスにも存在していません。

戻りコード

	説明
0	成功
1	永続入出力エラー
2	指定されたバイト数がゼロです
3	データ・バッファ・アドレスが間違っています
4	アドレスがワード位置合わせされていません
6	FILE_CB@ が間違っています
7	MODE パラメーターが間違っています
8	データ・レコードの長さが、LRECL またはバッファを超えています
9	ファイルが、サポートされているタイプではありません
10	ストレージ割り振り/割り振り解除に失敗しました
11	レコード番号が間違っています
12	ファイルの終わりを検出しました
13	ディスクがいっぱいです
14	RECFM が無効です
20	ファイル ID が間違っています
28	ファイルが見つかりません
51	長さが最大値を超えています
310	ファイル形式が無効です

理由コード

	説明
1	リソース名が欠落しています
2	ファイル・システムのオープン・エラー
3	ファイル・システムのクローズ・エラー
4	ファイル・システムの読み取りエラー
6	リソース・タイプ・エラー
7	ファイル・システムの書き込みエラー
8	インデクサー・エラー
9	メッセージの書き込みエラー

システムの処置: ACIF は終了します。

APK610I

ユーザーの処置: パラメーターを訂正し、ACIF を再実行してください。

APK610I GTF 戻りコード = *rc*

説明: 汎用トレース機能 (GTF) が GTRACE 要求からゼロ以外の戻りコードを戻しました。戻りコードは *rc* で、*error text* にそのエラーの説明があります。戻りコードとエラー・テキストは、以下のとおりです。

RC エラー・テキスト

- 04 非アクティブ OS/390GTF
- 08 誤った長さ = xxxx
- 0C 誤ったデータ・アドレス = xxxx
- 10 誤った FID = xx
- 14 誤った EID = xx
- 18 GTF バッファ・スペースがありません
- 1C 誤ったパラメーター・アドレス = xxxx
- 20 データのページアウト
- xx 不明な GTF 戻りコード

システムの処置: 処置は、戻りコードによって決まります。ACIF はトレースを続行することもしないこともあります。戻りコード 18 および 20 の場合は、GTF トレースが続行されます。リストされたその他の戻りコードの場合は、GTF トレースが停止されます。不明は戻りコードの場合は、GTF トレースが停止されます。

ユーザーの処置: 応答は不要です。

システム・プログラマーの応答: 戻りコードについての詳細は、オペレーティング・システムの保守援助機能ロジックの資料を参照してください。

APK900S CCM に DAT ポインターが欠落しています。

説明: ACIF で内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK901S CCM に FORMDEF ポインターが欠落しています。

説明: ACIF で内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK902S CCM に PAGEDEF ポインターが欠落しています。

説明: ACIF で内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK903S CCM にオブジェクト・スタック・ポインターが欠落しています。

説明: ACIF で内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK904S CCM にコード・ページ・ポインターが欠落しています。

説明: ACIF で内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK905S CCM にフォント・メトリック・ポインターが欠落しています。

説明: ACIF で内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK906S 予期しない OTHERWISE ステートメントが見つかりました。

説明: ACIF で内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK907S CCM が要求されたメディア・マップを検索できません。

説明: ACIF で内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK908S CCM が要求されたデータ・マップを検索できません。

説明: ACIF で内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK909S CCM が要求された MEG を検索できません。

説明: ACIF で内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK910S

APK910S 処理中に入力ピン・リストが変更されました。

説明: ACIF で内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK911S DAT が入力ピン情報を指定しませんでした。

説明: ACIF で内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK912S リスト中のオーバーレイ・ローカル ID が変更されました。

説明: ACIF で内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK913S 開始コピー・カウントが、MM 内の合計コピー数を超えています。

説明: ACIF で内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK914S 条件付き処理情報が文書インターフェースで CCM に渡されましたが、PAGEDEF は条件付き処理を要求していません。

説明: ACIF で内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK915S ACIF がコード・ページ処理のほかにコード・ページ割り振り解除も要求しました。

説明: ACIF で内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK916S ACIF がアウトライン・フォント文字セットの活動化を要求しましたが、アウトライン・フォントがサポートされていません。

説明: ACIF で内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK917S ACIF がフォント・リソースの活動化を要求しましたが、グローバル名が指定されていないか、誤った長さになっています。

説明: ACIF で内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK918S 頻繁に使用するフォント表または FGID ルックアサイド表が *modulename* に指定されていません。

説明: ACIF で内部エラーが発生しました。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK919S ACIF の CCM コンポーネントが、*modulename* のオブジェクト・スタックを使い果たしました。

説明: ACIF の CCM コンポーネントがそのオブジェクト・スタック・エリアをすべて使い果たしました。これはデータ・ストリーム・エラーか論理エラーの可能性があります。開始構造化フィールドは、それに対応する終了構造化フィールドをデータ・ストリーム中に持っていなければなりません。この要件が満たされない場合、CCM がそのオブジェクト・スタック・エリアをすべて使い果たす場合があります。

システムの処置: ACIF は終了します。

ユーザーの処置: データ・ストリームをチェックして、各開始構造化フィールドに対応する終了構造化フィールドがあるか確認してください。ない場合はデータ・ストリームを訂正して、ACIF にジョブを再実行依頼してください。データ・ストリームが開始構造化フィールドの要件を満たしている場合、このメッセージは、内部論理エラーを示しています。IBM サービスに連絡して、内部エラーを示すこのメッセージが表示されたことを報告してください。

APK920S プリンター上のすべての入力ピンが、使用不可になっているか挿入ピンであるかのいずれかです。PSF はピンの置き換えを行う必要がありますが、置き換え可能なピンがありません。

説明: この異常終了はモジュール APKMSGEX によって出されます。プリンターから報告されたすべてのピンが、使用不可になっているか挿入ピンであるかのいずれかです。その結果、印刷に使用できるピンがなくなり、現行のデータ・セットを印刷できません。

システムの処置: ACIF 処理は異常終了します。

APK921S オブジェクト・コンテナ・リソースの処理時にレコード長が CCM に渡されませんでした。

説明: この異常終了はモジュール APRMSGEX によって出されます。オブジェクト・コンテナ・リソースの処理時に、レコード長が CCM に渡されませんでした。これは論理エラーです。

システムの処置: PSF は再始動によりこの異常終了からのリカバリーを試みます。PSF が正常に再始動すると、メッセージ APS057I が出されます。

システム・プログラマーの応答: この PSF 異常終了の理由コードは論理エラーを示しています。IBM サービス技術員に連絡をするか、IBM サービスとの電子リンクを使用して、このエラー・コードについての支援を求めてください。

APK2000S オブジェクト・コンテナ・リソースの登録済みオブジェクト・タイプ ID (*identifier*)、名前 *resourcename* またはオブジェクト OID *objectoid* が無効であるか、PSF またはプリンターによってサポートされていません。

説明: オブジェクト・コンテナに対して指定された登録 ID がプリンターでサポートされていません。登録 ID は、IOB、BOC、または BR 構造化フィールドのオブジェクト区分トリプレットに指定されています。リソース名またはオブジェクト OID の *** の値は、それらが指定されていないことを示します。

システムの処置: PSF はページまたはオーバーレイを終了します。PSF は、現行ページの終わりを探し出して、次ページから処理を再開しようとします。現行ページの終わりが見つからなかった場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。PSF は、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: オブジェクト・コンテナ・リソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、登録 ID が正しいことを確認してください。登録 ID が正しい場合は、このオブジェクト・タイプをサポートするプリンターに印刷ジョブを実行依頼してください。プリンターでサポートされているオブジェクト・タイプについての詳細は、プリンターの資料を参照してください。

システム・プログラマーの応答: 構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK2003S 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。構造化フィールド *structuredfield* に、直前の同じタイプの構造化フィールドで使用した拡張リソース・ローカル ID 値が含まれています。

説明: 複数の構造化フィールドが、同じタイプの別のリソースに同じ拡張リソース・ローカル ID 値を使用しています。拡張リソース・ローカル ID は、構造化フィールドの拡張リソース・ローカル ID (X'22) トリプレットを使用して指定されます。同じ拡張リソース・ローカル ID 値を使用しようとした構造化フィールドが、メッセージに示されています。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、このエラーが見つかった構造化フィールドの位置と処理環境を示すメッセージを出します。

ユーザーの処置: リソースに対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

問題判別: 項目 1、2、3、13、15c、17、19。

APK2004S FORMDEF リソースのデータが無効です。MMC 構造化フィールドのメディア・タイプ・ローカル ID (ID *identifier*) が MMT 構造化フィールドにありません。

説明: メディア変更制御 (MMC) 構造化フィールドのメディア・タイプ・ローカル ID が、マップ・メディア・タイプ (MMT) 構造化フィールドに存在していません。MMC および MMT 構造化フィールドは書式定義にあります。

システムの処置: エラーを含む書式定義は使用されず、次のいずれかのようにになります。

- エラーがデフォルト書式定義、または印刷メッセージや区切りページに指定された書式定義にある場合、PSF は開始されません。
- ユーザーの OUTPUT JCL ステートメントに指定した書式定義にエラーがある場合、PSF はデータ・セットの印刷を開始できず、次のデータ・セットを印刷しようとしません。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK2005S 入力レコードまたは PAGEDEF リソースのデータが無効です。レコード ID *identifier* が RCD 構造化フィールドで見つかりません。

説明: 入力レコードで指定されたレコード ID が、現行データ・マップのレコード記述子 (RCD) 構造化フィールドと一致しません。RCD 構造化フィールドはページ定義にあります。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があります。プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーが区切りページに関連している場合は、『ユーザーの処置』セクションに示されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK2006S PAGEDEF リソースのデータが無効です。RCD 構造化フィールド *structuredfield* でグラフィックス生成が要求されましたが、プリンターがグラフィックス・オブジェクトをサポートしていません。

説明: ページ定義のレコード記述子 (RCD) 構造化フィールドが、行データからグラフィックス・オブジェクトを生成するよう PSF に要求しましたが、プリンターがグラフィックス・オブジェクトをサポートしていません。

システムの処置: PSF はこの要求を無視し、データ・セットの処理を続けます。

ユーザーの処置: データ・セットを印刷し、PSF にグラフィックス・オブジェクトを生成させるには、グラフィックス・オブジェクトをサポートしているプリンターに印刷ジョブを実行依頼します。グラフィックス・オブジェクトをサポートしている AFP プリンターについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Printer Information*」を参照してください。

APK2007S

システム・プログラマーの応答: ページ定義が区切りページ、メッセージ・データ・セット、あるいは PSF 開始プロシージャに定義されたユーザー印刷データ・セットのデフォルト・ページ定義に対するものである場合は、グラフィックス・オブジェクトの生成を要求するオプションをページ定義から削除してください。

APK2007S PAGEDEF リソースのデータが無効です。RCD 構造化フィールド番号 *number* のフィールド RCD ポインター値が原因で無限ループが発生します。

説明: このメッセージに示されているレコード記述子 (RCD) 構造化フィールドの FIELD RECORD DESCRIPTOR POINTER パラメーターが原因で無限ループ条件が発生しました。RCD 構造化フィールドはページ定義に含まれています。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があります。プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK2008I PAGEDEF リソースのデータが無効です。RCD または XMD 構造化フィールド番号 *number* が、フィールド RCD または XMD へのポインターとして無効な値を指定しています。値は *rcdvalue* です。これは、LNC 構造化フィールドのカウント値 *lncvalue* を超えています。

説明: このメッセージに示されているレコード記述子 (RCD) または XML 記述子 (XMD) 構造化フィールドが、フィールド RCD または XMD へのポインターとしての値を指定しています。指定された値は無効です。この値は、現行データ・マップの行記述子カウント (LNC) 構造化フィールドの COUNT より大きくなっています。LNC、RCD、および XMD 構造化フィールドはページ定義にあります。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があります。プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK2009S PAGEDEF リソースのデータが無効です。RCD 構造化フィールド *structuredfield* で右寄せが要求されましたが、プリンターが右寄せをサポートしていません。

説明: ページ定義内のレコード記述子 (RCD) 構造化フィールドが、行データのフィールドを右寄せするよう PSF に要求しましたが、プリンターが、PSF がこの機能を実行するために必要な制御をサポートしていません。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: データ・セットを印刷し、PSF にフィールドを右寄せを行わせるには、4 つのすべてのインライン印刷方向と 4 つのすべての文字回転をサポートしているプリンターに印刷ジョブを実行依頼します。AFP プリンターによってサポートされているインライン印刷方向と文字回転についての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Printer Information*」を参照してください。

システム・プログラマーの応答: ページ定義が、区切りページ、メッセージ・データ・セット、または PSF 開始プロシージャで定義されているユーザー印刷データ・セットのデフォルトのページ定義に対するものである場合は、フィールドの右寄せを要求しているページ定義からこのオプションを削除してください。

APK2010S ページ定義によってレコード・フォーマット設定が要求されましたが、その機能は当リリースの PSF ではサポートされていません。

説明: レコード・フォーマット設定機能は、当リリースの PSF ではサポートされていません。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: レコード・フォーマット設定機能を使用するには、レコード・フォーマット設定をサポートする印刷 PSF のバージョンにこのジョブを実行依頼します。

システム・プログラマーの応答: ページ定義が区切りページ、メッセージ・データ・セット、あるいは PSF 開始プロシージャに定義されたユーザー印刷データ・セットのデフォルト・ページ定義に対するものである場合は、このページ定義を除去し、レコード・フォーマット設定機能を使用しない定義を選択してください。

APK2011I PAGEDEF リソースのデータが無効です。データ・マップ *datamap1* とデータ・マップ *datamap2* は、それぞれ異なるタイプのデータを処理するためのものです。ページ定義内のすべてのデータ・マップは、同じ行データ・フォーマットを指定していなければなりません。

説明: 1 つのページ定義は、1 つのタイプのデータにのみ使用できます。1 つのページ定義で、従来の行データ、レコード・フォーマット行データ、および XML データを一緒に処理することはできません。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性がります。プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK2012S PAGEDEF リソースのデータが無効です。ゼロ以外の ID パラメーター値 *value* が、RCD 構造化フィールド番号 *number* に指定されています。

説明: フィールドまたは条件付き処理 RCD のいずれかとしてマークされたレコード記述子 (RCD) 構造化フィールドの場合、RECORD IDENTIFIER パラメーター値はすべてゼロでなければなりません。RCD 構造化フィールドはページ定義にあります。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性あります。プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK2013S PAGEDEF リソースのデータが無効です。RCD 構造化フィールド番号 *number1* と *number2* に、同じレコード ID *identifier* が指定されています。すべてのレコード ID は、同一データ・マップ内で固有のものでなければなりません。

説明: デフォルトのページ・ヘッダー・レコード記述子 (RCD) 構造化フィールド、デフォルトのページ・トレーラー RCD 構造化フィールド、フィールド RCD 構造化フィールド、および条件付き処理 RCD 構造化フィールドを除く、データ・マップの他のすべての RCD 構造化フィールドでは、固有なレコード ID パラメーター値を指定する必要があります。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性あります。プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK2014I 入力レコードまたは PAGEDEF リソースのデータが無効です。ページ・サイズが、RCD または XMD 構造化フィールド番号 *number* とその関連フィールド RCD または XMD 構造化フィールドを使用してページの最初のレコードを収容できるだけの十分な大きさを持っていません。

説明: ページの最初の本体レコードを配置するための本体レコード記述子 (RCD) または XML 記述子 (XMD) 構造化フィールドが、下部マージンによって定義されたページ領域内に収まりません。フィールド RCD または XMD 構造化フィールドを使用する場合、フィールド RCD または XMD 構造化フィールドのうちの 1 つが、下部マージンを超

えてデータを位置決めすることがあります。このエラーのため、PSF はレコードの配置ができず、処理を続行できなくなります。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK2015S PAGEDEF リソースのデータが無効です。RCD 構造化フィールドでは、一致する GRAPHID パラメーター値 *value* を持つすべての開始済みグラフィックス記述子トリプレットを終了するように、グラフィックス記述子トリプレットを指定していますが、一致するものが見つかりませんでした。

説明: グラフィックス・オブジェクトを、あるレコード記述子 (RCD) 構造化フィールドで開始し、別の RCD 構造化フィールドで終了させることができます。その場合、グラフィックス・オブジェクトを開始し終了させるグラフィックス記述子トリプレットは一致する GRAPHID パラメーター値を指定し、また、これらの RCD 構造化フィールドは一致する方向を持っていなければなりません。PSF は、終了グラフィックス記述子トリプレットの GRAPHID パラメーターと、RCD 構造化フィールドの TEXT ORIENTATION パラメーターを使用しましたが、開始グラフィックス記述子トリプレットと終了グラフィックス記述子トリプレット間の一致を見つけることができませんでした。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK2016S PAGEDEF リソースのデータが無効です。使用レコード ID フラグが設定されていますが、RCD 構造化フィールド番号 *number* の DATA START POSITION パラメーターおよび DATA LENGTH パラメーター値の合計が、レコード ID フィールドを超えた位置にあるデータを選択しています。

説明: 入力レコードのレコード ID 部分のみを使用するようにマークされたレコード記述子 (RCD) 構造化フィールドの場合、RCD によるレコード ID へのアクセスのみ可能です。この RCD の DATA START パラメーターおよび DATA LENGTH パラメーターが、入力レコードの 10 バイトのレコード ID エリアを超えた位置にあるデータにアクセスしています。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性がります。プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK2017S PAGEDEF リソースのデータが無効です。データ・マップ *datamap* の RCD にフォントが必要ですが、フォントがデータ・マップにマップされていません。

説明: レコード・フォーマット行データを印刷するために必要なフォントを、データ・マップで選択しなければなりません。CHARS JCL パラメーターを使用してフォントを選択することはできません。このメッセージに示されているデータ・マップにはフォントを必要とするレコード記述子 (RCD) 構造化フィールドが含まれていますが、データ・マップにフォントの指定がありません。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性がります。プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK2018S PAGEDEF リソースのデータが無効です。RCD 構造化フィールド *structuredfield* がページ番号のリセットを要求しましたが、PAGE NUMBER パラメーターにゼロが含まれています。

説明: レコード記述子 (RCD) が PSF によるページ番号のリセットを要求するときは、RCD 構造化フィールドの PAGE NUMBER パラメーターをゼロにすることはできません。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性がります。プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメ

ッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK2019S PAGEDEF リソースのデータが無効です。ASCII エンコード・スキームを使用する場合、RCD または XMD 構造化フィールド番号 *number* のページ番号を印刷するために選択するフォントを 2 バイト・フォントにすることはできません。

説明: ASCII エンコード・スキームを使用してページ番号を印刷するために 2 バイト・フォントを使用する場合、PSF はどのコード・ポイントを生成すればよいか判別できません。このメッセージに示されている構造化フィールドが、ページ番号を印刷するための 2 バイト ASCII フォントを選択しました。これは許可されません。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK2020I 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。structuredfield 構造化フィールドの完全修飾名トリプレットに指定されたオブジェクト OID の長さが、129 バイトを超えています。

説明: 完全修飾名トリプレットに指定されているオブジェクト OID の長さが、129 バイトを超えています。

システムの処置: PSF は現行ページの処理を停止します。PSF は現行ページの終わりを見つけて、その次のページから印刷を再開しようとします。ページの終わりを見つけれない場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。リソースでこのエラーが発生した場合、PSF はデータ・セットの処理を停止します。リソース環境グループでこのエラーが発生した場合、PSF はリソース環境グループの処理を停止し、データ・セットの処理を続行します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。参照先の構造化フィールドの正しいフォーマットについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドが正しい場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

問題判別: 項目 1、2、3、13、15c、17、19。

APK2021I 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。ペアになっていない FQN X'BE' および FQN X'DE' トリプレットが *structuredfield* 構造化フィールドに含まれています。

説明: これが組み込みオブジェクト (IOB) 構造化フィールドであれば、データ・オブジェクト内部リソース参照 (X'BE') の FQNType を持つ完全修飾名 (FQN) トリプレットが、データ・オブジェクト外部リソース参照 (X'DE') の FQNType を持つ FQN トリプレットのすぐ後に続いていなければなりません。これがマップ・データ・リソース (MDR) 構造化フィールドであれば、FQN トリプレット・タイプ X'BE' を持つ繰り返しグループにも FQN トリプレット・タイプ X'DE' が含まれていなければなりません。

システムの処置: PSF は現行ページの処理を停止します。PSF は現行ページの終わりを見つけて、その次のページから印刷を再開しようとします。ページの終わりを見つけれない場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。リソースでこのエラーが発生した場合、PSF はデータ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドが正しい場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性がります。書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した書式定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

問題判別: 項目 1、2、13、15c、17、19。

APK2022I 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。IOB 構造化フィールドの 2 次リソースとして指定されたリソースが、ページまたはオーバーレイのアクティブ環境グループで指定されていません。

説明: 組み込みオブジェクト (IOB) 構造化フィールドは、2 次リソースを必要とします。このリソースは、IOB 構造化フィールドが入っているページまたはオーバーレイのアクティブ環境グループの MDR で指定されていなければなりません。

システムの処置: このオブジェクトがページにある場合、PSF はこのページを終了し、データ・セットの処理を続行します。このオブジェクトがリソースある場合、PSF はデータ・セットの処理と印刷を停止します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドが正しい場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性がります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページまたは PSF 開始プロシージャのメッセージ・データ・セットに対して定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

問題判別: 項目 2、17。

APK2023I 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。 *structuredfield* 構造化フィールドの完全修飾名トリプレットに指定されたフォーマットが無効です。

説明: 構造化フィールドの完全修飾名 (FQN) トリプレットに指定された FQNFmt が無効です。

システムの処置: PSF は現行ページの処理を停止します。 PSF は現行ページの終わりを見つけて、その次のページから印刷を再開しようとします。ページの終わりを見つけれられない場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。リソースでこのエラーが発生した場合、PSF はデータ・セットの処理を停止します。リソース環境グループでこのエラーが発生した場合、PSF はリソース環境グループの処理を停止し、データ・セットの処理を続行します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。参照先の構造化フィールドの正しいフォーマットについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドが正しい場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性がります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

問題判別: 項目 1、2、3、13、15c、17、19。

APK2024I 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。 *X'84'* または *X'CE'* のタイプを持つ完全修飾名トリプレットが、オブジェクト環境グループの MDR 構造化フィールドに指定されています。

説明: リソース・オブジェクト参照開始 (*X'84'*) または他のオブジェクト・データ参照 (*X'CE'*) の FQNType を持つ完全修飾名 (FQN) トリプレットは、オブジェクト環境グループのマップ・データ・リソース構造化フィールドでは使用できません。

システムの処置: PSF は現行ページの処理を停止します。 PSF は現行ページの終わりを見つけて、その次のページから印刷を再開しようとします。ページの終わりを見つけれられない場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。リソースでこのエラーが発生した場合、PSF はデータ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。参照先の構造化フィールドの正しいフォーマットについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドが正しい場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性がります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

問題判別: 項目 1、2、3、13、15c、17、19。

APK2025I 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。 MDR 構造化フィールドの繰り返しグループに複数の完全修飾名トリプレットが指定されています。

説明: 反復グループでは、リソース・オブジェクト参照開始 (X'84')、その他のオブジェクト・データ参照 (X'CE')、またはデータ・オブジェクト外部リソース参照 (X'DE') の FQNTType を持つ完全修飾名トリプレットは 1 つしか指定できません。

システムの処置: PSF は現行ページの処理を停止します。 PSF は現行ページの終わりを見つけて、その次のページから印刷を再開しようとします。ページの終わりを見つけれない場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。リソースでこのエラーが発生した場合、PSF はデータ・セットの処理を停止します。リソース環境グループでこのエラーが発生した場合、PSF はリソース環境グループの処理を停止し、データ・セットの処理を続行します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。参照先の構造化フィールドの正しいフォーマットについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドが正しい場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性がります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

問題判別: 項目 1、2、3、13、15c、17、19。

APK2026I 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。 MDR 構造化フィールドのオブジェクト区分トリプレットに指定されたオブジェクト・クラスが無効です。

説明: 繰り返しグループの完全修飾名トリプレット・タイプがデータ・オブジェクト外部リソース参照 (X'DE') である場合、マップ・データ・リソース (MDR) 構造化フィールドのオブジェクト区分トリプレットに指定された ObjClass は X'40' でなければなりません。繰り返しグループの完全修飾名トリプレット・タイプがその他のオブジェクト・データ参照 (X'CE') である場合、指定する ObjClass は X'01' でなければなりません。

システムの処置: PSF は現行ページの処理を停止します。 PSF は現行ページの終わりを見つけて、その次のページから印刷を再開しようとします。ページの終わりを見つけれない場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。リソースでこのエラーが発生した場合、PSF はデータ・セットの処理を停止します。リソース環境グループでこのエラーが発生した場合、PSF はリソース環境グループの処理を停止し、データ・セットの処理を続行します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。参照先の構造化フィールドの正しいフォーマットについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドが正しい場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性がります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷デー

タ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

問題判別: 項目 1、2、3、13、15c、17、19。

APK2027I 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。MDR 構造化フィールドが環境グループで複数回にわたって同じリソース参照を指定しています。

説明: 環境グループのマップ・データ・リソース (MDR) 構造化フィールドで、同一のリソース参照を行うことはできません。

システムの処置: PSF は現行ページの処理を停止します。PSF は現行ページの終わりを見つけて、その次のページから印刷を再開しようとします。ページの終わりを見つけれない場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。リソースでこのエラーが発生した場合、PSF はデータ・セットの処理を停止します。リソース環境グループでこのエラーが発生した場合、PSF はリソース環境グループの処理を停止し、データ・セットの処理を続行します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。参照先の構造化フィールドの正しいフォーマットについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドが正しい場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性ががあります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

問題判別: 項目 1、2、3、13、15c、17、19。

APK2028I 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。structuredfield 構造化フィールドで始まるリソースを、ハード・リソースとしてプリンターに送信することはできません。

説明: プリンターも PSF も、このリソースをページの前にプリンターに送信したり、PSF 管理のハード・リソースとして処理することをサポートしていません。

システムの処置: PSF は、MDR のこのリソースを無視して処理を続行します。PSF は、このリソースがページまたはリソースに組み込まれるたびに、それをソフト・リソースとして扱います。ソフト・リソースは、組み込みのたびにプリンターに送信されます。

ユーザーの処置: なし。

システム・プログラマーの応答: なし。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2029I 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。オブジェクト **OID** *objectoid1* が、*structuredfield* 構造化フィールドに指定されているオブジェクト **OID** *objectoid2* と一致していません。

説明: 構造化フィールドに指定されているオブジェクト **OID** は、マップ・データ・リソース (MDR)、またはそれを参照する組み込みオブジェクト (IOB) 構造化フィールドに指定されているオブジェクト **OID** と一致していなければなりません。*** の値は、**OID** が指定されていないことを示します。

システムの処置: PSF は現行ページの処理を停止します。PSF は現行ページの終わりを見つけて、その次のページから印刷を再開しようとします。ページの終わりを見つけられない場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。リソースでこのエラーが発生した場合、PSF はデータ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。参照先の構造化フィールドの正しいフォーマットについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドが正しい場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性がります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

問題判別: 項目 1、2、3、13、15c、17、19。

APK2030I 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。バーコードまたはグラフィックス・オブジェクトを含む **IOB** 構造化フィールドに、2 次リソースが指定されています。

説明: バーコードまたはグラフィックス・オブジェクトが含まれている組み込みオブジェクト (IOB) 構造化フィールドに、データ・オブジェクト外部リソース参照タイプ (X'DE') の完全修飾名 (FQN) トリプレットが指定されています。2 次リソースをこれらオブジェクトで使用することはできません。

システムの処置: 2 次リソース参照は無視され、処理が続行されます。

ユーザーの処置: 印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。参照先の構造化フィールドの正しいフォーマットについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドが正しい場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性がります。印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した印刷データ・セットまたはリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、ご使用のシステムの診断解説書を参考にして、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

問題判別: 項目 1、2、3、13、15c、17、19。

APK2032I PAGEDEF リソース *pagedef* のデータが無効です。 *structuredfield* 構造化フィールドで始まるリソースを、ハード・リソースとしてプリンターに送信することはできません。

説明: プリンターも PSF も、このリソースをページの前にプリンターに送信したり、PSF 管理のハード・リソースとして処理することをサポートしていません。

システムの処置: PSF は、MDR のこのリソースを無視して処理を続行します。PSF は、このリソースがページまたはリソースに組み込まれるたびに、それをソフト・リソースとして扱います。ソフト・リソースは、組み込みのたびにプリンターに送信されます。

ユーザーの処置: なし。

システム・プログラマーの応答: なし。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2033I バーコード・データ、またはバーコード・データおよび追加の 2D バーコード・パラメーターが、出力コマンド・バッファーを超過しています。

説明: バーコード・データ自体、またはバーコード・データおよび 2D バーコードに対して指定されたマクロ制御ブロック・データが、出力コマンド・バッファーのサイズを超えています。マクロ制御ブロック・データが、BCXPparms (追加バーコード・パラメーター) の一部としてページ定義に指定されています。

システムの処置: PSF はこのメッセージを出して、処理を続行します。

ユーザーの処置: バーコードに対して指定されたデータ量を変更するか、またはマクロ制御ブロックのデータの量を減らしてください。

システム・プログラマーの応答: なし。

オペレーターの応答: なし。

APK2039I 入力レコードまたはリソースのデータが無効です。 *mapname* メディア・マップに重複する終了操作が見つかりました。

説明: メディア・マップで、同じ終了操作が複数回指定されています。このように同じ終了操作をネストすることはできません。メディア終了制御 (MFC) 構造化フィールドは、書式定義または印刷データ・セットの内部メディア・マップにあります。

システムの処置: エラーがリソースにある場合、リソースは使用されず、次のいずれかのようにになります。

- エラーがデフォルト書式定義、または印刷メッセージや区切りページに指定された書式定義にある場合、PSF は開始されません。
- ユーザーの OUTPUT JCL ステートメントに指定した書式定義にエラーがある場合、PSF はデータ・セットの印刷を開始できず、次のデータ・セットを印刷しようとしません。
- このエラーが印刷データ・セットで発生した場合、PSF はデータ・セットの処理を停止します。

PSF は、入力データ・ストリーム内またはリソース内の構造化フィールドの位置を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが起きたときの処理環境を示す追加のメッセージを出します。

ユーザーの処置: 書式定義の構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、書式定義の構造化フィールドの作成にプログラムを使用した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

APK2040I

システム・プログラマーの応答: エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2040I メディア・コレクション終了ネスト・レベルの数が 4 を超えています。

説明: メディア・コレクションの終了には、最大で 4 つのレベルのネストが許可されます。メディア終了制御 (MFC) 構造化フィールドは、ページの書式定義または内部メディア・マップに含めることができます。

システムの処置: PSF はデータ・セットの処理を停止します。

ユーザーの処置: 書式定義または内部メディア・マップをユーザーが作成した場合、メディア・コレクション終了操作のレベルを 1 つ以上除去する必要があります。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。印刷要求を再実行依頼します。ネスト・レベルの総数が 4 以下であれば、エラーは PSF 論理エラーである場合があります。

システム・プログラマーの応答: エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページまたは PSF 開始プロシージャのメッセージ・データ・セットに対して定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2041I 入力レコードまたは PAGEDEF リソースのデータが無効です。LND または RCD 構造化フィールド number の可変リソース名に使用されている入力データが 2 バイト・データです。

説明: 行記述子 (LND) またはレコード記述子 (RCD) 構造化フィールドのリソース・オブジェクト組み込みトリプレットまたは拡張リソース・ローカル ID トリプレットが、リソース名の入力データを組み込むよう要求しています。この入力データを 2 バイト・データとすることはできません。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、「*PSF for OS/390 and z/OS: Diagnosis*」を参考にして問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2042I PAGEDEF リソースのデータが無効です。XML ページ定義が、入力データを XMD 構造化フィールド番号 *number* のリソース名に使用するよう要求しました。

説明: XML 記述子 (XMD) 構造化フィールドにオブジェクト参照修飾子 (ORQ) トリプレットが指定されています。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: リソースに対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」および「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性あります。プログラムを使用してリソースの構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したリソースの構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力があり有効であった場合は、「*PSF for OS/390 and z/OS: Diagnosis*」を参考にして問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページまたは PSF 開始プロシージャのメッセージ・データ・セットに対して定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2043I PAGEDEF リソースのデータが無効です。XMD 構造化フィールド番号 *number* の属性 XMD ポインター値が原因で無限ループが発生します。

説明: このメッセージに示された XML 記述子 (XMD) 構造化フィールドの属性 XML 記述子ポインター値が原因で無限ループ条件が発生しました。XMD 構造化フィールドはページ定義内に含まれています。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」および「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性あります。プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があり有効であったかどうかを確認してください。入力があり有効であった場合は、「*PSF for OS/390 and z/OS: Diagnosis*」を参考にして問題の原因を判別してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2044I PAGEDEF リソースのデータが無効です。XMD 構造化フィールド番号 *number* のフィールド XMD ポインター値が原因で無限ループが発生します。

説明: このメッセージに示された XML 記述子 (XMD) 構造化フィールドのフィールド XML 記述子ポインター値が原因で無限ループ条件が発生しました。XMD 構造化フィールドはページ定義内に含まれています。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依

頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」および「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力がある場合は、「*PSF for OS/390 and z/OS: Diagnosis*」を参考にして問題の原因を判別してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2045I XML データの処理に使用されるページ定義に指定されたエンコード・スキームが PSF でサポートされていません。

説明: 指定されたエンコード・スキームは PSF ではサポートされていません。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: PSF によりサポートされるエンコード・スキームを使用して XML データ処理を行う必要があります。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」および「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力があるかどうかを確認してください。入力がある場合は、「*PSF for OS/390 and z/OS: Diagnosis*」を参考にして問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2046I ページ定義によって XML フォーマット設定が要求されましたが、その機能は当りリリースの PSF ではサポートされていません。

説明: XML データ・フォーマット設定機能は、当りリリースの PSF ではサポートされていません。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: XML データ・フォーマット設定機能を使用するには、XML データ・フォーマットをサポートするバージョンの PSF にジョブを実行依頼してください。

システム・プログラマーの応答: ページ定義が区切りページ、メッセージ・データ・セット、あるいは PSF 開始プロシージャに定義されたユーザー印刷データ・セットのデフォルト・ページ定義に対するものである場合は、このページ定義を除去し、XML データ・フォーマット設定機能を使用しない定義を選択してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2047I PAGEDEF リソースのデータが無効です。データ・マップ *datamapname1* とデータ・マップ *datamapname2* で異なるエンコード・スキームがユーザー・データに対して指定されています。ページ定義内のすべてのデータ・マップは、同じエンコード・スキームを指定する必要があります。

説明: XML データの処理に使用するページ定義のデータ・マップはすべて、ユーザー・データに対して同じエンコード・スキームを使用しなければなりません。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」および「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性あります。プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、「*PSF for OS/390 and z/OS: Diagnosis*」を参考にして問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2048I 入力レコードのデータが無効です。文字カウント番号 *number* の DTD 宣言が、DTD 外部で指定されています。

説明: 文書型定義 (DTD) 宣言は、DTD 内でのみ許可されます。このメッセージに示された文字カウント番号は、レコードの開始点からの相対的なものです。

システムの処置: PSF は現行データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内のエラー箇所を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: XML データをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正して、印刷要求を再実行依頼してください。World Wide Web Consortium Web サイトの XML 仕様 Extensible Markup Language (XML) 1.0 を参照してください。XML データにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性あります。プログラムを使用して XML データを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した XML データの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力の有効であった場合は、「*PSF for OS/390 and z/OS: Diagnosis*」を参考にして問題の原因を判別してください。エラーが区切りページに関連している場合は、『ユーザーの処置』セクションに示されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: オペレーター・コンソールにこのメッセージが表示された場合は、PSF が初期化を実行できないかエラー・メッセージを印刷できないことを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2049I 入力レコードのデータが無効です。文字カウント番号 *number* の XML コメント構文が無効です。

説明: XML コメントを開始した後は、コメントを終了する際、行内に 2 つのダッシュしか使用できません。メッセージに示された文字カウント番号は、レコードの開始点からの相対的なものです。

システムの処置: PSF は現行データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内のエラー箇所を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: XML データをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正して、印刷要求を再実行依頼してください。World Wide Web Consortium Web サイトの XML 仕様 Extensible Markup Language (XML) 1.0 を参照してくだ

APK2050I

さい。XML データにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性がります。プログラムを使用して XML データを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した XML データの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、「*PSF for OS/390 and z/OS: Diagnosis*」を参考にして問題の原因を判別してください。エラーが区切りページに関連している場合は、『ユーザーの処置』セクションに示されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: オペレーター・コンソールにこのメッセージが表示された場合は、PSF が初期化を実行できないかエラー・メッセージを印刷できないことを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2050I 入力レコードのデータが無効です。文字カウント番号 *number* の XML 終了タグが最後の開始タグと一致しません。

説明: XML 終了タグは、その開始タグと正しく一致してはなりません。このメッセージに示された文字カウント番号は、レコードの開始点からの相対的なものです。

システムの処置: PSF は現行データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内のエラー箇所を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: XML データをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正して、印刷要求を再実行依頼してください。World Wide Web Consortium Web サイトの XML 仕様 Extensible Markup Language (XML) 1.0 を参照してください。XML データにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性がります。プログラムを使用して XML データを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した XML データの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、「*PSF for OS/390 and z/OS: Diagnosis*」を参考にして問題の原因を判別してください。エラーが区切りページに関連している場合は、『ユーザーの処置』セクションに示されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: オペレーター・コンソールにこのメッセージが表示された場合は、PSF が初期化を実行できないかエラー・メッセージを印刷できないことを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2051I 入力レコードのデータが無効です。文字カウント番号 *number* の文書タイプ宣言の終了の構文が正しくありません。

説明: 文書タイプ宣言 (DTD) の終了の構文が正しくありません。このメッセージに示された文字カウント番号は、レコードの開始点からの相対的なものです。

システムの処置: PSF は現行データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内のエラー箇所を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: XML データをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正して、印刷要求を再実行依頼してください。World Wide Web Consortium Web サイトの XML 仕様 Extensible Markup Language (XML) 1.0 を参照してください。XML データにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性がります。プログラムを使用して XML データを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した XML データの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力の有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、「*PSF for OS/390 and z/OS: Diagnosis*」を参考にして問題の原因を判別してください。エラーが区切りページに関連している場合は、『ユーザーの処置』セクションに示されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: オペレーター・コンソールにこのメッセージが表示された場合は、PSF が初期化を実行できないかエラー・メッセージを印刷できないことを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2052I 入力レコードのデータが無効です。文字カウント番号 *number* の文字コードが文字参照に対して有効な値ではありません。

説明: 文字参照内の文字コードが、許可された値ではありません。このメッセージに示された文字カウント番号は、レコードの開始点からの相対的なものです。

システムの処置: PSF は現行データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内のエラー箇所を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: XML データをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正して、印刷要求を再実行依頼してください。World Wide Web Consortium Web サイトの XML 仕様 Extensible Markup Language (XML) 1.0 を参照してください。XML データにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、プログラムを使用して XML データを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した XML データの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、「*PSF for OS/390 and z/OS: Diagnosis*」を参考にして問題の原因を判別してください。エラーが区切りページに関連している場合は、『ユーザーの処置』セクションに示されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: オペレーター・コンソールにこのメッセージが表示された場合は、PSF が初期化を実行できないかエラー・メッセージを印刷できないことを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2053I 入力レコードのデータが無効です。文字カウント番号 *number* のエンティティが文書タイプ定義で定義されていません。

説明: PSF では内部の汎用エンティティ参照のみが許可され、これは内部の文書タイプ定義 (DTD) で定義されている必要があります。このメッセージに示された文字カウント番号は、レコードの開始点からの相対的なものです。

システムの処置: PSF は現行データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内のエラー箇所を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: XML データをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正して、印刷要求を再実行依頼してください。World Wide Web Consortium Web サイトの XML 仕様 Extensible Markup Language (XML) 1.0 を参照してください。XML データにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、プログラムを使用して XML データを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した XML データの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、「*PSF for OS/390 and z/OS: Diagnosis*」を参考にして問題の原因を判別してください。エラーが区切りページに関連している場合は、『ユーザーの処置』セクションに示されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: オペレーター・コンソールにこのメッセージが表示された場合は、PSF が初期化を実行できないかエラー・メッセージを印刷できないことを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2054I 入力レコードのデータが無効です。文字カウント番号 *number* のタグ名の文字が無効です。

説明: XML タグ名の文字が無効です。このメッセージに示された文字カウント番号は、レコードの開始点からの相対的なものです。

システムの処置: PSF は現行データ・セットの処理を停止し、データ・ストリーム内のエラー箇所を示すメッセージを出します。PSF は、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: XML データをユーザーが作成した場合は、エラーを訂正して、印刷要求を再実行依頼してください。World Wide Web Consortium Web サイトの XML 仕様 Extensible Markup Language (XML) 1.0 を参照してください。XML データにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、プログラムを使用して XML データを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生した XML データの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、「*PSF*

APK2055I

for OS/390 and z/OS: Diagnosis」を参考にして問題の原因を判別してください。エラーが区切りページに関連している場合は、『ユーザーの処置』セクションに示されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: オペレーター・コンソールにこのメッセージが表示された場合は、PSF が初期化を実行できないかエラー・メッセージを印刷できないことを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2055I PAGEDEF リソースのデータが無効です。ユーザー・データのエンコード・スキーム ID が、BDM 構造化フィールドのエンコード・スキーム・トリプレットに指定されていません。

説明: ユーザー・データのエンコード・スキーム ID (ESidUD) が、開始データ・マップ (BDM) 構造化フィールドのエンコード・スキーム・トリプレット (X'50') にありません。この情報は、XML ページ定義を処理する際に必要です。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ユーザー・データのエンコード・スキームを指定する必要があります。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」および「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、「*PSF for OS/390 and z/OS: Diagnosis*」を参考にして問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシーチャーのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2056I PAGEDEF リソースのデータが無効です。XMD 構造化フィールド番号 *number1* および *number2* に同じ修飾タグが指定されています。すべての修飾タグは、同一のデータ・マップ内で固有のものでなければなりません。

説明: データ・マップのすべての XML 記述子 (XMD) 構造化フィールドには、固有の修飾タグを指定する必要があります。ただし、XMD 構造化フィールドの次のタイプは除きます。

- デフォルト・ページ・ヘッダー
- デフォルト・ページ・トレーラー
- フィールド
- 条件付き処理
- 属性

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: ページ定義に対して構造化フィールドを作成していた場合は、エラーを訂正し、印刷要求を再実行依頼してください。構造化フィールドについての詳細は、「*Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference*」および「*Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference*」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場

合は、「PSF for OS/390 and z/OS: Diagnosis」を参考にして問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2057I PAGEDEF リソースのデータが無効です。 XMD 構造化フィールドの相対インライン位置は、テキスト・データの配置にのみ使用できます。

説明: リソース・オブジェクト組み込み、拡張リソース・ローカル ID、バーコード・シンボル記述子、またはグラフィックス記述子トリプレットは、相対インライン配置を使用する XML 記述子 (XMD) 構造化フィールドで指定されません。XMD 構造化フィールドを使用してページ・セグメント、オーバーレイ、またはオブジェクトを組み込む場合は、絶対インライン配置を使用する必要があります。また、XMD 構造化フィールドを使用してバーコードまたはグラフィックス・オブジェクトを生成する場合も、絶対インライン配置を使用する必要があります。

システムの処置: PSF は、現行データ・セットの処理を停止し、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: インライン配置を絶対値に変更する必要があります。構造化フィールドについての詳細は、「Advanced Function Presentation: Programming Guide and Line Data Reference」および「Data Stream and Object Architectures Mixed Object Document Content Architecture Reference」を参照してください。構造化フィールドにエラーがない場合、このエラーは PSF 論理エラーの可能性があり、プログラムを使用してページ定義の構造化フィールドを作成した場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したページ定義の構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、「PSF for OS/390 and z/OS: Diagnosis」を参考にして問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

オペレーターの応答: このメッセージがオペレーター・コンソールに表示された場合は、エラーを含むリソースが、区切りページ、メッセージ・データ・セットに対して定義されているか、PSF 開始プロシージャのユーザー印刷データ・セットのデフォルト・リソースとして定義されていることを示します。システム・プログラマーに連絡してください。

APK2105I データ・ストリームが構造化フィールド structured field で欠落しています。

説明: 名前付きグループの開始 (BNG) 構造化フィールドは、一致する名前付きグループの終了 (ENG) 構造化フィールドを持っている必要があります。しかし、(ENG) 構造化フィールドがデータ・ストリームから欠落しています。したがって、データ・セットで作成される索引付けは無効である可能性があります。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: データ・ストリームを作成した場合、データ・ストリーム内の各 BNG 構造化フィールドが一致する ENG 構造化フィールドを持っている必要があります。データ・ストリームがこの要件を満たしていることを確認してください。要件を満たしていない場合は、データ・ストリームを修正してください。

データ・ストリームが適切な場合、このエラー・コードは論理エラーを示しています。IBM サービス技術員に連絡するか、IBM サービスとの電子リンクを使用して、このエラー・コードについての支援を求めてください。

システム・プログラマーの応答: エラーが発生したデータ・ストリームの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効であったかどうかを確認してください。入力が有効であった場合は、「Print Services Facility for z/OS 診断」を参照して、問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK3506I データ・オブジェクト・リソース・タイプ *objectid* がリソース・ライブラリーで見つかりませんでした。

説明: 指定されたデータ・オブジェクト・リソースの登録 ID (オブジェクト・タイプ OID) をリソース・ライブラリーから読み取れません。ACIF では、有効なデータ・オブジェクト・リソース名またはリソース・ロケーター名を持つオブジェクトのみがサポートされます。登録 ID は、IOB、BOC、BR、または MDR 構造化フィールドのオブジェクト区分トリプレットに指定されています。このメッセージに示された *objectid* が *** の場合は、ACIF が登録 ID をサポートしないか、*objectid* を識別するための十分な情報がありません。

システムの処置: リソース環境グループ (REG) の処理でこのエラーが発生した場合、PSF はこのデータ・オブジェクト・リソースをスキップして、REG に指定された他のリソースの処理を試みます。ページまたはオーバーレイ・オブジェクトの処理でこのエラーが発生した場合、PSF はページまたはオーバーレイ・オブジェクトを終了します。PSF は、現行ページの終わりを探し出して、次ページから処理を再開しようとします。現行ページの終わりが見つからなかった場合、PSF はデータ・セットの印刷を停止します。PSF は、エラーが見つかったときの処理環境を示す追加メッセージを出します。

ユーザーの処置: データ・オブジェクト・リソースの構造化フィールドをユーザーが作成した場合は、登録 ID が正しいことを確認してください。登録 ID が正しい場合は、このオブジェクト・タイプをサポートするプリンターに印刷ジョブを実行依頼してください。プリンターでサポートされているオブジェクト・タイプについての詳細は、プリンターの資料を参照してください。

システム・プログラマーの応答: 構造化フィールドの作成に IBM ライセンス・プログラムを使用した場合は、そのプログラムへの入力が有効で、正しいプリンターが接続されているか確認してください。入力が有効であった場合は、「PSF for OS/390 and z/OS: Diagnosis」を参考にして問題の原因を判別してください。エラーに区切りページまたはメッセージ・データ・セットが関係している場合は、『ユーザーの処置』セクションで提供されている情報を使用して、エラーを訂正してください。

APK3507I データ・オブジェクト・リソース・タイプ *objectid* がリソース・ライブラリーで見つかりませんでした。このオブジェクト印刷に不要であるためスキップされます。

説明: 指定されたデータ・オブジェクト・リソース・タイプをプリンターで活動化できませんでした。プリンターにこのデータ・オブジェクト・リソースに関する情報がありません。ただし、このオブジェクトは、この文書の印刷に必要なではありません。PSF はこの条件を記録して、処理を続けます。印刷ファイルが、カラー・プロファイルをサポートするカラー・プリンター用にフォーマットされており、印刷をするプリンターでこれらカラー・プロファイル・オブジェクトをサポートしていない可能性があります。また、*objectid* が誤って指定されている可能性があります。このメッセージに示された *objectid* が *** の場合、ACIF には識別のための十分な情報がありません。

システムの処置: PSF はこの条件を記録して、処理を続けます。

ユーザーの処置: 印刷された出力が受け入れ不可の場合は、この印刷ファイルに指定されたオブジェクト OID を認識するプリンターを選択するか、オブジェクト OID を訂正するか、この印刷ファイルを印刷するプリンター用に印刷ファイルを再フォーマットしてください。

システム・プログラマーの応答: 印刷ファイル作成時のフォーマット・オプションが、この印刷ファイルを印刷するプリンターと互換性があるか確認してください。不一致があれば訂正してください。

第 5 部 構造化 API メッセージ

第 10 章 構造化 API のメッセージの概要

構造化 API により、CICS、IMS™、TSO およびバッチ環境で、以下のサーバー機能呼び出すことのできるカスタマー・アプリケーションが実現されます。

表 4. サーバー機能およびその説明

機能	説明
LOGON	OnDemand ライブラリー・サーバーへの接続を確立します。ログオンが正常に行われた後、サーバーは特定ユーザーのアクセスが許可されたフォルダーのリストを戻します。
FOLDER OPEN	後続の検索とリトリブ要求によって処理されるフォルダー名を示します。
HIT LIST	OnDemand サーバーに、ユーザーが提供する検索基準に一致する項目のリストを戻すように要求します。
RETRIEVE	OnDemand アーカイブから文書をリトリブします。
LOGOFF	ユーザーが OnDemand サーバーからログオフすることを許可します。
RELEASE	LOGON、FOLDER OPEN、HIT LIST、および RETRIEVE 機能の実行に使用されたストレージ域を解放します。

第 11 章 構造化 API メッセージ

構造化 API は、共通構造の CS-Message で通知およびエラー・メッセージを戻します。これはサンプル集 ARSZDCWS に定義されています。機能に関する状態を示すメッセージは、160 バイトまでの長さです。データに関する状態を示すメッセージには、基準フィールド名、値、およびそれらが無効である理由が含まれます。

9101 未定義機能

説明: CS-Request の値が認識されません。

ユーザーの処置: 指定する要求を訂正してください。

9102 32 ビット IP アドレスの取得に失敗しました。

説明: インターフェース・プログラムは、IP アドレスを内部フォーマットに変換できませんでした。IP アドレスが正しく入力されていることを確認します。IP アドレスが正しい場合、このメッセージはインストールの問題を示している可能性があります。

ユーザーの処置: レポート管理者に通知してください。

9103 ストリーム・ソケットの取得に失敗しました。

説明: インターフェース・プログラムは、TCP/IP のソケットをオープンすることができませんでした。このメッセージは、TCP/IP のセットアップの問題を示している可能性があります。

ユーザーの処置: レポート管理者に通知してください。

9104 サーバーへの接続エラー

説明: インターフェース・プログラムは、中間層サーバーに接続することができませんでした。このメッセージは、中間層サーバーがアクティブになっていないか、中間層サーバーに対して指定されたポート番号が正しくないことを示している可能性があります。

ユーザーの処置: 中間層サーバーがアクティブあることを確認し、IP アドレスおよびポート番号を訂正してください。問題が解決しない場合は、レポート管理者に連絡してください。

9105 共通構造の送信エラー

説明: インターフェース・プログラムは、共通構造を中間層サーバーに送信することができませんでした。このメッセージは、論理問題の可能性があることを示しています。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

9106 ログオン構造の送信エラー

説明: インターフェース・プログラムは、ログオン構造を中間層サーバーに送信することができませんでした。このメッセージは、論理問題の可能性があることを示しています。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

9107 検索基準構造の送信エラー

説明: インターフェース・プログラムは、検索基準構造を中間層サーバーに送信することができませんでした。このメッセージは、論理問題の可能性を示しています。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

9108 文書リトリブの送信エラー

説明: インターフェース・プログラムは、文書リトリブ構造を中間層サーバーに送信することができませんでした。このメッセージは、論理問題の可能性を示しています。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

9109 フォルダー・リストの受信エラー

説明: インターフェース・プログラムは、フォルダー・リスト構造を中間層サーバーから受信することができませんでした。このメッセージは、論理問題の可能性を示しています。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

9110 フォルダー基準の受信エラー

説明: インターフェース・プログラムは、フォルダー基準構造を中間層サーバーから受信することができませんでした。このメッセージは、論理問題の可能性を示しています。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

9111 ヒット・リストの受信エラー

説明: インターフェース・プログラムは、ヒット・リスト構造を中間層サーバーから受信することができませんでした。このメッセージは、論理問題の可能性を示しています。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

9112 文書の受信エラー

説明: インターフェース・プログラムは、文書構造を中間層サーバーから受信することができませんでした。このメッセージは、論理問題の可能性を示しています。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

9113 共通構造の受信エラー

説明: インターフェース・プログラムは、共通構造を中間層サーバーから受信することができませんでした。このメッセージは、論理問題の可能性を示しています。

ユーザーの処置: IBM サービス技術員に連絡してください。

9114 pFolderList にポイントされたメモリの解放エラー

説明: フォルダー・リスト構造を解放するための RELEASE 要求が失敗しました。このエラーの原因は、通常、不注意による構造のオーバーレイです。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムでストレージ・オーバーレイがないか検討します。

9115 pFolderCriteria にポイントされたメモリの解放エラー

説明: フォルダー基準構造を解放するための RELEASE 要求が失敗しました。このエラーの原因は、通常、不注意による構造のオーバーレイです。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムでストレージ・オーバーレイがないか検討します。

9116 pHitList にポイントされたメモリの解放エラー

説明: ヒット・リスト構造を解放するための RELEASE 要求が失敗しました。このエラーの原因は、通常、不注意による構造のオーバーレイです。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムでストレージ・オーバーレイがないか検討します。

9117 pDocument にポイントされたメモリの解放エラー

説明: 文書構造を解放するための RELEASE 要求が失敗しました。このエラーの原因は、通常、不注意による構造のオーバーレイです。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムでストレージ・オーバーレイがないか検討します。

9118 connection_id を検出するヒットがありませんでした。

説明: HIT LIST 要求は、検索基準に一致するヒットの結果を出しませんでした。

ユーザーの処置: 検索基準を変更して HIT LIST 要求を再試行してください。

9119 connection_id に一致する検出がありませんでした。

説明: FOLDER OPEN 要求は、要求されたフォルダー名をアクティブなフォルダー・リストから検出しませんでした。

ユーザーの処置: フォルダー名をフォルダー・リストのエントリに一致するように訂正してください。

注: OnDemand サーバーが、バージョン 2 サーバーとの OnDemand バージョン 2 互換モードを稼働している場合は、フォルダー・リストのしきい値が、使用可能なバージョン 2 フォルダーおよび要求されるバージョン 7 フォルダーをすべて戻すのに十分であるか確認してください。

| 9120 pNote にポイントされたメモリの解放エラー

| 説明: 注釈リスト構造を解放するための RELEASE 要求が失敗しました。このエラーの原因は、通常、不注意による構造のオーバーレイです。

| ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムでストレージ・オーバーレイがないか検討します。

| 9121 リトリブ注釈構造の送信エラー

| 説明: インターフェース・プログラムは、注釈構造を中間層サーバーに送信することができませんでした。論理問題が発生している可能性があります。

| ユーザーの処置: OnDemand for z/OS サポートに連絡してください。

| 9122 リトリブ注釈構造の送信エラー

| 説明: インターフェース・プログラムは、注釈リスト構造を中間層サーバーから受信することができませんでした。論理問題が発生している可能性があります。

| ユーザーの処置: OnDemand for z/OS サポートに連絡してください。

9123 connectID で ODFolder.recreateHit が失敗しました

説明: 中間層サーバーは、RETRIEVE または ANNOTATIONS 要求を完了するために、ODHITObject を使用して ODWEK Java™ API にアクセスする必要があります。このメッセージは、ODHITObject を再作成するため中間層で発行された ODFolderRecreateHIT 要求が失敗したことを示しています。

ユーザーの処置: OnDemand for z/OS サポートに連絡してください。

9124 connectID で注が見つかりません

説明: 中間層が、文書の注をリトリートするための要求に対して、「注がありません (no notes)」という応答を受け取りました。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを検討して、文書の HL-NotesIndicator がゼロ以外の値であることを確認してください。

9125 無効なセグメントが要求されました

説明: 中間サーバーにより、要求されたセグメントが文書内のセグメント数より大きいことが判明しました。

ユーザーの処置: セグメント数より大きいセグメントを要求しないようにアプリケーション・プログラムを変更します。

第 6 部 XML メッセージ

第 12 章 XML メッセージの概要

OnDemand は、OnDemand システムへのデータのインポートや、OnDemand システムからのデータのエクスポートに、XML インターフェースを組み込んでいます。このインターフェースにより、ユーザー・アプリケーションおよび Web インターフェースで XML ファイルを作成し、システムに単一オブジェクトまたは複数オブジェクトをインポートすることができます。同様に、現在 OnDemand システムにあるオブジェクトを XML ファイルにエクスポートして、後で同じシステムや他の OnDemand システム内にインポートして戻すことができます。

このセクションの XML メッセージは、arsxml コマンド行ルーチンに関連しており、以下に使用することができます。

- OnDemand XML ファイルのデータを OnDemand システムにインポートする
- OnDemand システムのデータを更新する
- OnDemand システムからデータを削除する
- OnDemand システムからデータをエクスポートする

第 13 章 XML メッセージ

XML メッセージはさまざまな理由で出されます。これらの理由には、以下が含まれますがこれだけではありません。

- 情報の提示 (arsxml コマンド構文、進行標識など)
- 情報を入力するようユーザーへプロンプトを出す
- 入力 XML ファイルが OnDemand XML スキーマに準拠していないことを示す
- arsxml コマンドの処理中に発生したエラーを示す

ARS7700I 用法: `java arsxml add | update | delete | export [options]`

バージョン: `version`

説明: このメッセージは、arsxml コマンドの構文を表示します。

ユーザーの処置: 通知。アクションは不要です。

ARS7701I 用法: `java arsxml export [options]`

バージョン: `version`

オプション:

- h *hostname* ホスト名 (必須)
- u *username* OnDemand ログイン・ユーザー名
- p *password* 指定ユーザー名パスワード
- e *err* エラー処理値 (デフォルトは 'a')
 - a エラーが発生した場合の停止処理
 - c エラーが発生した場合の継続処理
- r *ext* エクスポート範囲値 (複数指定することが可能)
 - d エクスポート従属オブジェクト
 - p エクスポート許可
 - l エクスポート論理ビュー。
- d *directory* 入力 XML ファイルのディレクトリー
- i *file* 入力 XML ファイル
- y *directory* 出力 XML ファイルのディレクトリー
- o *file* 出力 XML ファイル
- w *encode* 出力 XML ファイルのエンコード値 (デフォルトは 'UTF-8')
- v 冗長モードを使用可能に設定

説明: このメッセージは、arsxml エクスポート・コマンドの用法を表示します。

ユーザーの処置: 通知。アクションは不要です。

ARS7702I 使用法: `java arxml add | update | delete [options]`

バージョン: `version`

オプション:

- h *hostname* ホスト名 (必須)
- u *username* **OnDemand** ログイン・ユーザー名
- p *password* 指定ユーザー名パスワード
- d *directory* 入力 XML ファイルのディレクトリー
- i *file* 入力 XML ファイル (必須)
- e *err* エラー処理値 (デフォルトは 'a')
 - a エラーが発生した場合の停止処理
 - c エラーが発生した場合の継続処理
 - u オブジェクトが既に存在する場合は、追加ではなく更新する
- v 冗長モードを使用可能に設定
- x プロンプト表示を無効にする

説明: このメッセージは、`arxml add | update | delete` コマンドの使用法を表示します。

ユーザーの処置: 通知。アクションは不要です。

ARS7703I ファイル *inputFile* の処理を終了しました。

説明: このメッセージは、**OnDemand** が指定されたファイルの処理を終了したことを示します。

ユーザーの処置: 通知。アクションは不要です。

ARS7704I エクスポート・プロセスが完了しました。

説明: このメッセージは、エクスポート操作が完了したことを示します。

ユーザーの処置: 通知。アクションは不要です。

ARS7705I 入力ファイルが指定されませんでした。システム上のオブジェクトをすべてエクスポートしますか。
(Y/N)

説明: 入力ファイルが指定されていないので、**OnDemand** はシステム上のすべてのオブジェクトをエクスポートすると想定します。このメッセージは、ユーザーにこの想定を確認するようプロンプトを出すものです。

ユーザーの処置: Y と入力して、システム上のすべてのオブジェクトをエクスポートするか、N と入力してエクスポート操作を停止します。

ARS7706I エクスポート処理がユーザーの要求で停止しました。

説明: メッセージ 7705 に対する否定 (N) の応答により、エクスポート操作が停止しました。

ユーザーの処置: 通知。アクションは不要です。

ARS7707I '*objectName*' という名前の *objectType* オブジェクトを削除しようとしています。
このオブジェクトを削除しますか。(Y/N)

説明: コマンドは、オブジェクトを削除する前に確認するプロンプトを出します。

ユーザーの処置: Y を指定してオブジェクトを削除するか、N を指定してオブジェクトを保持します。

ARS7708I ユーザーの要求で削除を停止しました。

説明: このメッセージは、ユーザーがメッセージ 7707 で否定の応答をすると表示されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ARS7709I *objectType*、*objectName* の追加

説明: このメッセージは、インポート操作の進行を表示します。

ユーザーの処置: 通知。アクションは不要です。

ARS7710I *objectType*、*objectName* の更新

説明: このメッセージは、更新操作の進行を表示します。

ユーザーの処置: 通知。アクションは不要です。

ARS7711I *objectType*、*objectName* の削除

説明: このメッセージは、削除操作の進行を表示します。

ユーザーの処置: 通知。アクションは不要です。

ARS7712I *objectType*、*objectName* のエクスポート

説明: このメッセージは、エクスポート操作の進行を表示します。

ユーザーの処置: 通知。アクションは不要です。

| **ARS7713I** *objectType*、*objectName* の追加に成功しました。

| 説明: このメッセージは、インポート操作が成功した後に表示されます。

| ユーザーの処置: 通知。アクションは不要です。

| **ARS7714I** *objectType*、*objectName* の更新に成功しました。

| 説明: このメッセージは、更新操作が成功した後に表示されます。

| ユーザーの処置: 通知。アクションは不要です。

| **ARS7715I** *objectType*、*objectName* の削除に成功しました。

| 説明: このメッセージは、削除操作が成功した後に表示されます。

| ユーザーの処置: 通知。アクションは不要です。

| **ARS7716I** *objectType*、*objectName* のエクスポートに成功しました。

| 説明: このメッセージは、エクスポート操作が成功した後に表示されます。

| ユーザーの処置: 通知。アクションは不要です。

ARS7720E 無効なオプションが指定されました *-option*

説明: 無効なオプションが `arsxml` コマンドに受け渡されました。

ユーザーの処置: `arsxml` コマンドへの入力オプションを検証します。

ARS7721E

ARS7721E `-option` オプションの値が欠落しているか、無効です。

説明: 指定されたオプションには値が必須です。

ユーザーの処置: オプション・リストを更新して指定されたオプションの値を組み込みます。

ARS7722E 入力ファイル名が指定されませんでした。

説明: 入力 XML ファイルには、指定されたアクションが必要です。

ユーザーの処置: `-i` オプションを使用して、入力 XML ファイルを指定します。

ARS7723E ホスト名が指定されませんでした。

説明: OnDemand ホスト名は必須です。

ユーザーの処置: `-h` オプションを使用して、OnDemand ホスト名を指定します。

ARS7724E 指定されたエラー処理の値が無効です `value`。有効値は、「a」、「c」、および「u」です。

説明: 無効なエラー処理値が指定されました。

ユーザーの処置: 引数リストを更新して、エラー処理値「a」、「c」、または「u」を組み込みます。

ARS7725E 指定されたアクション値が無効です `value`。有効値は、「add」、「update」、「delete」および「export」です。

説明: 無効なアクション値が指定されました。

ユーザーの処置: 引数リストを更新して、アクション値「add」、「update」、「delete」または「export」を組み込みます。

ARS7726E エラー処理値オプション「u」は、アクション「add」でのみ使用されます。

説明: このアクションでは、エラー処理オプションを指定できません。

ユーザーの処置: エラー処理オプション「-e」を訂正して、アクションに有効な値を指定します。

ARS7727E 実行中に例外が発生しました `error=errorMsg`。

説明: `arsxml` コマンドの処理中に例外が発生しました。

ユーザーの処置: エラー・メッセージで、例外についての追加情報を参照してください。

ARS7728E エンコード値 `value` を設定できません。

説明: 指定されたエンコード値は、`arsxml` コマンドにサポートされません。

ユーザーの処置: エンコード値のオプション `-w` を訂正してサポートされるエンコード値を指定します。

ARS7729E 出力ファイル `outputFile` に書き込むことができませんでした。

説明: 出力ファイルに書き込むことができませんでした。

ユーザーの処置: ユーザーに、指定された出力ファイルおよびディレクトリーへの書き込みを行う権限があることを確認してください。

ARS7730E 入力ファイル *inputFile* が検出されませんでした。

説明: 入力ファイルが検出されませんでした。

ユーザーの処置: 入力ファイル・オプション *-i* に指定されたファイル名を検証し、さらに入力ディレクトリー・オプション *-d* に指定されたディレクトリー名を検証してください。

ARS7731E 入力ストリーム *errorMsg* を読み取れません。

説明: ユーザーが提供した入力値の読み取りを試行中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: エラー・メッセージで、エラーについての追加情報を参照してください。

ARS7732E ファイル *inputFile*、行 *lineNumber*、列 *columnNumber* で構文解析エラーが発生しました *errorMsg*。

説明: 入力ファイルの構文解析中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 入力 OnDemand XML ファイルに構文エラーが含まれているので、変更が必要です。エラー・メッセージに、エラーのタイプに関する詳しい情報が含まれています。最も一般的なエラーには、以下のものがあります。

- 属性値を囲む二重引用符が欠落している。例えば `timeOut=30` は `timeOut="30"` と指定しなければなりません。
 - キーワードに記入された大文字、小文字が正しくない。例えば、`timeout="30"` は、`timeOut="30"` としなければなりません。
 - オブジェクト・タグの欠落。例えば、`<node ...>` は `<node ... />` としなければなりません。
-

ARS7733E ファイル *inputFile* で構文解析エラーが発生しました *errorMsg*。

説明: 入力ファイルの構文解析中に内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: エラー・メッセージに詳しい情報が含まれています。

ARS7734E *objectType* 属性が *objectName* オブジェクトに指定されていなければなりません。

説明: 必要な属性が指定されませんでした。

ユーザーの処置: 入力 XML ファイルを更新して、必要な属性を指定します。

ARS7735E *objectType1* および *objectType2* 属性は、両方とも *objectName* オブジェクトに指定できません。

説明: 互いに排他的な複数の属性が指定されました。

ユーザーの処置: 入力 XML ファイルを更新して、属性を 1 つだけ指定します。

ARS7736E *objectName* オブジェクトの *objectType1* または *objectType2* に値が指定されていなければなりません。

説明: リストされた属性値のうち 1 つが指定されなければなりません。

ユーザーの処置: 入力 XML ファイルを更新して、属性値のうち 1 つを指定します。

ARS7737W *objectType* オブジェクトの *attributeType* 属性を更新できません。

説明: OnDemand では更新できない属性の更新が試行されました。

ユーザーの処置: 入力 XML ファイルからその属性を除去します。

ARS7738E

ARS7738E *objectType* 属性の *attributeValue* 値は、このオペレーティング・システムでは無効です。

説明: このオペレーティング・システムでサポートされない属性値の追加または更新が試行されました。

ユーザーの処置: 入力 XML ファイルからその属性を除去するか、属性値をサポートされる値に変更します。

ARS7739E *objectType* オブジェクトの *attributeName* 属性は、このオペレーティング・システムでは無効です。

説明: このオペレーティング・システムでサポートされない属性値の追加または更新が試行されました。

ユーザーの処置: 入力 XML ファイルからその属性を除去します。

ARS7740E *attribute2* 属性が値 *value2* であるとき、*attribute1* 属性は、値 *value1* にできません。

説明: 現行オブジェクトで無効な属性値の、追加または更新が試行されました。

ユーザーの処置: 入力 XML ファイルからその属性を除去するか、属性値をサポートされる値に変更します。

ARS7741E *attribute2* 属性の値が *attributeValue* であるとき、*objectType* オブジェクトの *attribute1* 属性値は無効です。

説明: 現行オブジェクトで無効な属性の、追加または更新が試行されました。

ユーザーの処置: 入力 XML ファイルからその属性を除去するか、属性値をサポートされる値に変更します。

ARS7742E *objectType* オブジェクトを追加できません。既に *maxNumber* オブジェクトが親オブジェクトに関連付けられています。

説明: 既に最大数の子を持つオブジェクトに対するオブジェクトの追加が試行されました。

ユーザーの処置: 新規の子オブジェクトの追加を試行する前に、既存の子オブジェクトの 1 つを除去します。

ARS7743E *objectName* という名前の *objectType* オブジェクトは既に存在しています。

説明: 既に存在するオブジェクトの追加が試行されました。

ユーザーの処置: 入力 XML ファイルから指定のオブジェクトを除去します。

ARS7744E *objectName* という名前の *objectType* オブジェクトは存在しません。

説明: 存在しないオブジェクトの削除、更新またはエクスポートが試行されました。

ユーザーの処置: 指定されたオブジェクトが存在することを確認するか、そのオブジェクトを入力ファイルから除去します。

ARS7745E 'objectName' という名前の *objectType* オブジェクトは、すでに処理中であるため追加できません。

説明: 従属オブジェクトはすでに処理中であるため、追加できません。

ユーザーの処置: XML ファイルを検査して、オブジェクトが正しい参照を含んでいることを確認してください。場合によっては、参照をファイルから除去し、ファイルの処理後に適切な参照でオブジェクトを更新する必要があります。

ARS7746W *objectType* オブジェクトを更新できません。

説明: OnDemand では更新できないオブジェクトの更新が試行されました。

ユーザーの処置: そのオブジェクトを入力 XML ファイルから除去します。

ARS7747E *objectType* オブジェクトは、このオペレーティング・システム上で処理することができません。

説明: このオペレーティング・システムでは無効なオブジェクトの処理が試行されました。

ユーザーの処置: そのオブジェクトを入力 XML ファイルから除去します。

ARS7748E *objectType* の名前 *objectName* は、無効であるか予約語です。

説明: 名前属性が無効か、あるいは予約語であるオブジェクトの追加または更新の処理が試行されました。

ユーザーの処置: そのオブジェクトに異なる名前を付けます。

| **ARS7749E** *childObjectType* オブジェクトは、'*parentObjectName*' という名前の *parentObjectType* オブジェクトに追加できません。

| 説明: 親オブジェクトで無効なオブジェクトの追加が試行されました。

| ユーザーの処置: 入力 XML ファイルからそのオブジェクトを除去するか、親をサポートされる値に変更します。

| **ARS7750E** *attributeName* 属性に *value* の値があるが、*minValue* より大きいか等しくなければなりません。

| 説明: 必要最小値より小さい値が入力されました。

| ユーザーの処置: 必要最小値より大きいか等しい値を指定します。

| **ARS7751E** *parentObjectName* という名前の *parentObjectType* オブジェクトから *objectType* オブジェクトを削除できません。

| 説明: OnDemand から削除できないオブジェクトの削除が試行されました。

| ユーザーの処置: そのオブジェクトを入力 XML ファイルから除去します。

| **ARS7752W** '*_ALL*' の属性値は、*objectType* オブジェクトの追加時に使用できません。

| 説明: オブジェクトの追加が試行されましたが、サポートされない値である予約語 "*_ALL*" がこのオブジェクトに含まれています。

| ユーザーの処置: そのオブジェクトを入力 XML ファイルから除去します。

| **ARS7753E** *objectName* という名前の *objectType* オブジェクトは、有効なフィールド・オブジェクトを含んでいないため、追加できません。

| 説明: 必要な子オブジェクトが含まれていないオブジェクトの追加が試行されました。

| ユーザーの処置: そのオブジェクトを入力 XML ファイルから除去します。

| **ARS7754E** 権限が '*authorityValue*' に設定されているため、'*objectName*' という名前の *objectType* オブジェクトに許可を追加できません。

| 説明: アクセス権限のないオブジェクトへの許可の追加が試行されました。

| ユーザーの処置: そのオブジェクトを入力 XML ファイルから除去します。

| **ARS7755E** '*childObjectType*' という名前の *childObjectName* オブジェクトは、親オブジェクトも更新中でない限り、更新できません。

| 説明: 追加中に子オブジェクトの更新が試行されました。

| ユーザーの処置: 入力 XML ファイルからそのオブジェクトを除去するか、XML ファイルを変更して親オブジェクトを更新します。

ARS7756E

| **ARS7756E** 'childObjectType' という名前の childObjectName オブジェクトは、親オブジェクトの更新中でない限り、削除できません。

| **説明:** 追加操作中に子オブジェクトの削除が試行されました。

| **ユーザーの処置:** 入力 XML ファイルからそのオブジェクトを除去するか、XML ファイルを変更して親オブジェクトを更新します。

| **ARS7757E** 'ObjectType' という名前の ObjectName オブジェクトは削除できません。

| **説明:** システム定義オブジェクトの削除が試行されました。

| **ユーザーの処置:** そのオブジェクトを入力 XML ファイルから除去します。

| **ARS7758E** attributeName 属性に 'value' の値があるが、maxLength 文字より大きくしてはいけません。

| **説明:** そのフィールドで許容されるストリングの長さより長い値が入力されました。

| **ユーザーの処置:** 最大許容長より短いか等しいストリング値を指定します。

| **ARS7759E** attributeName 属性に value の値があるが、maxValue より小さいか等しくなければなりません。

| **説明:** 必要最大値より大きい値が入力されました。

| **ユーザーの処置:** 必要最大値より小さいか等しい値を指定します。

| **ARS7760E** attributeName 属性に value の値があるが、maxValue より小さくなければなりません。

| **説明:** 必要最大値より大きい値が入力されました。

| **ユーザーの処置:** 必要最大値より小さいか等しい値を指定します。

| **ARS7761E** objectType、objectName の追加に失敗しました。

| **説明:** このメッセージは、インポート操作が失敗した後に表示されます。

| **ユーザーの処置:** これは通知メッセージです。

| **ARS7762E** objectType、objectName の更新に失敗しました。

| **説明:** このメッセージは、更新操作が失敗した後に表示されます。

| **ユーザーの処置:** これは通知メッセージです。

| **ARS7763E** objectType、objectName の削除に失敗しました。

| **説明:** このメッセージは、削除操作が失敗した後に表示されます。

| **ユーザーの処置:** これは通知メッセージです。

| **ARS7764E** objectType、objectName のエクスポートに失敗しました。

| **説明:** このメッセージは、エクスポート操作が失敗した後に表示されます。

| **ユーザーの処置:** これは通知メッセージです。

| **ARS7765E** 値 *attrValue* は、*objectType* オブジェクトの *attrName* 属性で無効です。

| 説明: 無効値が属性に指定されました。

| ユーザーの処置: 属性に有効な値を指定して XML ファイルを更新します。

| **ARS7766E** *objectName* という名前の *objectType* を削除しようとしています。警告: 以前にアプリケーションにロードされたデータは、アプリケーションが削除されるとリトリブまたは表示できません。このオブジェクトを削除しますか。 (Y/N)

| 説明: コマンドは、アプリケーションを削除する前に確認するプロンプトを出します。

| ユーザーの処置: アプリケーションの削除を確認する場合は Y を、拒否する場合は N を入力します。

| **ARS7767E** この *mappingType* が *mappingType* に設定されている場合は、フォルダー・フィールド・オブジェクトにアプリケーション・グループ *appGroupName* へのゼロまたは *numberOfMappings* マッピングが必要です。

| 説明: マッピングの誤った数がフォルダー・フィールドに指定されました。

| ユーザーの処置: XML ファイルを更新して正しいマッピング数を含めます。

| **ARS7768E** *attrName* 属性は、フォルダー・フィールドがアプリケーション ID フィールドにマップされる場合は無効になります。

| 説明: 比較演算子が使用されました。フィールドがアプリケーション ID フィールドにマップされる場合は、無効になります。

| ユーザーの処置: XML ファイルを更新して指定した演算子を除去します。

| **ARS7769E** すべての *objType* オブジェクトを *parentType* オブジェクトから削除することはできません。

| 説明: 全オブジェクトの削除が試行されました。少なくとも 1 つのオブジェクトが存在している必要があります。

| ユーザーの処置: XML ファイルを更新してすべてのオブジェクトが削除されないようにします。

| **ARS7770E** *fieldtype1* フィールドは、*fieldtype2* フィールドにマップできません。*fieldtype2* フィールドには *dataType2* のデータ・タイプがあり、*fieldtype1* フィールドには *dataType1* のデータ・タイプがあります。

| 説明: 異なるデータ・タイプを持つ 2 つのフィールド間で、マッピングが試行されました。

| ユーザーの処置: 正しいデータ・タイプのフィールドを参照するようにマッピング・オブジェクトを訂正します。

| **ARS7771E** すべての比較演算子が「いいえ」に設定されています。少なくとも 1 つの比較演算子を「はい」に設定する必要があります。

| 説明: 指定されたすべての比較演算子は無効でした。

| ユーザーの処置: XML ファイルを更新して少なくとも 1 つの比較演算子を追加します。

| **ARS7772E** 「デフォルト」に設定されている比較演算子がありませんでした。少なくとも 1 つの比較演算子を「デフォルト」に設定する必要があります。

| 説明: デフォルトの演算子として選択されている比較演算子がありませんでした。

| ユーザーの処置: XML ファイルを更新して少なくとも 1 つの演算子を「デフォルト」の値として設定します。

ARS7773E

| **ARS7773E** *value* の *dateType* 値が無効です。 *dateType* は、 *format* の形式でなくてはなりません。

| 説明: 無効な日付または時刻の値が指定されました。

| ユーザーの処置: 所定の形式に合致するように指定する値を変更します。

| **ARS7774E** *value* の *dateType* 値が無効であるか、 *dateType* 値の「システム設定」に準拠していません。

| 説明: 無効な日付または時刻の値が指定されました。

| ユーザーの処置: システム形式に合致するように指定する値を変更します。

| **ARS7775E** JAVA コマンドの実行中にエラーが発生しました。 *command*

| 説明: Java ルーチンの呼び出しの試行中にエラーが発生しました。

| ユーザーの処置: 必要な Java ファイルがすべて正しくインストールされていることを確認してください。

| **ARS7776E** インデクサー属性の値が *indexerType* の場合は、 *appName* アプリケーションに索引パラメーターを含めることはできません。

| 説明: アプリケーションに索引パラメーターを含めることはできません。

| ユーザーの処置: XML ファイルを更新してアプリケーションから索引パラメーターを除去します。

| **ARS7777E** *arsxml* を開始しています。バージョン: *Version* コマンド行: *commandLine*

| 説明: このメッセージは開始メッセージです。

| ユーザーの処置: アクションは不要です。

| **ARS7778E** 入力ファイル *inputFile* は、無効であるか無効文字が含まれています。

| 説明: 入力ファイルが有効なフォーマットではありません。

| ユーザーの処置: 入力ファイルが正しく指定され、指定されているエンコード方式に対し無効文字が含まれていないことを確認してください。

| **ARS7779E** *objectName* という名前の *objectType* を削除しようとしています。 *numDocs* 文書は、アプリケーション・グループにロードされます。このオブジェクトを削除しますか。 (Y/N)

| 説明: コマンドは、アプリケーション・グループを削除する前に確認するプロンプトを出します。

| ユーザーの処置: アプリケーション・グループの削除を確認する場合は Y を、拒否する場合は N を入力します。

| **ARS7780E** *attrName* 属性値は、整合性のために *oldValue* から *newValue* に変更されました。

| 説明: オブジェクトを処理する前に、属性が指定された値から変更されました。

| ユーザーの処置: アクションは不要です。

| **ARS7781E** フィールド・タイプ *objectType* フィールドはすでに定義されています。

| 説明: このタイプのフィールドはすでに定義されています。

| ユーザーの処置: フィールドを除去するか、変更して重複しないようにします。

| **ARS7782E** *fieldInfo* オブジェクトは、*objectName*、*userName* にこのフォルダーで使用可能な *userGroupFields* がな
| いため、追加できません。

| 説明: フィールド情報は作成されません。

| ユーザーの処置: *userGroupFields* 属性を使用可能にした状態で、ユーザーの許可オブジェクトを追加します。

| **ARS7783E** *attributeName* 属性に *value* の値があるが、*maxValue* の値を持つ *maxAttrName* 属性より小さいか等しく
| なければなりません。

| 説明: 必要最大値より大きい値が入力されました。

| ユーザーの処置: 必要最大値より小さいか等しい値を指定します。

| **ARS7784E** *attributeName* 属性に *value* の値があるが、*maxValue* の値を持つ *maxAttrName* 属性より小さくなければ
| なりません。

| 説明: 必要最大値より大きい値が入力されました。

| ユーザーの処置: 必要最大値より小さい値を指定します。

| **ARS7785E** *attributeName* 属性に *value* の値があるが、*minAttrName* の値を持つ *minAttrName* 属性より大きいか等し
| くなければなりません。

| 説明: 必要最小値より小さい値が入力されました。

| ユーザーの処置: 必要最小値より大きいか等しい値を指定します。

| **ARS7786E** *attributeName* 属性に *value* の値があるが、*minAttrName* の値を持つ *minAttrName* 属性より大きくなけれ
| ばなりません。

| 説明: 必要最小値より小さい値が入力されました。

| ユーザーの処置: 必要最小値より大きいか等しい値を指定します。

| **ARS7787E** *objectType* 属性の '*attrValue*' の値は、このサーバーでは無効です。

| 説明: サーバーでサポートされない属性値の追加または更新が試行されました。

| ユーザーの処置: 入力 XML ファイルからその属性を除去するか、属性値をサポートされる値に変更します。

| **ARS7788E** *objectType* オブジェクトの *attribute* 属性は、このサーバーでは無効です。

| 説明: サーバーでサポートされない属性の追加または更新が試行されました。

| ユーザーの処置: 入力 XML ファイルからその属性を除去します。

第 7 部 ヒント

第 14 章 トラブルシューティング・シナリオ

行データへの AFP コード・ページ変換が誤っている

症状

AFP データが CICS クライアントで誤って表示されています。

考えられる原因

AFP データを CICS クライアントから表示しようとしており、アプリケーションが 2.2.1.9 後と 7.1.0.10 前のバージョンの OnDemand により追加された場合、この問題により影響を受けます。CICS クライアントによって表示された AFP データが、コード・ページ 1208 からコード・ページ 500 へ誤って変換されています。正しい変換は、コード・ページ 850 からコード・ページ 500 への変換です。

アクション

7.1.0.10 PTF のインストール後、AFP データに対応して定義されたアプリケーションを削除してからサーバーに追加し直す必要があります。アプリケーションのコピーを保管し、これを使用して新規アプリケーションを作成することができます。そのためパラメーターを再度入力する必要はありません。OnDemand 管理クライアントを使用し、次のステップに従って、問題を訂正することができます。

1. OnDemand 管理クライアントを開始し、AFP データがロードされるサーバーにログオンする。
2. AFP データが含まれるアプリケーション・グループの一時コピーを作成する。
3. オリジナル・アプリケーションを使用する AFP データが含まれるアプリケーションの一時コピーを作成する。一時アプリケーションを一時アプリケーション・グループに割り当てます。
4. オリジナル・アプリケーションを削除する。
5. 一時アプリケーションのコピーを作成し、これをオリジナル・アプリケーション・グループに割り当てる。
6. 一時アプリケーション・グループを削除する。
7. CICS クライアントにログオンし、データを表示する。これらのステップの詳細については、OnDemand 管理クライアントのオンライン・ヘルプを参照してください。

AFP 文書を Internet Explorer 6.0 で読み取ることができない

症状

Internet Explorer 6.0 は、AFP を HTML 変換ページにできません。

考えられる原因

Internet Explorer 6.0 の拡張セキュリティは、元のページから発生していないページの検索を表示を行うために、ブラウザ・ページからアプレットまたは JavaScript を実行することができなくなりました。Content Manager OnDemand Web Enablement Kit では、アプレットは中間層のサーバーから発生し、ローカル・キャッシュからページを表示しようとしています。Internet Explorer 6.0 は、その要求を出したアプレットが署名されていても、これをセキュリティ違反とします。

アクション

アプレットの発信元のサイトを、IE 6.0 の信頼済みサイトのリストまたはイントラネット・サイトのリスト (どちらか関連する方) に追加します。信頼済みサイトのリストに追加するには、次のようにします。

1. Internet Explorer 6.0 を開始する。
2. 「ツール」メニューから「インターネット オプション」を選択する。
3. 「セキュリティ」をクリックする。
4. ゾーンのリストから「信頼済みサイト」を選択する。
5. 「サイト」をクリックする。
6. 「この Web サイトをゾーンに追加する」フィールドに、関連するサイトの URL を入力する。サイトが https:// でない場合は、「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする」チェック・ボックスをクリアしてください。
7. 「追加」をクリックする。
8. 「OK」をクリックする。
9. Internet Explorer を閉じる。

注: 上記ステップ 4 を除き、イントラネット・サイトのリストへの追加も同様です。イントラネット・サイトの場合には、「詳細設定」ボタンのある中間ダイアログ・ボックスがあります。「詳細設定」をクリックすると、上記のステップ 5 と同じダイアログ・ボックスが表示され、残りのステップは同じです。

OnDemand Windows クライアントからの PDF 文書を初期化できない 症状

OnDemand Windows クライアントから PDF 文書を表示させようとする時、「Unable to Initialize Document」または「Failure to Initialize Document」というメッセージが出されます。

考えられる原因

クライアントは、Adobe Acrobat Reader を開始することができませんでした。この問題の最も一般的な原因は、Windows レジストリーのキー値が誤っていることです。

アクション

レジストリー・キー値を訂正する方法は、以下のとおりです。

1. ノートパッドを使用して、以下の行を含む .reg ファイルを作成する。

```
[HKEY_CLASSES_ROOT\AcroExch.Document\DefaultIcon]
@="C:\Program Files\Adobe\Acrobat 6.0\Acrobat\Acrobat.exe,1"
```

注: Adobe Acrobat Reader が、C:\Program Files\Adobe\Acrobat 6.0\Acrobat\ ではなく、異なるディレクトリーにインストールされている場合は、2 行目を変更して、実際のパスを反映させます。

2. .reg ファイルを保管する。
3. .reg ファイルをダブルクリックして、このキーを Windows レジストリーにマージする。
4. OnDemand Windows クライアントを再始動する。

ARSLOAD を開始できない

症状

OnDemand Load Data Service (ARSLOAD) を開始できません。

考えられる原因

OnDemand Load Data Service (ARSLOAD) が、OnDemand バージョン 7.1.0.6 以前の Windows サーバーによって作成され、ARCHIVE という名前ではないインスタンスにデータを自動的にロードするように、サービスを構成した場合に、ご使用のサーバーはこの問題によって影響を受けます。

アクション

ご使用の OnDemand インスタンスが ARCHIVE という名前であることを確認してください。

注: このセクションは、DB2 Content Manager OnDemand for Multiplatforms にのみ該当します。

ARSLOAD が接続を確立できない

症状

ARSLOAD コマンドの実行を試行中、サーバーが稼働しており、正しいホスト名が -h パラメーターに指定されているにもかかわらず、「connection cannot be established」というエラーが出されます。

考えられる原因

-h パラメーターのみを指定した場合、デフォルト・インスタンスの名前は、archive であり、デフォルト・ポート番号 (1445) を使用していなければなりません。このエラーは、デフォルト・インスタンスが archive ではないか、ポート 1445 を使用していない場合に出されます。

アクション

以下の事例では、-I パラメーターを使用して、インスタンスを指定します。

- デフォルト・インスタンスの名前が `archive` ではない場合。
- 1445 以外のポート番号を使用している。
- 同一ワークステーションで複数のインスタンスを実行中に、デフォルト・インスタンス以外のインスタンスを処理する場合。
- ライブラリー・サーバーとは異なるシステム、またはノードにあるオブジェクト・サーバーから `ARSLOAD` を実行している。

注: このセクションは、DB2 Content Manager OnDemand for Multiplatforms にものみ該当します。

スプールからレポートをロードするときの ARSLOAD エラー

症状

次の JCL で、スプールからレポートをロードするときに、

```
//ARSLOAD EXEC PGM=ARSLOAD,REGION=0M,  
// PARM=('/-A JOBNAME -uadmin -ppassword -v -C F  
//      -g "ClaseU" -f -c/u/u1/ctemp ')  
//STEPLIB DD DISP=SHR,DSN=ARS.V710.SARSLOAD  
//      DD DISP=SHR,DSN=SYS1.DSN610M.SDSNEXIT  
//      DD DISP=SHR,DSN=DSN610M.SDSNLOAD  
//      DD DISP=SHR,DSN=APK.ACIF.ONDE.SAPKMOD1  
//SYSPRINT DD SYSOUT=*  
//SYSOUT DD SYSOUT=*
```

この ARSLOAD エラーが発生します。

```
The application >< does not exist within the application group >ClaseU<
```

考えられる原因

-g オプションを使用してアプリケーション・グループを指定している場合、ARSLOAD は、スプール・ファイルからのアプリケーションまたはアプリケーション・グループを判別できません。-G および -A オプションは無視されます。その結果、ARSLOAD は、アプリケーションが指定されていないアプリケーション・グループ ClaseU へのロードの実行を試行して失敗します。

アクション

"-G WRITER -W CLASEU -A JOBNAME を使用して、ライター名を CLASEU に指定するジョブを指定します。例えば次のように指定します。

```
PARM=('/-G WRITER -W CLASEU -A JOBNAME -v -f')
```

重要: このアクションでは、それぞれのジョブ名をアプリケーションとして定義する必要があります。

注: このセクションは、DB2 Content Manager OnDemand for z/OS and OS/390 にものみ該当します。

ARSLOAD が HFS ディレクトリーからロードしない

症状

ARSLOAD が、次の JCL ステートメントの抜粋で指定された HFS ディレクトリー (/ars/upload) からロードしません。

```
//ARSLOAD ...  
// PARM=('-h ARCHIVE -C A -d /ars/upload')
```

考えられる原因

-C および -d パラメーターは、互いに排他的です。-C パラメーターが指定されると、ARSLOAD はスプールからのロードを試行し、-d パラメーターに指定されたディレクトリーはモニターしません。

アクション

次のように、-C パラメーターを JCL ステートメントの抜粋から除去します。

```
//ARSLOAD ...  
// PARM=('-h ARCHIVE -d /ars/upload')
```

注: このセクションは、DB2 Content Manager OnDemand for z/OS and OS/390 にのみ該当します。

ARSLOAD がデータをキャッシュに保管できない

症状

2 つのオブジェクト・サーバーおよびロード・タイプがローカルに定義されたストレージ・セットという環境で、次のエラーが発生しました。

```
x087770@njros1ud202[/home/x087770] /usr/lpp/ars/bin/arsload -nfv  
-hnjros1ud199 -u... -gAH115 -aAH115DCK /ODDdownload/AH115DCK.RPT  
OnDemand Load Id = 5013-8-0-8FAA-12041-12041  
Loaded 616 rows into the database  
Document compression type used - OD77. Bytes Stored = 42406<  
arsload: 01/30/03 14:02:54 Loading completed  
arsload: Processing successful for file /odarsacif/acif1/AH115DCK.RPT<  
An unexpected error occurred. Contact your System Administrator and/or  
consult the System Log. File=arsadmin.c, Line=121
```

```
arsload: Unable to log load information  
arsload: Processing has stopped. The remaining files will NOT be processed.
```

考えられる原因

システム・ログ・アプリケーション用に、ストレージ・セットのロード・タイプをローカルに設定するのは誤りです。

アクション

ご使用のシステムが、Tivoli Storage Manager を使用していない場合は、システム・ログ・アプリケーション・グループをライブラリー・サーバー上のキャッシュのみのストレージ・セットに割り当てるか、ロード・タイプをオブジェクト・サーバー上で「固定」に指定します。

注: このセクションは、DB2 Content Manager OnDemand for Multiplatforms にのみ該当します。

ARSLOAD は正常であるが、DB2 サブシステムの LOADEXIT エラーが発生する

症状

ARSLOAD の実行中、ロード部分は機能するようですが、DB2 サブシステム DSN 参照でエラーが発生します。DSNA を参照するはずですが、エラー・メッセージは、次のようなものです。

```
Allocation of connection handle failed
LOADEXIT entry print_error rtn
LOADEXIT SQLSTATE: 58004
LOADEXIT Native Error Code: -99999
LOADEXIT buffer: {DB2 for OS/390}{ODBC Driver} SQLSTATE=58004 ERRLOC=2
CAF "CONNECT" failed using DB2 system:DSN
RC=0c and REASON=00f30006
```

```
>
LOADEXIT exit print_error rtn
Loaded 1 rows into the database
Document compression type used - OD77. Bytes Stored = >9999<
arsload: 01/01/04 12:00:00 Loading completed
arsload: Processing successful for file >/ars/tmp/HLQ.SYSTEM.LLQ
```

考えられる原因

ARSLOAD JCL の DSNAOINI DD が欠落しています。

アクション

実行依頼した ARSLOAD JCL を検討し、DSNAOINI DD が適切に指定されていることを確認してください。失敗した LOADEXIT 処理は存在し、適切な ODF 表に行を挿入します。これらの行の挿入は、レポートが正常に保管され、配布の部分であればその準備ができたときに、ODF に通知されます。

DSNAOINI DD が定義されているかどうかを確認します。これは ARSSOCKD ジョブにあるものと同じで、ODBC の cli.ini を指していなければなりません。DSNAOINI を定義したら、適切な ODBC パラメーター・ファイルに正しく送信されることを確認してください。

ODF を使用しない場合は、ARSLOAD 出口を /usr/lpp/ars/bin/exits に名前変更して、ARSLOAD を使用したレポートのロード中に実行されないようにします。arsload 出口は、ODF にのみ必要です。出口が存在し、ODF をインストールしない場合は、出口を arsuload.bak に名前変更します。

注: インストールによっては、この問題が DSN ではなく、誤った DB2 サブシステムとして参照されることがあります。

ARSADMIN が USS からの実行を試行中に失敗した

症状

OnDemand ARSADMIN プログラムを Unix システム・サービス (USS) から実行しようとして失敗しました。メッセージは、「arsadmin: FSUM7351 not found」です。

考えられる原因

ARSADMIN を USS から実行するには、リンクが必要です。リンクが存在しない可能性があります。

アクション

リンクが存在することを確認します。/usr/lpp/ars/bin から ARSADMIN への外部リンクを探してください。次のとおりです。

```
0D39090:/usr/lpp/ars/bin: >ls -l arsadmin
erwxrwxrwx 1 root root 8 Oct 15 2001 arsadmin -> ARSADMIN
```

SARSLOAD PDS は、STEPLIB の一部になる必要があります。例えば次のようになります。

```
0D39090:/usr/lpp/ars/bin: >echo $STEPLIB
ARSV710.ODMP710.SARSLOAD:DB2.V6R1M0.DSNA.SDSNEXIT:DB2.V6R1M0.SDSNLOAD
```

リンク作成の説明

/usr/lpp/ars/bin から ARSADMIN への外部リンクがないと、ARSISMKD ジョブは実行しません。このジョブが、/usr/lpp/ars/bin に ARSLOAD および他の実行可能ファイル、および SMP に必要なディレクトリーへのリンクを作成します。ARSISMKD サンプル・ジョブは、SARSINST にあります。「*Program Directory for IBM Content Manager OnDemand for z/OS and OS/390*」のセクション『SMP/E ターゲットおよび配布ライブラリーとパスの割り振り』を参照してください。

覚書: ARSISMKD の変更または (ARSMKDIR) を起動する REXX EXEC を変更した PTF にも ++HOLD ACTION があります。これは、ARSISMKD ジョブを再び実行する必要があるということです。

注: このセクションは、DB2 Content Manager OnDemand for z/OS and OS/390 にのみ該当します。

ARSADMIN が、unload [options] 構文で失敗した

症状

次のバッチ JCL で ARSADMIN の実行を試行中に、

```
//ARSLOAD EXEC PGM=ARSADMIN,REGION=0M,TIME=NOLIMIT,
// PARM=('unload -L 5039-2-0-1FAA-8778-8778 -g DLQCY2 ')
//STEPLIB DD DISP=SHR,DSN=SYS1.ONDEMAND.SARSLOAD
//SYSPRINT DD SYSOUT=X,HOLD=YES
//SYSOUT DD SYSOUT=X,HOLD=YES
```

次のメッセージが出されます。

使用法: arsdadmin unload [options]
バージョン: 7.1.0.5
unload OnDemand から LoadId をアンロードする
-g <name> アプリケーション・グループ名
-h <hostname> OnDemand ホスト名
-p <passwd> OnDemand ユーザー・ログイン・パスワード
-u <userid> OnDemand ユーザー・ログイン名
-L <load_id> OnDemand から削除する LoadId
-Q システム・ログに LoadId がない場合、継続する

考えられる原因

-h パラメーターが JCL ステートメントの PARM セクションから欠落しています。(ARSLOAD とは異なり、ARSADMIN には -h パラメーターが必要です。)

アクション

-h パラメーターを JCL ステートメントに追加します。これは、バッチ・ジョブから ARSADMIN を起動する JCL のサンプルです。

```
//OD39090M JOB (TSS40000), 'name',MSGCLASS=1,CLASS=A,  
//          MSGLEVEL=(1,1),NOTIFY=OD39090  
//PROCESS  OUTPUT  DEFAULT=YES,CLASS=*,JESDS=ALL,OUTDISP=HOLD  
//*****  
//STEP1    EXEC PGM=ARSADMIN,REGION=0M,  
// PARM='unload -g gname -h ARCHIVE -L 5324-56-0-53FAA-0-0  
//          -u OD39090 -p password'  
//STEPLIB  DD DISP=SHR,DSN=ARSV710.ODMP710.SARSLOAD  
//SYSPRINT DD SYSOUT=*  
//SYSOUT   DD SYSOUT=*
```

注: このセクションは、DB2 Content Manager OnDemand for z/OS and OS/390 にのみ該当します。

OnDemand システム・ログではなく、MVS SYSLOG に、通知メッセージが表示される

症状

特にメッセージ ARS0082I が、OnDemand システム・ログ・フォルダーのヒット・リストではなく MVS SYSLOG に表示されます。

アクション

次の項目を調べてください。

- ars.ini の **SRVR_SM_CFG** によって、ars.cache ファイルが示されている。ars.cache で指定されているディレクトリーは、ARSSOCKD による書き込みが可能ですか。
- ARSSOCKD の再始動、および MVS SYSLOG に表示されるが、OnDemand システム・ログ・フォルダーにはないメッセージを生成した後に、MVS SYSLOG に表示されたすべてのエラー・メッセージ (例えば、ディレクトリー権限やデータベース許可エラーなど)。
- /etc/resolv.conf ですべてのパラメーターが正しく指定されていることを確認する。この問題は、/etc/resolv.conf の DNS 名が誤っていると発生することがあります。

DB2 ログがフルである

症状

DB2 のアーカイブ・ログ・ディレクトリーがフルです。ログ・データを定義済みログ・ディレクトリーに書き込むスペースがなく、db2uexit.disk (または db2uext2.disk) を使用してオンライン・アーカイブ・ログ・ファイルを 1 次ログ・ファイル・ディレクトリーからアーカイブ・ログ・ファイル・ディレクトリーにコピーしようとしても処理できません。この場合、データベースに接続できません。

アクション

ARSDB -y または ARSDB -z を実行してデータベースのバックアップを試行してください。バックアップが完了し、戻りコード 0 が戻されると、ARSDB は、不要なアーカイブ・ログ・ファイルを除去します。アーカイブ・ファイル・システムがフルだと、db2uext2.disk は、ファイルを 1 次ログからコピーすることができません。データベースのバックアップが実行され、RC=0 で終了したことを必ず確認してください。

以下は、ロギング作業の方法です。

1. バックアップが Return Code = 0 を戻すと、ARSDB プログラムまたは、ars_db スクリプトは、ログ・ファイルをアーカイブ・ログから除去します。アーカイブ・ログ・ファイルがバックアップ後に除去されないと、バックアップは RC=0 を出しません。
2. db2uext2.disk または db2uext2.tsm の機能は、ファイルを 1 次ログからアーカイブ・ログにコピーすることです。
3. 1 次ログ・ファイルがアーカイブ・ログにコピーされ、1 次ログにアプリケーションが付加されていない状態になった後、DB2 データベース・マネージャーは、ログ・ファイルを除去するかファイルをクリアして再使用します。

このように、db2uext2 は、ログ・ファイルの除去は行いません。この出口の主な機能は、ログ・ファイルを 1 次ログからアーカイブ・ログにコピーすることです。

問題がユーザー出口にある場合は、/tmp または /arstmp ディレクトリーで出口ログ・ファイルを検査してください。/arstmp/db2uext2.err を探します。ユーザー出口の戻りコードが 8 よりも大きい場合、それはシャットダウンされ、DB2 が再始動されるまで実行されません。

SMP/E 適用ジョブで GIM23911E メッセージが出される

症状

SMP/E APPLY CHECK の実行で、戻りコード 04、次に戻りコード 08 を受け取りました。SMP/E の適用ジョブで以下のメッセージが出されました。

```
GIM23911E **LINK-EDIT PROCESSING FOR SYSMOD UQXXXXX FAILED FOR MODULE ARSXXX
THE RETURN CODE (12) EXCEEDED THE ALLOWABLE VALUE.
DATE...
```

その後、リンケージ・エディットのセクションに以下のメッセージが出されました。

考えられる原因

この問題は、特定のライブラリーで PDSE 以外の区分データ・セット (PDS)、大抵の場合は SMPLTS を使用することによって起こります。

アクション

ライブラリーの割り振りを変更します。「*Program Directory for IBM Content Manager OnDemand for z/OS and OS/390*」には、OnDemand で使用される特定のライブラリーのライブラリー・タイプは、PDSE として定義されなければならないと記載されています。これらのライブラリーには以下が含まれます。

- AARSOBJ1
- SARSDFS
- SARSLOAD
- SMPLTS

SARSINST ライブラリー AARSOBJ1 のメンバー ARSBALLO は、「DSNTYPE=LIBRARY」として割り振る必要があります。

注: このセクションは、DB2 Content Manager OnDemand for Multiplatforms にのみ該当します。

その他の SMP/E のヒント

OnDemand でのその他の SMP/E のヒントには、以下が含まれます。

- 適用に FORFMID(XXX) を使用する。
- 適用プロセスの後に、すべての ++HOLD システム・アクションを解決する。
- 必要であれば LLA をリフレッシュする。
- 提供されたソース・コードが変更された場合は、カスタマイズをユーザー出口に再適用する。

DB2 の停止の試行により、SQL1035 メッセージが出される

症状

OnDemand コマンド `arsdb -h` を使用して DB2 Universal Database の停止を試行すると、「Database in use」メッセージが出されます。

考えられる原因

この問題は、OnDemand データベース表に損傷があると発生します。

アクション

db2diag.log ファイルの次のメッセージのタイプを検討します。

```
2001-12-12-09.39.02.760439 Instance:archive Node: 000
PID:24832(db2agent (ARCHIVE)) Appid:*LOCAL.archive.011212143855
buffer_pool_services sqlbrdpg Probe:1141 Database:ARCHIVE
DIA3726C An invalid page checksum was found for page " ".
ZRC=FFFFE119
```

ここで ZRC は、損傷のある OnDemand データベース表です。

リカバリーには、適切なバックアップから OnDemand データベース表を復元し、次にロールフォワードします。

注: このセクションは、DB2 Content Manager OnDemand for Multiplatforms にのみ該当します。

第 15 章 PDF インデクサー・トレース機能

PDF インデクサーの拡張トレース機能が使用可能になりました。このトレース機能は、PDF 文書の索引付けおよびロード中に、システムに障害が起きたなどの問題のデバッグを行おうとしているユーザーへの支援を提供します。

PDF インデクサーで、問題をトレースまたはデバッグするには、以下が必要です。

- フィールド、トリガー、索引およびその他の索引付け情報を指定するパラメーター・ファイル
- 処理対象の PDF 入力ファイル

パラメーター・ファイルおよび PDF 入力ファイルは、コマンド行から PDF インデクサーを実行することによって処理できます。例えば次のように入力します。

```
arspdoci parmdd=filen.parms inputdd=filen.pdf outputdd=filen.out indexdd=filen.ind  
tracedd=filen.trace
```

この例での入力内容は次のとおりです。

arspdoci

PDF インデクサー・プログラムのコマンド行バージョンの名前です

parmdd=

索引付けパラメーターが含まれる入力ファイルの名前を指定します

inputdd=

処理する PDF 入力ファイルの名前を指定します

outputdd=

PDF インデクサーで作成された、索引付けされた PDF 文書が含まれる出力ファイルの名前を指定します

indexdd=

データベースにロードされる索引情報が含まれる出力ファイルの名前を指定します

tracedd=

トレース情報が含まれる出力ファイルの名前を指定します

以下も参照してください。: ARSPDOCI プログラムの実行時に指定されるパラメーターに関する詳細については、「DB2 Content Manager OnDemand 索引付けリファレンス」を参照してください。

PDF インデクサーをトレースを指定して実行した後、`tracedd=parameter` で指定された出力ファイルには、発生した処理と、PDF インデクサーが処理中にどこで失敗しているかに関する詳細情報が含まれます。トレース情報は、トリガーの有無、フィールドの有無、PDF データが壊れていたかどうか、文書から PDF ページを抽出する時に問題がなかったかどうか、必要な操作を完了するために十分なメモリーまたはディスク・スペースがあるかどうかについても確認します。次は、PDF インデクサーで生成される可能性のあるトレース情報の例です。

```

COORDINATES=IN
ARSPDOCI completed code get_keyword <-----
ARSPDOCI completed code get_keyword 003 ----->
TRIGGER1=UL(7.00,0.25),LR(7.70,0.57),*, 'Page: '
ARSPDOCI completed code get_keyword <-----
ARSPDOCI completed code get_keyword 003 ----->
ARSPDOCI completed code parse_trigger <-----
ARSPDOCI completed code parse_quoted_parm <-----
ARSPDOCI completed code parse_quoted_parm 001 ----->
ARSPDOCI completed code parse_trigger 001 ----->
FIELD1=UL(7.00,0.48),LR(7.90,0.77),0,(TRIGGER=1,BASE=0)
ARSPDOCI completed code get_keyword <-----
ARSPDOCI completed code get_keyword 003 ----->
ARSPDOCI completed code parse_field <-----
ARSPDOCI completed code parse_subfields <-----
ARSPDOCI completed code get_keyword <-----
ARSPDOCI completed code get_keyword 003 ----->
ARSPDOCI completed code get_keyword <-----
ARSPDOCI completed code get_keyword 003 ----->
ARSPDOCI completed code parse_subfields 001 ----->
ARSPDOCI completed code parse_field 001 ----->
FIELD2=UL(6.11,1.39),LR(7.15,1.57),0,(TRIGGER=1,BASE=0)
ARSPDOCI completed code get_keyword <-----
ARSPDOCI completed code get_keyword 003 ----->
ARSPDOCI completed code parse_field <-----
ARSPDOCI completed code parse_subfields <-----
ARSPDOCI completed code get_keyword <-----
.
.
.
ARSPDOCI completed code get_keyword <-----
ARSPDOCI completed code get_keyword 003 ----->
ARSPDOCI completed code arsparm_final_sanity_check <-----
ARSPDOCI completed code arsparm_final_sanity_check 001 ----->
ARSPDOCI completed code ArspProcessOpt <-----
ARSPDOCI completed code ArspOpenIndex <-----
ARSPDOCI completed code ArspOpenIndex 001 ----->
Adobe PDF Library version -732512488.-1
Editing is :-1
Number of input pages =130
ARSPDOCI completed code ArspProcessOpt:Calling ArspSearchDocPages()
ARSPDOCI completed code ArspSearchDocPages <-----
ARSPDOCI completed code ArspSearchDocPages:ArspCreateWordFinder()
ARSPDOCI completed code ArspSearchDocPages:PDWordFinderAcquireWordList()
ARSPDOCI completed code ArspSearchDocPages:PDDocAcquirePage()
ARSPDOCI completed code ArspSearchDocPages:ArspSearchPage()
ARSPDOCI completed code ArspSearchDocPages:PDPAGERelease()
ARSPDOCI completed code ArspSearchDocPages:PDWordFinderReleaseWordList()
Trigger(s)not found by page 1
ARSPDOCI completed code ArspSearchDocPages 004 ----->
ARSPDOCI completed code ArspProcessOpt:Calling ArspCloseIndex()
ARSPDOCI completed code ArspCloseIndex <-----
ARSPDOCI completed code ArspCloseIndex 001 ----->
ARSPDOCI completed code ArspProcessOpt:Calling PDDocClose()
ARSPDOCI completed code ArspProcessOpt 002 ----->
ARSPDOCI completed code 1
ARSPDOCI completed code ArspFreeParms ()

```

第 16 章 表スペース・ファイル・システム

重要: このセクションは、DB2 Content Manager OnDemand for Multiplatforms に関するのみ該当します。

DB2 表スペース・ファイル・システムを Solaris で構成する場合、SMS 表スペースを含むように定義するファイル・システムは、それぞれ別のマウント・ポイントにある必要があります。

表 5. Solaris の下でも SMS 表スペース・ファイル・システム

ARS.DBFS のディレクトリー	マウント・ポイント
/arsdb/db1/SMS	/dev/HDISK6
/arsdb/db2/SMS	/dev/HDISK7

同一マウント・ポイントに複数の SMS 表スペース・ファイル・システムを定義した場合、OnDemand サーバーを初期化することができません。

第 17 章 Tivoli Storage Manager の問題

重要: このセクションは、DB2 Content Manager OnDemand for Multiplatforms にも該当します。

AIX に必要な Tivoli Storage Manager のバージョン

64 ビット AIX オペレーティング・システムで OnDemand を実行する予定の場合、Tivoli Storage Manager バージョン 4.2.2.1 以降で提供される 32 ビット Tivoli Storage Manager API を使用する必要があります。Tivoli Storage Manager バージョン 4.2.2.1 または Tivoli Storage Manager バージョン 5.1.1 では、クライアント・パッケージの AIX43 セクションに、32 ビット API があります。Tivoli Storage Manager バージョン 5.1.5 では、32 ビット・クライアントと 64 ビット・クライアント用のパッケージが別々に用意されています。Tivoli Storage Manager クライアントは、以下の Web サイトの IBM サービスで入手可能です。

<ftp://service.boulder.ibm.com/storage/tivoli-storage-management/maintenance/client>

アプリケーション・グループの削除

OnDemand インスタンスの所有者が root ではない場合、ユーザーがアプリケーション・グループを削除すると、OnDemand は OnDemand データベースからアプリケーション・グループの表を削除しますが、Tivoli Storage Manager からはアプリケーション・グループのデータを削除しません。この場合、OnDemand は、メッセージ番号 ARS0022 を発行します。このメッセージには、ユーザーがアプリケーション・グループのデータを Tivoli Storage Manager から手動で削除する必要があると記述しています。Tivoli Storage Manager からデータを削除するには、Tivoli Storage Manager にログオンして、Tivoli Storage Manager ユーティリティーを使用してアプリケーション・グループに関連付けられた Tivoli Storage Manager のファイル・スペースを削除します。ファイル・スペースの名前は、メッセージ番号 ARS0022 で指定されています。Tivoli Storage Manager へのログオンと、データの削除に Tivoli Storage Manager ユーティリティーを使用する詳細については、ご使用の Tivoli Storage Manager 情報を参照してください。

第 18 章 OnDemand に関連するネットワーク通信エラーの検出

ARSSOCK は、TCP/IP エラーをログ記録する `arssockd` のデバッグ・オプションです。ARSSOCK が使用可能になると、次の情報をファイルに保管します。

- タイム・スタンプ
- 使用中のプログラム
- 問題が発生した `arssock.c` の行
- アクティビティ
- 呼び出し先関数によって提供される 理由コード (RC)

例えば、次のようになります。

```
Wed May 21 13:09:52 2003: OnDemand(1596) -> bind rc = 67
```

この例での記録内容は次のとおりです。

```
Wed May 21 13:09:52 2003
```

```
    タイム・スタンプ
```

```
OnDemand(1596)
```

```
    問題が発生した arssock.c の行
```

```
bind    試行されたアクティビティ
```

```
67      呼び出し先関数から戻った理由コード
```

理由コードの通常のソースは、オペレーティング・システムの `errno.h` ファイルです。AIX システムから得られたこの例では、理由コードは、アドレスがすでに使用中であることを示しています。理由コードについては、ご使用のオペレーティング・システムの文書を参照してください。

このデバッグ・オプションを使用可能にするには、デバッグ情報を保管するファイルを指定する必要があります。`ars.cfg` ファイルの次の行のコメントを外すか、またはこの行を追加してください。

```
ARSSOCK=/tmp/arssock.dbg
```

重要:

- ARSSOCK= で指定されたファイルには、書き込み許可が必要です。
- ファイルの絶対パスを指定してください。設定に従って、ファイル名とロケーションを変更することができます。デバッグ・ファイルが識別されると、`arssockd` の親プロセスを再始動する必要があります。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-8711
東京都港区六本木 3-2-12
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。 IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
J46A/G4
555 Bailey Avenue
San Jose, CA 95141-1003
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

IBM	DRDA	OS/2
Advanced Function Presentation	EDMSuite	OS/390
Advanced Function Printing	Enterprise Storage Server	Parallel Sysplex
AFP	ES/3090	OS/400
AIX	eServer	Presentation Manager
AIX/6000	FlowMark	Print Services Facility
AS/400	ImagePlus	pSeries
Bar Code Object Content Architecture	Infoprint	RACF
BCOCA	Intelligent Printer Data Stream	RS/6000
BookManager	IPDS	S/390
CICS	i5/OS	SecureWay
Cryptolope	iSeries	SET
DataJoiner	Language Environment	SP
DB2	Lotus	System/370
DB2 Connect	Lotus Notes	Tivoli
DB2 Universal Database	Mixed Object Document Content Architecture	Ultrastar
DFSMSdfp	MO:DCA	VideoCharger
DFSMSdss	MQSeries	VisualInfo
DFSMSHsm	MVS	WebSphere
DFSMS/MVS	MVS/DFP	z/OS
Domino	Notes	
Domino.Doc	OpenEdition	

Intel、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Centrino、Intel Centrino ロゴ、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、Pentium は Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

OnDemand Windows クライアント・プログラムの一部には、Pixel Translations Incorporated のライセンス・ソフトウェアが含まれています。

© Pixel Translations Incorporated 1990, 2003. All rights reserved.

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。



プログラム番号: 5697-N93
5724-J33
5722-RD1

SC88-9781-03



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12